令和６年度

看護学部　シラバス

（４年間の学修計画）

横浜創英大学

令和6年度　看護学部　シラバス目次

no	授業科目	配当年次	頁
(表1)科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和4～令和6年度入学生】			2
(表2)科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【平成31～令和3年度入学生】			4
【1年次配当科目】			7
1	大学で学ぶとは(含建学の精神)	1前	9
2	サイエンスA(考え方)	1前	11
3	コンピュータA(機器操作と文書作成)	1前	13
4	コンピュータB(表計算)	1前	15
5	情報リテラシー	1前	17
6	哲学	1前	19
7	心理学	1前	21
8	コミュニケーション論	1前	23
9	ジェンダー論	1前	25
10	障がい論	1前	28
11	芸術論	1前	30
12	造形表現	1前	32
13	教養音楽	1前	34
14	レポート・文章作成法	1前	37
15	健康・スポーツA	1前	39
16	健康・スポーツB	1前	41
17	英語A(基礎)	1前	44
18	英語C(TOEIC・TOEFL等資格取得)	1前	46
19	中国語	1前	49
20	知的探求入門	1前	51
21	人体の構造と機能Ⅰ	1前	53
22	人体の構造と機能Ⅱ	1前	54
23	栄養生化学	1前	56
24	微生物学	1前	59
25	看護学原論	1前	62
26	対象論	1前	64
27	看護学援助論	1前	67
28	サイエンスB(観察)	1後	70
29	コンピュータC(プレゼンテーション)	1後	72
30	データサイエンス入門	1後	74
31	医療・環境入門	1後	76
32	倫理学	1後	78
33	比較文化論	1後	80
34	法学(含日本国憲法)	1後	83
35	文学	1後	86
36	英語B(看護英会話)	1後	89
37	韓国語	1後	91
38	フランス語	1後	93
39	人体の構造と機能Ⅲ	1後	95
40	病理学	1後	98
41	精神保健論	1後	101
42	公衆衛生学	1後	103
43	保健医療福祉行政論Ⅰ	1後	106
44	ケア場面展開論	1後	109
45	看護援助技術論Ⅰ	1後	111
46	看護過程展開論Ⅰ	1後	114
47	基礎看護学実習Ⅰ	1後	116
48	地域・在宅看護論	1後	117
49	老年看護学概論	1後	120
50	母性看護学概論	1後	122
51	教育原理(養護教諭)	1後	124
52	発達心理学(養護教諭)	1後	127
【2年次配当科目】			131
53	症候論Ⅰ	2前	133
54	症候論Ⅱ	2前	135
55	看護援助技術論Ⅱ	2前	137
56	看護過程展開論Ⅱ	2前	140
57	成人看護学概論	2前	142
58	成人看護学方法論Ⅰ	2前	144
59	老年看護学方法論Ⅰ	2前	147
60	小児看護学概論	2前	150

no	授業科目	配当年次	頁
61	母性看護学方法論Ⅰ	2前	153
62	精神看護学概論	2前	156
63	家族看護論	2前	158
64	公衆衛生看護学概論	2前	160
65	看護情報学	2前	163
66	教職概論(養護教諭)	2前	165
67	教育課程と指導計画(養護教諭)	2前	167
68	道徳教育と特別活動・総合的な学習の理論と方法	2前	169
69	教育相談(養護教諭)	2前	172
70	臨床薬理学	2後	174
71	症候論Ⅲ	2後	176
72	保健統計学	2後	178
73	疫学	2後	180
74	基礎看護学実習Ⅱ	2後	182
75	地域・在宅看護方法論Ⅰ	2後	183
76	地域包括ケア実習	2後	186
77	成人看護学方法論Ⅱ	2後	188
78	老年看護学実習Ⅰ	2後	191
79	小児看護学方法論Ⅰ	2後	193
80	小児看護学実習Ⅰ	2後	196
81	精神看護学方法論Ⅰ	2後	197
82	感染看護学	2後	200
83	養護概説	2後	202
84	教育社会学(養護教諭)	2後	205
85	人体の機能と構造学演習	2通	207
【3年次配当科目】			211
86	地域・在宅看護方法論Ⅱ	3前	213
87	老年看護学方法論Ⅱ	3前	216
88	小児看護学方法論Ⅱ	3前	218
89	母性看護学方法論Ⅱ	3前	221
90	精神看護学方法論Ⅱ	3前	224
91	リハビリテーション看護論	3前	226
92	健康生活支援論Ⅰ	3前	228
93	産業保健活動論	3前	231
94	学校保健論	3前	233
95	がん看護	3前	236
96	看護管理学	3前	239
97	多職種連携論	3前	242
98	医療安全学	3前	244
99	看護研究	3前	246
100	健康相談活動及び方法	3前	248
101	生徒指導の理論と実際	3前	250
102	特別支援教育論	3前	252
103	教育方法論	3前	254
104	公衆衛生看護活動論	3通	256
105	成人看護学方法論Ⅲ	3後	260
106	成人看護学実習・慢性期	3後	263
107	老年看護学実習Ⅱ	3後	265
108	母性看護学実習	3後	267
109	精神看護学実習	3後	268
110	健康生活支援論Ⅱ	3後	269
111	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	272
112	国際看護論	3後	274
【4年次配当科目】			277
113	在宅看護実習	4前	279
114	成人看護学実習・急性期	4前	281
115	小児看護学実習Ⅱ	4前	283
116	看護倫理・法	4前	284
117	看護教育学	4前	286
118	統合実習	4前	288
119	研究ゼミナール	4通	290
120	教職実践演習(養護教諭)	4通	291
121	養護実習	4通	293
122	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	296
123	救急・災害看護学	4後	297
124	先端医療と看護	4後	299
125	公衆衛生看護管理論	4後	301

（表1）　科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和4年度入学生～令和6年度入学生対象】

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針　（ディプロマ・ポリシー）				
		看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。	地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
大学で学ぶとは（含建学の精神）	LF100	●				
サイエンスＡ（考え方）	LG100	●				
サイエンスＢ（観察）	LG100	●				
コンピュータＡ(機器操作と文書作成)	LF100	●				
コンピュータＢ(表計算)	LF100	●				
コンピュータＣ(プレゼンテーション)	LF100	●				
情報リテラシー	LG100	●				
データサイエンス入門	LG100	●				
医療・環境入門	LG100	●				
哲学	LG100	●				
心理学	LG100	●				
倫理学	LG100	●				
コミュニケーション論	LG100	●				
ジェンダー論	LG100	●				
障がい論	LG100	●				
芸術論	LG100	●				
比較文化論	LG100	●				
造形表現	LG100	●				
教養音楽	LG100	●				
法学（含日本国憲法）	LG100	●				
文学	LG100	●				
レポート・文章作成法	LF100	●				
健康・スポーツＡ	LG100	●				
健康・スポーツＢ	LG100	●				
英語Ａ（基礎）	LG100	●				
英語Ｂ（看護英会話）（保育英語）	LF100	●				
英語Ｃ（TOEIC・TOEFL等資格取得）	LG100	●				
中国語	LG100	●				
韓国語	LG100	●				
フランス語	LG100	●				
知的探求入門	NB100	●				
人体の構造と機能Ⅰ	NB100			●		
人体の構造と機能Ⅱ	NB100			●		
人体の構造と機能Ⅲ	NB100			●		
病理学	NB100			●		
精神保健論	NB100			●		
栄養生化学	NB100			●		
微生物学	NB100			●		
臨床薬理学	NB300			●		
症候論Ⅰ	NB300			●		
症候論Ⅱ	NB300			●		
症候論Ⅲ	NB300			●		
公衆衛生学	NB100			●		●
保健統計学	NB300		●			●
疫学	NB300		●			●
保健医療福祉行政論Ⅰ	NB100		●		●	●
保健医療福祉行政論Ⅱ	NB700		●		●	●
看護学原論	NB100	●	●	●		
対象論	NB100	●				
看護学援助論	NB100	●		●		
ケア場面展開論	NP200	●	●			
看護援助技術論Ⅰ	NP200	●		●		
看護援助技術論Ⅱ	NP300	●		●		
看護過程展開論Ⅰ	NP200	●		●		
看護過程展開論Ⅱ	NP300	●	●	●		
基礎看護学実習Ⅰ	NI200	●				
基礎看護学実習Ⅱ	NI400	●	●	●		
地域・在宅看護論	NB100	●	●			
地域・在宅看護方法論Ⅰ	NP300		●	●		
地域・在宅看護方法論Ⅱ	NP500		●	●		
地域包括ケア実習	NI400		●	●		
地域・在宅看護実習	NI700		●	●	●	

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針　（ディプロマ・ポリシー） 看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。	地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
成人看護学概論	NB300	●		●		
成人看護学方法論Ⅰ	NP400	●		●		
成人看護学方法論Ⅱ	NP400	●		●		
成人看護学方法論Ⅲ	NP500	●		●		
成人看護学実習・慢性期	NI600	●	●		●	
成人看護学実習・急性期	NI700	●	●		●	
老年看護学概論	NB100	●		●		
老年看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
老年看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
老年看護学実習Ⅰ	NI400	●				
老年看護学実習Ⅱ	NI600	●	●		●	
小児看護学概論	NB300	●		●		●
小児看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
小児看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
小児看護学実習Ⅰ	NI400	●	●			●
小児看護学実習Ⅱ	NI700		●	●	●	
母性看護学概論	NB100	●		●		
母性看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
母性看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
母性看護学実習	NI600	●	●	●		
精神看護学概論	NB300	●	●			●
精神看護学方法論Ⅰ	NP400	●		●		●
精神看護学方法論Ⅱ	NP500			●	●	●
精神看護学実習	NI600		●	●	●	
家族看護論	NB400	●		●		
リハビリテーション看護論	NP600			●	●	
公衆衛生看護学概論	NB300	●			●	●
健康生活支援論Ⅰ	NP500			●	●	●
健康生活支援論Ⅱ	NP600			●	●	●
公衆衛生看護活動論	NP500			●	●	●
産業保健活動論	NP500			●	●	●
学校保健論	NP500			●	●	
公衆衛生看護技術演習	NP700			●	●	●
公衆衛生看護管理論	NP700			●	●	●
公衆衛生看護学実習Ⅰ	NI600			●	●	●
公衆衛生看護学実習Ⅱ	NI700			●	●	●
がん看護	NP600			●		●
国際看護論	NP600				●	●
災害看護学	NP700			●		●
科学の進歩と看護	NP700			●		●
看護実践と倫理	NP700	●	●			
看護管理学	NP600	●			●	
看護情報学	NP400	●				●
多職種連携論	NP600				●	●
医療安全学	NP600			●	●	
看護教育学	NP700	●		●		
感染看護学	NP400			●	●	
看護研究	NI600	●				
研究ゼミナール	NI800	●				●
統合実習	NI800		●		●	●

注釈）
ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みをいう。

【科目の分類（看護学部）】　授業科目間の関係性

教務	初年次教育	LF
	一般	LG
専門	基礎	NB
	実践	NP
	統合	NI

（表1）科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【平成31年度～令和3年度入学生対象】

		【卒業認定・学位授与の方針　（ディプロマ・ポリシー）】		
授業科目	ナンバリング	看護の専門的能力と人間を理解する能力の基礎を有し、課題を探究する態度を身に付けた人。	看護学を体系的に捉え、健康・発達課題を発見・分析・解決する能力を身に付けた人。	相手をかけがえのない存在として尊重し、思いやりを持って考えて行動のできる人。
大学で学ぶとは（含建学の精神）	LF100	●		
サイエンスＡ（考え方）	LG100	●		
サイエンスＢ（観察）	LG100	●		
レポートの書き方	LF100	●		
コンピュータＡ（ワード）	LF100	●		
コンピュータＢ（エクセル）	LF100	●		
コンピュータＣ（ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄとﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ）	LF100	●		
医療・環境入門	LG100	●		
情報倫理	LG100	●		
計算と分析	LG100	●		
経営情報論（ITと社会・経営）	LG100	●		
哲学	LG100	●		
心理学	LG100	●		
倫理学	LG100	●		
コミュニケーション論	LG100	●		
ジェンダー論	LG100	●		
家族社会論	LG100	●		
芸術論	LG100	●		
比較文化論	LG100	●		
造形表現	LG100	●		
教養音楽	LG100	●		
法学（含日本国憲法）	LG100	●		
文学	LG100	●		
健康・スポーツＡ	LG100	●		
健康・スポーツＢ	LG100	●		
英語Ａ（基礎）	LF100	●		
英語Ｂ（看護英会話）	LF100	●		
英語Ｃ（TOEIC・TOEFL等資格取得）	LF100	●		
中国語	LF100	●		
韓国語	LF100	●		
フランス語	LF100	●		
知的探求入門	NB100	●		
人の形態と生活・機能Ⅰ	NB100	●		
人の形態と生活・機能Ⅱ	NB100	●		
人の形態と生活・機能Ⅲ	NB100	●		
人の形態と生活・機能Ⅳ	NB100	●		
人体の機能と構造学演習	NB300	●		
病理学	NB100	●		
生命倫理	NB100	●		
精神保健論	NB100	●		
栄養学Ⅰ	NB100	●		
栄養学Ⅱ	NB200	●		
生化学	NB100	●		
微生物学	NB100	●		
臨床薬理学	NB300	●		
症候論Ⅰ	NB300	●		
症候論Ⅱ	NB300	●		
症候論Ⅲ	NB300	●		
症候論Ⅳ	NB300	●		
公衆衛生学	NB100	●		
疫学・保健統計学	NB300	●		
疫学演習	NB300	●		
社会保障論	NB100	●		
保健医療福祉行政論Ⅰ	NB300	●		
保健医療福祉行政論Ⅱ	NB500	●		
看護学概論	NB100	●	●	
対象論	NB100	●		●
看護学援助論	NB100	●	●	
生活援助技術論	NP200	●		●
診療に伴う援助技術論	NP300	●	●	
ヘルスアセスメント論	NP300	●	●	
看護過程展開論	NP300	●	●	
基礎看護学実習Ⅰ	NI200	●		●
基礎看護学実習Ⅱ	NI400	●	●	

		【卒業認定・学位授与の方針　（ディプロマ・ポリシー）】		
授業科目	ナンバリング	看護の専門的能力と人間を理解する能力の基礎を有し、課題を探究する態度を身に付けた人。	看護学を体系的に捉え、健康・発達課題を発見・分析・解決する能力を身に付けた人。	相手をかけがえのない存在として尊重し、思いやりを持って考えて行動のできる人。
成人看護学概論	NB300	●		●
成人看護学方法論Ⅰ	NP400		●	●
成人看護学方法論Ⅱ	NP400		●	●
成人看護学方法論Ⅲ	NP500		●	●
成人看護学実習・慢性期	NI600		●	●
成人看護学実習・急性期	NI800		●	●
高齢者看護学概論	NB100	●	●	●
高齢者看護学方法論Ⅰ	NP300		●	●
高齢者看護学方法論Ⅱ	NP500		●	●
高齢者看護学実習Ⅰ	NI400	●		●
高齢者看護学実習Ⅱ	NI600	●	●	●
小児看護学概論	NB300	●		
小児看護学方法論Ⅰ	NP400		●	●
小児看護学方法論Ⅱ	NP500		●	●
小児看護学実習Ⅰ	NI400	●		●
小児看護学実習Ⅱ	NI800	●	●	●
母性看護学概論	NB100	●		
母性看護学方法論Ⅰ	NP300		●	●
母性看護学方法論Ⅱ	NP500		●	●
母性看護学実習	NI600	●	●	●
精神看護学概論	NB300	●		●
精神看護学方法論Ⅰ	NP400	●		●
精神看護学方法論Ⅱ	NP500		●	●
精神看護学実習	NI600	●	●	
在宅看護概論	NB100	●	●	
在宅看護方法論Ⅰ	NP500	●	●	
在宅看護方法論Ⅱ	NP600		●	●
在宅看護実習	NI800		●	●
家族看護論	NB300	●		
リハビリテーション看護論	NP600		●	●
公衆衛生看護学概論	NB300	●		
健康生活支援論Ⅰ	NP300		●	●
健康生活支援論Ⅱ	NP500		●	●
公衆衛生看護活動論	NP500		●	●
産業保健活動論	NP300	●		
学校保健論	NP500	●	●	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	NI500	●	●	●
公衆衛生看護学実習Ⅱ	NI800	●	●	●
がん看護	NP600		●	●
国際看護論	NP600		●	●
救急・災害看護学	NP800		●	●
先端医療と看護	NP800	●		
看護倫理・法	NP800	●		●
看護管理学	NP600	●	●	
看護情報学	NP400	●	●	
保健医療福祉連携論	NP600	●		●
医療安全学	NP600		●	●
看護教育学	NP800	●		
感染看護学	NP400	●	●	
公衆衛生看護管理論	NP800		●	●
看護研究	NI600	●		
研究ゼミナール	NI800	●		
統合実習	NI800		●	●

注釈）
ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みをいう。

【科目の分類（看護学部）】　授業科目間の関係性

教務	初年次教育	LF
	一般	LG
専門	基礎	NB
	実践	NP
	統合	NI

【１年次配当科目】

講義科目名称： 大学で学ぶとは（含建学の精神）　　授業コード： 24L101

英文科目名称： Studying at the University (Guiding Principles)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
学長　看護学部長　こども教育学部長　教務部長　学生部長　図書館長　教養教育教務分科会長			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし。
授業概要	本学の建学の精神と歴史を学び、本学で学ぶこととはどういうことなのかを理解する。高校までの学び方と大学での学び方の違いを明らかにする。
履修目標	①　本学の建学の精神を述べることができる。 ②　初年次教育として、高校と大学での学び方の違いを説明することができる。 ③　大学生活の有意義な送り方についてグループで討議することができる。 ④　卒業後のキャリアプランを計画することができる。 ⑤　社会に対してどのような認識を持つべきかの自らの考えを述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　本学の建学の精神と大学で学ぶことの意義 建学の精神が意味することと大学で学ぶことの意義についてグループで話し合い、全体発表・討議する。(北村学長) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 横浜創英大学の建学の精神、大学理念、各学部の教育目的・目標を学生便覧やホームページで確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） グループ討議したことをもとに大学での学び方についてノートにまとめる。（90分） 2　人を理解するために 「他者との関係を築くために必要なこと」を考える。(横山看護学部長) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「自分が思う私」について、ノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業での学びを整理し、「自分への発見」「他者との関係を築くために必要なこと」について、自分の考えをノートにまとめる。（90分） 3　大学で学ぶための心構え 大学で自分が追及したいテーマを見つける。問題意識を持って物事と関わることの重要性を理解し、他の学生と討議しながらさらに学びに対する姿勢を明確にする。(小川教務部長) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大学で自分が追及したいテーマをいくつか考え、ノートに列挙しておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で討議した内容を文章化する。（90分） 4　学習を深めるために 図書館の活用方法を学んだうえで、グループ討議・発表を行う。(上條図書館長) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 横浜創英大学の図書館を訪れ、A4用紙1枚に「横浜創英大学の図書館の魅力」を書いてくる。写真添付可能。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） グループ討議したことをもとに図書館での学び方についてノートにまとめる。（90分） 5　キャンパスマナーについて 授業を受ける際に気をつける点についてグループ討議・発表を行う。（大内こども教育学部長） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 効率的な授業の受け方やノートの取り方について、高校生活で役立った点や反省点などをA4用紙1枚に書き出す。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学内での対人関係で気をつけるべき点を整理し、ノートにまとめる。（90分） 6　安全な大学生活を送るために 学生生活に潜む危険性等について学び、グループ討議・発表を行う。(鈴木学生部長) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「情報リテラシー(SNSの使い方を中心に)」「ハラスメント」「ブラックバイト」「マルチ商法」「カルト宗教集団」「危険ドラッグ」「喫煙の害」等、大学生活を危険に晒す要因について、どのような被害やトラブルの事例があるかを具体的に調べ、その中のひとつを選んでA4用紙1

	枚でまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　安全に学生生活を送るために必要なことについて、授業内容を整理しノートにまとめる。（90分） 7　横浜創英大学の教養教育について 大学生にとって必要な「教養」とは何かを学び、グループ討議・発表を行う。（武井教養教育教務分科会委員長） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　横浜創英大学の教養教育について大学案内や学生便覧で確認し、サイエンス・リテラシーとヒューマン・リテラシーの教育の目的と内容、さらに自分で考える教養の重要性についてA4用紙1枚でまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　大学生にとっての「教養」とは何かを再度考え、身につけるために必要な方策について具体的に自分の言葉でノートにまとめる。（90分） 8　まとめ 「大学で学ぶ」ことについて改めて考える。(北村学長) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　授業最終回では確認テストを行うので、第1回～第7回の授業内容をよく復習し、自分の意見をまとめておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　ノートを整理し、振り返りを行う。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	詳細はルーブリック参照のこと。 評価方法：　事前レポート 評価割合：　50% 評価基準：　授業で学んだことを理解したうえで、さらに自らの意見を記述できていれば60点。 履修目標との対応：　①、②、③、④、⑤ 評価方法：　リフレクションペーパー 評価割合：　30% 評価基準：　授業の要点や自分の意見を端的にまとめることができていれば60点。 履修目標との対応：　①、②、③、④、⑤ 評価方法：　最終試験 評価割合：　40% 評価基準：　シラバスの「予習内容」をもとに、調査、ならびに情報の確認・整理ができていれば60点。 履修目標との対応：　①、②、③、④、⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。 参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員の一部は看護師もしくは教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	kkitamura@soei.ac.jp　（北村学長メールアドレス）
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお30分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

講義科目名称： サイエンスＡ（考え方）　　授業コード： 24L102

英文科目名称： Science A (Way of Thinking)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
木下　圭/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	論理的思考に必要な自然科学（サイエンス）の考え方を学ぶ。専門科目の学修に必須となる化学、生物学の基本的な知識とともに、量と単位、先端科学について理解を深める。講義では数式をなるべく使わず、自ら調べ、考察しながら学修する。
履修目標	①自然科学の考え方を理解し、論理的思考を身につける。 ②宇宙と生命の真理を探り、知的探求心を呼び起こす。 ③最先端の科学技術への理解を深める。 ④自ら情報を収集し、それを整理、活用することを可能にする。
授業計画・授業外学修課題	1　総論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 2　生物の基礎「生命と生体物質」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 3　生物の基礎「細胞と組織」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 4　生物の基礎「肺・心臓・肝臓・腎臓」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 5　化学の基礎「原子と分子」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 6　化学の基礎「有機化学と生化学」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 7　自然界の単位「長さ・重さ」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 8　自然界の単位「時間・組み合わせ」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 9　地球の科学「宇宙と地球」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 10　地球の科学「地殻変動と生物」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 11　ヒトの科学「免疫と進化」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 12　ヒトの科学「構造と機能」（道上） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 13　ヒトの科学「発生と幹細胞」 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 14　先端技術「再生医療」（原本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 15　まとめ、小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストの準備（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーションと自主学習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	次回の授業で解説する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：70% 評価基準：課題の条件を備えたリフレクションペーパーを毎回提出することができる 履修目標との対応：①　②　③　④ 評価方法：小テスト 評価割合：30% 評価基準：授業内容に即した小テストの得点が25点以上である 履修目標との対応：①　②　③　④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：理科年表 2024 （ポケット版）
実務経験のある教員による授業	発生生物学の研究者である教員による授業。 東京大学の教員と産業技術研究所の研究員による特別講義を実施。
オフィスアワー・連絡先	連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称：　コンピュータＡ(機器操作と文書作成)　　授業コード：　24L105A　24L105B　24L105C

英文科目名称：　Computer A (Device Operation and Word Processor)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
木下　圭/こども教育学部			
演習	LF100	養護教諭必修	
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	コンピュータを書類作成の道具として活用できるように、文書作成ソフト（Microsoft Word）の基本を学び、Wordを用いたレポートやビジネス文書を作成できる操作能力を身につける。MOS検定のWordの取得も視野に入れ、職業人としても活用できるように応用力も身につける。
履修目標	①コンピュータの基本的な操作ができる ②文書作成ソフト（Microsoft Word）を用いて各種文書を作成することができる ③メールの作成やプレゼンテーションソフトの操作など幅広いスキルを身に着ける
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス、コンピュータの基本操作 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 2　メールの作成、送受信 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 3　ファイル、フォルダの操作、タイピングの基礎 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 4　Wordの基礎知識 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 5　文字の入力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 6　文書の作成（1） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 7　文書の作成（2） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 8　表の作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 9　文書の編集 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 10　表現力をアップする機能 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 11　便利な機能 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 12　総合問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 13　プレゼンテーションソフトの基本 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 14　スライドの作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 15　最終課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICTを活用した双方向型の授業を実施する
課題のフィードバック方法と時期	授業内の課題については次の回に返却します。最終課題は希望者に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：授業内の課題 評価割合：50% 評価基準：全体の2/3の提出で60% 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：最終課題 評価割合：50% 評価基準：2/3の作業が完了すれば60% 履修目標との対応：① ②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『よくわかる Microsoft Word 2021 基礎』、富士通ラーニングメディア、FOM出版、2022年、978-4-938927-92-9
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	連絡先は　kkinoshita@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： コンピュータＢ(表計算)　　授業コード： 24L106A　24L106B

英文科目名称： Computer B (Spread Sheet)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
若生　啓/こども教育学部			
演習	LF100	養護教諭必修	
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	コンピュータを知的活動の道具として活用できるように、表計算ソフト（Microsoft Excel）の基本を学び、Excelを利用した表計算やグラフ作成などの操作能力を身につける。卒業研究などに必要なデータ処理や分析も、Excelを利用できるような応用力も身につける。
履修目標	①Excelの基本的な機能を理解し操作することができる ②Excelを用いて体裁の整った表を作成することができる ③Excelを用いて様々な表計算やデータ処理、グラフの作成ができる
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス、コンピュータの基本操作 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 2　表計算ソフトの概要と応用例 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 3　表計算ソフトの概要と応用例 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 4　Excelの基礎知識 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 5　データの入力（1） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 6　データの入力（2） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 7　表の作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 8　数式の入力 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 9　複数シートの操作 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 10　表の印刷 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 11　グラフの作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 12　データベースの利用 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 13　便利な機能 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 14　総合問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 15　最終課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICTを活用した双方向型の授業を実施する
課題のフィードバック方法と時期	授業内の課題については次の回に返却します。最終課題は希望者に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：授業内の課題 評価割合：50% 評価基準：全体の2/3の提出で60% 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：最終課題 評価割合：50% 評価基準：2/3の作業が完了すれば60% 履修目標との対応：① ②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『よくわかる Microsoft Excel 2021 基礎』、富士通ラーニングメディア、FOM出版、2022年、978-4-938927-91-2
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 情報リテラシー　　授業コード： 24L108

英文科目名称： Information Literacy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
若生　啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	情報化時代の基本常識となるIT関連法律（著作権法・個人情報保護法）などについてその概要を知り、SNSに代表されるインターネットのより安全な使い方を身につける。また、ICTに用いられる情報の検索・収集・加工に関する基礎能力を身につける。
履修目標	①インターネットを「娯楽の道具」としてではなく「学修等の道具」として取り扱うことができる ②社会に流通する情報に対して「疑う力」と「検証する力」とを身につける ③情報ならびに情報通信技術の適切な利活用を通じて，自らが，情報通信技術に関連する犯罪等の加害者にも被害者にもならないようにする
授業計画・授業外学修課題	1　インターネットによる文献・資料等検索①（図書検索） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 2　インターネットによる文献・資料等検索②（論文・各種資料検索） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 3　メール等によるコミュニケーションのルールとマナー 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 4　インターネットによる企業情報検索，インターネットによる電子商取引 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 5　データ・情報を見つめる①（既存情報・常識の真偽確認を試みる） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 6　データ・情報を見つめる②（既存情報・常識の真偽を主体的に探る） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 7　データ・情報を見つめる③（既存情報・常識の比較検討を行う練習をする） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 8　データ・情報を見つめる④（既存情報・常識の比較検討を主体的に行うことで繰り返し練習する） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 9　インターネット利用の長所と問題点①（インターネットの長所・利便性） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 10　インターネット利用の長所と問題点②（インターネットの短所・危険性） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 11　インターネット利用の長所と問題点③（インターネット利用の振り返り） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 12　インターネットとビッグデータ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 13　コンピュータウイルスとサイバー攻撃・サイバー犯罪等 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 14　情報と人々，政府・マスコミと真実 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 15　最終課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICTを活用した双方向型の授業を実施する
課題のフィードバック方法と時期	授業内の課題については次の回に返却します。最終課題は希望者に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：授業内の課題 評価割合：50% 評価基準：全体の2/3の提出で60% 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：最終課題 評価割合：50% 評価基準：2/3の作業が完了すれば60% 履修目標との対応：① ②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト 『大学生のためのメディアリテラシー・トレーニング』、長谷川一、村田麻里子、三省堂、2015年、978-4385365343
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 哲学　　授業コード： 24L201

英文科目名称： Philosophy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
國領　佳樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、 考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	人は置かれた状況に対して様々な判断を下しながら生きている。哲学は、「生と死」「幸福とは」「愛について」等を対象とする分野であり、自分の人生をより良く生きる知恵を先人から学べる学問である。すべての学問の源とも言われる哲学を通して、学ぶ意味を思索し、「もっと知りたい」と願う知的好奇心を育てることを目的とする。
履修目標	①　基本的な哲学的な問いを理解できる。 ②　哲学的な問いを現実社会の関連から理解する。 ③　哲学的議論を論理的に再構成する。 ④　自分の意見を論理的に表現できる、 ⑤　自分や他人の意見に対して批判的な視点から検証する態度をとることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンスとイントロダクション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 哲学とはどんな学問であるか自分なり調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 2　何がどのように存在するのか？（1）実在論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 3　何がどのように存在するのか？（2）唯名論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 4　どうして私は昨日の私と同じなのか？（1）記憶説 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 5　どうして私は昨日の私と同じなのか？（2）記憶説をめぐる議論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 6　どうして私は昨日の私と同じなのか？（3）身体説 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 7　どうして私は昨日の私と同じなのか？（4）動物説 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 8　どうして私は昨日の私と同じなのか？（5）脳説 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 9　まとめと理解度チェック

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 10　知識とは何か？(1) 知識の種類と価値 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 11　知識とは何か？（2）伝統的な定義 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 12　知識とは何か？(3)ゲティア問題と懐疑論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 13　死は本当に悪いのか（1）剥奪説 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 14　死は本当に悪いのか（2）剥奪説の問題点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 15　全体のまとめ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションや学生発表などのアクティブラーニングを取り入れます。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：70% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば 70点 履修目標との対応：①③④⑤ 評価方法：その他（リアクションペーパー、授業内課題など） 評価割合：30% 評価基準：授業内容に関連するコメントや疑問点を自分なり書くことができれば 30点 履修目標との対応：②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	授業内でプリントを配布します。参考文献は授業内で適宜指示します。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	kuromejiro@rikkyo.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待します。私語は厳禁です。

講義科目名称：　心理学　　授業コード：　24L202

英文科目名称：　Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
棚澤　令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	心理学の方法や、心理学の過去と現代心理学の動向及び問題などの基礎的知言を概説する。人間の様々な心理的側面を学び、より深い人間理解・自己理解のための思考と態度を学習する。こころの時代といわれる今世紀をいかに生き抜くか、そして絆のチカラをどのように実践するかを考える。
履修目標	①心理学の様々な領域の理論、知識を理解して説明できる ②日常生活の中での心理的理論を考える ③現代的な問題にもふれ、心理学として何ができるかを考える
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション　心理学とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングし、まとめなおして復習する（90分） 2　臨床心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 3　臨床心理学②　こころを測る① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 4　パーソナリティ心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 5　パーソナリティ心理学②　こころを測る② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 6　社会心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 7　社会心理学② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 8　発達心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 9　発達心理学② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 10　発達心理学③　こころを測る③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 11　知覚・認知・記憶心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 12　行動心理学と学習心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 13　教育心理学

	授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 14　看護職・保育職に関わる心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　全授業の講義ノートを読み直しテストに備える（90分） 15　ファイナルテスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　今までの講義ノートの全復習を行う（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　講義ノートを見直す（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	こころを測る①～③では検査等を実践する
課題のフィードバック方法と時期	授業内で確認テストを行い、その場で解答・解説を行い復習に役立てる
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：　ファイナルテスト 評価割合：　50% 評価基準：　60／100点以下の場合は、レポート課題を課して理解の補充を行う 履修目標との対応：　①②③ 評価方法：　リアクションペーパー 評価割合：　35% 評価基準：　要点をとらえられているか 履修目標との対応：　①②③ 評価方法：　積極的態度 評価割合：　15% 評価基準：　質問等を積極的に行うことができる 履修目標との対応：　①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	毎回講義ノート（A4版）を配布します。各自で必ずファイリングしてください。
実務経験のある教員による授業	心理職の実務経験を講義に取り入れます
オフィスアワー・連絡先	質問時は必ず事前にメール連絡してください。連絡先はrkurumisawa@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： コミュニケーション論　　授業コード： 24L204A　24L204B　24L204C　24L204D

英文科目名称： Theory of Communication

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
東出　和教　相原　健右　金森　義幸			
講義	LG100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニ ケーション、情報収 集・分析、論理的思 考、問題解決等に必要 な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用 できる能力を有する 人。
履修条件	特になし
授業概要	目指すゴール コミュニケーションとは、人間が人間とつながり合うための道具です。 そのためには、 ①自発的に考えを表出できる。 ②「わからないこと」を「わからない」と言える。 ③自然発生的に意見交換ができる、ことが大切です。 授業の中では「知っている」だけではなく「できる」を目指して実践を多く取り込んで行きます。
履修目標	①コミュニケーションの大切さを知る ②多様な意見を持つものと対話できる ③自発的に人と関わろうとする
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス（概論とグループワークの進め方） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・コミュニケーションに関して自分なりに考えておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・当日配布されたプリントの復習（９０分） 2　コミュニケーションの必要性を自己認識する、自己診断（初回）、困っていること 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 3　基礎（１）自己紹介、対話に基本、気持ちよく話してもらう（あいさつ、立ち居振る舞い） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 4　基礎（２）自分の意見を持つ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 5　基礎（３）自分の意見を伝える、発表する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 6　基礎（４）対話する、自己診断（中間） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 7　応用（１）みんなの意見をみえるようにする 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 8　応用（２）みんなの意見をまとめる 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 9　応用（３）共感とコンセンサス 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 10　応用（４）感情のコントロール、言いにくい事を伝える

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 11　応用（５）ディスカッションドラマ　その１ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 12　応用（６）ディスカッションドラマ　その２ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 13　応用（７）相手のタイプ別コミュニケーションと交渉 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 14　まとめレポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 15　まとめレポート作成、自己診断（最終） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回グループワークを行う。（論議してまとめて発表）
課題のフィードバック方法と時期	毎週の課題を実践して、グループワークの中で相互フィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート試験 評価割合：５０％ 評価基準：実践事例をレポートにまとめてもらいます 履修目標との対応：各項目に対応 評価方法：平常点評価 評価割合：５０％ 評価基準：グループワークで積極的に参加し役割をもって実施指定もらいます 履修目標との対応：各項目に対応
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：適宜、授業時にプリントや資料を配布する。 参考文献：適宜、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は多様な経験を有しており、その経験を活かして実践的授業を実施する。
オフィスアワー・連絡先	各担当教員より初回授業時に連絡します。
備考	

講義科目名称：　ジェンダー論　　授業コード：　24L205

英文科目名称：　Gender Studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
牛島　操			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技術を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	・家族や友情、恋愛、結婚、育児、キャリア等をとおして、ジェンダーにかかる考え方や社会全体の課題について理解します。 ・ジェンダーのみならず「人」それぞれが「いきいきと行動する」力を身に付けながら、「自分も相手も大切にする」力を高めます。
履修目標	①ジェンダーに係る歴史的背景や現代の課題を理解し、課題解決のために考えたり表現したりすることができる。 ②生活のさまざまな場面におけるジェンダーの諸課題を認知する視点を養い、その考察を説明することができる。 ③ジェンダーにかかるさまざまな考え方や生き方を理解するとともに、自分の考えや他者の意見を大切にし行動することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス；ジェンダーとは １　授業のねらい、授業の概要、授業形態　成績の評価について理解する。 ２　ジェンダーについての認知と意識についてアンケートに答える。 ３　テレビCMや曲の歌詞などから、昔と今のジェンダーにかかる考え方の変化を探ろう。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを確認し、授業の全体のながれを確認する。ジェンダーについて、知っていることをまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習内容を振り返り、自分の経験や周りの事と照らし合わせる。ジェンダーにかかる自己の意識の変化を確認する。（90分） 2　ジェンダーへの理解①　古い価値観を超えろ！ジェンダーギャップ、ジェンダーフリーを考える。 １　SDGsとジェンダー平等　男女共同参画社会を理解する。 ２　今までのジェンダーにかかる「当たり前」はなぜそうなっていたのか？見解を明らかにし、現代の考え方の違いに気づこう。 ３　古いジェンダー観を脱却するためにできることを考え、グループで共有する。 ４　自由な価値観を考えよう！‥ファッションからライフスタイルなど、これからのジェンダーにかかる自由な考え方や表現のしかたを考え、まとめる。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） SDGs「ジェンダーと平等」についてHP等で調べ、自分の意見をまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習内容を振り返り、自分や周りのファッションやライフスタイルを照らし合わせる。（90分） 3　ジェンダーへの理解②　アンコンシャス・バイアス・・無意識の偏見や思い込みに気づこう、なくそう。 １　「男だから、女だから」、「長男だから、長女だから」・・無意識の偏見、無自覚な思い込みの存在を確認する。 ２　偏見や思い込みからくる「生きづらさ」をなくすために何ができるか？グループで意見を出し合い、発表する。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「女らしさ」「男らしさ」とは何か。書籍やHP等でまとめておく。アンコンシャス・バイアスについて調べておく。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し、自他の意見を整理、自分の考えを深める。（90分） 4　ジェンダーへの理解③　ジェンダーハラスメント １　ハラスメントにかかる疑似体験をとおして、ハラスメントの実態に迫る。 ２　ハラスメントを「しない、させない」・・できることを考え、グループで共有しよう。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 男女差によるハラスメントについて書籍やHP等で調べておき、自分の考えをまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習内容を振り返り、学習したことを自分の周りへも理解や共有を拡める。（90分） 5　友情・恋愛論①　友情や恋愛における「ジェンダーギャップ」

		１　友だちや恋人との悩み相談タイム‥よりよい関係にするためにはどうしたらいいの？ ２　親密な関係と人権・・友だちや恋人を大切にする態度や言葉とは？ ３　自分や周りの日々の言動の見直し、心地よい関係づくりについて考えよう。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　自分の友情や恋愛に対する考えをまとめておく。友だちや好きな人からもらった「嬉しいことば」を思い出し書きとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　授業をとおして、新たに気付いたことや自分の考えがかわったことを整理しておく。（90分）
	6	友情・恋愛論②　「デートDV」 １　疑似体験をとおして、デートＤＶについて理解する。 ２　DVをしない、させない・・自分や友だちをDVから守る策とは？仲間の意見やアイデアを共有する。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　デートDVについてHP等で調べておく。デートDVの課題について自分の意見をまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間）] 　授業をとおして、新たに気付いたことや自分の考えがかわったことを整理しておく。（90分）
	7	ジェンダーと結婚観・家庭像を考える。 １　結婚に対する男女に考え方の違いや、家庭における男女の役割の課題について触れ、自分なりの解決策を考えよう。 ２　多様なパートナーシップとは？国内外を含め、さまざまな家庭のあり方を知る。 ３　「私らしい」将来の結婚や家庭像を描こう。グループで意見交換し、自分の考えを深めよう。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　自分の結婚観や家庭における性別役割分業について考えてくる。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分）
	8	ジェンダーへの理解④　性的マイノリティ １　性的マイノリティについて理解し、課題を解決するための意見を共有する。 ２　少数派を傷つけない、排除しない・・偏見のない「傾聴、心配り、言葉かけ」ワーク（まとめ） ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　LGBTQについて調べ、自分にできることを考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）
	9	特別講師による講座①　恋愛とお金？「デート商法」の手口と対処法（９回目と１０回目は続き） １　デート商法等、だます手口や被害者の実態について理解する。 ２　デート商法の誘い、マッチングアプリ・・被害の遭わないための策を考えよう。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　悪質商法について高校で学んだことを復習してくる。（90分）
	１０	特別講師による講座①　恋愛とお金？「デート商法」の手口と対処法（９回目と１０回目は続き） １　「自分を大切に、お金も大切に」・・悪質商法撲滅のための「今日から実践できる『NO!』ワーク」を行う。 ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　課題解決のための策を復習し、知識を深める。自分の意見をまとめる。（90分）
	１１	特別講師による講座②　大学生活の様々な「困った！」を解消する時間（11回目と12回目は続き） １　ジェンダーにかかる家族、友人、恋愛関係からお金のトラブルまで、様々な「困った！」を知る。 ２　グループワーク等をとおして、困り感を解決する有効な方法を考え、確認しよう。 ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　これまでに学習したジェンダーにかかる内容をもう一度復習する。（90分）
	１２	特別講師による講座②　大学生活の様々な「困った！」を解消する時間（11回目と12回目は続き） １　グループで話し合ったことを発表、新たに気付いたことや考えが深まったことをまとめる。 ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　授業で学んだことや仲間の意見から、大学生活の困り感を乗り越えていく意思を書きとめる。（90分）
	１３	子育てとジェンダー １　世界との比較　これからの子育てとジェンダーの対応について話し合う。 ２　「男の子らしさ」、「女の子らしさ」でない、これからを生きる「自分らしい」子育てを考えよう。 ３　看護、保育の立場から、ジェンダーを超えた「子育て」についてグループで意見を交わし、自分の意見をまとめる。

	・授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「母性」、「父性」の意義ついて考えてくる。日本と世界の国々との子育てに対する考え方の違いを調べまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の復習から、将来のキャリアや自分の子育てを想定してまとめておく。（90分） １４　まとめレポート作成・提出 １　これまでの授業をふまえ、ジェンダーにかかるレポート作成・提出する。 授業内でのレポート作成が期末テストの代わりとなります。（テストはありません。） ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） レポート作成のための素材（これまでのリフレクション、データ等）をまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） これまでの授業の総復習をする。（90分） １５　「ジェンダー論」総括 １　レポート評価、全体の振り返り ジェンダー意識変容の確認（アンケート回答等） ・授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまで学んだ諸課題を総まとめをする。（90分） ・授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・レポートのまとめ方について復習する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	問題解決型学習、グループワーク　等 ※講義中心の授業ではなく、主体的に授業に参加して問題を解決、「分かった」、「なるほど」を楽しむ授業です。 ※グループワークをとおして、自分を大切にするためのキーワードを発見したり、相手を大切にするメッセージを発信しあったりする授業です。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	○評価方法：レポート 評価割合：４０％ 評価基準：ジェンダーに関する課題を理解し、課題解決に向けた策や自分の考えを具体的に説明できたか。 履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：リフレクション 評価割合：３０％ 評価基準：授業の要点や自分の意見を適切にまとめることができたか。 履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：ワークショップ 評価割合：２０％ 評価基準：ペアワークやグループワーク等の積極的な参加など、課題解決に向け　て意欲的、能動的に取り組めたか。 履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：授業への取組状況 評価割合：１０％ 評価基準：授業へ積極的に参加し、主体的に学習に取り組めたか。 履修目標との対応：①　②　③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を使用します。 参考文献：授業時に随時紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来のための必要かつ実践的な授業を展開します。
オフィスアワー・連絡先	mushijima@soei.ac.jp
備考	日常の生活に結びつけられるよう、実践的な内容を主にした「楽しむ授業」です。意欲的に授業に参加してください。 大学生の多くが悩んでいる、友人や異性関係のことや将来の就職や生き方について焦点をあてます。自分を力づける糧にしてください。 授業のはじめに、本時の目標と評価の基準（ルーブリック）について説明します。 30分以内の遅刻・早退計３回で欠課１回となります。注意してください。 欠席するときは、事前に連絡してください。 授業内容やスケジュールを調節することがあります。

講義科目名称：　障がい論　　授業コード：　24L206

英文科目名称：　Theory of Disability

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
相賀　頌子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2..対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	誰もが相互に人格と個性を尊重し，支え合い，多様な在り方を認め合う共生社会の一員として，一人ひとりが主体的に社会参加できるよう，障がいを捉える枠組や主な障がいについての基本的理解を図り，支援のあり方を学ぶことを目的とする。
履修目標	①障がいを捉える枠組を知る。 ②主な障がいについての基本的特性や支援のあり方を理解する。 ③共生社会の一員として，合理的配慮等について主体的に検討できる。
授業計画・授業外学修課題	1　多様性の尊重（インクルーシブ社会） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ノーマライゼーションやインクルージョン等、「障がい」に係る用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） インクルーシブ社会について考察する（90分） 2　障がいの捉え方　（社会モデル、合理的配慮） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ICFの特徴を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がいの社会モデル、合理的配慮についてまとめる（90分） 3　ユニバーサルデザイン 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ユニバーサルデザインについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日本のユニバーサルデザインの課題と展望について考察する（90分） 4　障がいのある人達の視点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がいのある人達がかかわっている団体、運動、取り組みについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がいのある人達の視点、生きづらさ等を分類し、考察する（90分） 5　障がいについての基本的理解/ 発達障害　（限局性学習症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 限局性学習症の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 限局性学習症の支援方法を纏める(90分) 6　障がいについての基本的理解/ 発達障害　（注意欠如・多動症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 注意欠如・多動症の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 注意欠如・多動症の人の支援方法を纏める(90分) 7　障がいについての基本的理解/ 発達障害　（自閉スペクトラム症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自閉スペクトラム症の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自閉スペクトラム症の人の支援方法を纏める(90分) 8　障がいについての基本的理解/ 肢体不自由・重症心身障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 知的障害者の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 知的障害者の支援方法を纏める(90分) 9　障がいについての基本的理解/

	肢体不自由・重症心身障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由・重症心身障害の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由・重症心身障害者の支援方法を纏める(90分) 10　障がいについての基本的理解/ 内部障害，病弱・身体虚弱，医療的ケア児 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 内部障害，病弱・身体虚弱，医療的ケア児の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内部障害，病弱・身体虚弱，医療的ケア児の支援方法を纏める(90分 11　障がいについての基本的理解/ 視覚障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 視覚障害者の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 視覚障害者の支援方法を纏める(90分) 12　障がいについての基本的理解/ 聴覚障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 聴覚障害の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 聴覚障害の支援方法を纏める(90分) 13　障がいについての基本的理解/ 精神障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 精神障害者の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 精神障害者の支援方法を纏める(90分) 14　障がい者の暮らしを支える行政的支援 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい者のための福祉サービスを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障害者が自立した生活を送るための地域における課題を考察する（90分） 15　障がい者の自立と共生社会 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい者の権利保障について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 権利擁護の仕組み、および共生社会の普及の課題を考察する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ワーク、ディスカッションをもとに発表を行う。
課題のフィードバック方法と時期	障がい種を３つの領域に分けて講義しますので、領域ごとに授業冒頭で小テストを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：40 評価基準：課題を理解し、自分の意見とその根拠を端的まとめることができれば80点。ルーブリック参照。 履修目標との対応：①　③ 評価方法：ワークシート、リフレクションペーパー 評価割合：講義内容を理解し、自分の意見を書くことができれば４０点。 評価基準：20 履修目標との対応：①　② 評価方法：小テスト 評価割合：40 評価基準：授業について学んだことを理解できれば80点。 履修目標との対応：①　②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じてプリントや資料を紹介または配付する。
実務経験のある教員による授業	該当なし
オフィスアワー・連絡先	saiga@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 芸術論　　授業コード： 24L207

英文科目名称： Art Theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
島田　佳枝			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	芸術は人間特有の活動である。対象を固定化して捉える日常的なまなざしのあり方をゆさぶり、想像力を刺激して、対象と私たちの間にある種の「遊び」をもたらしながら、社会的な意味や価値を組みかえ、未知の世界を切り開く創造力をも秘めている。本講義では、こうした芸術の捉え方に関連して、近代の芸術とその思索を通して見出された「表現」という観点及び、これを人間の本質と捉える「表現的な存在としての人間」という見方を取り上げる。そして、こうした人間の捉え方と保育、教育、看護、福祉といった領域との関わりについて資料を通して考察を行い、体験を通して理解を深める。
履修目標	①「表現的な存在としての人間」という見方を理解し、表現することの意義について自分の考えを述べることができる。 ②人が相互の理解に基づきながら生き生きと生きていくために、保育、教育、看護、福祉といった領域においてどのような関わりや支援が必要とされるかを「表現的な存在としての人間」という見方との関わりにおいて述べることができる。 ③グループワークや表現活動を通して、自己理解と他者理解を深めることができる。 ④鑑賞活動において、自分が感じたことを他者に言葉で伝え、また他者の感じたことを丁寧に聞くことができる。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンス：授業の内容や進め方、期末レポートについて/「日常的なまなざし」をゆさぶるアートとは 授業外事前学修課題：シラバスの内容を確認し、質問事項を明確化する（90分） 授業外事後学修課題：授業で配布された資料をもう一度確認する（90分） 2　活動を通して考察する－「表現」とは？ 授業外事前学修課題：人間にとって「表現」とはどのような活動なのか、これまでの自身の経験を踏まえて考えをまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業での活動から見出された新たな視点や考えをまとめ整理する（90分） 3　人と人との関わりにおける「表現」の捉え方―「表現的な存在としての人間」という視点を探る 授業外事前学修課題：人と人との関わりおいて「表現」がどのような役割を果たし、どのような意義を持つのか、自分の考えをまとめる（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して，自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 4　「美的にみる」ということ①「美的経験」「美的判断」について 授業外事前学修課題：テキストの課題部分を読む。（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 5　「美的にみる」ということ②「遊戯衝動」について 授業外事前学修課題：テキストの課題部分を読む（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 6　「美的にみる」ということ③「遊戯衝動」と「承認」について 授業外事前学修課題：テキストの課題部分と配布プリントを読む（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 7　子どもの遊びと「表現」①幼児教育おける子どもの遊びの支援 授業外事前学修課題：これまでの授業内容をふまえて、幼児の遊びや表現を支援する方法について自分の体験をもとに考えてみる（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 8　子どもの遊びと「表現」②地域における子どもの遊びの支援 授業外事前学修課題：現代の地域の中の子どもの遊び場について、自身の体験をふまえて、その特徴（場所、人との関わり）をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 9　子どもの遊びと「表現」③身体感覚をひらき表現するグループでの体験活動 授業外事前学修課題：配布された資料を読み、「表現を育む人になる」という視点について整理

	する（90分） 10 授業外事後学修課題：授業での体験と「表現を育むこと」との関わりについて整理する（90分） 子どもの遊びと「表現」④造形的な活動を通した「遊びと表現」の体験的理解 授業外事前学修課題：授業で扱った「遊戯衝動」という概念について復習する、必要な文具や物品を用意する(90分) 11 授業外事後学修課題：今回の活動に必要とされる支援のあり方について考えをまとめる（90分） 鑑賞することの創造性①ひとりひとりの感じ方と対話に基づいた鑑賞活動について 授業外事前学修課題：自身のこれまでの作品鑑賞体験とその特徴について振り返る（90分） 12 授業外事後学修課題：授業で得た新たな知見と、それによって鑑賞活動をどのようなものと捉えるようになったか考えをまとめる（90分） 鑑賞することの創造性②鑑賞作品づくり、「作品解説文」の書き方について 授業外事前学修課題：自分が取り上げたい作品の図版（指定されたサイズのカラーコピー）を準備する。必要な文具や物品を用意する（90分） 13 授業外事後学修課題：授業内で取り組んだ作品を仕上げる（90分） 鑑賞することの創造性③作品鑑賞会、アートカードを用いた活動 授業外事前学修課題：作品を完成させる。作品の発表準備を行う（90分） 14 授業外事後学修課題：鑑賞活動の可能性について自身の考えをまとめる（90分） 福祉と表現、期末レポート課題について 授業外事前学修課題：授業で配布された資料をすべてそろえる（90分） 15 授業外事後学修課題：これまで授業で取り組んだ内容全てについて復習する（90分） 期末レポート報告、まとめ 授業外事前事後学修課題：：期末レポート課題に取り組む（180分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	表現活動、鑑賞活動、グループワークなどを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の感想カードへのコメントを翌週の授業において行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	″評価方法：平常点 評価割合：40% 評価基準：感想カードに授業の内容をふまえた自身の意見や疑問点などを記述することができれば80% 履修目標との対応：①② 評価方法：活動（グループワーク、表現・鑑賞活動）への参加と振返り 評価割合：40% 評価基準：活動に積極的に参加し、活動内容をふまえた自身の発見や気づき、疑問点等をを記述することができれば80% 履修目標との対応：③④ 評価方法：制作物 評価割合：10% 評価基準：条件を満たした制作物を期日までに提出することができれば80% 履修目標との対応：③④ 評価方法：期末レポート 評価割合：10% 評価基準：課題の内容に関して、自身の考えと、その根拠を述べることができれば80% 履修目標との対応：①②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは授業時にプリントを配布する。参考文献は授業内で適宜紹介する。表現・鑑賞の活動においてハサミや糊などの文具を使用する予定（その他、必要な物品についてはガイダンスにて告知する）。
実務経験のある教員による授業	小学校で図画工作科を担当した経験をふまえ、授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	授業前後やメールで問い合わせに応じます。メールアドレス：yshimada@soei.ac.jp
備考	・スライドや映像を上映しながら授業を行います。プロジェクターをスマートフォンで撮影しメモ代わりにすることを禁止します。 ・30分以内の遅刻・早退3回で1回の欠席と見なします。（30分以上の遅刻・早退については欠席扱いとします） ・履修者数や進行具合によって授業内容は変更されることがあります。 ・指定された作品の提出と期末レポートの提出がなければ不合格とします。 ・授業は講義だけでなく、グループワークや表現・鑑賞活動を取り入れた内容となるため、積極的な参加が不可欠です。

講義科目名称： 造形表現　　授業コード： 24L209

英文科目名称： Artistic Expression

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
流石　良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	履修者の上限を36名(こども教育学部18名・看護学部18名)とする。
授業概要	造形活動は「自己表現」と「ものをつくり出す」という二つの側面をもっている。この活動を通して、ひと・もの・ことに関わり、保育と看護の基礎となる感性・想像力・創造力・柔軟な思考・バランス感覚などを養い、自己理解と他者理解を深める。
履修目標	①造形表現を通して、感性・想像力・創造力・バランス感覚などを高める。その上で、造形表現ができる。 ②表現や鑑賞の活動を通して、自己理解と他者理解を深めることができる。 ③造形表現を保育や看護に合わせて考える柔軟な思考をもつことができる。①
授業計画・授業外学修課題	1　造形表現について考える　造形活動でコミュニケーション1　絵本紹介1 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/シラバスから授業概要を確認し学修到達目標を確認しておく(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/学修到達目標の中から特に力を入れていきたい目標を決め、その理由をノート等に書きとどめておく(90分) 2　体を動かし、心を動かす表現を体験する1　造形活動でコミュニケーション2 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/造形活動でコミュニケーションについてをふり返る(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/他者理解の多様な方法と体や心を動かすコミュニケーションについてまとめる(90分) 3　体を動かし、心を動かす表現を体験する2　造形活動でコミュニケーション3 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/体や心を動かす表現について振り返り自分なりの考えをもつ(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/感想交流を通して他者理解から考えをまとめる(90分) 4　体を動かし、心を動かす表現を体験する3　造形活動でコミュニケーション4 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/造形活動で得られるコミュニケーションのよさについて資料から調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/造形活動で得られるコミュニケーションのよさについてまとめる(90分) 5　関係性の意識化による空間表現を体験する　五感に訴える空間デザイン 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/五感に訴える空間デザインとは何か調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/空間を意識する事と五感についてまとめる(90分) 6　幾何学形体の描写を通して観ることを考える　身近にある幾何学模様を意識 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/身近にある幾何学模様゛について調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/身近な幾何学模様の特徴をまとめる(90分) 7　自然物の描写を通して観ることを考える　野草を描く1 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/自然物にみる幾何学模様の特徴をふりかえる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/多方面からの描写を通して観ることについてまとめる(90分) 8　自然物の描写を通して観ることを考える　野草を描く2 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/描きたい野草について事前調べておく(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/観ることとを通して描かれた野草について気付いたことをまとめる(90分) 9　造形の表現行為を楽しむ　スクラッチによる平面構成1 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/クレヨンの多様な表現方法について調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/多様な表現を共有して感じられたことをまとめる(90分) 10　造形の表現行為を楽しむ　スクラッチ等による平面構成2　絵本紹介2 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/クレヨンによる技法紹介をまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/クレヨンので表現された平面作品から気付いたことをまとめる(90分) 11　造形表現による他者との関わり　共同制作:オリジナル色紙づくり 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/共同制作について活動からえられる効果について調べる

	(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/偶然に出来上がる色紙のよさを活かした表現方法の可能性をまとめる(90分) 12　造形表現による他者との関わり　共同制作:オリジナル色紙を使って壁面制作 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/オリジナル色紙のよさを活かした表現方法を紹介できるようにする(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/共同制作で育つ力についてまとめる(90分) 13　聴覚と視覚に働きかける　音を楽しむ造形 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/音を楽しむ造形について生活の中から探す(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/体験したことをまとめる(90分) 14　可塑的存在としての自己を見つめる　可塑的素材による造形　絵本紹介3 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/可塑的存在としての自己とは何か調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/人間の可塑性について考えをまとめる(90分) 15　造形表現の可能性について考えをまとめる 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/これまでの学びから造形表現から得られる事柄をまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/表現や鑑賞の活動を通して得られた力についてまとめる(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	この講義では、討議・グループワーク・表現と鑑賞などを行う。
課題のフィードバック方法と時期	毎回提出を求める感想は、意見交流(他者理解)として活用し、翌週には返却する。授業時にルーブリックを配布する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：30 評価基準：自らの考えと、その根拠を述べていれば80% 履修目標との対応：①②③ 評価方法：平常点評価 評価割合：40 評価基準：課題　学修到達目標の達成度80%　ルーブリック使用 履修目標との対応：①②③ 評価方法：その他 評価割合：30 評価基準：取り組み発表力など新たな取組みに意欲をもち、価値を見つける姿勢80% 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト:必要に応じて資料を配布する。 参考文献:阿部宏行「幼児・小学生の造形による育みのABC」日本文教出版 井上美智子・登美丘西こども園「持続可能な社会をめざす0歳からの保育」北大路書房 槇英子「保育をひらく造形表現」萌文書林 高橋洋一編「特別支援教育とアート」武蔵野美術出版
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての図画工作科指導の実務経験を活かした授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	流石(rsasuga@soei.ac.jp)
備考	出席は授業内のリフレクションペーパーの提出で確認します。授業では造形表現活動を大切にします。それぞれがもっている能力(人間性)をひらくことに重点をおいて講義を進めます。

講義科目名称： 教養音楽　　授業コード： 24L210

英文科目名称： Music as a Liberal Art

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
持田　訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	多様な音楽文化やコミュニケーションとしての音楽について広く学ぶことを通し，対人援助職の基盤となる豊かな感性や多様性を尊重する姿勢を身に付ける。
履修目標	①多様な音楽文化について理解し説明できる。 ②音楽を主体的に捉え、価値あるものとして解釈できる。
授業計画・授業外学修課題	1　生活の中の音・音楽 サウンドスケープの視点から、生活の中の音や音楽を見つめ直す。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 2　世界の音楽① アジアの音楽の特徴や主な楽器について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 3　世界の音楽② アフリカ・ラテンアメリカの音楽の特徴や主な楽器について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 4　クラシック音楽 西洋音楽の歴史および特徴について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 5　世界の音楽③ 東欧・ロシアの音楽の特徴や主な楽器について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 6　世界の音楽④ ケルト・オセアニアの音楽の特徴や主な楽器について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 7　オペラ・バレエ音楽 オペラやバレエ、ミュージカルの代表的な作品および特徴について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分）

	8　世界の音楽⑤ 舞踊と密に結びついている音楽について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 9　世界の音楽⑥ さまざまな歌唱法について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 10　多様なジャンル・多様な楽器 音楽の分類や起源およびさまざまな楽器の特徴について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 11　日本の音楽① 雅楽や声明、能楽等、日本の伝統音楽の特徴について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 12　日本の音楽② 民謡等、郷土の音楽の特徴について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 13　音楽教育メソッド コダーイ、オルフ、ダルクローズ、シュタイナーの音楽教育メソッドの特徴について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 14　音楽療法 音楽療法の目的や対象、具体的な取り組み等について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テーマについて調べ、要点をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノートを整理し、疑問点を調べて加筆する。（90分） 15　まとめ 音楽と自分のかかわりについて考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでの講義資料や要点をまとめたノートを精読する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 要点および自身の今後の課題をノートにまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックを次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点およびリフレクションペーパー 評価割合：50% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点　（ルーブリック参照） 履修目標との対応：①　② 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：課題の要点および自分の意見を端的にまとめることができれば60点　（ルーブリック参照） 履修目標との対応：①　②
テキスト・参考文	必要に応じて資料を紹介または配付します。

献・その他（必要物品など）	
実務経験のある教員による授業	特別支援学校教諭および音楽療法士としての経験をいかし、実践に役立つ知識技能を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：別途掲示を参照してください。 連絡先：nmochida@soei.ac.jp
備考	・授業への主体的な参加を期待します。 ・30分以上の遅刻および途中退席は欠席となります。

講義科目名称：　レポート・文章作成法　　授業コード：

英文科目名称：　Academic Writing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
東出　和教			
演習	LF100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	２．対人関係やコミュニ ケーション、情報収 集・分析、論理的思 考、問題解決等に必要 な汎用的知識・技能を 身に付け、幅広く適用 できる能力を有する 人。
履修条件	特になし
授業概要	これからの大学での学びに必要な実習や演習のレポートの書き方。 講義で使う参考書や専門書、また専門誌を読むときの読み方。 卒論研究で卒業論文を書くために必要なことを理解する。 そのために文献の種類と書式の解説、読み方の説明の後、具体的に作成することでレポートの書き方を習得する。
履修目標	本講義の到達目標は、受講生が基本的なレポートの作成方法を習得すること、ならびに他者(文献のみならず、同じクラスの受講生なども含む)の意見に触れ、物事 を多角的に捉えようとする姿勢を身につけることである。具体的には、以下のとおりである。 ① レポート作成の手順や表現のマナーを学び、作文や感想文とは異なる文章作法を習得する。 ②文献検索、ならびにクラス内での発表やディスカッションをとおして、他者の意見を踏まえた上で自分の意見を論理的かつ説得力のある形で表現しようとする姿勢 を身につける。 ③アウトライン・草稿・原稿を順に作成し、校正をおこなったのち、論文をまとめ上げる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス／今までどのような文章を書いてきたかをグループで話し合って共有後、論文と作文・感想文・エッセイ等の文章の違いをまとめる 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・今まで書いてきた感想文・レポート等を想起して書き出す（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・自分の好みの論文を検索して文章の構成を意識して読む（９０分） 2　表記の基本、文末、段落、用紙の使用例について講義後、基本を踏まえて「自己PR文」を書く。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・表記の基本について調べる（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・自分の書いた「自己PR文」が表記の基本にのとっているか見て校正する（９０分） 3　レポート実践①　「理由」を述べる文を書く 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・理由書く内容を整理する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・対象を変えて「理由」を説明する文章を書く（90分） 4　レポート実践② 身近なものを「描写」する文を書く 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・描写する内容を整理する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・身近な物や事を「描写」した文を書く（９０分） 5　語彙を増やすために辞典を使って類語を調べたり別の表現に言い換えたりする 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・類語を調べたり、別の表現をすることを整理する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 新聞記事や本等の文章を言い換えて書く（９０分） 6　レポート実践③抽象的な文章を「具体化」する文を書く 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・具体化することを理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・いろいろな物や事を「具体化」する文を書く(９０分) 7　レポート実践④「接続詞」を使って文章を書く 授業業外事前学修課題：課題内容（時間） ・接続詞を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・接続詞を使って文を書く良さをまとめる（９０分） 8　レポート実践⑤　「問い・答え・理由」の構成で文を書く 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・問い・答え・理由を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・問い・答え・理由で文章を書く（９０分） 9　レポート実践⑥ 新聞・社説・コラムから「事実」と「意見」を分けて書く 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・事実と意見を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・自分で探した文章を事実・意見に分けて書く

	10　いい文章を読む、良い文章をピックアップして読み、そのまま書き写す 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・良い文章を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・自分の好きな文章を読み、書き写す 11　レポート実践⑦ 「引用」のルールを理解し、「引用」を用いて文を書く 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・「引用」を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・「引用」のルールに従って文を書く（９０分） 12　論文のアウトライン作り　「問い」から論文の枠組みと述べたい内容を考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・論文のテーマを考える（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・論文の中で述べたいことをまとめる（９０分） 13　レポート実践⑧ 「起承転結」から「序論・本論・結論」で論文をまとめることを理解する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・起承転結と序論本論結論を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・構成メモを完成させる（９０分） 14　レポート実践⑨ 構成メモにそって論文を書く 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・序論・本論・結論に従って書いてみる（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・論文を完成させる（９０分） 15　最終レポート提出 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・自分の論文を校正する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・講義全体を振り返る（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議・課題解決演習を取り入れる
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前学習をもとに授業で発表・グループ討議等を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点 評価割合：４０％ 評価基準：授業（グループ討議等への参画度・感想文） 履修目標との対応：各項目に対応 評価方法：授業時レポートと最終レポート 評価割合：６０％ 評価基準：課題提出状況と内容 履修目標との対応：各項目に対応
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：文章上達トレーニング４５（同文館出版） 原稿用紙　B５横書　（コクヨ　ケー３５N）相当品
実務経験のある教員による授業	担当教員は社会実務経験ある者が行う。 実務経験を紹介しつつ、グループ及び自身で考えてもらう授業を計画する。
オフィスアワー・連絡先	khigashide@soei.ac.jp（担当　東出アドレス）に連絡ください
備考	特になし

講義科目名称： 健康・スポーツＡ　　授業コード： 24L214

英文科目名称： Health and Sports A

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
岸　隆史			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	「健康」とはなにか、及びその概念と変遷について学ぶ。健康に関連する専門職の独自の機能と役割ならびに歴史について学習する。また、人の健康について社会学的な側面、例えば性暴力、児童虐待、配偶者間暴力(DV)、スポーツと生活について関連付けて理解し、同時に健康管理論について学ぶ。また、スポーツの実技を通して、運動の習慣性の必要性を理解し、それぞれの機能の維持や向上を図るための基本的な知識及び健康測定の方法を学ぶ。
履修目標	①児童生徒の養護をつかさどる者として「健康」とは何かを理解し、健康に関する社会的な諸問題について学習を深める。 ②自らの健康状態を把握し、健康の維持・向上を目指す各自の健康プログラムについて検討する。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス：本授業を受けるにあたって　「健康の考え方と成り立ち」 「健康」とは何かという考え方を「幼稚園教育要領」等を使い理解する。 2　生活習慣病 生活習慣病とQOLについて理解する。 3　三大栄養素 栄養と、休養。摂食障害を含む食事や睡眠について理解する。 4　体力 体力には「行動体力」と「防衛体力」の二つの要素があること。また持久力や調整力について理解する。 5　ライフステージ 各ライフステージにおける課題等の理解、平均寿命と健康寿命の関係、QOLについて理解する。 6　フィジカルトレーニング トレーニング理論について理解する。その後の栄養補給についても理解する。 7　メンタルヘルス(ストレス) ストレスについて理解する。 8　メンタルヘルス(メンタルトレーニング) イメージトレーニング等を利用してメンタルトレーニングを行いストレスの緩和につながることを理解する。 9　スポーツの価値　オリンピック・パラリンピック オリンピック・パラリンピックのほかにも世界大会が数多く存在し障害を持っている方でも活躍の場があることを理解する。 またスポーツを「する」だけでなく、「観る」、「支える」等でもスポーツの価値があることを理解する。 10　健康の維持・向上　１．がん 日本人の2人に1人は一生の間に「がん」にかかるといわれている現代で、がんに対する正しい理解をする。 11　健康の維持・向上　１．依存症 誰もがる可能性のある依存症が「病気」であることの正しい理解と、薬の「オーバードーズ」等についても理解する。 12　健康に関する諸問題　性暴力・児童虐待・配偶者間暴力 直接的な被害だけでなく、「リベンジポルノ」や「セカンドレイプ」等に見られるSNSを利用した被害があることも理解する。 13　防災教育　ヒヤリハット 2011年東日本大震災は記憶に新しいところだが、それ以後も地震や台風、大雨による大きな被害が毎年のように起きている。将来職場で災害が起きた時にどうすればよいかを理解する。 14　ヘルスプロモーション 前回までの授業で麻菜だことを参考にしてどのようにしてQOLを高めていくかを理解する。 15　授業のまとめ　振り返り 「健康」とは何かを前回までの授業を振り返りこれからの自分の「健康」、また幼児の「健康」生かせるように考える。
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションや発表
課題のフィードバック方法と時期	毎授業後に提出している「リフレクションカード」を基に次の授業時にフィードバックさせている。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点評価（授業への取り組みを含む）、授業全体における課題 評価割合：平常点評価（授業への取り組みを含む）75%、授業全体における課題25%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト:必要に応じてプリントや資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	

講義科目名称： 健康・スポーツＢ　　授業コード： 24L215A　24L215B

英文科目名称： Health and Sports B

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
渋谷　聡　田中　宏樹			
実技	LG100	養護教諭必修	
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	生涯スポーツは、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、全ての人がスポーツに楽しむことによって、健康の保持増進や生きがいを見出すことがと考えられる。 生涯スポーツの中で、健康の保持増進を目的としたスポーツを健康スポーツという。本授業では、「するスポーツ」、「支えるスポーツ」を体験することによって、心身の健康とは何かということを学修するとともに、自分たちでオリジナルのスポーツを考えることによって情報収集・分析力、論理的思考力、対人コミュニケーションスキルを高めていくことを目的とする。
履修目標	①①他者と協力してスポーツを実践することができる（対人コミュニケーション力）。 ②スポーツを実践することによって、自身の課題と解決策を述べることができる（論理的思考力）。 ③既存スポーツのルールや道具を工夫することによって、情報を収集し、分析することができる（情報収集・分析力）。 ④スポーツの楽しみ方を人に伝えることができる（プレゼン力）。
授業計画・授業外学修課題	1　この科目（健康スポーツB）の概要を理解し、健康スポーツの必要性を学ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：シラバスを通して、この科目の概要を確認しておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：競技スポーツと生涯スポーツ（健康スポーツ含む）の違いについて調べる（30分） 2　ゴール型スポーツ①フラッグフットボール① フラッグフットオールのボールの扱い方やパスの仕方などの基本技能を学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：フラッグボールの歴史について調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：オリンピック種目や体育授業への導入の経緯を調べる（30分） 3　ゴール型スポーツ①フラッグフットボール② オリジナルルールを通して、フラッグフットボールの戦術を学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：フラッグボールのルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：オフェンスとディフェンスの攻防について調べる（30分） 4　ゴール型スポーツ①フラッグフットボール③ 決められた先日から役割を決め、簡易ゲームで得点できるよう戦術を遂行する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：タグラグビーとフラッグフットボールの違いを調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：ディフェンスのパターンに応じた戦術を数種類考える（30分） 5　ゴール型スポーツ①フラッグフットボール④ 正規のルールの則って、チームが勝つための戦術を考え、実践する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：フラッグフットボールで勝つためのポイントを調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：戦術をうまく遂行できなかった要因を探り、改善策をまとめること（30分） 6　ゴール型スポーツ②サッカー 足で操作する難しさの難易度を調整し、チームメイトと協力する楽しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：サッカーの歴史とルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：様々なカテゴリーのサッカーについて調べる（30分） 7　複合型スポーツ　ドッチボール 道具やルールを工夫して、対象者の特徴やニーズに合わせたスポーツの楽しみ方を学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ドッチボールの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：競技ドッチボールやドッチビーのルールを調べる（30

	分） 8　ネット型スポーツ①バドミントン ラケットをうまく操作し、ラリーを続ける楽しさやシャトルをコントロールする面白さを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：バドミントンの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：初心者と経験者の動きの違いを調べる（30分） 9　ネット型スポーツ②ソフトバレーボール ソフトバレーボールを実践することによって、ラリーを続ける楽しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ソフトバレーボールの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：ソフトバレーボールとバレーボールの違いについて調べる（30分） 10　ネット型スポーツ③バレーボール 自分たちが楽しいと思うルールや道具の工夫を通して、バレーボールの楽しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：バレーボールの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：対象者別のバレーボールの楽しみ方を調べる（30分） 11　アダプテッドスポーツ①シッティングバレーボール シッティングバレーボールを実践することによって、その楽しさや難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：シッティングバレーボールの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：自分自身の課題とより楽しむ方法を調べる（30分） 12　アダプテッドスポーツ②：ボッチャ ボッチャを実践することによって、アダプテッドスポーツ、パラスポーツとは何かといことを考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ボッチャの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：他のターゲット型スポーツとボッチャの違いを調べる（30分） 13　楽しいスポーツを考えよう これまで実践してきたスポーツの振り返りを含め、楽しいスポーツを考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：これまで実践してきたスポーツの楽しさ、難しさを整理しておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：評価規準と照らし合わせて、条件をよりみたす方法を整理する（30分） 14　楽しいスポーツをプレゼンしよう 前時間で考えたスポーツをプレゼンする 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：様々なプレゼンテーションの方法を調べる（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：プレゼンテーションの振り返りをまとめる（30分） 15　楽しいスポーツを実践しよう 前時間でプレゼンを行った内容をクラスメイトを対象に実践する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：考えたスポーツを実践するための準備を行う（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：実践したスポーツ指導の振り返りをまとめる（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	適宜、グループワークやプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	初回のオリエンテーションで各時間の内容および事前課題を伝え、毎授業後に振り返りを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：試験（プレゼン、実践指導） 評価割合：25% 評価基準：プレゼン（楽しさ、オリジナリティ、役割分担、プレゼン力）、指導実践（安全管理、遂行力）を段階的に評価する。 履修目標との対応：③、④ 評価方法：平常点（対人コミュニケーションスキル含む） 評価割合：60% 評価規準：積極的に授業に参加し、クラスメイトと積極的に関わることを求める。 履修目標との対応：① 評価方法：振り返り 評価割合：15% 評価規準：毎時間、自分自身の課題と解決策をまとめることができること。 履修目標との対応：②

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じて資料を提示する。 参考文献：各時間に必要な情報を適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	教育機関での体育授業の指導経験や、様々なスポーツ指導の経験をもとに、多様なニーズに合わせたスポーツの楽しさを学修させることができる。
オフィスアワー・連絡先	
備考	毎時間、運動着と室内用スポーツシューズを用意すること。 毎時間、出席確認と振り返りをすることから、スマートフォンを持参すること。ただし、必要な時以外はスマートフォンを使用しないこと。 必要に応じて、クラスルームを活用することから、必ずクラスルームに入室すること。

講義科目名称： 英語Ａ（基礎）　　授業コード： 24L301

英文科目名称： English A (Basic English)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
木下　未果子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	国際化が急速に進む現代社会では、様々な状況下で臆せずに自分を表現し同時に相手への理解を深めるための英語でのコミュニケーション力、および情報入手のための英語の読解力の重要性が増している。本授業では、リスニング、ライティング、スピーキング、リーディングという英語4技能、および語彙、基本的文法を総合的に学習する。さらに、多様な国と文化に関する内容を扱うテキストを通して異文化への理解と関心を深めることを図る。
履修目標	①語彙力を増やし、英語を用いてのコミュニケーション力、読解力を育てる。 ②テキストを通して異文化の習慣や考え方に接し、物事を多角的に考える力を養う。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス/ Unit 1 Introductions in the USA：現在形、自己紹介と観光に関する表現 授業外事前学修課題：教科書全体に目を通す（30分）Unit 1の p.11 Warm Up , Key Vocabularyの問題を解く（30分）p.15の英文の単語を調べる（30分） 授業外事後学修課題：Unit 1で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 2　Unit 2 The Natural Wonders of Iceland：現在進行形、自然に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 2 のp.17 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.19のGrammaerの説明を読み例文を音読する（45分）p.21の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 2で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 3　Unit 3 Getting Around the UK：否定文・疑問文、交通機関に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 3のp.23 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.25のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 27の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 3で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 4　Unit 4 Tackling Rugby in Ireland ：命令文、スポーツに関する表現 授業外事前学修課題：Unit ４のp.29 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.31のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 33の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 4で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 5　Unit 5 Norwegian Folktales：過去形、アウトドア・北欧の文化や歴史に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 5のp.35 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.37のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 39の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 5で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 6　Unit 6 Food Tour in Germany：未来表現、食べ物・飲み物に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 6のp.41 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.43のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 45の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 6で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 7　Unit 7 Austrian Symphony：WH疑問文、音楽に関する表現 授業外事前学修課題：Unit7のp.47 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.49のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 51の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 7で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 8　Unit 8 the Animals of Malta：助動詞、生き物に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 8のp.53 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.55のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 57の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 8で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 9　Unit 9 Moroccan souvenirs：現在完了形、買い物に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 9のp.59 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.61のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 63の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 9で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 10　Unit 10 Spanish Dancing Lessons：受動態、伝統舞踊に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 10のp.65 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.67のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 69の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit10で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 11　Unit 11 Fashion Week in France：最上級、ファッションに関する表現

		授業外事前学修課題：Unit 11のp.71 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.73のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 75の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit11で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分）
	12	Unit 12 A Fjord in Montenegro：比較級、街並みに関する表現 授業外事前学修課題：Unit 12のp.77 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.79のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 81の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit12で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分）
	13	Unit 13 Swiss Sweets：不定詞・動名詞、スイーツに関する表現 授業外事前学修課題：Unit 13のp.83 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.85のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 87の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit13で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分）
	14	Unit 14 Fine Art in Italy：接続詞、絵画に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 14のp.89 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.91のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 93の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit14で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分）
	15	Unit 15 Back Home to Japan：関係代名詞、思い出を伝える表現 授業外事前学修課題：Unit 15のp.95 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.97のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 96の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：配布されたプリントを利用しUnit 15の復習をする（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	アクティブラーニング（会話演習/プレゼンテーション）を取り入れる。	
課題のフィードバック方法と時期	小テストは翌週解説を行い、採点後の答案を返却する。課題は翌週解説を行い、コメントを付した答案を返却する。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：小テスト、課題 評価方法；平常点評価 評価割合：20% 評価基準：授業での積極的発言、授業外の自主学習への取り組み	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『Make Your Way: Communicating while Abroad ---「意味順」で学ぶ大学基礎英語』（金星堂） 毎回英和辞典（紙媒体、電子辞書いずれも可）を持参すること。	
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先	質問等は授業後随時受け付ける。メールにての質問も受け付ける。（mkinoshita@soei..ac.jp）	
備考	毎回英和辞典（紙媒体、電子辞書いずれも可）を持参すること。	

講義科目名称： 英語Ｃ（TOEIC・TOEFL等資格取得）　　授業コード： 24L303

英文科目名称： English C (TOEIC / TOEFL Skills)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
武井　博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし。
授業概要	卒業後に社会で活躍する際に評価されるTOEICや、海外留学の際に必須となるTOEFLなど、英語に関する資格を取得することを目的とする。具体的な目標と目的意識を持つことは、語学学習において高い効果を発揮する。資格をひとつのきっかけとして、国際社会に生きることの意味と外国語を学ぶことの重要性を再考する。
履修目標	① TOEIC・TOEFL試験のテストスコアを上昇させること ② 実践的な英語力、特に会話力を向上させること
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス TOEIC、TOEFLテストの概要説明 授業外事前学修課題：課題内容（時間） どのような英語検定試験があるか調べ、それぞれの特徴について箇条書きにする(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実際に検定試験を受けることを想定し、試験日程や手続き方法を調べる。さらに、参考書や問題集などについても情報収集する(90分) 2　飲食店での会話表現① Unit 1を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 飲食店で用いられる単語やフレーズを暗記する(90分) 3　飲食店での会話表現② Unit 2を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 飲食店で用いられる単語やフレーズを暗記する(90分) 4　海外旅行先でのショッピング① Unit 3を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 買い物に必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 5　海外旅行先でのショッピング② Unit 4を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 買い物に必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 6　病院での会話表現 Unit 7を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 病院で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 7　薬局での会話表現 Unit 8を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　薬局で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 8　教室でのやりとり① Unit 13を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　大学の教室内で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 9　教室でのやりとり②　応用 Unit 14を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　大学の教室内で想定される会話表現を暗記する(90分) 10　旅先での電車移動 Unit 16 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　ホテルの予約の時や滞在時に役立つ単語やフレーズを暗記する(90分) 11　宿泊先での会話表現 Unit 16 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　ホテルの予約の時や滞在時に役立つ単語やフレーズを暗記する(90分) 12　飛行機のなかで使う表現 Unit 17 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　フライトで必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 13　タクシーに乗るために Unit 18 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　タクシー移動で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 14　リスニング問題・文法問題の攻略法、注意点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　教科書全体を復習し、わからないところがないか確認する(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　検定試験を受ける際の注意点などを確認し、実際に受験する日を決め具体的な学習予定を立てる(90分) 15　まとめ これからも英語学習を継続するために 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　英語学習用のインターネットサイトやDVD教材にどのようなものがあるか調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　教科書全体を復習することと、授業時に紹介された英語教材の一部を試す(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業ではアクティブ・ラーニング(討議・討論 / プレゼンテーション)を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	毎回の小テストのすぐあとに解説を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：　小テスト 評価割合：　80% 評価基準：　毎回授業の初めに前回の授業内容に関する問題を10問解く。6問正解すると60点。 履修目標との対応：①、② 評価方法：　発表 評価割合：　20% 評価基準：　事前に暗記してきたフレーズを声に出して言えれば60点。

	履修目標との対応：②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：『TOEICテストリスニングとキャリア体験 〜 Tune up for the TOEIC Test Listening 〜』(成美堂) 授業時には英和辞典(電子辞書でも可)を毎回持参すること。
実務経験のある教員による授業	この授業は、貿易会社勤務経験のある教員が実践的な英語表現を指導する。
オフィスアワー・連絡先	htakei@soei.ac.jp
備考	この授業は、英語があまり得意ではない、あるいは自信がない人でも 心理的な負担にならないよう配慮します。 海外旅行ですぐに役立つような実践的な英会話も学べるテキストを使用しますので、 気軽に受講して下さい。

講義科目名称： 中国語　　授業コード： 24L304

英文科目名称： Chinese

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
黄　耀進			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①中国語の発音（ピンイン）が対応できること。 ②指定した単語、簡体字が読める，書けること。 ③簡単な会話が聞き取り、答えること。 ④適切な態度で中国語ネイティブの方と接することができる。
履修条件	中国語を勉強したく、中国、台湾の関連情報に関心を持つ方。
授業概要	人間は生活を理解するには、生活者の視点を基準にして、現代における様々な問題を扱う必要がある。特にグローバルな国際協調が求められている現代において多元的な情報を求めることも重視しなければならない。生活における様々な情報が欲する際、他の言語を勉強することは一つの手段と考えられ、中にはアジア近隣諸国とのコミュニケーションは重要である。 中国語の語彙や会話の基本的な表現の習得とともに、文化・事情も含め多角的なアプローチにより中国ないし自分が生活している社会を深く理解できるようにする。 中国語の学習によって、より多様な情報を収集する力を向上させ、基礎的なコミュニケーション能力を養い、社会への理解を深化することで、看護の場で必要とされる柔軟な姿勢を培う。
履修目標	①中国語の発音を習得する。 ②日常会話における必要な語彙と基本的な文法を習得する。 ③基本的な日常会話ができる。 ④簡単な中国語の標語、短文が判読できる。 ⑤最新の中国・台湾関連情報を知る。
授業計画・授業外学修課題	1　中国語入門プロジェクト　ガイダンス　中国語の特徴 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキスト p.6を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業中説明したピンイン例、簡体字を練習すること（90分） 2　発音の基礎－声調、単母音 授業外事前学修課題：課題内容（時間）CDの発音を聞いてテキストp.7を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、単母音を暗記、声調を熟練すること（90分） 3　発音の基礎－子音、複合母音 授業外事前学修課題：課題内容（時間）CDの発音を聞きてテキスト p.7、p.11を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、子音・複母音を暗記すること（90分） 4　発音の基礎－鼻母音、軽声、声調の変化 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキスト p.13を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、鼻母音を暗記すること、p.12、p.14の最短会話を熟練すること、p.15を復習すること（90分） 5　簡単な挨拶、人称代名詞、動詞述語文 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.17―p.19を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、p.17―p.19の新出単語を暗記すること、p.16の確認テストを完成すること。次回発音小テストを行う（90分） 6　発音小テスト、会話とトレーニング、疑問詞（1）、名前の言い方 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.21―p.23を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、p.21―p.23の単語及び例文を暗記すること（90分） 7　基本文型の復習、会話とトレーニング 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.25を熟読すること、p.24の自己紹介を完成すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）テキストp.26の確認テストを完成すること、自己紹介を暗記すること（90分） 8　人称代名詞、指示代名詞、「是」構文、疑問文（１） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.27―p.29を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、p.27―p.29の単語及び例文を暗記すること、p.30のドリルを完成すること（90分） 9　所有の「有」、助数詞、会話 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.31―p.33を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業中の会話を練習すること、テキストp.34ドリル６を完成すること、p.35を熟読すること（90分） 10　基本文型と会話の復習、トレーニング 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.2―p.35を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）テキストp.36を完成すること、会話練習を暗記・復習すること（90分） 11　指示代名詞（場所）、場所の聞き方、答え方

	授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.37―p.39を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、p.37―p.39の単語及び例文を暗記すること、p.40ドリル７を完成すること。（90分） 12　形容詞述語文、動詞述語文 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.41―p.43を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、p.41―p.43の単語及び例文を暗記すること、p.44ドリル8を完成すること（90分） 13　方法、手段、値段の尋ね方／比較文 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.46確認テストを完成すること、p.47―p.49を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、p.47―p.49の単語及び例文を暗記すること、p.50ドリル９を完成すること。次回会話練習を行う。（90分） 14　グループ会話練習／中国ドラマ鑑賞 授業外事前学修課題：課題内容（時間）プリントを熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）会話練習の注意点を繰り返し練習すること（90分） 15　基本文型と会話の復習、トレーニング 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストp.17―p.49を熟読すること（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で学んだことをノートにまとめ、p.17―p.49の単語及び会話を暗記すること（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	①授業中中国語で簡単な質問して中国語で答える。 ②場面設定してグループ会話を行う。
課題のフィードバック方法と時期	①授業の冒頭に会話練習して、発音調整、質疑応答 ②授業の最後１５分のまとめと質疑応答 ③授業の進度によって簡単な課題を出し、検討する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①十分な授業への参与度。②中間会話テスト。③期末の会話及び筆記テスト 評価割合：①３０％、②３０％、③４０％ 評価基準：①参与度は発音・会話練習の積極さを指す。②指定した内容をよめるかよめいないか。③指定した範囲の内容が理解できなか否かから評価する。 履修目標との対応： ①授業中の発音、会話、簡体字の書く練習を行う。もっぱら寝る、私語する、練習したくない態度を見せるなら不合格と判定。 ②提示した会話内容はできる限り正しく読めれば合格。 ③設定した範囲内の簡体字、文型を熟練すべきである。会話は中間テストと同じく判定する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：小林和代・韓軍著『はじめよう楽々中国語』白水社 参考文献：山田眞一著『医療系学生のための初級中国語』白帝社
実務経験のある教員による授業	特にありません。
オフィスアワー・連絡先	授業の前後、教室で。特別な事情があればメールで連絡：cyao@soei.ac.jp
備考	毎回出席を取ります。復習・予習を行い授業に臨んでください。中国や中国語に関心を持ち関連動画なども視聴し、日常会話や中国の理解を深めることを期待します。

講義科目名称： 知的探求入門　　授業コード： 24F001

英文科目名称： Introduction to Intellectual Search

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
横山　惠子/看護学部　佐野　望/看護学部　本多　和子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護職を目指す学生が課題を達成するために自ら考え行動すること（建学の精神「考えて行動のできる人」）を通して、セルフマネージメントとグループマネージメントを学び、問題発見能力、問題解決能力を高める学修態度を身につける。
履修目標	①大学生に必要とされる基本的なマナーおよび主体的学習態度を修得することができる。 ②他者を尊重したコミュニケーションを通して、相互的な関係性を構築することができる。 ③必要な情報を自ら収集して意味を考察し、問題解決のための計画立案及び実践ができる。 ④問題解決過程を通して得られた学びを整理し、的確に表現することができる。 ⑤看護職を目指す上での自己の課題を明らかにし、学習への意欲につなげることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　科目ガイダンス/教員紹介 アイスブレイク（生き残りゲーム） 授業外事前学修課題：授業概要をシラバスで確認し、疑問点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分） 2　横浜創英大学の仲間になろう１ 全員1分間自己紹介 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 3　横浜創英大学の仲間になろう2話し合おう 全員1分間自己紹介 グループワーク１ 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 4　看護の勉強の方法１ 国家試験の概要、解剖ノートの作り方（外部講師） 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 5　看護の勉強の方法２ 「人体の構造と機能」を題材に、弱点を補強する勉強の仕方を学ぶ（外部講師） 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 6　看護の勉強の方法３ 資料の集め方、図書館の活用方法 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 7　看護の勉強の方法４ グループワークに必要な力 ・チーム形成、チームの発展のプロセス ・コンクリフト、リフレクション ・リーダーシップ、メンバーシップ、ファシリテーション ・聴く力、伝える力 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：講議で学んだことをまとめる（90分） 8　グループワーク２-① 横浜創英大学の魅力発信、将来の私たち（例）について話し合いまとめる 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 9　グループワーク２-② 横浜創英大学の魅力発信、将来の私たち（例）について話し合いまとめる 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 10　グループワーク２の発表 話し合った結果の発表とチーム形成の発表 授業外事前学修課題：話し合いのまとめをし、発表の準備をする（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 11　グループワーク３-① 課題解決について話し合いまとめる 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分）

	12　グループワーク３-② 課題解決について話し合いまとめる 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 13　グループワーク３-③ 課題解決について話し合いまとめる 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 14　グループワーク３の発表 話し合った結果の発表とチーム形成の発表 授業外事前学修課題：話し合いのまとめをし、発表の準備をする（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 15　全体のまとめ 振り返り、課題レポート・学習シートの提出 授業外事前学修課題：課題レポートの作成、成果物の整理を行う（90分） 授業外事後学修課題：講議で学んだことをまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各界の事前課題をもとに授業で発表・討議します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：40% 評価基準：授業内でルーブリックを配布します 履修目標との対応：①④⑤ 評価方法：平常点 評価割合：20% 評価基準：毎回の授業後にFormsに授業の学びを記載し提出できれば12/20点 履修目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：その他 評価割合：40% 評価基準：授業内の発表会にてプレゼンテーションできれば24/40点 履修目標との対応：④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト:授業時に資料等を配布する 参考文献：看護学生のためのよくわかる大学での学び方　第2版　前原澄子（監修）　金芳堂 知へのステップ　第5版　ー大学生からのスタディスキルズ　学習技術研究会（著）　くろしお出版
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の経験を有しており、その経験を生かした授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	別途連絡する
備考	グループ活動を通して主体的学習を行う授業となるため欠席せず授業に積極的に参加することを求める。

講義科目名称：　人体の構造と機能Ⅰ　　授業コード：　24F101

英文科目名称：　Structure and Function of the Human body　Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
萩原　裕子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2.　臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	
授業概要	医療に携わる者すべてにとって、必要不可欠な身体の構造と機能の講義を行う。看護は人を看て身体の中で起きていることを知り、身体の異常に気がつく力、異常を知る力が必要になる。異常に気がつくには正常な身体のしくみと働きを理解している必要がある。人体の構造と機能Ⅰでは、人体の基本的な成り立ちとして人体を構成する器官の正常な構造と機能について学ぶ。
履修目標	①解剖生理の基礎知識について理解し、生体機能と理解し説明できる。 ②呼吸器の構造、呼吸運動とガス交換のしくみについて説明できる。酸素、二酸化炭素の運搬について説明できる。呼吸機能の調節について説明できる。 ③血液を構成する各要素の機能と生体の防御機構について説明できる。血液凝固、止血の機序を説明できる。 ④腎臓の構造と生理機能について説明できる。体液の調節機構、酸塩基平衡について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1-3回　解剖生理の基礎知識（全3回） 形からみた人体、素材からみた人体、機能からみた人体 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） ４－７回　呼吸器系（全４回） 呼吸器系の構造と機能 呼吸運動とガス交換 呼吸運動の調節 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 8-11回　血液の機能と生体防御（全4回） 血液の組織と機能 生体の防御機構 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 12-15回　体液の調節と尿の生成（全4回） 腎臓の構造と機能 尿の貯蔵と排尿 体液の調節
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし
課題のフィードバック方法と時期	各単元終了後に、練習問題を配布する。解答も一緒に配布するので各自で取り組みこと。 わからない問題や課題は積極的に質問すること。質問は授業終了後に受けるが、授業時間外はe-mailでも受ける。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験　評価割合：９０％ 評価基準：授業で学んだことを理解しているか。 履修目標との対応：①、②、③、④ 評価方法：その他 評価割合：１０％ 評価基準：授業態度、出席状況などを元に総合的に判断 履修目標との対応：①、②、③、④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀　「系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能１」　医学書院
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	hagi_h@marianna-u.ac.jp
備考	生物に関する高校生レベルの知識はあるものと考えて授業を行う。高校生物履修者はその範囲を復習してから、生物履修でない者は参考書などの該当項に目を通し理解してから、講義にのぞむこと。講義後は、配布資料、教科書、参考書等で十分復習すること。わからないことはそのまま放置せずに、質問に来ること。

講義科目名称： 人体の構造と機能Ⅱ　　授業コード： 24F102

英文科目名称： Structure and Function of the Human body Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
萩原　裕子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2.　臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	
授業概要	医療に携わる者すべてにとって、必要不可欠な身体の構造と機能の講義を行う。看護は人を看て身体の中で起きていることを知り、身体の異常に気がつく力、異常を知る力が必要になる。異常に気がつくには正常な身体のしくみと働きを理解している必要がある。人体の構造と機能Ⅱでは、人体の基本的な成り立ちとして人体を構成する器官の正常な構造と機能について学ぶ。
履修目標	①消化・吸収の構造と過程、調節機構を説明できる。 ②心臓の基本構造、役割、動作原理を説明できる。心電図の原理や心臓の構造、機能との関係、臨床的な意義を説明できる。血液やリンパ液を産生、運搬する構造が説明できる。 ③内分泌系の主な構造、ホルモンの作用を説明できる。ホルモンに関する生合成やホルモンの調節機構を説明できる。調節機構を説明できる。ホルモンの種類およびその作用・調節機構（内分泌系） ④男性/女性生殖器の構造と生殖機能、調節機構を説明できる。胎児、新生児の生理学を概説できる。
授業計画・授業外学修課題	1-4回　栄養の消化と吸収（全4回） 口、咽頭、食道の構造と機能 腹部消化管の構造と機能 膵臓、肝臓、胆嚢、腹膜の構造と機能 授業外事前学修課題：各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 5-9回　血液循環のしくみ（全5回） 心臓の構造と拍出機能 末梢循環系の構造と機能 血液循環の調節 リンパ管の構造と機能 授業外事前学修課題：各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 10-13回　内分泌系のしくみ（全4回） 授業外事前学修課題：各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 14､15回　生殖・発生と老化のしくみ（全2回） 男性、女性生殖器の構造と機能 受精と胎児の発生 成長と老化 授業外事前学修課題：各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし
課題のフィードバック方法と時期	各単元終了後に、練習問題を配布する。解答も一緒に配布するので各自で取り組みこと。 わからない問題や課題は積極的に質問すること。質問は授業終了後に受けるが、授業時間外はe-mailでも受ける。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：９０％ 評価基準：授業で学んだことを理解しているか。 履修目標との対応：①、②、③、④ 評価方法：その他 評価割合：１０％ 評価基準：授業態度、出席状況などを元に総合的に判断 履修目標との対応：①、②、③、④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀　「系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能１」　医学書院
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	hagi_h@marianna-u.ac.jp
備考	生物に関する高校生レベルの知識はあるものと考えて授業を行う。高校生物履修者はその範囲を復習してから、生物履修でない者は参考書などの該当項に目を通し理解してから、講義にのぞむこと。講義後は、配布資

	料、教科書、参考書等で十分復習すること。わからないことはそのまま放置せずに、質問に来ること。

講義科目名称： 栄養生化学　　授業コード： 24F109

英文科目名称： Nutritional Biochemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
飯田　綾香			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる
履修条件	
授業概要	人は生きるために食べ、呼吸をする。そこには様々な物質が必要になり、機能しなければならない。その物質がなぜ必要なのか、身体の中で何が起こっているのかを理解するために必要な栄養と生化学の基礎を学ぶ
履修目標	①生化学を理解するための基礎知識（細胞・組織等）が説明できる。 ②栄養を理解するための基礎知識（糖質、脂質、タンパク質等の構造、栄養素としての働きと代謝）が説明できる。 ③ライフステージの特徴と栄養管理の必要性について説明できる。 ④慢性疾患、疾病と栄養・食事の関係、食事療法の概要について説明できる。 ⑤健康の保持増進のために栄養について理解し、自身の生活に活かすことができる。
授業計画・授業外学修課題	1　人体と栄養生化学 栄養生化学を学ぶための人体の基礎知識について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 細胞の構造・組織についてまとめる（90分） 2　糖質の栄養生化学 糖質の構造、栄養素としての働きと代謝について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、糖質についてまとめる（90分） 3　脂質の栄養生化学 脂質の構造、栄養素としての働きと代謝について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、脂質についてまとめる（90分） 4　タンパク質の栄養生化学 タンパク質の構造、栄養素としての働きと代謝について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、タンパク質についてまとめる（90分） 5　エネルギーの栄養生化学 糖質、脂質、タンパク質で学んだ内容を統合し、エネルギー代謝について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、エネルギー代謝についてまとめる（90分） 6　酵素の栄養生化学 生体内反応・代謝を理解するために、酵素の性質と酵素反応について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、酵素についてまとめる（90分） 7　ビタミン・ミネラルの栄養生化学 ビタミン・ミネラルの生体機能について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

		教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、ビタミン・ミネラルについてまとめる（90分）
	8	遺伝子の栄養生化学 核酸の構造と機能について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、核酸についてまとめる（90分）
	9	人間栄養学と看護 人間栄養学について理解し、栄養について概観する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 日本の栄養・食生活に関する現状と課題について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 人間栄養学についてまとめる（90分）
	10	ライフステージと栄養（乳幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期） 乳幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期における栄養の特徴・課題等について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各ライフステージ別の栄養の問題点を整理する（90分）
	11	ライフステージと栄養（妊娠期・授乳期・更年期・高齢期） 妊娠期・授乳期・更年期・高齢期における栄養の特徴・課題等について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各ライフステージ別の栄養の問題点を整理する（90分）
	12	栄養療法（病院食・栄養補給法／消化器疾患） 臨床における栄養療法の基礎と疾患別の栄養療法について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 栄養補給法の違いと各疾患別の栄養療法の特徴を整理する（90分）
	13	栄養療法（腎疾患・循環器疾患） 疾患別の栄養療法について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各疾患別の栄養療法の特徴を整理する（90分）
	14	栄養療法（血液疾患・栄養代謝疾患） 疾患別の栄養療法について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各疾患別の栄養療法の特徴を整理する（90分）
	15	食事摂取基準、食生活指針 食事摂取基準と食生活指針について理解し、自身や周囲の食生活・食習慣について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 食事摂取基準と食生活指針についてまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし	
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは次の授業時に実施する。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：85% 評価基準：到達目標で示す教科書の範囲にある重要語句の意味がわかれば60% 履修目標との対応： 評価方法：平常点評価	

	評価割合：15% 評価基準：授業ごとの疑問や質問、感想をリフレクションペーパーで述べていれば100%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	新体系看護学全書　人体の構造と機能　栄養生化学　第5版　メジカルフレンド社
実務経験のある教員による授業	非該当
オフィスアワー・連絡先	aiida@soei.ac.jp
備考	出欠席はリフレクションペーパーで確認する。 授業に関する不明点等を調べるときに限り、授業中のスマートフォンの使用を許可する。

講義科目名称： 微生物学　　授業コード： 24F201

英文科目名称： Microbiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
柳川　容子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3. 看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	感染症はヒトが微生物（細菌、ウイルス、真菌、原虫、プリオン）や寄生虫に感染することでおこる。これを理解し、看護師が感染症患者に接した際に必要な 個々の微生物の基礎知識や感染予防を系統的に学ぶ。さらに感染後におこる生体の反応や、元来体に備わった微生物に対する感染防御機構（免疫）を 理解したうえで、免疫力が低下したガン、AIDS患者でおこる感染症（日和見感染症）について理解を深める。
履修目標	①基本的な生体の感染防御機構が説明でき、これを理解できる。 ②宿主の臓器・組織ごとの感染症を理解し、患者の症状と原因微生物が説明できる。 ③宿主の因子が影響する感染症（人獣共通感染症、母子感染、日和見感染、移植患者の感染症、血管内カテーテル関連血流感染症）を理解し、患者の症状と原因微生物の関係が理解できる。 ④感染症を予防するために必要な消毒、滅菌、ワクチンについて説明できる。 ⑤基本的な感染症の検査、治療薬（おもに抗菌薬）が説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　微生物学発展の歴史、個々の微生物の生物学的位置と特徴、細菌の構造物の特徴と役割（線毛、鞭毛、莢膜、芽胞）。 授業後に資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題を解き、翌週の 確認テスト対策をする。 授業外事前学修課題：テキストP27-35、57、97、228を読み、わからない語句は調べておく。 2　感染症の分類、感染症法、感染経路（空気感染、飛沫感染、経口感染、接触感染、昆虫ベクター感染、人獣共通感染症） 授業外事前学修課題：テキストP37-43、P239-244、P142-144、172、P80-84、87、128を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 3　感染防御機構1　自然免疫と獲得免疫、免疫に関わる細胞、体液性免疫（細菌感染から抗体産生までのプロセス） 授業外事前学修課題：テキストP37、P43-50を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 4　感染防御機構2、体液性免疫と細胞性免疫（ウイルス感染からウイルス排除までのプロセス、マクロファージ内で生存する細菌の排除）、免疫反応を利用したワクチンの種類とその特徴 授業外事前学修課題：テキストP43-50、P219-226を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 5　滅菌（感染症を予防する目的で医療器具・器材に用いるおもな滅菌法とその対象物）と消毒（医療器具・器材のほか人体に用いるおもな消毒薬とその対象物） 授業外事前学修課題：テキストP219、P227-234を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 6　感染症の検査（細菌の染色法であるグラム染色、結核菌を染色するチール・ネールゼン染色、抗体や抗原を検出する免疫学的検査）、検査材料の保存法 授業外事前学修課題：テキストP245-256を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 7　中間試験（試験範囲は1回～6回） 中間試験対策として配布資料、テキスト、確認テストを見直し重要な項目を理解する。 試験後の呼吸器感染症の授業を実施する。授業外事前学習課題：P52-72

	8	宿主の臓器・組織別にみる感染症1　呼吸器感染症、消化器感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP52-84を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	9	宿主の臓器・組織別にみる感染2　肝炎、尿路感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP85-104を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	10	宿主の臓器・組織別にみる感染3　性感染症、皮膚や粘膜の感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP105-119を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	11	宿主の臓器・組織別にみる感染4　発疹が出現する感染症、脳神経系感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP120-133を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	12	宿主の臓器・組織別にみる感染5　人獣共通感染症、寄生虫感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP136-157を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	13	宿主の因子が影響する感染症1　小児の感染症、母子感染、高齢者の感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP157-183を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	14	宿主の因子が影響する感染症2　日和見感染症、移植患者の感染症、血管内カテーテル関連血流感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP183-206を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	15	感染症の治療(抗菌薬の特徴、種類、作用機序)、薬剤耐性菌の種類と耐性機序 授業外事前学修課題：テキストP206-218、256-264を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし	
課題のフィードバック方法と時期	講義開始時に前回の復習試験を10分間で実施します。その後、解答を示し簡単な解説をします。この試験は評価には含みませんが、評価判定の際に参考とします。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100 評価基準：中間試験　50%　中間試験を実施し60点を合格とする。　期末試験　50%　期末試験を実施し60点を合格とする。 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト　疾病の成り立ちと回復の促進③　臨床微生物・医動物、矢野久子、安田陽子、MCメディカ出版 2022年　ISBN978-4-8404-7526-6 C3347 参考書　新改訂　パワーアップ問題演習　微生物学第2版、　西條政幸、　サイオ出版、2024年、ISBN9784-86749-2024	
実務経験のある教員による授業	該当。担当教員が自らの研究と教育を通して得た微生物学の知識を、わかりやすい講義内容に構成して説明を行います。学生は事前に教科書を読む予習をおこない講義を受けることを前提にします。 講義後はその日のうちに復習をして、理解できたことと理解できなかったことをノートにまとめます。これを実践することで講義への理解が深まり、また理解できなかった事柄がわかってきます。	
オフィスアワー・連絡先	質問は講義終了後に講義室で直接受け付けます。簡単な質問は出席カードの余白でも受け付けます。メールでの質問や欠席の連絡はメールで随時受け付ます（yyanagawa@soei.ac.jp)。	
備考	遅刻は講義開始20分までとし、出席カードに学生自身が申告して記入すること。なお、電車の遅延によるものは証明書を提出すること。	

	早退は原則認めない。但し、体調不良による早退は教員が状況を見てから判断する。 欠席が事前にわかっている場合は、柳川宛にメールで連絡をすること。欠席した際の講義資料等は翌週の講義開始直前に柳川から直接受け取ること。 講義資料、復習試験、出席カードは講義開始直前、前方に設置するので各自が取りに来ること。なお、欠席者の資料を代理で受け取ることは禁止とする。 出欠席は出席カードを配布しておこなう。 受講上の注意：飲食、スマートフォンの使用、写真撮影、録音は原則禁止とする（事情がある場合は柳川まで申し出ること）。講義中は帽子やフードの使用は認めない。

講義科目名称： 看護学原論　　授業コード： 24G101

英文科目名称： Fundamentals of Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
鈴木　恵/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる ２．臨床場面や状況への関心を持ち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる ３．保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	特になし
授業概要	看護学の基本概念である人間・健康・環境・看護の概念、看護の歴史的変遷、および看護理論を学び、看護の本質および看護独自の役割を探究する。また看護実践に関連する法律や倫理、方法論を学び、保健医療福祉の専門職として人々の健康に資する役割を理解する。さらに、人間を統合された存在として理解し、人間の尊厳の重視や人権の擁護など、人として看護職としての倫理的基盤を培い、豊かな人間性を養う。
履修目標	①看護とは何かを説明できる。 ②看護学の基本概念である人間・健康・環境・看護について説明できる。 ③看護の歴史的変遷を説明できる。 ④看護実践のための理論的根拠や対象との関係形成について説明できる。 ⑤専門職業人としての看護の役割を説明できる。 ⑥看護師としての在り方やケアの本質について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　科目の導入：看護学原論の進め方、「看護を学ぶ」 授業外事前学修課題：科目の概要と目標をシラバスで確認する（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 2　看護の対象とその理解 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 3　看護の歴史と研究 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 4　ナイチンゲール「看護覚え書き」①GW 授業外事前学修課題：ナイチンゲール「看護覚書」を読み、概要を把握する（９０分） 授業外事後学修課題：課題に取り組み、プレゼンテーション資料を作成する（９０分） 5　ナイチンゲール「看護覚え書き」②発表 授業外事前学修課題：プレゼンテーションの準備（９０分） 授業外事後学修課題：発表資料を振り返り学びを深める（分９０） 6　看護理論① 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 7　看護理論② 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 8　看護過程 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 9　看護における環境 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） １０　看護における倫理と安全 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 11　看護とコーチング 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） １２　看護における法的側面/保健・医療・福祉システム 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分）

	授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） １３　ケアの本質 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：「私の看護観（看護についての考え）」のレポートを２０００字以上でまとめる（９０分） １４　国際看護 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 15　まとめ 授業外事前学修課題：私の看護観をグループで発表できるようにまとめてくる（９０分） 授業外事後学修課題：講義資料を復習し、本科目の理解を深める（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	発表・討議後にコメントや説明を加えます。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	レポート５０％　授業時にルーブリックを配布します。 平常点評価５０％　看護学原論の全範囲の基礎知識の要点をまとめることができれば30/50点とする。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト: 基礎看護学①看護学概論、MCメディカ出版 看護覚え書　第８版　現代社 参考図書（購入の必要はありません）：ミルトン・メイヤロフ：ケアの本質、ゆみる出版 本授業ではGoogle Classroomを作成し、授業内でGoogle formによる出席確認や小テスト、リフレクション等を行います。通信可能なスマートフォン等のデバイスを必ず持参してください。
実務経験のある教員による授業	看護師としての臨床経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：　木曜日12:00-13:00 連絡先：　msuzuki@soei.ac.jp
備考	遅刻・早退・離席があった場合は、30分未満が3回で1回分の欠席、30分以上で欠席とします。

講義科目名称： 対象論　　授業コード： 24G102

英文科目名称： Interpersonal Relations

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
本多　和子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1.看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護の対象者が、生命現象のなかで生きている存在およびその人らしく生きてゆく存在として、食べる・眠るなどの生活行為を日々営んでいることを理解し、生活者として捉えるための多様で複雑な視点を学ぶ。また、看護におけるコミュニケーションの重要性を理解し、対象者との援助的人間関係を構築するためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。また、多職種連携・協働におけるコミュニケーションのあり方も学ぶ。
履修目標	①援助的人間関係について説明することができる。 ②看護の対象を生活者として捉える視点を説明することができる。 ③看護の対象である人々の生活行為とその影響要因について説明することができる。 ④看護の対象者や多職種とのコミュニケーションのあり方について説明することができる。 ⑤自己と他者との関わりを洞察し、自己のコミュニケーションを振り返ることができる。 ⑥自己のコミュニケーションの振り返りから援助的人間関係を構築するための自己の課題を見出すことができる。
授業計画・授業外学修課題	1　対象論ガイダンス看護の対象とその理解援助的人間関係について 本科目の概要、授業のねらいについて、成績評価について、 看護の対象とその理解 援助的人間関係について 授業外事前学修課題：授業概要をシラバスで確認し、疑問点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：看護の対象についての自身の考えをまとめる（90分） 2　援助的人間関係を築くための看護コミュニケーション(1) コミュニケーションとは、コミュニケーションの種類、コミュニケーションに影響するものについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：自分のコミュニケーションの特徴についてまとめる（90分） 3　援助的人間関係を築くための看護コミュニケーション(2) 看護におけるコミュニケーションについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分） 4　対象の生活行為の理解(1)/看護の基本となるものについて ヴァージニアヘンダーソンの看護の基本となるものについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分） 5　対象の生活行為の理解(2)/環境について 安全な環境を維持するための生活行動や影響を与える要因についてについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分） 6　対象の生活の理解(3)/呼吸する・コミュニケーションをとる 呼吸するため、コミュニケーションするための生活行動や影響を与える要因についてについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分） 7　対象の生活の理解(4)/飲食する・排泄する 飲食する・排泄するための生活行動や影響を与える要因についてについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）

	8	対象の生活の理解(5)/身体を動かす・睡眠と休息をとる 身体を動かす・睡眠と休息をとるための生活行動や影響を与える要因についてについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
	9	対象の生活行為の理解(6)/衣類を選び、着脱する・体温を正常範囲に維持する 衣類を選び、着脱する・体温を正常範囲に維持するための生活行動や影響を与える要因についてについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
	10	対象の生活行為の理解(7)/身体を清潔にする 身体を清潔にするための生活行動や影響を与える要因についてについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
	11	対象の生活行為の理解(8)/遊び、あるいはさまざまな種類のレクリエーションに参加する、達成感をもたらすような仕事をする 遊び、あるいはさまざまな種類のレクリエーションに参加する、達成感をもたらすような仕事をするための生活行動や影響を与える要因についてについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
	12	対象の生活行為の理解(9)/信仰する・学習する 信仰する・学習するための生活行動や影響を与える要因についてについて学ぶ。適宜グループワークを行う。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
	13	援助的人間関係を築くための看護コミュニケーション(3) ロールプレイ、再構成/看護のコミュニケーションにおける再構成の意味について学ぶ。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
	14	援助的人間関係を築くための看護コミュニケーション（４）/ロールプレイ、再構成演習 看護場面のロールプレイを行い、再構成を作成する。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：ロールプレイの中から、気になった場面を再構成する（90分）
	15	援助的人間関係を築くための看護コミュニケーション（５）：再構成のまとめ ロールプレイを行った結果から作成した再構成について振り返りを行い、教員からのフィードバックを受ける。 授業外事前学修課題：該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、グループディスカッション	
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前学習や講義で学んだことをもとに授業内で討議し、発表をした内容については授業内でコメントします。 課題は次回以降に返却し、授業内でコメントします。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法： １．事前課題　評価割合：40%　評価基準：要点が記載されていれば60% 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ ２．看護場面の再構成：20%　評価基準：看護場面における自己のコミュニケーションの振り返りが記載されていれば80% 履修目標との対応：⑤⑥ ３．レポート　評価割合：40%　評価基準：講義内でルーブリック評価を配布し、説明する 履修目標との対応：①②③④	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	ヴァージニアヘンダーソン(著),湯槇 ます(翻訳),小玉 香津子(翻訳)看護の基本となるもの,日本看護協会出版会 篠崎惠美子：看護コミュニケーション、基礎から学ぶスキルとトレーニング、医学書院 ロールプレイを実施する時はユニフォームを着用すること。	
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした授業を行います。	

オフィスアワー・ 連絡先	オフィスアワー：月曜日～木曜日の昼休み 質問時は事前にメール連絡してください。（khonda@soei.ac.jp）
備考	授業への主体的な参加を期待しています。グループワークでは積極的に意見交換ができるようにしてください。事前課題を行った上で参加してください。事前学習課題を講義時間の提出期限とします。なお３０分以内の遅刻・早退３回で欠席１回とみなします。

講義科目名称： 看護学援助論　　授業コード： 24G103

英文科目名称： Basic Nursing of Art and Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
杉山　洋介/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1.　看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 3.　看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし計画的に看護を実践することができる。
履修条件	なし
授業概要	看護援助は、環境とのかかわりの中で生きている人間の反応に焦点をあて、自然治癒力や自立、ニーズの充足といった健康を促進するための目的達成的な行為である。このことを踏まえて、対象者の安全な環境を守る・動く・眠る・食べる・排泄する・清潔にするといった生活行為を成立させる心身のメ カニズムを理解し、科学的根拠と対象者の個別性に基づく生活行為への援助を考えるための基礎知識と具体的方法を学ぶ。
履修目標	①看護技術の原則について説明できる。 ②人の生活行為を成立させるメカニズムを説明できる。 ③生活行為の援助が必要な状態を説明できる。 ④生活行為の具体的な援助方法とその根拠を説明できる。 ⑤検査・治療を受ける対象への援助方法とその根拠を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護技術とは何か 看護学援助論科目ガイダンス ナーシングスキルの使用法 看護技術とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト1「序章」を熟読し、「看護技術」とは何かについて考えをま とめる。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容をもとに看護技術とはについて重要項目を まとめる。(60分)、ナーシングスキルにログインし一連の操作を体験 する。(30分) 2　生活行為とは何か　　意思を伝達し思いを表現することへの援助 生活行為とは何か 意思を伝達し想いを表現することへの援助 ・看護に必要なコミュニケーション ・認知、近くのメカニズムと対照に合わせたコミュニケーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションとは何かについて調べ、自分のコミュニケーション の傾向を分析する。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 看護実践に必要なコミュニケーションと コミュニケーションにおける自己の課題についてまとめる。(90分) 3　安全な環境を整えることへの援助① 安全な環境を整えることへの援助 ・環境調整 ・ベッドメイキング、リネン交換 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 看護における「安全」「環境」とは何か調べてまとめる。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 環境調整の意義、講義で取り上げた技術について重要と考えた部分につい てまとめる。(90分) 4　安全な環境を整えることへの援助② 安全な環境を整えることへの援助 ・感染予防(手洗い、個人防護具、滅菌・消毒、感染性廃棄物の取り扱い、無菌操作) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 感染の成り立ちについて調べてまとめる。(75分)自分が普段行ってい る感染予防行動についてまとめる。(15分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 感染予防技術の重要ポイ ントをまとめる(70分)自分が普段行っている感染予防行動の根拠と、必要に応じて改善点についてまとめる。(20分) 5　動くことへの援助 動くことへの援助 ・姿勢 ・ボディメカニクス ・移乗移送

		授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読する。(60分)日常生活においてどのように 動き、姿勢や対位を変えているか確認する。(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 動くことが依存 になった場合の対象への影響と援助技術についてまとめる。(60分)看 護師の身体を守るための技術についてまとめる。(30分)
	6	眠る・休息すること、体温を保つことへの援助 眠る・休息すること、体温を保つことへの援助 ・睡眠と安楽 ・罨法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し睡眠の種類とメカニズム、体温調節につい てまとめる。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 睡眠を促すための援助方法についてまとめる。 (45分)冷罨法・温罨法の適応と注意点についてまとめる。(45分)
	7	飲食することへの援助 飲食することへの援助 ・人にとっての食事の意義 ・経口栄養摂取と非経口栄養摂 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 普段、自分はなぜ食べたり飲んだりするか振り返りまとめる。(30分) テキストの該当箇所を熟読する。(15分)食べることに関連する人体の 構造と機能を復習する。(45分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 食べることに関連する機能障害ごと の援助方法とポイントについてまとめる。(90分)
	8	排泄することへの援助 排泄することへの援助 ・自然排尿と排便を促す技術 ・グリセリン浣腸・摘便・導尿 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 分の排泄行動を振り返る。(30分)テキストの該当箇所を熟読する。 (15分)排尿・排便に関連する人体の構造と機能について復習する。 (45分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 排泄への援助の基本的な考え方と留意点についてまとめる。 (30分)技術ごとの方法と留意点についてまとめる。(60分)
	9	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助 ・清潔ケア(入浴、シャワー浴、部分浴、洗浄、清拭) ・口腔ケア ・整容を整えるケア 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の清潔・整容を保つための行動について振り返る。(30分)テキス トの該当箇所を熟読する。テキストに記載されている皮膚と粘膜の構造 と機能を覚える。(60分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 清潔、整容の意義と各技術のポイントにつ いてまとめる。(90分)
	10	衣服を着る・脱ぐことへの援助 衣服を着る・脱ぐことへの援助 ・衣服の意義 ・病衣、寝衣交換 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分の衣服の構成や選択について振り返りまとめる。(30分)テキスト の該当箇所を熟読した後、普段の衣服と入院時の衣服の違いについて考 えをまとめる。(60分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ナーシングスキル「寝衣交換」の動画5種類 (約33分)を全て視聴し、それぞれの原理原則や留意点についてまとめ る。(90分)
	11	診察・検査・治療に伴う援助技術 診察・検査・治療に伴う援助技術 ・診察における看護の役割 ・生体検査と検体検査 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読した後、自己の体験と併せて「診察」を受け る人の身体的・心理的・社会的な苦痛について考えをまとめる。(90 分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 診察・検査・治療における看護師の役割についてまとめる。(90 分)
	12	呼吸することへの援助 呼吸することへの援助 ・気道浄化法 ・気道加湿法 ・酸素療法

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 呼吸に関連する人体の構造と機能について復習する。(70分)テキスト の該当箇所を熟読する。(20分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 呼吸に問題のある人の特徴と援助の ポイントについてまとめる。(90分) 13 与薬に伴う援助技術 与薬に伴う援助技術 ・与薬経路の特徴と看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 治療の種類について復習する。(15分)肝臓、腎臓の構造と機能につい て復習する。(60分)テキストの該当箇所を熟読する。(15分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 誤 薬を防ぐための方法、薬剤管理、与薬経路の特徴と留意点についてまと める。(90分) 14 創傷管理に伴う援助技術 創傷管理に伴う援助技術 ・創傷とは ・創傷処置の基本 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第9回で学習した皮膚の構造と機能を復習し覚える。(45分)テキスト の該当箇所を熟読し「創」「傷」の違いについて理解しておく。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 創傷 治癒を促進するための原理原則をまとめる。(45分)褥瘡予防の技術に ついてまとめる。(45分) 15 死にゆくことへの援助 ・死亡の動向 ・身体の変化・死後の処置 ・死にゆく人と家族の心理と援助(グループ討議) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 人の「死」をテーマにした書籍を1冊以上読む。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） グループ討議内容を参考に考察し、レポートを作成する。 (90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	グループワーク、プレゼンテーションは授業中に適宜フィードバックします。 小テストは、授業内で返却、解説を行います。 レポートはclassroomより適宜フィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：授業で学んだ生活行為を成立させるメカニズムや看護の原理原則を用いて、必要な援助、具体的な援助方法、援助の根拠について説明できるか。 学習到達目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：小テスト 評価割合：10% 評価基準：事前学習で示された知識が身についているか。授業の重要ポイントを覚えているか 履修目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：レポート 評価割合：10% 評価基準：授業で学んだことを理解した上で自らの考えを記述できるか（授業内でルーブリックを配布します) 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト1:系統看護学講座 基礎看護技術I 基礎看護学2 医学書院 テキスト2:系統看護学講座 基礎看護技術II 基礎看護学3 医学書院 e-learning教材:Nursing Skills ELSEVIER その他の資料は授業内で紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師経験を有しており、その経験を活かして将来を見据えた実践学の知を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	e-mail: ysugiyama@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。

講義科目名称： サイエンスＢ（観察）　　授業コード： 24L103

英文科目名称： Science B (Observation)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
木下　圭/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	本学で学修する専門知識を理解するためには、基本的に観察が必要になる。ここでは「観察や実験を行い、記録し、その結果を考察する」という一連の技法を学ぶ。本科目は演習形式で、ひとり一人が顕微鏡などの実験器具を用い、スマートフォンを活用しながら観察手段を習得していく。
履修目標	①自然現象を観察する方法を学ぶ。 ②観察結果を記録し、整理する方法を修得する。 ③科学的な現象に興味を持ち、観察することを通して、今後の学修につなげる。
授業計画・授業外学修課題	1　総論（記録の方法） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 2　森林の観察 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 3　実体顕微鏡の操作 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 4　脊椎動物の臓器と構造Ⅰ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 5　海産動物の分類 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 6　植物の形づくり（青木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 7　免疫（抗原検査と抗体検査） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 8　コンピュータを用いた分子モデル 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 9　分子生物学演習Ⅰ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	ノート整理（90分） 10　酵素反応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 11　有性生殖と無性生殖 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 12　ＤＮＡを採る 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 13　脊椎動物の形づくり（胚発生） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 14　脊椎動物の臓器と構造Ⅱ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 15　分子生物学演習Ⅱ　小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストの準備（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 小テストの復習（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを含む実験を毎回行う。
課題のフィードバック方法と時期	次回の授業で解説する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：成果物 評価割合：75% 評価基準：課題の条件を備えた成果物を毎回提出することができる 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：小テスト 評価割合：25% 評価基準：授業内容に即した小テストの得点が20点以上である 履修目標との対応：①　②　③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布。
実務経験のある教員による授業	発生生物学の研究者である教員による授業。 植物学を専門とする東京薬科大学の教員による特別講義を実施。
オフィスアワー・連絡先	連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp
備考	実験では作業が中心となるので、動きやすい服装で受講してください。

講義科目名称： コンピュータＣ(プレゼンテーション)　　授業コード： 24L107

英文科目名称： Computer C (Presentation)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	選択
担当教員			
木下　圭/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	パソコンを発表の道具として活用できるようプレゼンテーションソフトウェア（MS PowerPoint）の基本操作を学び、これを用いて資料作成とプレゼンテーションが行える技術を身につける。
履修目標	①PowerPointを用いてプレゼンテーション資料の作成と発表が行える。 ②PowerPointとExcel、Word等との連携を通じた資料作成が行える。 ③Microsoft Office Specialist資格の取得希望者においては、受験準備の一環となる。
授業計画・授業外学修課題	1　PowerPointの基本操作１（基礎知識） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 2　PowerPointの基本操作２（基本的なプレゼンテーションの作成） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 3　PowerPointの基本操作３（表とグラフの作成） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 4　PowerPointの基本操作４（図形やSmartArt グラフィックの作成） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 5　PowerPointの基本操作５（特殊効果の設定） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 6　課題作成１（既定課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 7　課題作成２（既定課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 8　課題作成３①（自由課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 9　課題作成３②（自由課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分）

	10　自由課題の発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発表の準備（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価表の作成（90分） 11　自由課題の発表続き 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発表の準備（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価表の作成（90分） 12　課題作成４①（最終課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 13　課題作成４②（最終課題） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 練習問題（90分） 14　最終課題の発表１ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発表の準備（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価表の作成（90分） 15　最終課題の発表２ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 発表の準備（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 評価表の作成（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーションと質疑応答を行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：成果物 評価割合：40% 評価基準：課題の条件を備えた成果物を毎回提出できる 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：30% 評価基準：資料作成と発表を適切に行い、他の受講者に理解させることができる 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：質疑応答 評価割合：15% 評価基準：受けた質問について再調査し、回答できる 履修目標との対応：①　② 評価方法：評価表 評価割合：15% 評価基準：他の受講者の発表を評価し記述できる 履修目標との対応：①
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：よくわかる Microsoft PowerPoint 2021 基礎（FOM出版）
実務経験のある教員による授業	生物学の研究者である教員による授業。
オフィスアワー・連絡先	連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： データサイエンス入門　　授業コード： 24L109

英文科目名称： Introduction to Data Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
若生　啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	近年、ICT技術や人工知能（AI）の発展が著しく、これらの技術は社会の様々な領域で活用されつつある。これらの技術の基礎には数理・データサイエンス（統計学、数学、コンピュータサイエンス等）があり、それを理解することがこれらの技術や社会の変化にどう向き合っていくか考えるための土台となる。そこで、本授業では実際にICTを活用しながら、演習として受講者自身が様々な問題解決を行うことを通して、数理・データサイエンスの基礎を学習する。
履修目標	①AI・データサイエンスが社会でどのように利活用されているか説明できる ②データの取り扱いや解釈について説明し活用できる ③コンピュータの動作原理を理解し、簡単なプログラムを作成できる
授業計画・授業外学修課題	1　AI・データサイエンスの概要 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 2　表計算ソフトを用いた数値計算 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 3　データの取得と管理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 4　データの分析 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 5　データの可視化 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 6　実社会のデータの分析 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 7　実社会のデータの可視化 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 8　AI・データサイエンスの応用事例 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 9　AI・データの利活用のための技術 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 10　コンピュータ技術の基礎 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 11　プログラミングの基礎（逐次実行） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 12　プログラミングの基礎（条件分岐） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 13　プログラミングの基礎（繰り返し） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 14　AI・データ活用の実践演習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分） 15　最終課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） シラバスを参考にして事前学習をする（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に取ったメモを読み返して操作の復習をする（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICTを活用した双方向型の授業を実施する
課題のフィードバック方法と時期	授業内の課題については次の回に返却します。最終課題は希望者に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：授業内の課題 評価割合：50% 評価基準：全体の2/3の提出で60% 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：最終課題 評価割合：50% 評価基準：2/3の作業が完了すれば60% 履修目標との対応：① ②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト 松下 孝太郎、山本 光、『親子でかんたん スクラッチプログラミングの図鑑 【Scratch 3.0対応版】』、技術評論社、2019年、978-4297106867 ＊Scratch 3.0対応版であることに注意してください 参考文献 データサイエンス入門 第2版（学術図書出版社） ScratchでAIを学ぼう（日経BP）
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 医療・環境入門　　授業コード： 24L110

英文科目名称： Introduction to Medical Care and Environment

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
木下　圭/こども教育学部　小川　雅代/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	人類と環境への適応について知識を得て理解する。日本の歴史上に残る環境による健康被害、エイズ、肝炎等の薬害の実態を知り、健康問題について学修する。また、日本における社会保障制度、保健･医療･福祉の提供の仕組みと現状、及び、児童福祉制度と子どもをめぐる問題について理解する。
履修目標	①人類の環境への適応、環境と健康の問題について理解する。 ②サリドマイド、肝炎、薬害エイズ、スモンなど、過去に発生した主要な薬害事故を理解し説明できる。 ③人々の暮らしを守る社会保障制度と現状の問題について述べることができる。 ④医療保険制度、介護保険制度、年金制度と現状の問題を説明することができる。 ⑤児童福祉制度を理解し子どもをめぐる問題と解決について述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　環境への適応と人類（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションのグループテーマを考える（90分） 2　適応の方法 － 突然変異、ウイルス、免疫（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 講義で使われた用語を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 3　環境と健康問題（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 講義で使われた用語を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 4　現代までの主要な環境問題（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 5　戦後の日本で起きた主要な薬害問題①（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 6　戦後の日本で起きた主要な薬害問題②（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 7　薬害被害の実態 － 薬害エイズ問題（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） グループへの質問事項に対する回答を準備する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義と演習のまとめを作成する（90分） 8　今日の保健・医療・福祉をめぐる問題－グループ演習の導入（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの準備計画を立案する（90分） 9　人々の暮らしを守る仕組みと現状 －グループに分かれて課題別ワーク（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 10　人々の暮らしを守る仕組みと現状 －グループに分かれて課題別ワーク（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 11　人々の暮らしを守る仕組みと現状 －社会保障制度（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 12　人々の暮らしを守る仕組みと現状 － 医療保険制度、介護保険制度、地域包括ケアシステム（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 13　人々の暮らしを守る仕組みと現状 － 年金制度、高齢者福祉（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 14　人々の暮らしを守る仕組みと現状 － 児童福祉制度と子どもをめぐる現状（小川） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 15　人々の暮らしを守る仕組みと現状（まとめ）（小川） 環境と健康に関する課題（まとめ）（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 今日の子どもをめぐる問題に対して、施策やNPOの動き等を収集し、ノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義と演習から得た知識を文献や資料と照合しノートにまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに、毎回の授業で発表、討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：40% 評価基準：リフレクションペーパーに学んだことと質問を適切に記述することができる 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤ 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：60% 評価基準：資料作成とプレゼンテーションを行い、他の受講者に理解させることができる 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。
実務経験のある教員による授業	生物・生態の研究者と看護管理の経験者・研究者である教員による授業
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは初回の講義で通知します。質問時は事前にメール連絡して下さい。 連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp（木下）、mogawa@soei.ac.jp（小川）
備考	

講義科目名称： 倫理学　　授業コード： 24L203

英文科目名称： Ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
國領　佳樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	「倫理とは」「倫理学とは」について概説する。人間の自己理解の歴史的諸類型、およびその視点に影響を与えた思想史的・社会的背景について学習する。また、ひとの命の大切さや人が自由で平等であることの真の意味を理解し、それをどのように守るべきかを考え、差別を生みださないようにするため、学習を通して倫理的態度を学ぶ。
履修目標	① 基本的な倫理学概念を理解し、倫理学の主要な立場を理解できる。 ② 現代社会の問題について、倫理学の原理に基づいて検討することができる。 ③ 自分自身の経験を振り返りつつ、自身の考える倫理について倫理学的概念を用いて論述することができる。 ④ 自分や他人の意見に対して批判的な視点で検証する態度をとることができる。 ⑤ 医療現場や教育・保育現場において想定される倫理課題についての自分なりの倫理的姿勢をイメージできる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンスとイントロダクション：倫理学とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）） 2　結合性双生児のケースから倫理学へ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 3　嘘をつくことは道徳的に悪いのか 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 4　病名告知の事例から二つの倫理学的立場を確認する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 5　倫理の境界事例を考える（1）将来の見込みが不確かな嬰児のケース 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 6　倫理の境界事例を考える（2）もはや将来の見込みのない子供のケース 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 7　自殺と安楽死 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 8　積極的安楽死の四つの論点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 9　テクノロジーの倫理（1）遺伝子組み替え作物

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 10　テクノロジーの倫理（2）脳科学 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 11　テクノロジーの倫理（3）フェイクニュース 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 12　性差別とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 13　人種差別とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 14　ベジタリアニズム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 15　総括：倫理学の全体像 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	毎回授業の最初に前回授業のリアクションペーパーを紹介し、それにコメントする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：70% 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば 70点 履修目標との対応：①②④⑤ 評価方法：その他（リアクションペーパー、授業内課題など） 評価割合：30% 評価基準：授業内容に関連するコメントや疑問点を自分なり書くことができれば 30点 履修目標との対応：③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	授業内でプリントを配布します。参考文献は授業内で適宜指示します。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	kuromejiro@rikkyo.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待します。私語は厳禁です。

講義科目名称： 比較文化論　　授業コード： 24L208

英文科目名称： Theory of Comparative Culture

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
小林　成彬			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	人間の創りあげる文化は、時代と地域を超えた普遍性と、完結することのない多様性を備え、私たちが現実社会の困難な課題を理解し、乗り越えるための力を与えてくれる。自国と他国の文化の相違点・類似点・相互の影響を考えながら、共通の課題に共に取り組んでいるような方法を学ぶ。
履修目標	①日本と世界が直面する課題を文化（小説、映画、グラフィックンノベル、絵本など）を通して具体的に考えることができる。 ②国際的な視点に立って、多様性と包摂性のある社会をいかに実現するか、自分のこととして考えることができる。 ③教育・看護の現場で国際化に対応する能力を育てる。そのために、比較文化の知見を活用できる。 ④課題解決のためのキーワードを身につける。 ⑤自分の考えを口頭と文章で表現できるようになる。
授業計画・授業外学修課題	1　イントロダクションーー「比較文化論」への招待 本講義の概要を説明する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 比較文化について自分なりに調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に指示した文献を読み、映像を視聴する（90分） 2　「わかりやすさ」と「むつかしさ」ーー映画を解体する 慣れ親しんでいる映画を「主題論的批評」の手法を用いて観ることを学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 主題論的批評について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分の好きな映画を見て主題論的批評を実践する（90分） 3　解体と構築ーー物語を想像／創造する 物語性の小さな映画の存在理由を考え、映像における身体表現について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「ダンス」について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 身体表現と物語の関係について考える（90分） 4　記憶と物語ーー歴史のカタストロフィから考える（１） 東日本大震災についてのドキュメンタリー映画や詩から、「物語」の発生について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 東日本大震災についてこれまでに学んできたことを振り返る（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 5　パレスチナ問題についてーー歴史のカタストロフィから考える（２） 世界における紛争地域について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） パレスチナ問題について自分なりに調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 6　アフリカを生きる医師たちーー歴史のカタストロフィから考える（３） コンゴの医師ムクウェゲの活動を学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ムクウェゲ医師について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 7　女性差別の現状についてーーフェミニズムから比較文化論を考える（１） 日本と世界の女性差別の現状について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 女性差別について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分）

	8　女性差別と人種差別――フェミニズムから比較文化論を考える（２） 第三世界フェミニズムについて岡真理の評論文『彼女の「正しい」名前とは何か』を通して学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 岡真理『彼女の「正しい」名前とは何か』を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 9　他者と出会うことーーフェミニズムから比較文化論を考える（３） 前回授業に引き続き、岡真理『彼女の「正しい」名前とは何か』を読む。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 岡真理『彼女の「正しい」名前とは何か』を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 10　大江健三郎とは誰かーー比較文化論最前線への招待（１） 日本のノーベル賞作家大江健三郎について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 大江健三郎について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 11　ヒロシマとは何かーー比較文化論最前線への招待（２） 原爆問題について小説や映像から学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） こうの史代『この世界の片隅で』を漫画あるいは映画で触れる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 12　沖縄について考えるーー比較文化論最前線への招待（３） 沖縄問題について小説や映像から学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小林成彬「遅れてきた大江健三郎」を読む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 13　火あぶりにされたサンタクロースーークリスマスと比較文化 サンタクロースの起源について紹介するとともに、文化人類学について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） サンタクロースの歴史について自分なりに調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 14　レポートの作成方法について 期末試験のレポートを作成するにあたっての注意点やその作成方法について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでに学んだことを自分なりに表現するにはどうすればいいかを考える（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 15　まとめ　比較文化論とは 期末試験レポートを作成する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 期末試験レポートの作成を行う（180分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ディスカッションを行う。+E32:E38
課題のフィードバック方法と時期	リアクション・ペーパーのフィードバックは、次回授業時に行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：５０％ 評価基準：授業で学んだことを理解し自分を意見を記述できていれば６０点。 履修目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：リアクション・ペーパー 評価割合：５０％ 評価基準：授業で学んだことを理解し自分の意見を記述できていれば６０点。 履修目標との対応：①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：毎回パワーポイントを使用し、必要に応じて補足資料を配布する。 参考文献：授業時に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	非該当
オフィスアワー・連絡先	火曜５限前後の時間／eventuellement28@gmail.com
備考	多くの作品を紹介する予定です。映画や小説、漫画などの文化に関心をもっているか、関心をもちたいと考えている人を歓迎します。また、日頃からニュースなどをよく見て下さい。授業中のグループワークに積極的に

	参加を望みます。

講義科目名称： 法学（含日本国憲法）　　授業コード： 24L211

英文科目名称： Law（Including the Constitution）

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
柳澤　泰			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	日本国民として知っておかなければならない国民の権利・義務や国の基本的な統治形態など、日本国憲法の総合的理解と憲法の存在 意義、人権について学ぶ。また憲法に謳っている国民に主権があることや天皇制の仕組み、国会や内閣、裁判制度の知識を通じて教育 及び現代社会の問題について学習する。
履修目標	①「法」の全体的な体系、基本を理解し法的なものの見方（リーガルマインド）を身につける。 ②憲法（特に基本的人権）、民法、刑法などの基本法が生活とどのように関わりあっているのかを理解し、それを説明できる。 ③憲法や法律と生活の関連を理解し、事例を通して教育及び現代社会の問題について考え、説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　争いを解決する手段としての民事訴訟、刑事訴訟法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 2　「法」とは何か、「法」にはどのようなものがあるか。「憲法」「民法」「刑法」とは何か。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 3　日常生活と人権、契約、犯罪① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 4　日常生活と人権、契約、犯罪② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 5　憲法、民法、刑法の適用場面と基本原則 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 6　人権宣言の歴史 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 7　基本的人権の特性、根拠 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

		配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	8	日本国憲法の構造（国民主権、権力分立、違憲法令審査権） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	9	表現の自由とプライバシー権（宴のあと事件） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	10	表現の自由の価値と知る権利 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	11	プライバシー権とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	12	現代におけるプライバシー権のとらえ方 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	13	医療現場における裁判（エホバの証人輸血損害賠償事件）①―判決の構成、損害賠償請求の法的根拠― 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	14	医療現場における裁判（エホバの証人輸血損害賠償事件）②―訴訟における争点は何か― 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	15	医療現場における裁判（エホバの証人輸血損害賠償事件）③―争点についての裁判所の判断― 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		
課題のフィードバック方法と時期	感想カードのフィードバックを次の授業時に行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、平常点評価 評価割合：筆記試験：70%、平常点評価：30% 評価基準：筆記試験：設問に対し、授業の内容を理解した上での解答がなされていれば80% 平常点評価：感想カードに授業の内容を踏まえた自身の意見や疑問点等が記載されていれば	

	80% 履修目標との対応：筆記試験：①②③、平常点評価：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：ポケット六法（有斐閣）
実務経験のある教員による授業	該当：担当教員は弁護士であり、適宜裁判等の実務についても言及します。
オフィスアワー・連絡先	感想カードの質問についてはできるだけ次回の授業で回答しますが、全ての質問に回答することは難しいので、授業後に直接質問に来てください。
備考	出席は感想カードの提出により取ります。平常点も感想カードの記載内容を評価します。

講義科目名称： 文学　　授業コード： 24L212

英文科目名称： Literature

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
武井　博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	文学は、言語能力を滋養し、分析力を深化し、想像力を高め、幅広く人間を理解することに役立つ学問である。本の中で間接体験をすることが、他者への共感を可能にし、ひいては自己を振り返るきっかけとなる。ひとつの物語を足がかりに、自分を取り巻く世界が無限に広がっていく過程を楽しめるよう、作品との向きあい方を具体的に学ぶ。
履修目標	①他者(評論のみならず、同じクラスの受講生なども含む)の意見に触れ、作品を多角的に捉えようとする姿勢を身につける。 ②作品を分析し、自分の意見を論文にまとめられるようにする。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス 論文と、作文・感想文・エッセイ等の文章との違いについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「論文」「作文」「感想文」「エッセイ」「レビュー」の各特徴を文献やインターネットを利用して調べる。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 文学作品に関する「論文」とはどのような特徴があるか、感想文とは何が違うのかということを、ノートに整理してまとめる。(90分) 2　作品精読① フランスの童話「美女と野獣」の登場人物の分析 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ディズニーのアニメーション映画『美女と野獣』についてインターネットで調べ、あらすじを書いてくる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） フランスの原作「美女と野獣」の第1段落目で得られた情報をまとめる。(90分) 3　作品精読② 童話「美女と野獣」における心象風景について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の15ページまでについて、得られた情報を整理しまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 「心象風景」「二項対立」等の用語についてノートにまとめる(90分) 4　作品精読③ ディズニーの映像作品との違い 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の21ページまでについて、得られた情報を整理しまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 映像作品と文字作品の違いについてまとめる(90分) 5　作品精読④ ファンタジーとリアリズムについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の中で、写実的な描写と想像性の高い描写をそれぞれ抜き出す（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 原稿用紙の使い方に関するプリント資料を整理しまとめ、レポートに備える(90分) 6　中間レポート作成、ならびに発表 発表とクラスディスカッション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを作成する(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分の意見だけではなく他の受講生の意見も踏まえたうえで作品を読み直す(90分) 7　作品精読⑤ 文献検索、引証資料について

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　アメリカの短編作品「くじ」を読み、第1段落目で得られた情報を書き出す(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　インターネットや図書館を利用し、文学作品に関する論文「作品論」にどのようなものがあるかを確認する(90分) 8　作品精読⑥ 悲劇と喜劇、それぞれの文学的特徴について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　短編「くじ」の登場人物リストを作り、各人物の特徴を書き出す(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　登場人物の関係性について整理し、それぞれの役割をまとめる(90分) 9　作品精読⑦ 短編小説の発生とその特徴 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　短編小説がいつ頃発生し、具体的にはどのような特徴があるかをインターネット等を使って調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　短編「くじ」について作品のテーマをまとめてレポート課題に備える(90分) 10　作品精読⑧ 作者と作品について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　短編「くじ」において重要だと思われる箇所を抜き出し、状況の説明と簡単な考察を書き加える(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　作品のポイントをまとめ、レポートのアウトラインを作る(90分) 11　中間レポート作成、ならびに発表 発表とクラスディスカッション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　短編「くじ」について400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを書く(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　自分の意見だけではなく他の受講生の意見も踏まえたうえで作品を読み直す(90分) 12　作品精読⑨ 一人称小説と三人称小説について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　短編作品「窓辺の灯」を読みストーリーを理解する(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　一人称小説と三人称小説の違いやそれぞれの特徴について整理しまとめる(90分) 13　作品精読⑩ 作品理解に必要な項目を各自がリサーチし発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　短編「窓辺の灯」の登場人物の特徴を書き出す(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　作品に登場する猫の役割について整理しまとめる(90分) 14　作品精読⑪ 「論文」の書き方について注意点の確認 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　短編「窓辺の灯」のレポート課題に向けてアウトラインを作成する(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　感想文や作文ではなく論文を書くための注意点を復習する(90分) 15　まとめ 最終レポートの内容をクラスで発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 　短編「窓辺の灯」について400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを書く(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 　論理的に作品を分析する方法について復習する(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業ではアクティブ・ラーニング(討議・討論 / プレゼンテーション)を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	授業時にコメントする他、レポートを添削して後日返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対	詳細についてはルーブリック参照のこと。 評価方法　中間レポート

修到達目標との対応	評価方法：　中間レポート 評価割合：　30パーセント 評価基準：　作品の引用を入れながら客観的な書き方ができていれば60点。 履修目標との対応：　①、② 評価方法：　発表 評価割合：　10パーセント 評価基準：　作品のテーマが明確に示されていれば60点。 履修目標との対応：　①、② 評価方法：　最終レポート 評価割合：　60パーセント 評価基準：　客観的かつ論理的な分析ができている等、論文としての体裁が整っていれば60点。 履修目標との対応：　①、②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せずプリントを配布予定。横書きの400字詰め原稿用紙の購入が必要。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	htakei@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 英語Ｂ（看護英会話）　　授業コード：

英文科目名称： English B (Conversation for Nurses)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
木下　未果子　武井　博美/こども教育学部			
演習	LF100	養護教諭必修	
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	看護職の現場で必要となる実践的な英語の会話力、および医療関連の文献を読むための語彙力と読解力を向上させることを目的とする。医療看護分野で使われる英語の用語や会話文に慣れ親しむことを通して、多様なバックグラウンドをもつ患者や医療従事者とのコミュニケーション力を養っていく。 毎回小テストや課題を通して授業の復習を行う。予習としては辞書を活用して単語や文章の意味を調べ、会話文はくりかえし音読練習をする。自己学修として、e-learningを用いて、自分のレベルとペースに応じて基礎的な文法力やリスニング力の向上を図る。
履修目標	①語彙力を増やし、英語を用いてのコミュニケーション力と読解力を育てる。 ②テキストや補助教材を通して看護現場において必要な英語表現に親しむ。 ③英語の学習を通して文化や習慣の多様性を学び、看護の対象となる人の尊厳を守るため配慮して行動できるようになる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス/e-learningの説明と登録作業Pre-Unit B,C Meet Your Partner and Your Group 授業外事前学修課題：教科書全体に目を通す（30分）pp. 93-94のUnit 1のGlossaryの単語の予習と音読（60分） 授業外事後学修課題：Unit 1の既習箇所を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 2　Unit 1: Hospital Departments　診療科名と診療内容 授業外事前学修課題：Unit 1の未習箇所の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit 1を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 3　Unit 2 ：Application forms　問診表 授業外事前学修課題：Unit ２の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ２を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 4　Unit 3 ；Parts of the Body　体の部位 授業外事前学修課題：Unit ３の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ３を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 5　Unit 4 Illnesse　疾病名と症状 授業外事前学修課題：Unit ４の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ４を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 6　Units 1- 4　復習とまとめ 授業外事前学修課題：課題の英文を音読し要約する（45分）e-learningを進める（45分） 授業外事後学修課題：pp. 34-37のやり残した部分を完成させる（90分） 7　Unit 5 Daily Routine　入院生活の日課と約束事 授業外事前学修課題：Unit ５の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ５を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 8　Unit 6 Hospital Objects　診療器具と使用目的 授業外事前学修課題：Unit ６の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ６を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 9　Unit 7 Locations of Hospital Objects　診療器具の収納場所 授業外事前学修課題：Unit ７の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ７を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 10　Unit 8 Hospital Directions and Instructions　病院内の案内 授業外事前学修課題：Unit ８の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ８を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 11　Units 5 - 8　復習とまとめ 授業外事前学修課題：課題の英文を音読し要約する（45分）e-learningを進める（45分） 授業外事後学修課題：pp. 60-66やり残した部分を完成させる（90分） 12　Unit 9 Directions (Outside the Hospital)　病院までの道案内 授業外事前学修課題：Unit ９の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ９を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 13　Unit 10 Chatting with a Patient　　患者とのコミュニケーション 授業外事前学修課題：Unit 10の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit 10を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 14　Unit 11 Taking a Medical History　病歴 授業外事前学修課題：Unit 11の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：今学期の小テストを復習し総復習テストに備える。（90分） 15　Units 9 - 11 復習総復習テスト

	授業外事前学修課題：e-learningを進める（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントを利用してUnit 12を自習する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	アクティブラーニング（会話演習、プレゼンテーション）を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	小テスト、課題は翌週解説を行い、採点後の答案を返却する。期末総復習テストは試験終了後に解説を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験　　評価割合：80%　評価基準：小テスト、期末総復習テスト 評価方法：平常点評価　　評価割合：20%　評価基準：授業での積極的発言、授業外の自主学習への取り組み
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『Vital Signs［Revised Edition］：Essential English for Healthcare Professionals---ホスピタル・イングリッシュ［改訂版］」南雲堂 毎回英和辞典（紙媒体、電子辞書いずれも可）を持参すること。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問等は授業後随時受け付ける。メールにての質問も受け付ける。（mkinoshita@soei..ac.jp） （htakei@soei.ac.jp）
備考	毎回英和辞典（紙媒体、電子辞書いずれも可）を持参すること。 e-learningの課題をすべて学修することが単位認定の最低条件となる。

講義科目名称： 韓国語　　授業コード： 24L305

英文科目名称： Korean

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
韓　梨恵			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	専門的、汎用的知識・技能を総合的に活用し、個性を生かして自ら新たな課題を見いだし、 解決していく能力を有する人。
履修条件	
授業概要	「グローバル化」が進む現代社会において、隣接する地域・国家とのコミュニケーションを円滑にすることはますます重要視されている。日本と朝鮮半島との交流には長い歴史があり、経済・社会・文化といった多岐に渡る分野で関りを持ってきた。この授業の目的は、言語や会話の基本的な表現の修得をすると同時に、文化・社会事情も含めた多角的な知識を身に着けることによって、朝鮮半島をより深く理解できるようにすることにある。
履修目標	①ハングルの読み書きを修得する。 ②ハングルの発音法則を理解して活用できるようにする。 ③韓国語の基本手kな挨拶と自己紹介を修得する。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス　韓国語ってどんなことば？ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 初回ガイダンスの内容を理解するとともに、テキストを予習する（180時間） 2　あいさつはいつでもアンニョンハセヨ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） あいさつを復習する（90分） 3　母音を学ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 母音を復習する（90分） 4　子音を学ぼう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子音を復習する（90分） 5　子音を学ぼう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子音を復習する（90分） 6　合体する母音を学ぼう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 合成母音を復習する（90分） 7　合体する母音を学ぼう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 合成母音を復習する（90分） 8　濃音を学ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子音を復習する（90分） 9　激音を学ぼう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子音を復習する（90分） １０　パッチムを学ぼう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） パッチムを復習する（90分）

	１１　パッチムを学ぼう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） パッチムを復習する（90分） １２　文化に触れよう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習する（90分） １３　文化に触れよう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習する（90分） １４　映像から学ぼう① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習する（90分） １５　映像から学ぼう② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストを予習し、不明な単語を調べておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業は、ディスカッションやグループワークなどの、アクティブ・ラーニングを取り入れます。
課題のフィードバック方法と時期	毎週、前回の授業内容の理解度を図るための小テストを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：40 評価基準： 筆記試験：教科書及び配布資料に記された単語と構文の意味がわかれば70点 履修目標との対応：①②③ ※適宜追加してください 評価方法：平常点評価 評価割合：30 評価基準： 平常点評価：授業時にルーブリックを配布します 履修目標との対応：①②③ ※適宜追加してください 評価方法：その他 評価割合：30 評価基準： その他：小テスト（合計点数が満点の8割以上で60点） 履修目標との対応：①②③ ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	朴大王・李賛任『韓国語入門』白帝社、2014年
実務経験のある教員による授業	該当なし。
オフィスアワー・連絡先	kingyosou0305@gmail.com
備考	毎週実施する小テスト及び試験では、基本的な文字・文法・語彙の習熟度をはかる。そのための予習・復習併せて1時間以上の学習を要する。教材指定の音声を繰り返し聞きながら話して覚えることが期待される。

講義科目名称：　フランス語　　授業コード：　24L306

英文科目名称：　French

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
柴田　まり子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	英語と並び、国際機関等で重要な役割を果たしているフランス語の基礎を学ぶ。同時に、文学・建築・映画、シャンソン・バレエ・料理・ワイン・スイーツ等、独特の文化が魅力のフランスについて基礎的な知識と背景を学習する。英語圏文化とは一味違った西洋文化の根幹に触れ、学生の視野を広げる一助としたい。
履修目標	①フランス語の発音の仕組みを理解し、簡単な文章を音読できる。 ②初歩の文法事項を理解し、簡単な文であれば読んだり、書いたり、話したり、聞いたりすることができる。 ③日常会話に必要な簡単な表現を覚え、簡単な会話ができる。 ④簡単な自己紹介ができる。 ⑤フランス語圏の文化や習慣に興味を持ち、異文化を理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　Leçon 0：ガイダンス、フランスについてのクイズ／アルファベの読み方と簡単な挨拶 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 身の回りにあるフランス語を探してみる（３0分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） アルファベの音読や簡単な挨拶など、学習したことの復習と挨拶文を暗記する（120分） 2　綴じ字と発音のしくみ／発音の規則、数字1～10まで／文化：パリに行こう 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（６0分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる（120分） 3　Leçon １：名前と職業を言う／主語の代名詞、動詞être の活用形、国籍を表す語／文化：挨拶の仕方 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 4　Leçon ２：国籍を言う／疑問文の作り方、-er動詞、国籍を表す語／文化：フランスの学生生活 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 5　Leçon ３：「これは何ですか」、カフェで注文／名詞の性と数、定冠詞と不定冠詞／文化：フランスのカフェ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 6　Leçon ４：好き嫌いの表現と家族について語る／aimerの活用形と程度を表す表現、avoir動詞と否定形、数字11～30／文化：フランス人の生活感 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 7　Leçon ５：年齢をいう／形容詞の性と数、形容詞の位置、所有形容詞／文化：フランス人の祝日と週末 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 8　Leçon ６：食事に誘う／指示形容詞、人称代名詞強勢形、aller,venirの活用形、前置詞と定冠詞の縮約形／文化：パリ近郊への1日の旅 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 9　Leçon ７：予定をいう／疑問代名詞que、faireの活用形、近接未来／文化：クリスマスの表現 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 10　Leçon ８：モンサンミッシェルを訪れる／部分冠詞、命令文、感嘆文／文化：フランスの世界遺産 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 11　Leçon ９：天候を尋ねる／非人称構文、疑問形容詞quel／文化：フランスの地方都市 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 12　Leçon ９：時間を尋ねる、ショッピングをする／買い物の表現、服と靴のサイズ表記、数字40～100／文化：フランスのお店 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し課題を仕上げる、次回小テストの準備をする（120分） 13　映画の中のフランス、フランス語／文化：フランス映画 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学習する内容を見てくる（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を復習し、期末試験の準備をする（120分） 14　今まで学習したことの復習及び期末試験 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 期末試験の準備をする（120分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を振り返り、間違えた箇所を復習する（60分） 15　自己紹介のプレゼンテーション、レストランでの表現／文化：フランス料理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己紹介の文を作り、発表の準備をする（120分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学習した内容を振り返る（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業では学生発表やグループワーク、会話練習など、アクティブ・ラーニングを取り入れます。
課題のフィードバック方法と時期	テストや課題等はその場で解説し、翌週の授業の最初に返却します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：期末試験 評価割合：50% 評価基準：学習した内容が理解できていれば60/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④ 評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：学習した内容が理解できていれば60/100点 履修目標との対応：① ② ③ 評価方法：平常点評価 評価割合：30% 評価基準：課題を忘れずに、授業内発表や授業中に積極的に参加し、発言できれば80/100点 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『トライ！フランス語』藤田知子　他　著　駿河台出版社　ISBN 978-4-411-00825-1 C1085 1800円＋税
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	授業中、あるいは授業前後に質問してください。
備考	授業計画に沿って進めていきますが、皆さんの様子を見ながらペースは調整します。家で、教科書にあるフランス語の会話文をもう一度声に出して読んでみたり、音源を聞いてみましょう。授業以外にフランス語を学ぶ機会として、ぜひ、テレビやラジオのフランス語講座などを視聴してみてください。

講義科目名称： 人体の構造と機能Ⅲ　　授業コード： 24F103

英文科目名称： Structure and Function of the Human body Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
星野　敬吾			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、 計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	前期科目「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ」に続く後期科目「Ⅲ」では、主にヒトの動物機能について学ぶ。最初に随意運動を司る「運動器」を理解する。続いて、随意運動を制御する「神経系」を学修し、行動の発端となる脳の高次機能など、中枢神経系の働きにまで理解を深める。動物機能からは外れるが、植物機能に位置付けられる自律神経（内臓の制御）も学修対象とする。最後に、行動に影響を与える情報の収集を司る「感覚器」について理解する。
履修目標	①運動器と、神経系および感覚器の概要を説明できる。 ②体幹の骨格筋と、呼吸・腹圧・排便排尿などとの関連を説明できる。 ③中枢神経系について、脊髄伝導路や脳の高次機能などを説明できる。 ④末梢神経系について、特に自律神経の働きを説明できる。 ⑤感覚器は、特に視覚器に関して臨床的な事項を含めて説明できる。
授業計画・授業外学修課題	第1回　運動器１（骨学１：　体肢骨と骨学総論） 体肢骨（上肢骨および下肢骨）の概要を学び、各骨の重要な部位を解説する。 教科書p306-309／p320-323 骨学総論では、1,関節、2,骨髄機能、3,骨代謝、4,骨発生という4つのテーマを取り上げる。 教科書p283-292 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第2回　運動器２（骨学２：　体幹骨） 体幹骨は、1,脊柱および胸郭、2,骨盤、3,頭蓋という3つのテーマに分けて解説する。 教科書p296-300／p320-323／p332-336 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第3回　運動器３（筋１：　体幹の筋） 体幹の筋は、1,頭頸部の筋、2,胸部の筋、3,腹部の筋、4,骨盤底筋の4つのテーマに分けて解説する。 教科書p336-339／p300-306 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第4回　運動器４（筋２：　体肢の筋） 体肢の筋は、1,上肢の筋、2,下肢の筋の2つに大別して解説する。 教科書p310-320／p325-332 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第5回　運動器５（筋３：　筋組織および筋生理）

		最初に、筋組織が三種に分類されることを学ぶ。 教科書p48-49 続いて、筋収縮の生理学を学ぶ。 教科書339-348 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第6回	神経１（神経総論） 神経総論は、1,神経系の区分から始まり、2,神経組織、3,神経生理、4,高カリウム血症を解説する。 教科書p359-368 さらに、中枢神経総論として、髄膜・髄液を解説する。 教科書p380-382 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第7回	神経２（脊髄神経と脊髄） 脊髄神経としては、1,橈骨神経、2,正中神経、3,腓骨神経、4,坐骨神経、5,大腿神経を取り上げて解説する。 教科書p383-387 追加解説として、脊髄の下行性伝導路である錐体路を説明する。 教科書p392 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第8回	神経３（脳） 脳の解説は、4つのパーツごとに行う。 1,大脳、2,間脳、3,脳幹、4,小脳である。 教科書p371-380／p424-428 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第9回	神経４（脳死） 臓器移植法に関して、「脳死」を取り上げる。 1,死の三徴候、2,脳死判定基準の説明に始まり、3,意識障害の解説に至る。 脳死判定基準に含まれる脳波の解説に関連して、4,睡眠（レム睡眠とノンレム睡眠）にまでテーマを広げる。 教科書p421-431 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第10回	神経５（脳神経） 末梢神経の一つである脳神経を解説する。主に取り上げるのは、1,三叉神経、2,顔面神経、3,迷走神経、4,舌下神経である。 教科書p387-391 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第11回	神経６（自律神経） 自律神経については、1,経路、2,作用、3,神経伝達物質を解説して総論を学ぶ。 教科書p241-249 続いて、4,排便、5,排尿を制御する自律神経を解説する。

	教科書p83-84／p227-228 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第12回　感覚器１（視覚器） 眼球の基本構造を学んだのち、調節機能（1,光量調節、2,遠近調節、3,視線操作）を学ぶ。 さらに、視覚伝導路、対光反射、眼球付属機を学ぶ。 教科書p396-407 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第13回　感覚器２（聴覚平衡覚器、味覚器、嗅覚器） 聴覚平衡覚器（耳）の解説に始まり、味覚器・嗅覚器を学ぶ。 教科書408-415 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第14回　感覚器３（皮膚と一般感覚） 一般感覚の概念を説明し、皮膚の構造を学ぶ。 教科書p393-395／p435-439／p451-456 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第15回　予備日 予備日
アクティブラーニングを用いた授業方法	授業外学修（復習）において、国試問題の解答および解説を作成する際に、各自が自主的に小グループをつくって取りくむことを推奨する。これは教え合うだけでなく、意見が異なる状況で学生間の討論が行われることを期待するものである。（備考欄参照）
課題のフィードバック方法と時期	学生間の討論を経てそれでも残った疑問点については、メールなどで教員に質問してもらいたい。可能な限り回答する予定である。（備考欄参照）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：90% 評価基準：講義資料として配布した国試問題集で、正解選択肢を選べれば50%評価。さらに正解,不正解の理由を説明できれば80%の評価。さらに国試で使用される解剖生理学用語について、教科書図などで指し示せれば90%の評価。 履修目標との対応：全てに対応 評価方法：リアクションペーパー（受講態度を含む） 評価割合：10% 評価基準：適切に受講し、講義内容を記入できれば60%の評価。 履修目標との対応：全てに対応
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	坂井建雄・岡田隆夫 「系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能①」医学書院　第11版
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護大学・看護専門学校・医学部での教員経験を有しており、その経験を活かして講義を行う。
オフィスアワー・連絡先	hoshino@marianna-u.ac.jp
備考	配布する国試問題集を自力で解けるようになりましょう。不明な点は学生間での討論により解決してください。討論の際の根拠には書籍（教科書・その他）の使用を推奨します。（講義資料は根拠として不十分です。）学生間での討論を経て不明点が残った場合は、教員に質問してください。可能な限り対応します。

講義科目名称： 病理学　　授業コード： 24F106

英文科目名称： Pathology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	２単位	必修
担当教員			
柳川　容子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.　看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	講義前半は疾病（病気）による形態の異常、代謝異常、機能障害、先天異常、腫瘍がどのようなメカニズムで発生するかを学ぶ。講義後半は各臓器（循環器 系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、内分泌系、脳・神経系など）における代表的な疾病について、原因、発生の仕組み、進展、転帰を中心に学習する。
履修目標	①科学的根拠に基づいた看護を実践するために病理学の基礎知識を学び、これを理解する。 ②正常な細胞や組織、臓器の形態や働きを系統的に学び、これを理解する。 ③ここの疾病を細胞や組織別の変化として正しく捉え、これを理解する。 ④個々の疾病の原因、発生の仕組み、進展、転帰をを学び、これを理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　細胞損傷と適応、炎症 授業外事前学修課題：テキストP4-32を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 2　代謝障害（脂質、タンパク質、糖、その他） 授業外事前学修課題：テキストP72-102を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 3　感染症の病理 授業外事前学修課題：テキストP56-70を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 4　免疫と免疫異常 授業外事前学修課題：テキストP34-54を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 5　先天異常と遺伝子異常、病理診断検査 授業外事前学修課題：テキストP116-134、P326-334を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 6　腫瘍 授業外事前学修課題：テキストP136-166を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 7　循環器系、造血器系、リンパ系の疾患 授業外事前学修課題：テキストP180-208を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 8　呼吸器系（気管、気管支、肺、胸膜）の疾患

		授業外事前学修課題：テキストP210-232を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	9	消化器系（口腔、食道、胃、腸管） 授業外事前学修課題：テキストP234-249を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	10	消化器系（肝臓、胆管、膵臓）の疾患 授業外事前学修課題：テキストP249-260を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	11	腎臓、泌尿器、生殖器、乳腺の疾患 授業外事前学修課題：テキストP262-282を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	12	内分泌系、関節、筋肉の疾患 授業外事前学修課題：テキストP284-294、P312-316を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	13	脳、神経系、骨の疾患 授業外事前学修課題：テキストP296-316を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	14	眼、耳、皮膚の疾患 授業外事前学修課題：テキストP318-324を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	15	1～14回のまとめ、看護師国家試験過去問 授業外事前学修課題：1回～14回の講義で理解しにくい項目をリストアップする（90分） 授業外事後学修課題：講義資料、テキスト、確認テストを見直す。看護師国家試験過去問を解く（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし	
課題のフィードバック方法と時期	講義開始時に前回の復習試験を10分間で実施します。その後、解答を示し簡単な解説をします。この試験は評価に含みます。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、復習試験 評価割合：筆記試験80%、復習試験20% 評価基準：筆記試験と復習試験をあわせて60点を合格とする。	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト　系統看護学講座　病理学第6版　大橋健一、医学書院、ISBN978-4-260-04203-1 参考書　ステップアップ病理学ノート　第2版　江口　正信、サイオ出版、ISBN9784-86749-0198	
実務経験のある教員による授業	該当。担当教員が自らの研究と教育を通して得た微生物学の知識を、わかりやすい講義内容に構成して説明を行います。学生は事前に教科書を読む予習 をおこない講義を受けることを前提にします。講義後はその日のうちに復習をして、理解できたことと理解できなかったことをノートにまとめます。これを実践 することで講義への理解が深まり、また理解できなかった事柄がわかってきます。	
オフィスアワー・連絡先	質問は講義終了後に講義室で直接受けます。簡単な質問は出席カードの余白でも受け付けます。メールでの質問や欠席の連絡はメールで随時受け付 ます（yyanagawa@soei.ac.jp）。	
備考	遅刻は講義開始20分までとし、出席カードに学生自身が申告して記入すること。なお、電車の遅延によるものは証明書を提出すること。 早退は原則認めない。但し、体調不良による早退は教員が状況を見てから判断する。 欠席が事前にわかっている場合は、柳川宛にメールで連絡をすること。欠席した際の講義資料等は翌週の講義	

	開始直前に柳川から直接受け取ること。 講義資料、復習試験、出席カードは講義開始直前、前方に設置するので各自が取りに来ること。なお、欠席者の資料を代理で受け取ることは禁止とする。 出欠席は出席カードを配布しておこなう。 受講上の注意：飲食、スマートフォンの使用、写真撮影、録音は原則禁止とする（事情がある場合は柳川まで申し出ること）。講義中は帽子やフードの使用は認めない。

講義科目名称： 精神保健論　　授業コード： 24F108

英文科目名称： Mental Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
瀧村　剛			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	この授業では精神疾患に関する知識を伝え、患者の心情を想像したり精神疾患をめぐる諸問題に思いをはせる機会を提供します。将来看護師として臨床の場で適切な看護をしたり、チーム医療や地域社会の中で看護を発展させる際に有用な一ピースとなるでしょう。
履修条件	
授業概要	代表的な精神疾患について学び、基礎的な知識を得ます。医療の場で働く以上は診療科を問わず精神疾患の知識は必要です。地域社会で看護師・保健師として活躍することを考えいればなおさら必要です。 また、医療者は患者の心情を理解することが必要です。これは学部生の段階でできることではないでしょうが、そのように努める態度を養います。 医療の現場では精神疾患をめぐり、患者の権利をいかに擁護するか、強制的な治療はどこまで許されるのか、疾患や患者への偏見をどう克服するかといったさまざまなトピックがあります。また、地域社会や職域といった社会全体でも精神疾患をめぐるさまざまなとピックがあります。このような話題に関心を持ち、自分なりに考えると同時に自分と異なる考えがあることも理解します。また、そのような多様な場で精神看護にたずさわる者がどのような貢献ができるのかについても学びます。 医療者として働くと、ときに悩んだり困難な状況に直面したりします。自身のメンタルケアを実践する方法についても考えます。
履修目標	①代表的な精神疾患について知識を得る ②精神疾患を持つ者の心情を想像しようと努める態度を獲得する ③精神疾患をめぐる医療や社会における諸問題を知り、自分なりに考えることができるようになる ④精神看護が求められる場をイメージできるようになる ⑤医療者として自身のメンタルケアもできるようになる
授業計画・授業外学修課題	1　気分障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　気分障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　神経症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　神経症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　統合失調症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　統合失調症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　発達障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　発達障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　依存症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　依存症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　精神疾患総論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　精神疾患総論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　まとめと復習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　まとめと復習

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　精神疾患をもつということ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークやディカッションを行うことがある。
課題のフィードバック方法と時期	提出された課題は次の授業でフィードバックをします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100% 評価基準：授業中に示す必修項目を習得できていれば60点 履修目標との対応：①～④ ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	図解でわかる　対人援助職のための精神疾患とケア 中央法規 植田俊幸、田村綾子＝著 Ｂ５変 ISBN　978-4-8058-8737-0 発行日　2022年7月10日 価格 2,420円（税込）
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	授業中、授業後の積極的な質問を歓迎します。皆さんの精神疾患の知識はゼロであることを前提に授業をしますので、安心して質問してください。 授業をきっかけとしてのさらなる学習を期待します。そのための教材を提示します。 授業計画はゲストスピーカーの都合等により変更になることがあります。 寒がりな人は暖かい恰好やひざ掛けマフラー等をご用意ください。教室の暖房が強いと皆眠くなるので若干弱めにします。

講義科目名称： 公衆衛生学　　授業コード： 24F301

英文科目名称： Public Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
大久保　茂子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ５．地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	人々の健康の保持・増進を目的に地域や職場、環境分野等で組織的に進められている公衆衛生活動の現状と課題、公衆衛生活動の基盤になっている基本的概念について学ぶ。また、健康に影響を及ぼす多くの環境因子や地域・国・国際的な保健活動の組織的取り組みについて学修することで医療人としての広い視野を身につけることを目的とする。
履修目標	①予防医学、環境医学、社会医学を要素とする公衆衛生学の意義を説明できる。 ②産業保健の目的、意義、位置づけについて説明できる。 ③学校保健安全法及び学校保健統計および母子保健法及び母子保健統計の現状を踏まえて説明できる。 ④精神保健福祉、難病対策の意義と、わが国における仕組みと現状について、その概要を説明できる。 ⑤感染症の現状と大気環境と健康への影響を説明できる。 ⑥成人・高齢者における健康問題とそれに対する施策について説明できる。 ⑦衛生統計の種類と意義を述べ、主要なものについてわが国の現状と国際比較を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　公衆衛生学概論 対面講義。Google classroomでの小テスト。 公衆衛生学序論、健康の定義、公衆衛生の歴史、プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーションについて学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 2　疫学概論 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 疫学の概論、疾病頻度の指標について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 3　地域保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 地域保健法、保健所・保健センターの役割、医療サービスについて学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 4　産業保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 職業性疾病、産業保健の意義、労働衛生の三管理について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 5　第1～4回のまとめ Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 第1～4回のまとめを実施する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 6　母子保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。

		母子保健統計、母子保健法、健やか親子21、母体保護について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	7	学校保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 学校保健行政、学校保健安全法、健康診断、学校感染症について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	8	精神保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 精神保健福祉法、心身喪失者等医療観察法について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	9	感染症とその予防対策 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 感染症の成立要因、流行、予防の基本について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	10	第6～9回のまとめ Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 第6～9回のまとめを実施する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	11	環境保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 環境と健康、生活とのつながり、地球規模の環境問題とその対策、身の回りの環境と健康について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	12	成人保健・高齢者保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 疾病予防の具体的な対策例、健康日本21の基本方針、がん対策基本法の基本的施策、認知症施策について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	13	災害保健・国際保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 災害時の保健師の活動、国際保健活動について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	14	第11～13回のまとめ Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 第11～13回のまとめを実施する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	15	第1～14回の総まとめ 対面講義。Google classroomでの小テスト。 これまでの全講義の内容の総まとめを実施する。 これまでの講義資料を持参すること。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）

アクティブラーニングを用いた授業方法	特になし
課題のフィードバック方法と時期	講義後の小テストに関する質疑応答に関する回答やフィードバックについては、次のまとめの授業時に行います
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：講義後の小テスト 評価割合：30% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①-⑦ 評価方法：筆記試験 評価割合：70% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①-⑦
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	系統看護学講座 専門基礎分野　健康支援と社会保障制度[2]公衆衛生第15版　神馬征峰ら　医学書院　2024年 978-4-260-05312-9
実務経験のある教員による授業	担当教員は疫学・公衆衛生学の研究者であり、実際の保健・医療現場での活用を基に実践的な指導を行う。
オフィスアワー・連絡先	質問は講義終了直後に直接担当教員に行うこと。もしくはリフレクションペーパーに質問内容を記載する。 メールでの質問も受け付ける。 arita@med.showa-u.ac.jp
備考	本科目は対面講義とオンデマンド講義(Google classroom)のハイブリッドで実施いたします。 第1回の講義日までに、事務課より提示されたGoogle classroomに必ず入室しておくこと。 欠席などの扱いについて 全ての講義でGoogle classroom上で提示される小テストを、期限内に解答することで出席とみなします。 期限に遅れての提出・未提出は欠席となりますので十分注意してください。 講義形式 第1回、第15回講義：対面（学内講義室で実施） 第2回～第14回講義：Google classroomにてオンデマンド講義 第1回の講義(対面)で本科目の形式について詳細な説明をします。必ず出席すること。

講義科目名称： 保健医療福祉行政論Ⅰ　　授業コード： 24F305

英文科目名称： Health and Welfare AdministrationⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護をはてんさせることができる。
履修条件	特になし
授業概要	生存権に基づく社会保障の理念および体系、保健医療福祉行政の基本及び行政・財政の仕組みについての基本的なこと、保健医療福祉における各分野の制度の仕組みと機能・対策の実際や動向について理解する。看護職として、生活者の健康な生活維持に関する諸法律と制度の関係についても学ぶ。
履修目標	①社会保障の理念及び体系について説明できる。 ②保健医療福祉行政の基本、理念と目標について理解し，説明できる。 ③保健医療福祉における各分野の制度の仕組みと機能、対策、保健活動の実際や動向について説明できる。 ④住民の健康な生活を支え，健康な地域づくりをすすめるための制度と活用方法を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　社会保障制度 1.社会保障の概念・目的・機能・体系，　社会保障の内容，社会保障給付費等 2.現代社会と社会保障・社会福祉の動向 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 2　社会福祉と公的扶助 1.社会福祉の法制度：社会福祉制度の歴史的展開，社会福祉サービス内容と提供のしくみ，社会福祉法、民生委員法　等 2.公的扶助：貧困・低所得問題と公的扶助制度，生活保護制度、低所得者対策，近年の動向 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 3　医療供給体制，社会保険制度，医療保険制度 1.医療提供体制：医療法、医療計画，各医療の対策の動向 2.社会保険制度：社会保険とは、社会保険の5分野、国民皆保険， 3.医療保険制度：医療保険制度とは，医療保険制度のあゆみ，医療保険制度の概要と現状，診療報酬，公費医療，国民医療費 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 4　介護保険制度，年金制度等 1.介護保険制度等：介護保険制度の趣旨，介護保険制度改正の経緯，介護保険制度の概要.医療介護総合福祉法 2.年金制度・社会手当 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 5　看護職に関する法と医療や社会福祉に関連職にj関する法 1.看護職に関する法：保健師助産師看護師法 、看護師等の人材確保の促進に関する法律：目的、基本方針，ナースセンター 2..医療や社会福祉の関連職に関する法 医師法，歯科医師法，薬剤師法，診療放射線技師法，臨床検査技師等に関する法律、理学療法士及び作業療法士法，言語聴覚士法、視能訓練士法，社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法、栄養士法，歯科衛生士法，救急救命士法 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 6　1..母子保健対策① 母子保健対策のあゆみ，児童福祉法，母子保健法，健やか親子21（第２次） 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 7　母子保健対策② 児童虐待防止法、母体保護法，母子及び父子並びに寡婦福祉法、次世代育成支援、少子化対策

	授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 8　生活習慣病と健康増進対策及び老人保健対策 1.生活習慣病と健康増進対策：健康増進対策のあゆみ，生活習慣病の概念・現状，地域保健法、健康増進法，健康日本21、高齢者医療確保法 2.老年保健施策：老年保健施策のあゆみ，認知症対策のあゆみ、老人福祉法，高齢者虐待防止法 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 9　難病対策及びがん対策 1. 難病対策：難病対策のあゆみ、難病法　等 2.がん対策：がん対策基本法成立までのあゆみ，がん対策基本法　等 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 10　感染症対策 感染症法対策のあゆみ、感染症法による対策，主な感染症等の動向と対策（結核等），予防接種の意義，予防接種法による対策，予防接種の健康被害対策 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 11　障害者（児）に関する制度 障害者(児)対策のあゆみ，障害者基本法，障害者総合支援法，身体障害者福祉法，知的障害者福祉法，障害者雇用促進法，障害者差別解消法、障害者虐待防止法　等 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 12　精神保健対策 精神保健対策のあゆみ，精神障害者の現状，入院制度，精神通院医療，精神保健福祉法，発達障害者支援， アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法、DV防止法 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 13　学校保健 学校保健行政の動向，教育基本法、学校保健安全法，学校保健の現状　等 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 14　労働衛生 労働衛生行政のあゆみ，労働基準法、労働安全衛生法、男女雇用機会均等法，育児介護休業法，労働災害補償保険法、雇用保険法 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 15　授業のまとめ 1～14回の学習内容・知識確認テストの振り返り等　　※教科書・第1回～第14回の授業資料を必ず持参すること。 授業外事前学修課題：1～14回めの授業資料及び知識確認テストを読み、わからないところを明らかにする。 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回、授業後、知識確認テストを行い、学生が解答を説明する。
課題のフィードバック方法と時期	学生の解答時に、その解答についての修正・追加説明等を行います。 毎回の授業時にグーグルフォームで学んだことや質問等を確認し、授業後または次回の授業時にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：最終試験.授業で学んだことを理解でき、6割の点数がとれていれば 履修目標との対応：①○、②○、③○、④○、 評価方法：課題レポート 評価割合：20% 評価基準：課題について指示された内容、指示された書式での作成ができれば60点 履修目標との対応：③○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	厚生の指標　増刊　国民衛生の動向2024/2025　厚生労働統計協会，2024

実務経験のある教員による授業	保健師、訪問看護師、病棟師長、退院調整看護師等の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口智美：tyamaguchi@soei.ac.jp　時間は初回授業時に伝えます。 久保木紀子：nkuboki@soei.ac.jp　　時間は初回授業時に伝えます。
備考	事前・事後の学習をしっかりと行うこと 試験の出題範囲は授業中に説明しますので、しっかりとまとめること 30分以上の遅刻は欠席扱いとする。 私語は禁止、離席する場合は教員に報告の上、離席すること 課題は〆切日時までに必ず提出すること 授業資料はポートフォーリオとして整理すること

講義科目名称： ケア場面展開論　　授業コード： 24G104

英文科目名称： Thinking and Acting Like a Caring Nurse

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
本多　和子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	看護学原論、対象論、看護学援助論を履修していること。
授業概要	看護場面における経験の意味の再構築を通して、人と人とが相互的に関わり合う複雑な看護現象のその時その場の省察的思考や倫理的判断の基礎を学ぶ。また、対象者の意思を尊重した倫理観に基づくコミュニケーションや自己の在り方を考え、ケアリングの礎を培う。
履修目標	①ケアにおける倫理的判断の重要性を述べることができる ②人間を全人的に理解することの意味を述べることができる ③ケア場面におけるその時その場の現象を明らかにする意味を述べることができる ④ケアリング関係を形成するコミュニケーションについて説明することができる ⑤臨床判断プロセスを説明することができる ⑥クリティカルシンキングに必要な意識と思考について述べることができる ⑦ケア実践の中の省察の体験を述べることができる
授業計画・授業外学修課題	1　科目ガイダンス臨床判断能力とは ケア場面で看護師のように考えるとは ・臨床判断のプロセス 授業外事前学修課題：看護学原論の「看護の対象とその理解」「看護における倫理と価値」を読む（90分） 授業外事後学修課題：事例検討による気づきと学びをまとめる（90分） 2　ケアの場面における臨床判断Ⅰ 臨床判断のプロセス クリティカルシンキング 授業外事前学修課題：指示された資料を読む（90分） 授業外事後学修課題：講義の中の気づきと学びをまとめる（90分） 3　ケア場面における臨床判断Ⅱ 【解釈（推論パターン）】 ・分析プロセス（仮説-演繹的思考） ・直観（主にパターンの認識） ・ナラティブ思考 授業外事前学修課題：指示された資料を読む（90分） 授業外事後学修課題：講義の中の気づきと学びをまとめる（90分） 4　ケアの場面で起きていることへの気づきトレーニング1 ケア場面の事例から、対象に起きていることの気づきを話し合う。 授業外事前学修課題：指示された資料を読む（90分） 授業外事後学修課題：講義の中の気づきと学びをまとめる（90分） 5　ケアの場面で起きていることへの気づきトレーニング2 ・病いと疾患（当事者の視点と医療者の視点） 【実習室での体験】 授業外事前学修課題：グループワークでの話し合いの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：グループワークをとおして気づいたことや学んだことを整理し、まとめる（90分） 6　ケアの場面で起きていることへの気づきトレーニング3 ・病いと疾患（当事者の視点と医療者の視点） 【実習室でのグループワーク】 授業外事前学修課題：グループワークでの話し合いの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：グループワークをとおして気づいたことや学んだことを整理し、まとめる（90分） 7　ケアの場面で起きていることへの気づきトレーニング4 ケア場面で何が起きているのかⅡ／ グループで討議した結果を発表する。

	授業外事前学修課題：グループワークで発表の準備をする（90分） 授業外事後学修課題：グループワークや全体発表の中で気づいたことや学んだことを整理し、まとめる（90分） 8 まとめ ケア実践における行為の中の省察について 授業外事前学修課題：レポート作成の準備をする。（90分） 授業外事後学修課題：講義やグループワークの中で気づいたことや学んだことを整理し、まとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	授業内でコメントや説明を加えます。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：事後学習課題・評価割合：30％・評価基準：気づきと学びの記述があれば60%、気づきと学びから課題の意図に対する記述があれば80% 評価方法：レポート・評価割合：50%・評価基準：体験したことが述べられていれば60%、体験からの学びが具体的に述べられていれば80%　講義内でルーブリック評価を配布し説明する 評価方法：プレゼンテーション・評価割合：20％・評価方法：気づきと学びが発表できれば60％、体験からの学びが具体的にわかりやすく発表できれば80%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト: 本江朝美編、看護学生のための臨地実習ナビ、照林社 参考文献: 授業時に随時紹介する
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の臨床経験を有しており、授業では事例をとおして生きた実践の知を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別途連絡します。 連絡先：khonda@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお遅刻・早退・中座などの不在は3回で欠席1回分とします。但し30分以上不在下場合は欠席とします。 実習室での体験の回では、ユニフォームおよびナースシューズを着用し、身だしなみを整えて参加してください。

講義科目名称： 看護援助技術論Ⅰ　　授業コード： 24G105

英文科目名称： Nursing skills Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
杉山　洋介/看護学部　鈴木　恵/看護学部　本多　和子/看護学部　新任/看護学部　大久保　昭宏/看護学部　荒武　喜子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1.　看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 3.　看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし計画的に看護を実践することができる。
履修条件	「看護学原論」「対象論」「看護学援助論」を履修していること
授業概要	対象の援助の必要性に応じて、安全な環境を守る・動く・眠る・食べる・排泄する・清潔にするといった生活行為への援助技術を安全・安楽・自立・個 別性の原理原則に基づき実施し、技術の習熟を図る。また、看護者役と患者役が双方向的に関わる体験を通して、対象と協働でケアすることを学ぶ。
履修目標	①生活行為への援助技術を安全安楽・自立・個別性の原理原則に基づき実施することができる。 ②対象の必要に応じた援助方法とその根拠を説明することができる。 ③自己の看護技術を振り返り、課題を述べることができる。 ④ケアする看護者としての倫理的態度や身だしなみ、マナーを身に付ける。
授業計画・授業外学修課題	1　基本となる看護技術1 科目ガイダンス 演習室利用ガイダンス 基本となる看護技術1 ・衛生学的手洗い 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業概要をシラバスで確認し疑問点をまとめる(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習室ガイダンスの復習、演習記録「学習を始めるにあたって」をまとめる(30分) 2　基本となる看護技術2 基本となる看護技術2 ・スタンダードプリコーション ・医療廃棄物の取り扱い 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分) 3　基本となる看護技術3 基本となる看護技術3 ・ボディメカニクス ・ベッドメーキング 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分) 4　環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにすることへの援助 環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにすることへの援助 ・臥床患者のシーツ交換 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分) 5　眠る・休息することへの援助 眠る・休息することへの援助 ・体位変換 ・患者のベッド上での移動 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分)

		授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	6	動くことへの援助 動くことへの援助 ・ストレッチャーへの移乗と移送 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	7	衣服を着る・脱ぐことへの援助 衣服を着る・脱ぐことへの援助 ・寝衣交換/臥床患者の寝衣交換 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	8	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助1 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助1 ・部分浴/臥床患者、椅子に座っている患者への足浴 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	9	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助2 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助2 ・部分洗浄/臥床患者の洗髪 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	10	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助3 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助3 ・整容/臥床患者の身だしなみを整える(整髪含む) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	11	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助4 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助4 ・清拭/臥床患者の全身清拭 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	12	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助5 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助5 ・全身清拭と寝衣交換 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	13	排泄することへの援助 排泄することへの援助 ・排泄の介助/臥床患者の床上排泄の援助(便器、尿器) ・陰部洗浄 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分)

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分) 14　技術確認 学んだ技術の総復習 技術習得状況の確認 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 技術確認に向けての知識、技術の確認(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自己課題に応じた技術の練習(30分) 15　まとめ 技術習得状況の確認、課題の明確化 技術試験オリエンテーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己課題に応じた技術練習(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習記録に従ってこの科目への取り組みを自己評価し課題を明確化する(30分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	既学習内容や事前学習をもとに、より良い援助技術についてグループワークで討議を行ながら毎週の演習を進めていきます。
課題のフィードバック方法と時期	授業中の課題及びレポートに関するフィードバックは授業内で行います。実技試験へのフィードバックは結果発表とともに行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実技試験 評価割合：50% 評価基準：対象に合わせた援助を原理原則に基づいて実施できているか 履修目標との対応：①④ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：援助技術の実践、患者体験を通して学んだ対象に合わせた援助やその根拠、自己課題について記述できるか（授業内でルーブリックを配布します） 履修目標との対応：②③ 評価方法：演習記録 評価割合：20% 評価基準：援助に必要な知識、準備を行っているか、援助実施や患者体験を通しての学びが整理されているか 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	【テキスト】 系統看護学講座 基礎看護学技術I 基礎看護学2 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学技術II 基礎看護学3 医学書院 Nursing Skills ELSEVIER 【参考資料】 本江朝美ほか:看護学生のための臨地実習ナビ、照林社 その他は授業内で紹介します。 【必要物品】 ユニフォーム一式、清潔なトレーニングウェア、無地半袖Tシャツ、スパッツ(8～10分丈)、バスタオル、フェイスタオル（毎回の必要物品については授業内で指示します） 看護学援助論で作成した事前事後学習
実務経験のある教員による授業	看護師経験を有する教員が担当します。
オフィスアワー・連絡先	e-mail: ysugiyama@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。 前期科目の復習、事前学習をしっかり行って授業に参加してください。 基礎看護演習室は、病院と同等の扱いとします。また基礎看護学演習室利用ガイドを熟読し遵守してください。

講義科目名称： 看護過程展開論Ⅰ　　授業コード： 24G107

英文科目名称： Nursing Process Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
大久保　昭宏/看護学部　荒武　喜子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	看護学原論、対象論、看護学援助論を履修していること
授業概要	生活行為と心身のメカニズムとの関連を理解し、自然治癒力や生活行為の自立、ニーズの充足等の看護の視点から、疾病や障害を抱える対象者に対するヘルスアセスメントの考え方の基礎を学ぶ。
履修目標	①6つの生活行動「活動」「休息」「食事」「排泄」「身じたく」「コミュニケーション」の生活行動情報の着眼点について説明できる。 ②生活行動が、他の生活行動に与える影響や関係について説明できる。 ③ヘルスアセスメントを展開する上での前提となる生活行動と、心身のメカニズムとの関連が説明できる。 ④看護の対象者を身体的・心理的・社会的存在として、統合的にとらえるためのポイントが説明できる。 ⑤対象者の自然治癒力や生活行動の自立、ニーズの充足状態に合わせたヘルスアセスメントを行うための知識が記述できる。 ⑥疾病や障害を抱える対象者に対して、看護の視点を踏まえたヘルスアセスメントを実施するための方法が記述できる。
授業計画・授業外学修課題	1　科目オリエンテーション ヘルスアセスメントの概念、生活者としての視点を重視したヘルスアセスメント、ヘルスアセスメントの基本技術、6つの生活行動について、ヘルスアセスメントと生活行動との統合 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト①の第4章ヘルスアセスメントのAヘルスアセスメントとは、B健康歴とセルフケア能力のアセスメント、C全体の概観の頁を熟読してくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する（90分） 2　飲食することのアセスメント 食事における生活行動情報の着眼点、消化器系のアセスメントの進め方、摂食嚥下障害をもつ方のアセスメントに焦点をあてた事例の解説、摂食嚥下障害をもつ方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト③の「栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護」の頁を熟読してくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する（90分） 3　排泄することのアセスメント 排泄における生活行動情報の着眼点、排便・排尿機能のアセスメントの進め方、検体検査・生理機能検査データの読み方、排尿障害や排便障害をもつ方のアセスメントに焦点をあてた事例の解説、排尿障害や排便障害をもつ方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト③の「排泄に関連する症状を示す対象者への看護」の頁を熟読してくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する（90分） 4　意思を伝達し、思いを表現することのアセスメント コミュニケーションにおける生活行動の着眼点、感覚器のアセスメントの進め方、認知症の方のコミュニケーションのアセスメントとコミュニケーション方法に焦点をあてた事例の解説、認知症の方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト③の「認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護」の頁を熟読してくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する（90分） 5　バイタルサインの観察とアセスメント バイタルサインの観察とアセスメントについて学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（45分） テキスト①の「バイタルサインの観察とアセスメント」の頁を熟読してくる（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	講義資料を振り返り、学びを整理する（90分） 6　呼吸することのアセスメント１ 循環器系のアセスメントの進め方、循環機能の検査データの読み方、循環器疾患が呼吸機能・腎機能に影響をもたらす事例の解説、循環器疾患をもつ方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討（授業後に、googleフォームで第5,6回の授業内容、予習内容に関する小テストを配信する） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（45分） テキスト③の「循環に関連する症状を示す対象者への看護」の頁を熟読してくる（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する（90分） 7　呼吸することのアセスメント２ 呼吸器系のアセスメントの進め方、呼吸器疾患の検査データの読み方、呼吸器疾患をもつ方のアセスメントに焦点をあてた事例の解説、呼吸器疾患をもつ方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（45分） テキスト③の「呼吸に関連する症状を示す対象者への看護」の頁を熟読してくる（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する（90分） 8　動くこと、眠る・休息することのアセスメント 運動機能のアセスメントの進め方、脳血管疾患による運動機能障害の症状と病態の関連についての解説、身じたく・活動と休息における生活行動情報の着眼点、、転倒・転落のリスクの高い方、睡眠障害のある方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（45分） テキスト③の「活動や休息に関連する症状を示す対象者への看護」の頁を熟読してくる（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	google Classroomを活用し、双方向の情報提供を行う。 模型を活用して説明を行い、学生自身の身体を、学生自身で計測しながら授業を行う。 各回において、疾病に障害された方の体験世界を理解するための討議を行う。 各回において、疾病に障害された方の生活のヘルスアセスメントの視点について、討議を行う。 各回において、疾病に障害された方の生活をよりよくしていくための方法について検討する。
課題のフィードバック方法と時期	課題は、google Classroomで提出する。課題のフィードバックは、google Classroomと、次の授業時に行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：10% 評価基準：小テストの平均点が6割で60点 履修目標との対応：③④⑤⑥ 評価方法：事前課題 評価割合：10% 評価基準：ルーブリックを配布する 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：ヘルスアセスメントの重要語句がわかり、記載できたら60点 履修目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	①系統看護学講座 基礎看護学[2]基礎看護学技術Ⅰ 基礎看護学2　医学書院 ②系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護学技術Ⅱ 基礎看護学3　医学書院 ③看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント　メディックメディア
実務経験のある教員による授業	担当教員は急性期病院に勤務し、認知症看護認定看護師、呼吸療法認定士として、病棟における看護実践と、困難事例に対する相談対応を行ってきました。そこでの事例を用いながら、実務経験を生かした講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	質問時は、メール連絡をして下さい。 連絡先は、aokubo@soei.ac.jp（大久保）　yaratake@soei.ac.jp（荒武）です。
備考	・30分以内の遅刻3回で1回の欠席とみなします。30分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・解剖・生理学の基礎知識がベースとなるため、解剖・生理学の既習内容を復習し理解した上で講義に臨んでください。

講義科目名称： 基礎看護学実習Ⅰ　　授業コード： 24G109

英文科目名称： Fundamentals of Nursing Ⅰ：Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
本多　和子/看護学部　大久保　昭宏/看護学部　小川　明佳/看護学部　杉山　洋介/看護学部　荒武　喜子/看護学部　鈴木　恵/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	看護学原論・対象論・看護学援助論を履修していること。
授業概要	様々な場で生活する人々へのインタビューや、医療現場で療養する疾患や障害をもつ人々とのコミュニケーションの体験を通して、あらゆる健康レベルにある人々の健康意識や健康課題を知り、その多様性や個別性を知る。また、それらの人々の健康課題が生活や環境とどのように関連しあっているかを考察し、看護の対象を包括的に捉える機会とする。
履修目標	①様々な場のあらゆる健康レベルにある人々と関わり、人間関係を築くためのコミュニケーション能力の基礎を養う。 ②様々な場のあらゆる健康レベルにある人々の多様で個別的な健康意識や健康課題を知ることを通して、身体的・精神的・社会的に統合された存在としての人間を理解する。 ③様々な場のあらゆる健康レベルにある人々の健康課題が、その人の生活や環境とどのように関連しているかを理解し、看護の対象を多角的かつ深く洞察することができる。 ④看護学生として責任ある行動と態度を養う。
授業計画・授業外学修課題	7月の基礎看護学実習Ⅰのオリエンテーションで配布される実習要項を参照すること。 （実習期間は9月と12月の中で5日間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	フィールドワーク、実習、グループワーク
課題のフィードバック方法と時期	実習記録、実習態度については実習期間中にフィードバックを行う。レポートについては、実習まとめの際に発表、討議を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	ルーブリックを配布する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	・看護学原論、対象論、看護学援助論、ケア場面展開論、看護援助技術論Ⅰで使用したテキスト及び授業資料 参考図書：本江朝美：看護学生のための臨地実習ナビ、照林社 その他、DVD教材（本江朝美監修：患者さんと心がつながる看護学生の臨地実習ナビゲーション、株式会社アローウィン、2015）、ほか参考文献は適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての経験を有しており、その経験を生かして実習指導を行う。
オフィスアワー・連絡先	別途連絡する。
備考	・事前のオリエンテーション（総論オリエンテーション、基礎看護学実習Ⅰ）に参加し、実習要綱（共通）および基礎看護学実習Ⅰ要項の内容を理解した上で実習に臨むこと。 ・事前学習を十分行い、積極的に実習に臨むこと。 ・適宜、連絡・相談・報告を行うこと。 ・健康管理に十分留意し、予防注射を所定の時期までに必ず済ませておくこと。

講義科目名称： 地域・在宅看護論　　授業コード： 24G151

英文科目名称： Introduction to Community/home care Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
山口　智美/看護学部　近藤　仁美/看護学部　村上　亜紀/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り，考えて行動することができる。 臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	
授業概要	看護の対象は地域社会で生活する人々であり、人々の健康は生活する地域の環境より影響を受ける。地域における健康の社会的決定要因、健康課題解決のための資源を理解し、地域で生活する人々のQOL向上を目的とした看護のあり方を学ぶ。また地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉チームとの連携と地域で活動する看護職の役割について学ぶ。
履修目標	①人々の暮らし及び地域・在宅看護の役割について理解できる。 ②暮らしの基盤としての地域、地域包括ケァシステムと地域共生社会について理解できる。 ③地域・在宅看護の対象と対象への看護について理解できる。 ④地域における暮らしを支える看護について理解できる。 ⑤地域・在宅看護実践の場と連携について理解できる。 ⑥訪問看護の制度とその活用について理解できる。
授業計画・授業外学修課題	1　人々の暮らし(生活）と地域・在宅看護 1.人々の生活（暮らし）の理解 1）暮らしとは、2）暮らしと健康の関係、3）暮らしのなかで健康をとらえる 2.地域・在宅看護の役割 1）地域・在宅看護の基盤となる考え方、2)地域・在宅看護に求められる役割 授業外事前学修課題：「第1章」を読む（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。課題「自分の生活と健康の関係について」のレポートを作成する。（120分） 2　暮らしの基盤としての地域の理解 1.暮らしと地域 1）地域の定義、2）人々の暮らす地域の多様性 2.暮らしと地域を理解するための考え方 1)システム理論、2)システム思考 3.生活と地域への理解 4.地域を「みる」：課題「地区踏査」についての説明 授業外事前学修課題：「第2章:A・B」を読む（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。15回目の提出に向けて地区踏査の課題への取り組みの計画を立てる。（90分） 3　1.暮らしを支える地域・在宅看護2.暮らしの環境を整える看護3.広がる看護の対象と提供方法 1.暮らしを支える地域・在宅看護 1）.暮らしを支える看護とは、2）暮らしを支える看護の実践 2.暮らしの環境を整える看護 1）暮らしに関連する環境、2）暮らしの環境を整える看護とは、3）看護師に求められる態度・知識・姿勢 3.広がる看護の対象と提供方法 1）健康に対する人々のニーズ、2）看護の実践方法の広がり、3）人々の健康にこたえる看護 授業外事前学修課題：「第4章:A・B・C」を読む（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。（90分） 4　地域・在宅看護を展開するために基本理念 1.地域・在宅看護を展開するために基本理念 セルフケア理論，　保健行動理論，　アドボカシー，エンパワメント，　自己効力感，　ストレングス，　プライマリヘルスケア，ヘルスプロモーション、 ケアマネジメント 授業外事前学修課題：学習予定の基本理念について調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する(90分) 5　地域・在宅看護の対象と看護① 1.ライフステージによる多様性と人々の暮らし 1）小児期、2）成人期、3）老年期 2.地域におけるライフステージに応じた看護 1）ライフステージによる健康課題と予防　2）疾病とライフステージ 3.健康レベルの多様性

		授業外事前学修課題：「第3章A」「第4章E」を読む（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容をノートに整理する　（90分）
	6	地域・在宅看護の対象と看護② 1.家族の理解 2.家族とライフステージ 2.地域における家族への看護 授業外事前学修課題：教科書「第3章：B家族の理解」「第4章：D地域における家族への看護、Eの4家族とライフステージ」を読む(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。（90分）
	7	地域に暮らす対象者の理解と看護：事例を使って考える 1.地域に暮らす対象者の理解と看護 2.事例を使ってのグループワーク：事例の生活上の課題、健康課題を考えよう。 授業外事前学修課題：「第3章C地域に暮らす対象者の理解と看護」を読む、事例の課題に取り組む（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容をまとめる。グループワークをもとに事例の生活上の課題、健康課題を見直し、必要な支援を考える。（120分）
	8	1.地域包括ケアシステムと地域共生社会 1.地域包括ケアシステム 2.地域共生社会と地域共生社会を実現するために 3.様々な場・様々な職種で支える地域での暮らし 4.主な地域・在宅看護実践の場 授業外事前学修課題：「2章 C」「5章：A・B」を読む。「厚生労働省：地域共生社会ポータルサイト」URL（https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/）を検索し読む 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する(90分)
	9	地域・在宅看護における多職種連携 1.医療・福祉・介護関係者との連携・協働 2..医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働 3.横浜市の地域包括ケアシステムに関する事業や社会資源等 1）地域ケアプラザ 2）地域包括支援センター 3）地域子育て支援拠点 4）中途障害者地域活動センター　等
	10	1.地域での暮らしにおけるリスクの理解　　2.地域での暮らしにおける災害対策 1.地域での暮らしにおけるリスクの理解 2.地域での暮らしにおける災害対策 授業外事前学修課題：「第4章F地域での暮らしにおけるリスクの理解・G地域での暮らしにおける災害対策」を読む自分の地域のハザードマップ確認（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容をノート・ワークシートに整理する（90分）
	11	地域・在宅看護における倫理. 1.看護倫理の概要と活用 2.地域・在宅看護特有の倫理問題 授業外事前学修課題：看護倫理について復習する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノート・ワークシートを整理する（90分）
	12	1. 訪問看護の制度（訪問看護の歴史含む） 1. 訪問看護の制度（訪問看護の歴史含む） 授業外事前学修課題：「第6章　C訪問看護の制度」を読む（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノート・ワークシートを整理する（90分）
	13	訪問看護の実際：訪問看護師の活動を知ろう。 1. 訪問看護の実際についてゲストスピーカー（訪問看護師）の講義を聞く。 授業外事前学修課題：訪問看護師の活動についての教科書を読み、わからないところは自分で調べる（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。「訪問看護師の役割」についてのレポートを作成する（120分。
	14	地域包括支援センター業務とその中での看護職の役割・仕事を知ろう 1：地域包括支援センター業務とその中での看護職の役割・仕事についてゲストスピーカー（地域包括支援センター看護職）の講義を聞く。 授業外事前学修課題：地域包括支援センターの看護職（保健師）活動についての教科書を読み、わからないところは自分で調べる（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。「地域包括支援センターの看護職（保健師）の役割」についてのレポートを作成する（120分）
	15	地区踏査のGW・発表 1.各自が行った地区踏査の結果から、地域と生活の関係、地域を知ることの意義についてグループワークを行う。

	授業外事前学修課題：地区踏査の課題を作成する（120分） 授業外事後学修課題：グループワークで学修した内容のノートを整理する（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事例についてグループワークを行う。 地区踏査を行った結果についてグループ内で発表し、課題についてグループワークを行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業で発表し、討議をします。 毎回の授業終了時にグーグルフォームで学習内容や質問を確認し、授業後または次回の授業時にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：70% 評価基準：最終試験.授業で学んだことを理解でき、6割の点数がとれていれば 履修目標との対応：①○、②○、③○、④○、⑤○、⑥○ 評価方法：課題レポート 評価割合：30% 評価基準：課題について指示された内容、指示された書式での作成ができれば60点 履修目標との対応：①○、②○、③○、④○、⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護論[1]　地域・在宅看護の基盤　医学書院
実務経験のある教員による授業	訪問看護師、退院調整看護師、保健師、病棟看護師の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口　智美：tyamaguchi@soei.ac.jp　時間は初回授業時に伝えます。 近藤　仁美：hkondou@soei.ac.jp　時間は初回授業時に伝えます。 村上　亜紀：amurakami@soei.ac.jp　時間は初回授業時に伝えます。
備考	事前・事後の学習はしっかりと行うこと 試験の出題範囲は授業中に説明するので、しっかりと聞き、まとめること 30分以上の遅刻は欠席扱いとなる 私語は禁止、離席する場合は必ず教員に報告すること

講義科目名称： 老年看護学概論　　授業コード： 24G207

英文科目名称： Introduction to Gerontological Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ③看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	ライフサイクルにおける老年期を生きる人の老性変化ならびに身体的・精神的・社会的特徴と発達段階・発達課題及び高齢者をとりまく家族・地域を理解する。老年看護の理念と目標を理解し、地域包括ケアシステムにおける看護の目標と役割について学ぶ。疾病や生活機能障がいをもつ生活者として老年看護の対象となる人々を理解する。更に、その人たらしい生活を継続できるよう、持てる力を維持し高める看護を展開するために、高齢者に関わる倫理的課題や援助的コミュニケーションの成立について学修する。
履修目標	①老いの意味及び老年期の特徴と老性変化について説明できる ②高齢者をとりまく社会の変化と社会制度、高齢者の権利擁護について説明できる ③老年看護の理念・目標及び老年看護の対象となる人々の特徴について説明できる ④高齢者の健康維持向上及び療養生活支援に有効な理論・アプローチについて説明できる ⑤地域包括ケアシステムでの多職種協働と看護の役割について説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　老年看護学を理解するための基盤-1 老いの意味と老年期の理解 授業外事前学修課題： 高齢者のイメージを文章にする（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 2　老年看護学を理解するための基盤-2 エイジズムと人権擁護 授業外事前学修課題： 高齢者人口の推移・健康寿命を調べまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者を擁護する社会制度を整理する（60分） 3　老年看護学の対象の理解 老年看護の理念と目標 授業外事前学修課題： 教科書の「老年看護の理念と目標」の章を読み、自分の考えをまとめておく（60分） 授業外事後学修課題： 講義内容を復習する（60分） 4　老年期の発達段階と課題 エリクソン・ハヴィガースト・ペック　などから学ぶ 授業外事前学修課題： エリクソンの「統合対絶望」の意味を考えまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 老年各期の発達的特徴と課題を整理する（60分） 5　老年看護の対象となる人々の特徴-1 身体の老性変化と生活への影響 授業外事前学修課題： 高齢者の身体的特徴のイメージを整理しまとめる（60分） 授業外事後学修課題： グループテーマについての自己学習を進める（60分） 6　老年看護の対象となる人々の特徴-2 身体の老性変化と生活への影響　発表会 授業外事前学修課題： グループ発表ができるように自己学習を進める（60分） 授業外事後学修課題： グループ発表の内容を総合して整理しまとめる（60分） 7　老年看護の対象となる人々の特徴-3 精神・心理的、社会的特徴と暮らしへの影響 授業外事前学修課題： 高齢者の精神・認知・心理的特徴と社会的な特徴を調べ整理する（60分） 授業外事後学修課題： 講義内容を教科書と併せて整理する（60分） 8　高齢者の不動性と健康への影響 フレイル・サルコペニア、廃用症候群 授業外事前学修課題： フレイルとサルコペニアの概要を整理する（60分） 授業外事後学修課題： フレイルの負のスパイラルについて整理しまとめる（60分）

	9　老年看護に活用できる理論・アプローチ ICF　CGA　ストレングス　エンパワーメント　等 授業外事前学修課題： 関心のある理論・概念を１つまとめて講義時に持参する（60分） 授業外事後学修課題： 講義内容を教科書と併せて整理する（60分） 10　高齢者の健康生活の支援 生活機能のアセスメント 授業外事前学修課題： 介護保険制度の背景と目的について調べまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者と家族への社会保障制度について整理する（60分） 11　高齢者の療養生活の支援-1 健康の各期への支援 授業外事前学修課題： 教科書の高齢者の「豊かな生」の看護に関連するページを読み、高齢者の「豊かな生」について自分の考えをまとめる（90分） 授業外事後学修課題： 講義内容を教科書と併せて整理する（60分） 12　高齢者の療養生活の支援-2 療養生活の場の特徴と支援 授業外事前学修課題： 高齢者が療養生活を送る場について調べる（60分） 授業外事後学修課題： 講義内容を教科書と併せて整理する（60分） 13　認知症の高齢者の支援 人権擁護と家族支援 授業外事前学修課題： 認知症の概要を学習しまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 成年後見制度についてまとめる（60分） 14　高齢者の尊厳を支える看護と看取り 高齢者の看取りと家族支援 授業外事前学修課題： 臨死期の症状をまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の意思決定支援と家族支援を整理する（60分） 15　生かし生かされる地域づくり 地域包括ケアシステムと多職種協働 授業外事前学修課題： 居住区の地域包括支援センターの役割を調べまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 地域での多職種協働の看護職の役割を整理しまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、発表を行う
課題のフィードバック方法と時期	講義時およびGoogle Classroom上でコメントを配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法；筆記試験 評価割合；60% 評価基準；学習到達目標が評価できる発問とする 学修到達目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；ミニテスト 評価割合；30% 評価基準；授業内容を確認するミニテストを実施する 学修到達目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；プレゼンテーション 評価割合；10% 評価基準；グループワークと発表会は授業時に評価基準を提示する 学修到達目標との対応；①○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー；授業日の5限 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 母性看護学概論　　授業コード： 24G217

英文科目名称： Introduction to Women's Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
山本　洋美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	人のライフサイクルにおける母性とは何か、セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス・ライツ、いのちの観点から理解する。また母性の対象者を母性を取り巻く環境や統計・施策との関連性でとらえ、母性の各ライフステージにおける健康課題と看護について理解する。
履修目標	①母性看護の基盤となる概念・リプロダクティブヘルスに関する概念について理解する。 ②リプロダクティブヘルスに関する動向や倫理・いのちについて理解を深め考えることができる。 ③リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援について理解する。 ④生殖に関する生理について理解する。 ⑤各ライフステージにおける健康問題と看護について理解する ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス母性看護の基盤となる概念リプロダクティブヘルスに関する概念 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ16～45を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ16～45を復習し理解を深める 2　映画視聴「あわひ」 授業外事前学修課題：課題内容（時間）看護師がかかわる出産について考える 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ16～46を復習し理解を深める 3　リプロダクティブヘルスに関する動向 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ48～56を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ48～56を復習し理解を深める 4　リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ78～100を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ78～100を復習し理解を深める 5　生殖に関する生理 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ106～126を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ106～126を復習し理解を深める 6　生殖に関する生理 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ106～126を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ106～127を復習し理解を深める 7　生殖における健康問題と看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ94～128を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ96～127を復習し理解を深める 8　生殖における健康問題と看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ94～128を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ96～127を復習し理解を深める 9　不妊症 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ130～156を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ130～156を復習し理解を深める 10　妊娠期の身体的特性 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ34～54を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ34～54を復習し理解を

	深める 11　妊娠期の身体的特性 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ34～54を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ34～54を復習し理解を深める 12　妊娠期の身体的特性 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ34～54を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ34～54を復習し理解を深める 13　妊娠期の心理的・社会的特性 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ62～66を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ62～66を復習し理解を深め 14　妊娠期の心理的・社会的特性 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ62～66を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ62～66を復習し理解を深め 15　妊婦と家族の看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ55～89を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ55～89を復習し理解を深める
アクティブラーニングを用いた授業方法	教科書をみる、重要な箇所に線を引く、または記述を行い、授業中授業を聞きながら学習ができるようにします。 体験学習、グループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	出席カードに授業でわからなかったところ質問を記述してもらい次回の授業でフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、小テスト、参加度 評価割合：筆記試験7割　小テスト2割　参加度1割 評価基準：参加度についてはルーブリック 履修目標との対応： ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト: ナーシング・グラフィカ母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護　メディカ出版 ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践　メディカ出版　（第9回目以降） 参考文献：病気がみえるvol.10　産科　MEDICMEDIA
実務経験のある教員による授業	担当教員は助産師・保健師・公認心理士における臨床経験を活用し、母子の看護に必要な看護実践、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。 また、母性看護学概論主担当は10年以上であり、ブラッシュアップをしている。
オフィスアワー・連絡先	質問時は必ず事前にメール連絡して下さい。 連絡先はhyamamoto@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 教育原理（養護教諭）　　授業コード： 24T105

英文科目名称： Principles of Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	自由
担当教員			
小川　史/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	教育者としての基礎的・基本的資質を身につけるため、「教育基本法」「学校教育法」に示された「教育の理念・目標等の教育原理」「教育の意義と目的」「教育の基礎的概念と日本や諸外国の教育理論」「教育の歴史：諸外国と日本の教育の歴史の概観と子ども観や教育観の変遷」について学ぶ。
履修目標	①教育の「目的」と「目標」、教育の「意義」について、教育学的見地から説明できる ②教育の歴史的変遷について基本的な事柄を説明できる ③近代教育制度の基本的事項について説明できる ④教育思想を実際の場面と関連づけて説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　教育を原理的に学ぶ意義 養護教諭の立場について基本的な事項を理解する。教育を原理的な次元から学ぶことの意義を理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 図書館などで教育に関わる文献を調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をノートにまとめる。90分 2　教育の現状　現代社会および現代家族と子どもたち 子どもに関わる現代社会の状況をデータなどから理解し、健やかな育ちを支えるための教育のあり方を考察する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教育に関する新聞記事を調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容と新聞記事を関連づけながらノートにまとめる。90分 3　教育とは何か　子どもの権利 子どもの権利に関わる条約や思潮を理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 子どもの権利条約と世界人権宣言を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子どもの権利についてノートにまとめる。90分 4　教育とは何か　教えること・学ぶこと 「教育」「教える」「学ぶ」といった教育学上の基本的な概念について理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示する文献を読む。90分 5　教育とは何か　教育の意義・内容・目的 教育の「意義」「内容」、「目的」「目標」「方法」といった基本的概念について理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示する文献を読む、90分 6　教育の今日的課題　見える学力・見えない学力 隠れたカリキュラムや、社会的な格差が学びにどう影響するのか、教育学的視点から理解を深める 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 隠れたカリキュラムについてノートにまとめる。90分 7　教育の歴史的変遷　諸外国　教育思想と教育 西欧の教育思想について理解し、教育事象を考える上での有効性を探る。

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料について要約を作成する。90分 8　教育の歴史的変遷　日本　教育思想と教育 日本の教育思想について理解し、教育事象を考える上での有効性を探る。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料についてノートにまとめる。90分 9　教育の歴史的変遷　子ども観と教育 子ども観の歴史的変遷を理解し、世代間関係のあり方を学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子ども観について指示する文献を読む。90分 10　学校制度の成立と発展 近代学校制度の成立と発展について理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教育関連法規に目を通す。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学校制度についてノートにまとめる。90分 11　教育内容と教育課程 教育課程のあり方について理解を深め、教育実践の次元との関連性を考察する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業の計画を立案する。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の計画を立案する。90分 12　教育の実践　教育方法と評価 教育実践とその評価のあり方について理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 作成した指導計画を省察する。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教育評価についてノートにまとめる。90分 13　教育の実践　教育実践の多様な取り組み 多様性を尊重する社会の中で、教育がいかにあるべきかを学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） オルタナティブ教育について調べ、まとめる。90分 14　現代社会と教育課題 現代社会における教育課題について、具体的な内容を理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代的な教育課題についてインターネットなどで調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教育の現代的課題について私見をまとめる。90分 15　教育の多様性と本質 多様な教育のあり方を理解すると同時に、教育の本質について考察する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 多様性を認める教育のあり方について考えをまとめる。90分
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行う。反転授業を取り入れる
課題のフィードバック方法と時期	グループワークを行う。反転授業を取り入れる
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：50% 評価基準：授業内容を正確に理解できたか 履修目標との対応：①②③④

	評価方法：授業計画の立案・発表 評価割合：50% 評価基準：養護教諭の立場を考慮して教育活動を考案できるか 履修目標との対応：①
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	授業内で配布する
実務経験のある教員による授業	特になし
オフィスアワー・連絡先	３号館３１４
備考	

講義科目名称： 発達心理学（養護教諭）　　授業コード： 24T106

英文科目名称： Developmental Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部　　山口　智美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	人の発達についての諸概念および諸理論、発達段階とその特徴、発達の各時期におこる運動、認知、社会性などの発達の具体的内容を学び、学習活動を支える指導に重要な心理的特性についての理解を具体的な事例をもとに深めていく。
履修目標	①生涯発達の視点を理解し説明できる。 ②発達の代表的理論を踏まえ、発達の概念および教育における発達理論の意義を理解し、説明できる。 ③乳幼児期から青年期の各時期の運動・言動・認知・社会性等の発達についての具体的内容を提示できる。 ④幼児、児童・生徒の心身の発達の課程を説明できる。 ⑤発達障害児・者の行動特性についての理解と説明ができる。
授業計画・授業外学修課題	1　人の発達とは（藤原） 発達心理学史から捉える子ども観や発達の概念の変遷 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト1章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト1章の『課題』に取り組む。（90分） 2　発達心理学の理論（藤原） 発達の原理　遺伝と環境　発達段階と発達課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト2章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト2章の『課題』に取り組む。（90分） 3　発達心理学の諸理論（藤原） 認知発達理論、心理社会的発達理論等 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト6章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト6章の『課題』に取り組む。（90分） 4　心の理論・対人関係の発達（藤原） 心の発達、児童期以降の仲間関係等 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト9章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト9章の『課題』に取り組む。（90分） 5　道徳性の発達（藤原） 道徳性と向社会性の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト10章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト10章の『課題』に取り組む。（90分） 6　青年期以降の発達（藤原） 性役割の諸問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストｐ116～121を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、配付資料から性役割についてノートにまとめる。（90分） 7　アタッチメント　感情・情動の発達　（藤原） 情動の発達とアタッチメント理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

		テキスト4章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト4章の『課題』に取り組む。（90分）
	8	発達課題（藤原） アイデンティティーの形成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト8章を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト8章の『課題』に取り組む。（90分）
	9	自己決定理論　（藤原） 動機づけと学習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己決定理論やそれに関連する用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、教師として子どものやる気を育てる言葉をノートにまとめる。（90分）
	10	幼児期のことば（藤原） 言語の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト5章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト5章の『課題』に取り組む。（90分）
	11	学習理論から見た発達（藤原） 記憶と認知の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト7章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト7章の『課題』に取り組む。（90分）
	12	乳幼児期からの運動発達　　胎児期から乳幼児期、親子関係の形成とパーソナリティの発達（山口） 発達支援について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 行政機関等行われている乳幼児の発達支援について調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理し、ノートにまとめる。（90分）
	13	幼児期の発達、認知、社会性（山口） 認知や社会性の発達の障害と幼児期の支援について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト12章の内容を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理し、ノートにまとめる。（90分）
	14	発達障害　（藤原） 主な特徴と支援（学童期～思春期） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト13の内容を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト13章の『課題』に取り組む。（90分）
	15	まとめ（藤原） 生涯発達としての発達を捉える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト11章のキーワードについて、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト11章の『課題』に取り組む。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回にて、グループディスカッション、グループワークやペアワーク、チーム基盤型学習、プレゼンテーション等を行います。	
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○	

	評価方法：レポート 評価割合：10% 評価基準：課題に即した内容で、指示された体裁で文章の提出ができれば60点。ルーブリック参照 履修目標との対応：②○　④○　⑤○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：30% 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：教えと学びを考える　発達心理学　、高平小百合編著、玉川大学出版部 参考文献：①手にとるように発達心理学がわかる本、小野寺敦子、かんき出版　②よくわかる　発達心理学、渡辺弥生、ナツメ社
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

【２年次配当科目】

講義科目名称： 症候論Ⅰ　　授業コード： 24F203

英文科目名称： Symptomatology Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	必修
担当教員			
阿部　裕之			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・ 技術(及ひ゛倫理的態度)に基つ゛き、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実すること か゛て゛きる。
履修条件	
授業概要	看護の実践では、日々、患者からのさまざまな訴えや症候から、それらの原因や関連する因子を推察し対処することが、非常に大切です。診断された疾患の患者を看る場合でも、患者の心身の異常を示す種々の症候についての発生機序、病態および病因論を学び、その患者への適切な検査･治療に結びつけることが可能になります。症候論Ⅰでは総論および呼吸器系、消化器系、循環器系における症候について学びます。 症候論を学ぶ上では、生活や人体の形態・機能、病理学の知識が重要となります。各症候を来たす疾患群は多様であり、最初はそれらの疾患名や疾患の特徴などを理解することは難しいですが、復習を行うことで授業と関連づけて理解してください。授業では反復して説明するので、教科書や授業での配布資料での復習を怠らない様にしましょう。
履修目標	①症候論とは何かを理解し、バイタルサインについて学習し理解する。 ②体温異常、疼痛、咳嗽、呼吸困難、動悸、息切れなどの発生機序および病態について理解する。 ③食欲不振、嚥下障害、腹痛、腹部腫瘤、黄疸などの発生機序および病態について理解する ④それぞれの症候に対する代表的疾患の病態と診断について理解する。 ⑤ 各病態に対する対処や治療について理解する。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　症候論とは。（体温異常の発生機序と病態、体温異常に伴う疾患の診断と対処・治療） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　咳・呼吸困難の発生機序、咳・呼吸困難を伴う呼吸器疾患の病態と診断 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　咳・呼吸困難を伴う循環器疾患の病態と診断 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　血圧異常の発生機序と病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　脈拍異常の発生機序と病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　食欲不振、悪心・嘔吐の発生機序と病因、その代表疾患の病態と診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　腹痛の種類と発生機序、腹痛を来たす疾患の病態と診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　消化器疾患における嚥下障害の発生機序と病因、その代表的疾患の病態と診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　便通異常（便秘・下痢など）の発生機序と病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　消化管閉塞を来たす発生機序と病因、その代表的疾患の病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　消化管出血を来たす発生機序と病因、その代表的疾患の病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　腹部腫瘤をきたす疾患の病因、その代表的疾患の病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　黄疸の発生機序と病態、その代表的疾患の診断と治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　排尿異常（排尿障害や尿産生障害）を来たす発生機序と病態、その代表的疾患の診断と対処・治療 腎不全の病態

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　チアノーゼの発生機序と病態、チアノーゼを来たす呼吸器疾患と循環器疾患における病態と診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100% 評価基準：多肢選択テストで、60点以上を合格とする。（授業での小テストなどを参考点に含む） 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ 授業後に小テストを行い、総合評価の一部として評価する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：浅野。吉山：「看護のための臨床病態学」南山堂 授業における配布資料
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	

講義科目名称： 症候論Ⅱ　　授業コード： 24F204

英文科目名称： Symptomatology Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	必修
担当教員			
阿部　裕之			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・ 技術(及ひ゛倫理的態度)に基つ゛き、多様な健康課題をアセス メントし、計画的に看護を践すること か゛て゛きる。
履修条件	
授業概要	看護の実践では、日々、患者からのさまざまな訴えや症候から、それらの原因や関連する因子を推察し対処することが、非常に大切です。診断された疾患の患者を看る場合でも、患者の心身の異常を示す種々の症候についての発生機序、病態および病因論を学び、その患者への適切な検査･治療に結びつけることが可能になります。症候論Ⅱでは循環器系、外傷・整形外科疾患、皮膚疾患、眼科・耳鼻科・感染症・内分泌系疾患における症候について学びます。 症候論を学ぶ上では、生活や人体の形態・機能、病理学の知識が重要となります。各症候を来たす疾患群は多様であり、最初はそれらの疾患名や疾患の特徴などを理解することは難しいですが、復習を行うことで授業と関連づけて理解してください。授業では反復して説明するので、教科書や授業での配布資料での復習を怠らない様にしましょう。
履修目標	①貧血や出血傾向を伴う疾患の症候、病態を理解する ②外傷の病態、整形外科疾患の病態を理解する ③皮膚疾患・耳鼻科疾患の症候や病態を理解する ④感染症とくにウイルス性疾患の発生機序、病態を理解する ⑤内分泌疾患、糖尿病に伴う症候、病態を理解する ⑥循環器疾患に伴う、動悸・息切れ・浮腫・胸痛などの症候と病態を理解する ⑦それぞれの症候に対する代表的疾患の病態と診断について理解する。 ⑧各病態に対する対処や治療について理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　動悸・息切れの発生機序と病態 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　動悸・息切れを伴い疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　心不全に伴う症候の発生機序と病態 その代表疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　貧血・出血傾向を伴う疾患の病態 貧血・出血傾向を伴う疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　外傷の発症機転と病態および対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　整形外科疾患における症候とその発生機序・病態 代表的な整形外科疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　皮膚疾患における症候、その発生機序と病態 代表的な皮膚疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　浮腫の発生機序と病態 浮腫を来たす代表的疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　難聴・耳痛・嗄声などの症候をきたす耳鼻科疾患の発生機序と病態 難聴・耳痛・嗄声など来たす代表的疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　視力障害、視野欠損、眼痛などの症候を来たす眼科疾患の発生機序と病態 視力障害、視野欠損、眼痛などの症候を来たす代表的疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　ウイルス性疾患（インフルエンザ、新型コロナ、麻疹など）の発生機序と病態 それらの疾患に対する診断と対処（予防）・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　ウイルス性疾患（ウイルス性肝炎、HIV、HPV感染など）の発生機序と病態 それらの疾患に対する診断と対処（予防）・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　糖尿病に伴う症候の発生機序と病態 糖尿病の診断、対処・診断および合併症 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　内分泌疾患に伴う症候の発生機序と病態 その代表的疾患の診断、対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　胸痛の発生機序 胸痛を来たす代表的疾患の病態と診断、その対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100% 評価基準：多肢選択テストで、60点以上を合格とする。 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 授業後に小テストを行い、総合評価の一部として評価する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：浅野。吉山：「看護のための臨床病態学」南山堂 授業における配布資料
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	

講義科目名称： 看護援助技術論Ⅱ　　授業コード： 24G106

英文科目名称： Nursing skills Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
荒武　喜子/看護学部　大久保　昭宏/看護学部　杉山　洋介/看護学部　本多　和子/看護学部　小川　明佳/看護学部 鈴木　恵/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ３看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	看護学原論・対象論・看護学援助論・ケア場面展開論・看護援助技術論Ⅰ・看護過程展開論Ⅰを履修していること
授業概要	ヘルスアセスメントに必要な身体の構造と機能や主な臨床症状のメカニズムの知識を踏まえて、フィジカルアセスメントの力を養うと共に、フィジカルイグザミネーションの基本的テクニックの修得を図る。さらに、診療に伴う援助技術（薬物療法時・検査時の援助技術）の目的および安全安楽に実施する方法を学び、実際に体験する。
履修目標	① アセスメントに必要なフィジカルイグザミネーションの基本技術を正確かつ安全に実施できる。 ② 看護の対象者の身体各部の状況をアセスメントするための知識を記述することができる。 ③ 無菌操作の技術について科学的根拠をふまえ、清潔・不潔を判断し、無菌操作を実施できる。 ④ 排泄機能障害、摂食嚥下障害、呼吸異常のある患者の症状緩和に必要な基本的技術を実施できる。 ⑤ 与薬の投与方法における基礎知識、看護師の役割、援助の実際(目的・効果・方法・留意点・評価)を記述できる。 ⑥ 指示された薬物を、安全かつ適切な投与方法で与薬する援助技術を実施できる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション ・基礎知識の復習 ・問診・触診・視診・打診・聴診の技術 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。(30分) 2　バイタルサイン測定の各項目について 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 3　バイタルサイン測定の一連の流れについて 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 4　循環器系のフィジカルアセスメント 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 5　呼吸器系のフィジカルアセスメント 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 6　呼吸することへの援助(診療に伴う援助技術 ・酸素ボンベの取り扱い、酸素流量計の装着、酸素吸入の実施について実際に体験する。 ・口腔内と鼻腔内の一時的吸引の方法について実際に体験する。 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）

	7	腹部のフィジカルアセスメント 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
	8	食事・排泄することへの援助①(診療に伴う援助技術) ・経管栄養法による流動食の注入の実際に体験する。 ・浣腸時の対象者の体位、浣腸の方法について実際に体験する。 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
	9	筋・骨格系のフィジカルアセスメント 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
	10	感染防止の技術(診療に伴う援助技術) ・標準予防策（スタンダードプリコーション）、感染経路別予防策の復習 ・洗浄・消毒・滅菌の基礎知識の復習 ・無菌操作、感染性廃棄物の取り扱いについて実際を体験する 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
	11	食事・排泄することへの援助②　一時的導尿　(診療に伴う援助技術) ・無菌操作を基にして、一時的導尿時の対象者の体位、カテーテルの挿入、導尿、カテーテルの抜去について実際に体験する。 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
	12	薬物療法時の援助①　皮下注射　(診療に伴う援助技術) ・無菌操作を基にして、注射器、注射針の取り扱い、薬物の充填、注射部位の確認、皮下注射の方法について実際に体験する。 ・患者の誤認防止策の実施について実際を体験する。 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
	13	薬物療法時の援助②　筋肉注射・点滴静脈内注射　(診療に伴う援助技術) ・筋肉注射の手技について実際に体験する。 ・点滴静脈内注射のプライミング、滴下速度の確認について実際に体験する。 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
	14	検査時の援助　静脈血採血　(診療に伴う援助技術) ・検体の準備、注射器、注射針の取り扱い、注射部位の確認、静脈血採血の方法について実際に体験する。 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
	15	技術のまとめ 看護援助技術論Ⅱで扱った看護技術を基に、設定された学習課題に関する技術の習得状況を確認し、フィードバックを行い、各自の課題を明らかにする。 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	google Classroomを活用し、双方向の情報提供を行う。 事前課題で予習し、演習に臨む。演習はカメラで教員の手技を撮影し、２つのスクリーンに投影しながら、技術の実際を学び、その後1グループ 2～3人で実践する。演習後はグループワーク、発表を行い学びを振り返	

	る。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに重要なポイントは授業内で説明し、理解できるようにします。事後課題はgoggle Classroom内のgoogle formsで提出します。事後課題のフィードバックは、goggle Classroom及び次回の講義で行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：事前課題 評価割合：10% 評価基準：関連する既習科目を復習し、また予習内容についても理解し、記述できているか。 評価方法：事後課題 評価割合：10% 評価基準：授業内容の要点を理解し、記述できているか。 評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：授業内容の要点を理解し、記述できているか。自分の意見を端的にまとめることができるか。 評価基準(総合）：事前課題、事後課題、筆記試験を総合して、100点満点、60点以上を合格とする
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	・系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2 （医学書院） ・系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3 （医学書院） ・系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護学総論 基礎看護学4 （医学書院） ・看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント メディックメディア （その他） ・看護学援助論・看護過程展開論Ⅰの資料
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の経験を有しており、看護師としての実務経験を生かした講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別途連絡します。質問時は、事前にメール連絡をして下さい。 連絡先は、yaratake@soei.ac.jpです。
備考	・実習室の準備と片付けは技術の一環として取扱い、学生が教員の指示のもと主体的に行ってください。 ・事前課題を当日持参していることが授業参加の条件になります。 ・遅刻は3回で欠席1回となります。30分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・課題は必ず決められた時間までに提出してください。 ・1年次の看護学援助論や看護過程展開論Ⅰ授業資料、テキスト、e-learning、参考文献、 自分で見つけた参考書などを活用し、予習してください。 ・本科目の修得が基礎看護学実習Ⅱの履修要件となっています。

講義科目名称： 看護過程展開論Ⅱ　　授業コード： 24G108

英文科目名称： Nursing ProcessⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
小川 明佳/看護学部　鈴木　恵/看護学部　本多　和子/看護学部　荒武　喜子/看護学部　　杉山　洋介/看護学部 大久保　昭宏/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる ・臨床場面や状況への関心を持ち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる ・看護の専門的知識・技術に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる ・保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	看護学原論、対象論、看護学援助論、ケア場面展開論、看護援助技術論Ⅰ、看護過程展開論Ⅰを履修していること
授業概要	健康障害を抱える対象者の反応を生活者として捉える視点からアセスメントし、看護上の問題を明確化し、その問題を解決させるための計画を立案し、実施・評価するといった科学的問題解決技法としての看護過程展開の方法論とそのプロセスを学ぶ。また事例を用いて展開することにより、既存の知識や技術を想起し活用させながらクリティカルシンキングの能力を養い、看護実践力の素地を培う。
履修目標	①事例を用いて、対象者の情報を解釈、理解することができる。 ②事例を用いて、対象者の看護問題を抽出し看護援助を計画することができる。 ③立案した看護計画を模擬患者に実施することができる。 ④看護を実践するための科学的・系統的な思考過程を理解することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス　講義：授業の進め方、看護過程とは何か、臨床判断について、事例紹介①、データベース(1)の書き方 授業外事前学修課題：疾患ノートを作成する（病態生理/症状/診断・検査値（正常値も含む）/治療）（3分） 授業外事後学修課題：／課題（データベース(1)②看護経過記録（S/0）③疾患レポート）に取り組む（30分） 2　事例情報の整理/情報収集について、情報の整理、事例紹介②　グループワーク：疾患知識の共有 授業外事前学修課題：情報の整理、テキスト指定箇所および事例情報を読み解き整理する（30分） 授業外事後学修課題：／事例情報の整理、課題④データベース(2)⑤看護経過記録（S/0）　に取り組む（30分） 3　事例を用いた看護過程の展開：アセスメントの分析/講義：情報の分析（アセスメント）についてグループワーク・発表・討論：データベース（３）について 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む。アセスメントのための不足情報をピックアップする（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑥データベース(3)、⑦経過表（フローシート）、⑧アセスメント６項目S0情報　　⑨アセスメント2項目に取り組む（30分） 4　事例を用いた看護過程の展開：看護問題の抽出/講義：アセスメント1項目分析の解説、看護問題の書き方、看護問題の優先順位についてグループワーク：アセスメント２項目目について記載、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑩看護問題、⑪アセスメント3項目に取り組む。グループワークを参考にして各自のアセスメントを振り返る（30分） 5　事例を用いた看護過程の展開：全体像の描写/ 講義：関連図の作成と全体像の描写、短期目標の書き方についてグループワーク：看護問題を３つ記載、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑫全体像、⑬短期目標に取り組む、グループワークを参考にして各自の看護問題・優先順位に反映させる（30分） 6　事例を用いた看護過程の展開：ケアプランの立案/講義：看護計画の書き方/グループワーク：短期目標の検討、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑭看護計画に取り組む。グループワークを参考にして各自の短期目標を振り返る（30分） 7　事例を用いた看護過程の展開/講義：評価、統合の書き方/グループワーク：看護計画の検討、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分）

		授業外事後学修課題：／課題⑮評価・統合に取り組む。グループワークを参考にして各自で看護計画を振り返る（30分）
	8	「２事例目」事例紹介①、グループワーク：データベース(1) の記載、発表、討論 授業外事前学修課題：疾患ノートを作成する（病態生理/症状/診断・検査値（正常値も含む）/治療）（30分） 授業外事後学修課題：／事後課題に取り組む（30分）
	9	「２事例目」事例情報の整理/　情報収集、事例紹介②/グループワーク：疾患知識の共有、データベースや経過記録などの記載 授業外事前学修課題：情報の整理、テキスト指定箇所および事例情報を読み解き、疾患ノートを整理する（30分） 授業外事後学修課題：／事例情報の整理、課題④データベース(2)⑤看護経過記録（S/0）　に取り組む（30分）
	10	「２事例目」事例を用いた看護過程の展開：グループワーク：データベース（３）とアセスメント１項目の記載、発表、討論 授業外事前学修課題：講義資料とテキスト指定箇所を読む。アセスメントのための不足情報をピックアップする（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑥データベース(3)、⑦経過表（フローシート）、⑧アセスメント６項目S0情報　　⑨アセスメント2項目に取り組む（30分）
	11	「２事例目」事例を用いた看護過程の展開：グループワーク：アセスメントと看護問題の抽出、発表、討論　■ミニテスト① 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑩看護問題、⑪アセスメント3項目に取り組む。グループワークを参考にして各自のアセスメントを振り返る（30分）
	12	「２事例目」事例を用いた看護過程の展開：グループワーク：関連図の作成と全体像の記載、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑫全体像、⑬短期目標に取り組む、グループワークを参考にして各自の看護問題・優先順位に反映させる（30分）
	13	「２事例目」事例を用いた看護過程の展開：グループワーク：看護問題と短期目標の検討、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑭看護計画に取り組む。グループワークを参考にして各自の短期目標を振り返る（30分）
	14	「２事例目」事例を用いた看護過程の展開/グループワーク：看護計画の検討、発表、討論　■ミニテスト② 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑮評価・統合に取り組む。グループワークを参考にして各自で看護計画を振り返る（30分）
	15	まとめ 授業外事前学修課題：配布資料を読み、事前課題に取り組む課題内容（30分） 授業外事後学修課題：事後課題に取り組む（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークでディスカッションし、クラス全体で発表・討論します。	
課題のフィードバック方法と時期	事前課題について、授業で発表・討論を行います。 授業内で、課題について、教員によるフィードバックを行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	アセスメント記録　３０％　情報収集に基づくアセスメント内容が記載されていれば６０％ 看護計画レポート　３０％　自らの考えの根拠と考察が記載されていれば６０％ 知識確認（小テスト含む）　４０％　６割正解していれば２４/４０点	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	①系統看護学講座，基礎看護技術Ⅰ，基礎看護学２，医学書，2019. ②秋葉公子共著：看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践，第５版，ヌーヴェルヒロカワ，2023. ③ヴァージニア・ヘンダーソン著，湯槇ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会，2020. その他、適宜プリントや資料を配布します。	
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の経験を有しており、その経験を活かして実践学の知を伝えます。	
オフィスアワー・連絡先	授業内で提示します。	
備考	本科目の単位修得が基礎看護学実習Ⅱの履修要件となっています。 30分以内の遅刻3回で1回の欠席、30分以上の遅刻は欠席とみなします。 個人学習とグループワーク学習とがあります。 各回の事前・事後学習を必ず実施した上で授業に臨んでください。 本科目での課題はすべて指定のファイルに綴じて管理してください。 個人情報の記載については、実習記録と同様に留意して扱ってください。	

講義科目名称： 成人看護学概論　　授業コード： 24G201

英文科目名称： Introduction to Adult Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　中田　千恵子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	特になし
授業概要	成人看護学の対象ならびに役割・機能を社会生活との関連から概観し、対象の健康問題に対して家族を含めて、成熟とセルフケアの観点から看護活動を思考するために必要な理論と方法論の基礎を学ぶ。さらに成人を集団として理解するために成人期の保健動向とその政策についても学修する。
履修目標	①成人期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題について説明できる。 ②成人の生活と成人を取り巻く社会環境が健康にどのように影響するのかを説明できる。 ③成人特有の健康問題及び成人保健の動向について説明できる。 ④成人看護の基本となる考え方や方法論について説明できる。 ⑤成人を対象とした保健・医療・福祉政策の現状について説明できる。 ⑥成人の様々な健康レベルに対応した看護について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　成人期にある人の特徴（西出） 1.成人看護の対象 1）ライフサイクルとは 2）成人期とは 3）成人とは 4）発達理論から見た成人期 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 2　成人期の健康障害（西出） 1．青年期・壮年期の特徴 1）青年期の身体的精神的社会的特徴 2）青年期の健康問題 3）壮年期の身体的精神的社会的特徴 4）壮年期の健康問題 2．成人期における健康障害の予防と対策 1）成人期における健康障害の特徴　（1）生活習慣病とは　（2）三大生活習慣病　（3）生活習慣病の要因 2）疾病予防の現状と動向　（1）生活習慣病（疾病）の予防の概念　（2）ヘルスプロモーションの施策（健康づくり対策） 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 3　健康レベルによる対象の特徴と看護①急性期・回復期（中田） 急性期・回復期にある対象とその家族の特徴と看護について学ぶ 1．健康レベル（健康段階）とは 2．急性期の看護 3．回復期の看護 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 4　健康レベルによる対象の特徴と看護②慢性期・終末期（西出） 1．慢性期の看護 1）慢性疾患の特徴　2）慢性的な経過をたどる健康障害の患者　3）慢性期の看護の場　4）自己管理　セルフケア論 5）アドヒアランス　6）クオリティ・オブ・ライフ　QOL　7）家族への援助 ２．終末期の看護 1）終末期とは　2）緩和ケアとは　3）全人的苦痛とは　4）緩和ケア（終末期看護）の場と時期 5）終末期における身体的精神的社会的苦痛・スピリチュアルペイン 6）緩和ケア（パリアティブ・ケア）の目標 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分）

	5　成人看護に使用される理論モデル①（西出） 1. 中範囲理論とは 2. 「自己効力理論」「アドヒアランス・コンプライアンス」「アンドラゴジー」「ストレス理論、ストレスコーピング」「危機理論」グループワーク 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（60分） 授業外事後学修課題：成人期の対象に使用される理論モデルの全体像を概観する。指定された理論モデルについて調べ、発表の準備を行う。（110分） 6　成人看護に使用される理論モデル②（西出） 「自己効力理論」「アドヒアランス・コンプライアンス」「アンドラゴジー」「ストレス理論、ストレスコーピング」「危機理論」発表とまとめ 授業外事前学修課題：指定された理論モデルについて調べ、発表の準備を行う。（150分）グループ内他のメンバーの発表資料を精読、内容の確認・質問事項の整理を行う。 授業外事後学修課題：成人期の対象に使用される理論モデルの全体像を概観する。授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度熟読し、わからない箇所は調べて理解する。（30分） 7　成人におけるヘルスアセスメント①（西出） 理論の活用と健康レベルに応じた看護（まとめ） 1. 事例を通して、成人期の特徴・健康レベルに応じた看護の特徴や理論などをふまえて、患者の状況を捉える。 2. 事例を通して、健康レベルに応じた患者へのアプローチ方法を考える。 3. グループからクラス全員での検討により、看護レベルに応じた看護について考えを共有し、考えを深める。一つの問題点を選択し具体的看護計画を立案し、発表する。 授業外事前学修課題：事前に配布した事例について精読し、わからないことは調べておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 8　成人におけるヘルスアセスメント②（西出） 1. 成人を対象としたヘルスアセスメント 1）フィジカルアセスメント 2）心理社会的側面に関するアセスメント 3）家族・文化に関するアセスメント 2. ゴードン機能的健康パターンによるアセスメント 3. 事例を通して、情報整理とアセスメントの例を理解する。 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	課題及びリフレクションペーパーへは各回GoogleClassroom上でコメントを配信する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：90% 評価基準：最終試験－授業で学んだことを理解しているかどうか。 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○　⑥○ 評価方法：課題 評価割合：10% 評価基準：提出期限様式の遵守、課題の意図の理解と多様な意見の参照度と自己の意見の洗練の程度、GW取組み 履修目標との対応：①②④⑥○　③⑤×
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学　成人看護学概論　ヌーヴェルヒロカワ
実務経験のある教員による授業	各回は看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは実習対応のため不定期、必要時メールで確認してください。knishide@soei.ac.jp
備考	今後展開する成人看護学領域の授業の基礎となる科目です。積極的に授業に参加し、事前・事後学習に取り組む必要があります。

講義科目名称： 成人看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 24G202

英文科目名称： Adult Nursing Ⅰ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	必修
担当教員			
峯川　美弥子/看護学部　西出　久美/看護学部　岩谷　正美/看護学部　那須　実千代/看護学部　中田　千恵子/看護学部　多久和　善子/外部講師　山口　紀子/外部講師			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	成人看護学概論を履修していること。
授業概要	急性期看護の基本的な考え方（侵襲と回復過程を含む）、急性期および生命の危機状況や周術期にある対象者および家族の特徴を学び，対象者と家族の状況に応じた看護援助を実践するために必要な概念や方法を理解することを目的とする。
履修目標	①健康レベルの変動が大きい時期にある患者とその家族の特徴を説明できる。 ②主に急性的な健康障害に対する検査・治療・処置について説明できる。 ③主に急性的な健康障害およびそれに伴う検査・治療・処置が対象者の生活に及ぼす影響を説明できる。 ④主に急性的な健康障害をもつ患者や家族に対し、必要な看護について説明できる。 ⑤手術を受ける患者とその家族の特徴について説明できる。 ⑥術式別の術前術後の看護について説明できる。 ⑦急性期および周術期の患者に必要なフィジカルアセスメントについて説明できる。 ⑧術後合併症予防のための援助が実施できる。
授業計画・授業外学修課題	1　急性期看護総論：健康レベルの変動が激しい病態を有する人への看護（峯川） Ⅰ.急性期看護の概念 １．急性期看護とは ２．急性期状態にある成人期の患者と家族の特徴 ①身体的特徴　②心理的特徴　③社会的特徴 Ⅱ.急性期看護とクリティカルケア 授業外事前学修課題：テキストの当該ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：講義資料とテキストの当該ページを精読し、内容を整理・不明な部分を調べて理解する（90分） 2　急性期看護総論：侵襲に対する生体反応と麻酔と手術による生体への影響（峯川） Ⅰ.急性の状態を生じる原因 1.侵襲と生体反応 2.ショック Ⅱ.麻酔と手術による生体への影響 1. 麻酔の種類と影響　①全身麻酔　②部分麻酔 2. 術後の生体反応と回復過程（Mooreの分類） 3. 循環器・呼吸器・消化器への影響 4. 創傷治癒・疼痛・神経系への影響 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：講義資料とテキストの当該ページを精読し、内容の整理・不明な部分を調べて理解する（90分） 3　周術期看護①：術前の看護　術直後の合併症と看護（峯川） Ⅰ.周術期看護 1. 手術期看護とは 2. 手術前期の看護 ①手術前期の看護：術前検査、情報収集とアセスメント、術前オリエンテーション、術後合併症予防のための術前練習 ②手術前日の看護：術前訪問、皮膚の清潔、心理的安定 3. 手術直後の合併症と看護 授業外事前学修課題：術前に行う術後合併症予防のための看護についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義中に説明した内容と自己が追記した内容の整理、不明部分を調べ学修する（90分） 4　周手術期看護②　術後合併症に対する看護と社会復帰に向けた看護（峯川） Ⅰ.術後合併症に対する看護 1. 手術後期の看護：手術直後の合併症、病棟看護師への報告 Ⅱ. 術後合併症に対する看護（グループワーク） 1.主な術後合併症と発生機序 2. 術後合併症予防・回復促進のための援助 3. 授業外事前学修課題：術後合併症の発生機序および予防と回復促進のための看護計画をまとめる

		（150分） 授業外事後学修課題：術後合併症の看護で不足していた部分についての追記と不明点の調べ学修をする（30分）
	5	急性の呼吸・循環障害のある患者への看護（認定看護師：多久和） Ⅰ．呼吸器合併症の予防と観察と看護 １．術前呼吸訓練、 ２．異常の早期発見のための観察と合併症を起こした時の看護 Ⅱ．循環器合併症の予防と観察と看護 １．深部静脈血栓症・肺塞栓症予防、早期離床の看護 ２．異常の早期発見のための観察と合併症を起こした時の看護 授業外事前学修課題：術後合併症の発生機序および予防と回復促進のための看護計画をまとめる（150分） 授業外事後学修課題：術後合併症の看護で不足していた部分についての追記と不明点の調べ学修をする（30分）異常の早期発見のための観察と合併症を起こした時の看護
	6	開胸術を受ける患者の看護（峯川） Ⅰ.肺切除を受ける患者の看護 1. 肺の機能、対象となる疾患 2. 術式と看護 ①術前訓練（禁煙、呼吸訓練） ②術式（開胸術、胸腔鏡下肺切除術）と胸腔ドレーンの管理 ③術後に起こりやすい合併症とその看護 授業外事前学修課題：呼吸器（口～肺）の機能、肺がんの種類とTMN分類、開胸術と胸腔鏡下肺切除術の術式（図で表示する）と術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（120分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分）
	7	開心術を受ける患者の看護（峯川） Ⅰ.開心術を受ける患者の看護 1. 心臓の機能と血管系について 2. 対象となる疾患 3. 術式と看護（弁閉鎖不全で手術を受ける患者の事例をもとに学ぶ） 4. 術後に起こりやすい合併症とその看護 授業外事前学修課題：事例と課題を配布する（150分） 授業外事後学修課題：講義中の資料、事例の資料をよく読み内容を整理する（30分）
	8	手術室の看護（認定看護師：山口） Ⅰ．手術室看護概論 １．手術室とは　　環境、設備 ２．手術室看護師の役割 Ⅱ．全身麻酔と手術中に起こりやすい合併症と看護 授業外事前学修課題：該当するテキスト部分の精読、質問を考えてくる（80分） 授業外事後学修課題：講義中の資料、事例の資料をよく読み内容を整理する（60分）
	9	周術期の臨床判断演習① Ⅰ.術後合併症予防の看護 Ⅱ．合併症のアセスメント 実施方法：事前課題の確認 グループに分かれ実施する 授業外事前学修課題：別途演習要項を配布する。ナーシングスキルの視聴と課題内容を記載する（120分） 授業外事後学修課題：演習実施後の学びについて追記、演習後の感想を記載し提出（30分）
	10	周術期の臨床判断演習②（成人看護学教員） Ⅰ.術後合併症予防の看護 Ⅱ．合併症のアセスメント 実施方法：事前課題の確認 グループに分かれ実施する
	11	運動器への手術を受ける患者の看護（　中田　　） Ⅰ.運動器への手術を受ける患者の看護 1. 股関節についての解剖、股関節の内旋・外旋位、内転・外転位 2.対象となる疾患（大腿骨頸部骨折） 3. 術式と看護（人工関節置換術） 4.特徴的な術後合併症（脱臼、感染、腓骨神経麻痺、下肢の動脈触知部、下肢筋力低下） 5. 骨折の手術と看護 授業外事前学修課題：骨と神経の解剖、股関節の解剖、股関節の可動域、大腿骨人工関節置換術の術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（150分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分）
	12	開頭術を受ける患者の看護（　那須　） Ⅰ.開頭術を受ける患者の看護 1. 脳の機能 2.対象となる疾患（脳腫瘍、脳出血） 3. 術式と看護（開頭術、穿頭術、血管内治療）

	4. ドレナージ（脳室ドレナージ） 5. 低体温療法 6. 特徴的な術後合併症（脳圧亢進症状、高次脳機能障害） 授業外事前学修課題：脳の解剖（大脳～脊髄）、開頭術、穿頭術の方法（図で表示する）、術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（150分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分） 13　開腹術を受ける患者の看護①ー上部消化管の手術ー（西出） Ⅰ.胃切除術を受ける患者の看護 1. 胃の機能、対象となる疾患 2.術式と看護 ①術式（胃切除術、胃全摘術）とドレーン（目的、場所、管理） ②胃切除後の術後合併症（イレウス、縫合不全、ダンピング症候群） 授業外事前学修課題：胃の機能、胃全摘術・胃切除術の術式の種類（図で表示する）と、それぞれの術式で起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（１５０分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分） 14　開腹術を受ける患者の看護②ー下部消化管の手術ー（西出） Ⅰ.結腸・直腸切除を受ける患者の看護 1.腸各部の機能、対象となる疾患 2.術式と看護 ①術式（低位前方切除術、マイルズ手術）とドレーン（目的、場所、管理） ②手術前の準備（腸管処置） ③人工肛門造設と管理 授業外事前学修課題：十二指腸～肛門までの腸管の機能、低位前方切除術とマイルズ手術の術式（図で表示する）と術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（150分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分） 15　女性器への手術を受ける患者の看護（　西出　　） Ⅰ.女性器への手術を受ける患者の看護 1. 乳房、骨盤腔内臓器の位置関係（女性）の解剖 2. 対象となる疾患（乳がん、子宮がん、卵巣がん） 3. 術式と看護（乳房部分切除術、乳房全摘出術、子宮全摘手術）、センチネルリンパ節生検 4. 特徴的な術後合併症（リンパ浮腫、排泄に関連する合併症） 5. 心理的特徴、ボディイメージの変容 授業外事前学修課題：骨盤腔内臓器の位置関係、乳房と周辺リンパ節の位置、術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（150分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、実技演習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	課題およびリフレクションペーパーに対しては、次回の講義の際に回答する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	・評価方法：筆記試験 評価割合：70% 評価基準：最終試験ー授業で学んだことを理解しているかどうか。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥⑦ ・評価方法：課題 評価割合：10% 評価基準：提出期限様式の遵守、課題の意図の理解 履修目標との対応：①②④⑥ ・評価方法：その他 評価割合：20%（演習の取り組み10%、小テスト10%） 評価基準：提出様式・期限の遵守、学修内容、自己の意見の洗練度 履修目標との対応：⑧
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学　急性期看護Ⅰ　第4版　南江堂 成人看護学　急性期看護Ⅱ　第4版　南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行う。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは実習対応のため不定期、必要時メールで確認してください。　mminekawa@soei.ac.jp
備考	病態学Ⅰ、病態学Ⅱ、病態学Ⅲを修得していることを前提として授業を展開します。 成人看護学実習急性期の基盤となる科目です。事前事後学修に取り組み、授業に積極的に参加しましょう。

講義科目名称：　老年看護学方法論Ⅰ　　授業コード：　24G208

英文科目名称：　Gerontological Nursing Ⅰ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部　あべ野ゆう子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ③看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	老年看護学概論を履修していること
授業概要	高齢者の日常生活動作を疑似体験し、高齢者の気持ちや援助方法、コミュニケーションのとり方について理解を深める。また高齢者の日常生活を整えてQOL向上に資する援助方法として、栄養、食事、口腔ケア、排泄ケア、活動・運動、睡眠等に視点をあてて学ぶ。さらに、コミュニケ―ションの障害と伴う高齢者へのコミュニケ―ション技術をロールプレイを通して身につける。
履修目標	①高齢者の尊厳を尊重した関わりとQOL向上への援助について説明できる ②高齢者の老性変化の特性を考慮した日常生活の整え方の援助を説明できる ③高齢者のコミュニケーションの特性を考慮した援助について説明できる ④治療を受ける高齢者の看護の要点を説明できる ⑤施設で生活する高齢者の看護の要点を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　導入　ガイダンス　　１．看護における高齢者のとらえ方 科目ガイダンス 科目担当者の紹介科目の概要、授業項目・内容、成績評価についての説明 看護における高齢者のとらえ方について学ぶ 老年看護学概論で学んで描いた「高齢者観」について見直し、その対象への援助方法への興味関心を抱き、この科目への学修意欲を高める。 授業外事前学修課題： １年次の「老年看護学概論」で学修して抱いた高齢者観について考えまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 自己の高齢者観を基に、高齢者のQOL向上への援助方法について大切にしたいことをまとめる（60分） 2　２．環境と皮膚機能 高齢者の皮膚機能および体温調節の特徴と望ましい療養環境について学ぶ 授業外事前学修課題： １年次に学んだ人の皮膚構造と機能について復習する（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の体温調節と環境の関連をまとめる（60分） 3　２．環境と皮膚機能 高齢者の皮膚（防御）機能の特徴とスキンケアについて学ぶ。 授業外事前学修課題： 皮膚の防御機能を維持するための援助について考えてくる（60分） 授業外事後学修課題： 授業で学んだことをまとめる（60分） 4　２．環境と皮膚機能 高齢者に多い皮膚疾患とその援助および予防法について学ぶ 授業外事前学修課題： 高齢者に多い皮膚疾患（皮膚掻痒症、褥瘡）について調べておく（60分） 授業外事後学修課題： 授業で学んだことをまとめる（60分） 5　３．活動と休息 高齢者の活動と休息の特徴について学ぶ。 授業外事前学修課題： 成人期にある学生自身の１日の活動と休息の特徴を整理しておく（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の活動と休息のバランスについてまとめる（60分） 6　３．活動と休息　高齢者疑似体験演習 高齢者の活動と休息を支えるケアについて体験から考える。 授業外事前学修課題： 演習ができる準備をする（30分） 授業外事後学修課題： 高齢者疑似体験演習　課題用紙を　期限までに提出する（60分） 7　３．活動と休息 高齢者の活動と休息について循環機能と呼吸機能の側面からアセスメントし、援助方法について学ぶ。 授業外事前学修課題： １年次に学修した「循環機能」と「呼吸機能」について復習しておく（90分） 授業外事後学修課題： 授業で学んだことをまとめる（60分）

	8　４．食事と排泄 高齢者の食事と排泄のバランスをアセスメントして援助方法を考える。 授業外事前学修課題： １年次の「看護学援助論」で学修した「摂食・嚥下のアセスメント」に関する資料を復習しておく（60分） 授業外事後学修課題： 授業で学んだことをもとに援助者として高齢者の食事に関して何を大事にしたいかを考えまとめる（60分） 9　４．食事と排泄 加齢に伴う高齢者の摂食嚥下機能の変化とアセスメントの方法および援助について学ぶ 授業外事前学修課題： １年次の「看護学援助論」で学修した「摂食・嚥下への援助」に関する資料を復習しておく（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の口腔ケアについて目的、方法、留意点をまとめておく（60分） １０　４．食事と排泄 高齢者の排泄【排尿】援助について加齢に伴う排尿機能の変化と援助について学ぶ 授業外事前学修課題： １年次の「生活援助技術論」で学修した「排泄のアセスメント」に関連する資料を復習しておく（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者への「排泄の援助」で自身が大切にしたいと考えていることをまとめる（60分） １１　４．食事と排泄 高齢者の排泄【排便】援助について加齢に伴う排便機能の変化と援助について学ぶ 授業外事前学修課題： １年次の「生活援助技術論」で学修した「排便の介助・陰部洗浄」に関連する資料を復習しておく（60分） 授業外事後学修課題： オムツ着用時の排泄援助で自身が大切にしたいと考えることをまとめる（60分） １２　５．病院・施設における高齢者の看護　薬物療法 薬物療法を受ける高齢者への援助について学ぶ 授業外事前学修課題： 身近な高齢者が服薬している薬の内容と飲み方を聞きまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者が受ける薬物療法について看護の特性をまとめる（60分） １３　５．病院・施設における高齢者の看護　手術療法 手術療法を受ける高齢者への援助について学ぶ 授業外事前学修課題： 他の科目で学習した、Mooreの手術後の回復過程について復習する（90分） 授業外事後学修課題： 手術を受ける高齢者への看護について整理する（60分） １４　５．病院・施設における高齢者の看護　施設① 施設で生活する高齢者の看護について学ぶ。 授業外事前学修課題： テキスト療養生活の場（介護施設）の特徴と看護について書かれている箇所をよく読み、療養生活の場における看護を考える（60分） 授業外事後学修課題： 介護保険施設での看護の役割について整理する（60分） １５　５．病院・施設における高齢者の看護　施設② 施設で生活する高齢者の楽しみとなる活動援助について学ぶ。 授業外事前学修課題： 施設のホームページより実際に実施されているアクティビティ（レクリエーション）の内容について情報を得る（60分） 授業外事後学修課題： 施設に入所している高齢者に提供するレクリエーションを構想する（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークによる学習を通して、自己の学びを深める。
課題のフィードバック方法と時期	講義時およびGoogle Classroom上でコメントを配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法；筆記試験 評価割合；60% 評価基準；学習到達目標が評価できる発問とする 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；ミニテスト 評価割合；20% 評価基準；授業内容を確認するミニテストを実施する 履修目標との対応；①○　②○　③○　⑤○ 評価方法；課題提出 評価割合；20% 評価基準；授業への参加状況、グループワークは授業時に評価基準を提示する 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂 正木治恵、真田弘美編、老年看護学技術、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う

オフィスアワー・ 連絡先	オフィスアワー；授業日の5限　　事前にメールにて連絡すること 連絡先；　佐野望　nsano@soei.ac.jp、　あべ野ゆう子　yabeno@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 小児看護学概論　　授業コード： 24G212

英文科目名称： Introduction to Child Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
染谷　奈々子/看護学部　　山下　麻実/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	
授業概要	人のライフサイクルの小児期における成長・発達の過程とその特徴を学ぶ。さらに、小児の成長・発達に影響を与える要因としての小児の栄養、小児を取り巻く社会について学修する。また、小児の生活習慣の獲得過程とその獲得に向けた援助について学修する。小児医療・小児看護の変遷を理解し小児看護の目的、小児看護における今後の課題等についても学修する。
履修目標	①小児の特徴と小児看護の目的・目標・役割について説明できる。 ②子どもの成長発達の原則・小児各期の特徴について説明できる。 ③小児保健の動向及び小児の健康を守る制度・組織と法律を理解し説明できる。 ④小児各期のこどもの生活の特徴・問題、子どもの健康に影響を及ぼす環境因子について理解し説明できる。 ⑤子どもを支える家族の在り方について考え説明し、自分の意見を述べることができる。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　（第1章）小児看護の特徴と理念．小児看護のめざすところ ・小児看護学の学修内容や授業計画を紹介する ・小児看護とは、小児看護の対象と目的、歴史について概説する ・小児看護学に期待されるものについて一緒に考える 授業外事前学修課題：学習内容の確認、本書の特徴、目次の確認、p16-26を確認し、自らの「学修課題や子ども観」を確認しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、自らの学習課題や子ども観を振り返り、小児看護の目標を考え、述べることができる(30分) 2　（第1章）子どもの権利と看護 ・子どもの権利とは ・現代社会と子どもの権利 ・小児医療と子どもの権利 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、現代の子どもの権利について考え、子どもを取り巻く社会や医療についても視野を拡大しておく(60分) 授業外事後学修課題：自らの育ってきた環境や医療環境などに視野を拡大して意見を述べることができる(90分) 3　（第1章）小児看護と法律・施策 ・わが国の子どもを取り巻く環境 ・母子保健施策 ・小児に関する法律（児童福祉法、母子保健法、健やか親子21） 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、現在の医療における課題や、育児など子どもを取り巻く社会や医療について視野を拡大しておく(30分) 授業外事後学修課題：自らの育ってきた環境や医療環境などに視野を拡大して意見を述べることができる(30分) 4　（第1章）小児看護で用いられる理論 ・セルフケア理論 ・エリクソンの自我発達理論 ・ピアジェの認知発達理論 ・親子関係論 ・家族理論 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、小児看護における代表的な理論について確認しておく(30分) 授業外事後学修課題：小児看護で用いられる各理論の活用について考え、述べることができる(30分) 5　（第2章）子どもの成長発達と看護（新生児） ・成長・発達の原則 ・新生児の形態的成長・発達の特徴 ・新生児の機能的発達の特徴 ・新生児の養育と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、母性看護学概論などの他領域の学修内容を再

		確認しておく(30分) 授業外事後学修課題新生児期の胎内生活から胎外生活への変化と適応についてその内容が説明できる(30分)
	6	（第2章）子どもの成長発達と看護（乳児） ・乳児の形態的成長・発達の特徴 ・乳児の機能的発達の特徴 ・乳児の心理・社会的発達 ・乳児によくみられる健康問題 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、新生児期の学習内容からの継続性に注意して予習を進める(30分) 授業外事後学修課題：学習内容、教科書の内容を丁寧にフィードバックしておく。乳児期1年間の成長・発達過程のポイントをまとめておく。特に乳児期の栄養、母乳や離乳食について学修を深めておく(30分)
	7	（第2章）子どもの成長発達と看護（幼児） ・幼児の形態的成長・発達の特徴 ・幼児の機能的発達の特徴 ・幼児の心理・社会的発達 ・幼児によくみられる健康問題 授業外事前学修課題：教科書p106-142を中心に予習、乳児期の学習内容からの継続性に注意して予習を進める(30分) 授業外事後学修課題：学習内容、教科書の内容を丁寧にフィードバックしておく。幼児期の成長・発達過程のポイントをまとめておく。特に基本的生活習慣の獲得について学修を深めておく(30分)
	8	（第2章）子どもの成長発達と看護（学童期） ・幼児期の子どものセルフケアの発達と看護 ・学童期の身体的成長 ・学童期の機能的発達 ・学童によくみられる健康問題 ・学童期の子どものセルフケアの発達と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、幼児期の学習内容からの継続性に注意して予習を進める(30分) 授業外事後学修課題：学習内容、教科書の内容をT寧にフィードバックしておく。学童期の成長・発達過程のポイントをまとめておく。特に学校保健法との関連について学修を深めておく(30分)
	9	（第2章）子どもの成長発達と看護（思春期） ・思春期の身体的成長 ・思春期の機能的発達 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、学童期の学習内容からの継続性に注意して予習を進める(30分) 授業外事後学修課題：学習内容、教科書の内容を丁寧にフィードバックしておく。思春期の成長・発達過程のポイントをまとめておく。特に健康問題との関連について学修を深めておく(30分)
	10	家族の特徴とアセスメント 小テスト ・子どもにとっての家族と家族とは？ ・家族の定義と現代家族の特徴 ・家族アセスメント ・家族の役割と様々な家族とその支援 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、重要と思われるところや構造・機能との関連に注意して予習を進める(30分) 授業外事後学修課題：学習内容、教科書の内容を丁寧にフィードバックしておく。家族の影響の大きさから家族看護の重要性について学修を深めておく(30分)
	11	子どもと家族を取り巻く社会 ・母子保健手帳からみた発達 ・予防接種の変遷と現状 ・学校保健の変遷と現状 ・食育 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読し、講義1-10の学習内容を確認し、自らの母子保健手帳で発達を確認しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、自らの成長・発達の経緯から、自分の子ども観を考え、述べることができる(30分) レポート作成指示
	12	（小児看護学実習1に向けて①） 子どもの安全を守るための方策と役割、事故防止 ・子どもの安全、危険の予知 ・緊急時の対応、処置 授業外事前学修課題：乳児期・幼児期の成長・発達や容疑と看護について、再学習をしてその特徴をまとめておく(30分) 特にレポートを課すことがある。 授業外事後学修課題：友人間で学習内容を確認し、子どもの安全のための気づきや方策について意見交換をしておく(30分)

	13　（小児看護学実習1に向けて②）　子どもの日常生活の世話と成長発達への支援 ・子どもの健康増進と生活習慣 ・食事、遊び、排泄行動 授業外事前学修課題：乳幼児期の日常生活の世話、食事、排泄、保清などの知識をまとめておく。また遊びの援助や工夫についての情報収集や学習をしておく(30分) 授業外事後学修課題：友人間で、子どもの視点に立った遊びや生活の支援についての情報交換をすすめておく(30分) 14　（小児看護学実習1にむけて③）　幼児期の小児の養育環境と社会的資源の活用 ・保育所と幼稚園の違いは？ ・保育士との連携やチーム活動 ・家族との協力 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読しこれまでの学習を整理しておく(30分) 授業外事後学修課題：保育所や幼稚薗での実習内容について想定し、実習までの学習や準備を進める。学生個々の実習施設について場所や環境などについての予備知識を得ておく(30分) 実習に向けた課題の提示予定 15　小児看護学概論学習のまとめ ・小児看護学概論で修得しておくべき知識、技術、今後の学習の課題について確認 ・実施したミニテストなどからの課題について強化と再確認 授業外事前学修課題：小児看護学概論の各章の、課題学習ゼミナール「復習と課題」を確認し、それぞれの内容について不明の部分の再学習を行い確認をしておく(30分) 授業外事後学修課題小児看護学概論での学習資料や小テストなどについてファイリングをするなとでまとめをしておく(30分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	９月に実施する小児看護学実習Ｉに向けた実践的な講義や一部演習、グループ学習などを用いて実施する。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションのフィードバックは、次の授業におこなう。 提出された成果物は返却する。 試験のフィードバックは、表示またはGoogle Classroomなどを用いて行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、レポート試験、小テスト 評価割合：筆記試験　60%　レポート試験　20%　小テスト　20% 評価基準：筆記試験：小児看護学概論としての学習内容の理解を問う設問で、記述選択方式で評価する。 レポート試験：学修内容をさらに発展させて学生自身の考えを言語化し記述する力を評価する。 小テスト：重要な知識や理解が求められる項目を重点的に出題し、その理解度を確認する。 履修目標との対応：筆記試験は、目標②③④　レポート試験は、目標①⑤　小テストは、目標②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：医学書院　小児看護学概論　小児臨床看護学総論 参考文献：授業時に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は、看護師としての資格経験を有し、教育・研究者としての経験を加えて、小児看護学の魅力や実践学の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは、火～木曜日の12時から13時。質問時は必ず事前にメール連絡してください。
備考	

講義科目名称： 母性看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 24G218

英文科目名称： Maternal Nursing Ⅰ： Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
藍木　桂子/看護学部　上村　いずみ/看護学部　山本　洋美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1.看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 3.看護の専門的知識・技術（及び論理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	母性看護学概論を履修していること
授業概要	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特性について学び、各期におけるハイリスクと異常のメカニズムを理解する。また健康の保持増進、疾病の予防、健康回復の過程における看護について学修することを目的とする。
履修目標	①妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特性について説明できる ②妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期のヘルスプロモーションを理解し、看護を説明できる ③妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期のハイリスクと異常のメカニズムとその影響を理解し、安全・安楽のための看護を説明できる ④母児の愛着、絆の形成と発達課題を理解し、必要な看護を説明できる ⑤産褥期・新生児期の健康生活・問題を理解し、母子と家族への育児支援、母子保健システム、他職種連携を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス（藍木）妊娠期の看護（山本） ガイダンスでは母性看護学方法論Ⅰの概要、授業の受け方について説明 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP94-101を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 2　妊娠の異常、ハイリスク妊婦の看護（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP102-128を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 3　分娩の三要素と分娩の経過（上村） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP130-154を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 4　産婦と家族の看護産道・娩出力・胎児・付属物の異常（上村） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP154-198を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 5　異常分娩の看護（上村） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP168-204を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 6　分娩時の異常と産科処置と産科手術（上村） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP168-204を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 7　新生児の生理(1)（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP38-39，294-304を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 8　新生児の生理(2)（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP295-304を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 9　新生児期の看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP294-318を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 10　新生児期の異常と看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP320-340を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 11　産褥期の身体的特性(1)（藍木） 退行性変化について学修する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP208-216を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 12　産褥期の身体的特性(2)（藍木） 進行性変化について学修する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP238-249を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 13　産褥期の異常と看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP264-278を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 14　帝王切開と看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP200-205,279-283を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 15　産褥期の心理・社会的特性（藍木） 講義を受けた上、小課題に取り組む 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP224,232-239,244-249を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	小人数でのグループ・ディスカッション、グループワーク、及び資料の記述や発言、意見を述べる
課題のフィードバック方法と時期	各講義リフレクションペーパーのフィードバックはGoogle Classroom上でコメントを配信、あるいは次の講義の中で行う
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○ 評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：各単元における授業内での小テストが理解できれば60点 履修目標との対応：①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○ 評価方法：平常点・リフレクションペーパー 評価割合：15% 評価基準：授業への取り組み、成果物、積極性、態度 評価方法：小課題 評価割合：5% 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：ナーシング・グラフィカ母性看護学(2)母性看護の実践　第3版　メディカ出版　2022年発行 ISBN：978-4-8404-7532-7 参考文献：病気がみえるvol.10　産科　第４版　MEDICMEDIA　2018年発行　ISBN：978-4-89632-713-7
実務経験のある教員による授業	担当教員は助産師・保健師における臨床経験を活用し、母子の看護に必要な看護実践、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。

オフィスアワー・ 連絡先	各教員のオフィスアワーは授業時にお伝えします。事前にメールで連絡をしてください。 kaiki@soei.ac.jp, iuemura@soei.ac.jp, hyamamoto@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退３回で欠席１回とみなし、20分以上の遅刻は欠席とみなします。 授業中は、承認された場合を除き、スマートフォンの使用を禁止します。また、講義スライドの撮影や講義の録音も禁止します。 学修活動における生成AIの利活用に際しては、学内の規定のガイドラインおよび「生成AI利活用時フローチャート≪学生版≫」に準拠してください。

講義科目名称： 精神看護学概論　　授業コード： 24G301

英文科目名称： Introduction to Psychiatric Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
横山　惠子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ５．地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	精神保健論を履修していること。
授業概要	健全な心の発達の過程、各発達期における課題と危機、心の健康に及ぼす諸因子について理解し、心の健康の保持・増進に向けた看護について学ぶ。また、看護師－患者関係のあり方、発展に向けた知識と技術を学ぶ。諸外国および日本における精神医療と看護の歴史的変遷を通して、日本の現状を捉えるとともに、精神看護における倫理および人権擁護の役割、これからの地域精神保健医療活動のあり方を学ぶ。
履修目標	①精神の発達と健康を支える看護に必要な基礎知識を理解する。 ②精神保健医療福祉の歴史的背景を理解する。 ③精神看護における倫理および人権擁護について理解する。 ④対象者と看護師の人間関係相互作用の意義と成立過程を理解する。 ⑤これからの地域精神保健医療活動について理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　精神看護の役割とこころの働き／資料を通して学ぶ 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 2　ストレス、危機と対処（危機理論）／資料を通して学ぶ 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 3　対人関係論、ペプロウの人間関係論（患者－看護師関係）／資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 4　精神保健医療福祉と看護の歴史的変遷／資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題 課題図書「精神科病院を出て、町へ」を読み、レポート（1）提出（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 5　海外の歴史から学ぶ地域精神医療／映画（人生、ここにあり！）を通して、看護者の役割について学ぶ 授業外事前学修課題 「提示文献」を読む（90分） 授業外事後学修課題 提示文献と映画内容を照らし合わせ、学びを整理する（90分） 6　海外の歴史から学ぶ地域精神医療／映画（人生、ここにあり！）を通して、看護者の役割について学ぶ 授業外事前学修課題 前半の映画内容・学びを確認する（90分） 授業外事後学修課題 「映画からの学び」のレポート（2）を提出する（90分） 7　精神看護における基本的人権と倫理／資料を通して、精神科看護における倫理について考える 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 8　これからの地域精神保健医療活動／資料や映像を通して、求められる地域精神医療福祉について考える／まとめ 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	精神障がい当事者の体験、映画等、体験学習を用いて、主体的に学習します。 適宜、演習を取り入れ、提供資料からの課題発見や対応策の検討、少数でのグループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法　：　レポート（1） 評価割合　：　20% 評価基準　：　『精神科病院を出て、町へ』のレポート。内容を要約し、自分の考えを明確に記述できれば80点。ルーブリック参照 履修目標との対応　：　②③⑥ 評価方法　：　レポート（2） 評価割合　：　10% 評価基準　：　自分の『映画からの学び』を明確に記述できれば80点。ルーブリック参照 履修目標との対応　：　②⑥ 評価方法　：　期末試験 評価割合　：　70% 評価基準　：　到達目標で示す範囲にある、教科書・講義資料の重要語句の意味が概ね解答できれば60点 履修目標との対応　：　①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト 系統看護学講座　精神看護学〔１〕精神看護の基礎　医学書院 系統看護学講座　精神看護学〔２〕精神看護の展開　医学書院 精神科病院を出て、町へ　ACTがつくる地域精神医療　岩波ブックレット 参考図書 「看護モデルを使う②ペプロウの発達モデル」医学書院
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神科看護の臨床経験を有しており、その経験を活かして、看護職に求められる精神看護のあり方を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	授業に関する質問・相談は遠慮なく連絡して下さい。 横山　恵子　メールドレス　kyokoyama@soei.ac.jp
備考	これまで学んだ、精神保健論を活用してください。精神看護では自分自身がケアの道具です。精神看護はどの領域の看護においても基盤になりますから、積極的に学び、一緒に考えていきましょう。看護実務経験を活かした講義を行います。

講義科目名称： 家族看護論　　授業コード： 24G309

英文科目名称： Family Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 2. 臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 3. 看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 4. 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5. 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護の対象となる人々について考えるとき、看護の提供を受ける人の「生活」を年頭において考える必要がある。その際には対象者個人のみならず生活を共にする「家族」も看護の対象となる。家族看護学の基本理論である「家族発達理論」と「家族システム理論」に基づいた家族アセスメントの実際を事例を通して家族への介入まで学び、看護師としての役割について考える。少子高齢化の加速の中の現代の日本社会における家族の在り様を理解し、Family Diversity（家族の多様性）への感受性を高めることも本科目のねらいであり、家族看護学における課題と将来の展望について考える。
履修目標	①患者とともに生活するものとしての家族及び家族の機能について説明できる。 ②現在の日本の家族の在り様の変化を説明できる。 ③家族看護学に関係する基本理論について説明できる。 ④家族看護の意義が理解できる。 ⑤家族看護に生かすための代表的なアセスメントツールが説明できる。 ⑥健康障害をもつ家族の事例をもとに家族アセスメントおよび介入計画を立案できる。 ⑦家族看護における看護職の役割について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　家族看護学の発展と動向 1. 看護学における家族の概念 2. 家族看護学の発展と動向 1）家族看護学の歴史 2）家族看護の意義：患者をとりまく家族として/対象としての家族 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 2　家族看護学における対象理解 1. 家族を取り巻く社会的・文化的背景 1）統計データから考える日本の家族を取り巻く状況 2）「あいまいな喪失」 2. 家族とは 3. 家族の機能 4. 家族発達理論 5. 家族システム理論 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 3　家族看護過程に用いる考え方①【健康な家族についての考え方】 1. 家族ストレス対処理論 2. 家族構造－機能理論 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 4　家族看護過程に用いる考え方②【家族の健康を引き出す考え方】 1. セルフケア概念の家族看護への適応 2. パートナーシップ 3. 家族エンパワメント 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 5　家族看護過程に用いる考え方③【家族アセスメントモデル】 1. フリードマン家族アセスメントモデル 2. ハンソンの家族看護過程 3. 渡辺式家族アセスメント/支援モデル 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調

	べて理解する。（90分） 6　家族看護過程【家族の看護問題の明確化】 1. 患者の健康問題に伴う問題の分析 2. 家族に対する援助の必要性の判断 3. 家族看護計画の立案 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 7　家族看護過程の実際①【講義・GW】 〇意思決定過程にあるがん患者（急性期）と家族の事例についてグループワークをし、具体的看護計画を立案する。 〇グループ発表と質疑応答 授業外事前学修課題：事例についてわからない用語等があれば、調べてわかるようにして授業に臨むこと。（120分） 授業外事後学修課題：課題の意図を考え多様な意見を参照し自己の考えを深化させる。（60分） 8　家族看護過程の実際②【講義・GW】 〇終末期患者と家族の看取りの事例についてグループワークをし、具体的看護計画を立案する。 〇グループ発表と質疑応答 授業外事前学修課題：事例についてわからない用語等があれば、調べてわかるようにして授業に臨むこと。（120分） 授業外事後学修課題：課題の意図を考え多様な意見を参照し自己の考えを深化させる。（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事例の展開の際にはグループワーク及びプレゼンテーションを活用する。
課題のフィードバック方法と時期	グループワーク内でのコメント及び各回のGoogleClassroomへのリフレクションペーパーの提出に対してコメントを配信また次の回の授業時にコメントする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①定期筆記試験、②演習ワーク参加度、意図を理解しての課題作成・意見交換 評価割合：①70％、②30％ 評価基準：①最終試験、授業で学んだことを理解した上で、さらに自分の意見を記述できるかどうか。 ②課題・リフレクションペーパー、授業の要点や自分の意見を端的にまとめることができるかどうか。 履修目標との対応：①～⑦〇
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	山崎あけみ　原礼子編：家族看護学論　改訂第3版　南江堂 他、適時紹介、資料提供します。
実務経験のある教員による授業	臨床で体験した家族支援について事例を提示しながら講義を進めます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは実習対応のため不定期、必要時メールで確認してください。knishide@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 公衆衛生看護学概論　　授業コード： 24G311

英文科目名称： Introduction to Public Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り，考えて行動することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	公衆衛生看護成立の歴史、理念・目的及び活動を理解し、健康問題を地域社会情勢との関連で捉え、保健師の役割及び課題について学修する。また保健師の役割を遂行するために必要な能力と到達レベルについて深く理解する。
履修目標	①公衆衛生の理念、公衆衛生看護の理念・目的、基盤となる概念について説明できる。 ②公衆衛生看護の歴史的変遷が説明できる。 ③公衆衛生看護の対象と活動の場について説明できる。 ④社会環境の変化と健康課題について説明できる。 ⑤公衆衛生看護活動の基盤となる理論及び展開方法・活動方法・地域診断について説明できる。 ⑥公衆衛生看護活動における保健師の役割、必要な能力について説明できる。。
授業計画・授業外学修課題	1（4/8）　公衆衛生看護の基本理念① 1. 公衆衛生看護のの理念 2. 公衆衛生の理念 授業外事前学修課題 ・教科書の授業内容の部分を読む。1年次の「第5回地域･在宅看護論」の教科書・授業資料を読み復習してくる。(90分) 授業外事後学修課題 ・授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分） 2（4/15）　.公衆衛生看護の基本理念② 1.公衆衛生看護の基盤となる概念 2.公衆衛生看護における倫理 授業外事前学修課題 ・教科書の授業内容の部分を読む。1年次の「第5回地域･在宅看護論」の教科書・授業資料を読み復習してくる。(90分) 授業外事後学修課題 ・授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分） 3（4/22）　公衆衛生看護の歴史 1. 日本における公衆衛生看護の歴史 2. 米国と英国の公衆衛生の歴史と公衆衛生看護の歴史 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 4　公衆衛生看護の対象① 1. 公衆衛生看護の対象としての個人・家族とその健康課題 授業外事前学修課題 ・教科書の授業内容の部分を読む。1年次の「第4回・第6回地域･在宅看護論」の教科書・授業資料を読み復習してくる。「国民衛生の動向2023/2024：第2編衛生の主要指標」を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題 ・授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分） 5　公衆衛生看護の対象② １．公衆衛生看護の対象としての集団・組織，地域とその健康課題 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 6　社会環境の変化と健康課題 1. 人口および疾病構造の変化 2. 社会構造・文化的背景の変化 3. 社会情勢・政治・経済・産業構造の変化 4. 環境の変化と健康課題 5. 健康と生活

		授業外事前学修課題 ・教科書の授業内容の部分を読む。1年次「第1回・第3回地域・在宅看護論」の教科書・授業資料を読み復習してくる（90分） 授業外事後学修課題 ・授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分）
	7	公衆衛生看護の場① 1. 行政機関 2. 医療施設 3. 福祉施設 4. 国際 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分）
	8	公衆衛生看護活動の展開の基盤① 1.公衆衛生看護活動の基盤－理論及び展開方法－ 2.公衆衛生看護活動における地域アセスメント 3.地区踏査計画の立案のための地域の状況と健康の関係（グループワーク） 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。地区踏査計画を立案する（120分）
	9	公衆衛生看護活動の展開の基盤② 1. 公衆衛生看護活動の基本的な展開方法 1）総合的な地区活動 2）個別・家族へのアプローチ 3）集団・グループへのアプローチ 4）地域へのアプローチ 5）施策化・事業化へのアプローチ 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。横浜市緑区福祉保健センターの個人・集団への事業を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分）
	10	地区踏査計画の発表・修正 １.公衆衛生看護活動の計画・実践・評価 1）計画策定・主な流れ・　2）計画策定・実施による波及効果　3）公衆衛生看護活動の評価 ２.地区踏査計画の発表・修正 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。横浜市・川崎市の地域保健計画を調べる。地区踏査計画を作成する（90分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる地区踏査計画案を見直し、修正する.（90分）
	11	公衆衛生看護の場② 1. 学校保健活動と養護教諭の職務：ゲストスピーカー（養護教諭） 授業外事前学修課題：学校保健とは、学校保健活動とは、養護教諭とはについてまとめる。（60分） 授業外事後学修課題：学習内容を復習し、まとめる。レポート「学校保健活動と養護教諭の職務の講義からの学び」を作成する。（120分）
	12	公衆衛生看護の場③ 1.行政保健師の役割・活動-横浜市の保健師活動の実際-：ゲストスピーカー（横浜市保健師） 授業外事前学修課題：行政保健師の役割についてまとめる。横浜市の保健師活動について調べる（60分） 授業外事後学修課題：学習内容を復習、まとめる。レポート「横浜市の保健師活動の実際の講義からに学び」を作成する。（120分）
	13	第10回で立案した「緑区霧が丘地区」の地区踏査計画に基づき、地区踏査を行う。 授業外事前学修課題：地区踏査計画を修正する。（60分） 授業外事後学修課題：行った地区踏査結果をレポートのまとめる。（120分）
	14	地区踏査の実施 第10回で立案した「緑区霧が丘地区」の地区踏査計画に基づき、地区踏査を行う。 授業外事前学修課題：地区踏査計画を修正する。（60分） 授業外事後学修課題：行った地区踏査結果をレポートのまとめる。（120分）
	15	.地区踏査の発表・.まとめ 1.地区踏査の発表を行い、学生間で質疑応答を行い、霧が丘地区の地域特性から健康課題を明らかにする。 2.まとめ 授業外事前学修課題：地区踏査結果と地区踏査からの学びのレポートから発表資料をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：他の学生の発表、教員のコメントより、地区踏査レポートを修正する。（90

	分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題についてグループワークを行う。 大学周辺の地区踏査を行い、地域特性と生活・健康の関連についてグループワークを行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業時に課題等について発表・討議を行う 毎回の授業時にグーグルフォームで学んだことや質問等を確認し、授業後または次回の授業時にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：75% 評価基準：最終試験.授業で学んだことを理解でき、6割の点数がとれていれば 履修目標との対応：①○、②○、③○、④○、⑤○、⑥○ 評価方法：課題レポート 評価割合：25% 評価基準：課題について指示された内容、指示された書式での作成ができれば60点.ルーブリック参照 履修目標との対応：④○、⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	標準保健師講座1　公衆衛生看護学概論，医学書院，2024. 上記以外は授業時に説明する。
実務経験のある教員による授業	保健師の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口智美：tyamaguchi@soei.ac.jp　時間は初回授業時に伝えます。 久保木紀子：nkuboki@soei.ac.jp　　時間は初回授業時に伝えます。
備考	事前・事後の学習はしっかりと行うこと 30分以上の遅刻は欠席扱いとする。 私語は禁止、離席する場合は教員に報告の上、離席すること 保健師活動を学習するための基本的な考え方等を学ぶ科目です。積極的に参加してください。 授業の進行状況等により、授業予定が変更する可能性がある。 ｹﾞｽﾄスピーカーの日程は変更する可能性がある。

講義科目名称： 看護情報学　　授業コード： 24G407

英文科目名称： Nursing informatics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
杉山　洋介/看護学部　奥山　聡子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	なし
授業概要	医療におけるコンピュータリテラシーと情報リテラシー、情報倫理と法、医療情報・看護情報の標準化についての概要を学ぶ。看護専門職として医療における情報通信技術（ICT: Information and Communications Technology）の活用と課題について学ぶ。
履修目標	①保健医療における情報の意味と情報の活用について説明できる。 ②保健医療における情報倫理と法の概要を説明できる。 ③医療における情報システムと看護情報の特徴を説明できる。 ④ICTの活用の実際と課題について考察することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　情報と情報社会、医療における情報（杉山） 科目ガイダンス 情報とは何か 情報リテラシー 情報社会の成立と発展 情報社会で求められていること 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第１章、第２章、第３章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 2　看護における情報、情報社会と看護（奥山） 看護におけるデータ・情報・知識 看護の標準化 看護における診断・介入・成果の標準化と看護用語 信頼できる情報と看護 ヘルスリテラシー向上の支援、意思決定支援 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第４章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 3　医療における情報システム（奥山） 医療における情報の記録 病院情報システムと記録の仕方 地域医療福祉のネットワークと情報システム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第５章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 4　個人情報の保護、コンピュータリテラシーとセキュリティ（杉山） 医療・看護における個人情報 情報の利用の仕方 コンピュータに関する基礎知識 インターネットに関する基礎知識と注意点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第８章を熟読する。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 全グループのプレゼンテーション内容を踏まえて自己の学びをまとめる。（45分） 5　情報処理の原則（杉山） 既存の情報の収集方法 データ収集、統計解析 文字情報の整理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習課題に取り組む（45分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事後課題（office課題）に取り組む（45分） 6　看護におけるICTと看護記録（奥山） 情報通信技術（ICT)とその活用 情報化による社会の変化 看護における情報社会で求められること 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第２章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 7　情報倫理と医療、患者の権利と情報（奥山） 情報倫理とは 知的財産権（知的所有権）の尊重 プライバシーの尊重 患者の権利と自己決定への支援 診療情報の開示 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第６章、７章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 8　地域包括ケアシステムにおける他職種連携とICT(杉山) 地域医療福祉のネットワークと情報システム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 地域包括ケアシステムについて復習する。（30分）テキスト第５章を熟読する。（15分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学びを整理し授業内で指示された課題に取り組む。（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回の授業で、事前学習をもとにしたグループワーク、プレゼンテーションを行いながら授業を進めていきます。
課題のフィードバック方法と時期	グループワーク、プレゼンテーションについて授業内でフィードバックをします。 レポートについては授業内またはclassroomを用いてフィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：60% 評価基準：保健医療における情報、医療や看護における情報の特徴を説明できるか。今後のICTの活用について考察できているか。（授業内でルーブリックを配布します。） 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：グループワーク、プレゼンテーション 評価割合：30% 評価基準：グループワークに主体的に参加しているか。（Peer Asessmentを取り入れます。）各テーマについて事前学習やグループワーク内容を活用して学びをまとめているか。 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：Office課題 評価割合：10% 評価基準：Word、Excelの基本操作ができるかどうか。 履修目標との対応：①③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	系統看護学講座　別巻　看護情報学　医学書院 その他の資料は授業内で紹介する。
実務経験のある教員による授業	看護情報の実践・管理について実務経験を有する教員が担当する。
オフィスアワー・連絡先	連絡先：杉山洋介　ysugiyama@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 教職概論（養護教諭）　　授業コード： 24T104

英文科目名称： Introduction to the Teaching Profession

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	教職の社会的使命、職業としての特質等について、社会から求められていること、諸課題への対応した仕事の進め方、学校組織内の諸関係のとり結び方、さらには「チーム学校」の実践などについて学ぶ。
履修目標	①教職について様々な側面から考え、説明できる。 ②教師・教員の職務の特徴や意義、社会的責任について理解し、説明することができる。 ③学校の現代的役割や課題と関連づけて、これからの教員に必要な資質・能力を説明することができる。 ④授業受講前後の自身の教職観を比較し、その違いを具体的に述べることができる。 ⑤教職の難しさと醍醐味を理解し、自己の教師像をイメージできる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス～教職の方法論について～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 2　教師の仕事から小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教師の仕事～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 3　教師の服務・教師に関係する法律～働く場について考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 4　授業論～「教授・学習」というコンセプトについて考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 5　学習の主体としての教師～教師のキャリア発達～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 6　カリキュラム及びカリキュラムマネジメント 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 7　子ども観～教師と子どもの関係性を考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 8　保護者観～教師と保護者の関係性について考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 9　同僚観～同僚との相互の関係性について考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 10　事例を通して考える学校内の様々な関係性 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 11　教育課題と教師（その１）非行、いじめ、不登校などの諸課題について

	グループワーク、グループ発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 12　教育課題と教師（その２）子どもの社会的背景、貧困などの諸課題について グループワーク、グループ発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 13　教師像の変遷～教育改革の課題と展望～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 14　チーム学校とこれまでの学校組織～協働チームに必要なこと～　外部講師 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 15　教職とは何か、総合的に考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーション、グループワーク、模擬授業実践を行う。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：40% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点 履修目標との対応：③○　④○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：30% 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：佐久間亜紀・佐伯胖、現代の教師論、ミネルヴァ書房、ISBN：9784623085361 参考書：授業時に随時紹介する
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

講義科目名称： 教育課程と指導計画（養護教諭）　　授業コード： 24T108

英文科目名称： Curriculum and Instruction Planning

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
中田　正敏			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	学校教育の運営においては、その全体計画としての教育課程が子どもの育ちに沿うものであることが重要である。そのために本講義では、教育内容の変遷と教育課程の関係、教育課程の編成や評価に関しての理解を深める。さらに、これらを踏まえた上で、長期・短期の指導計画について具体的に学修する。また、個々の対応についても学ぶ。
履修目標	①教職課程やカリキュラムの基本的構造を説明できる。 ②具体的な指導計画の作成の実践や振り返りを通した評価について説明できる。 ③カリキュラム・マネジメントの理念と実践について説明できる。 ④教育課程やカリキュラムに関する様々なコンセプトを自分の言葉で語り、実践をイメージできる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション～時間割と教育課程～ 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　教育課程とカリキュラム 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　教育課程に関する法規と学修指導要領 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　教育課程の歴史的変遷 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　学習指導要領の変遷 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　教育課程編成の全体構造 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　教育課程の編成と実施指導計画の作成 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　教育課程実施上の配慮事項 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　学習指導案の作成手順 作成のポイントをまとめ疑問点を次回に発表（90分）

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　学習指導案作成の演習と模擬授業 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　授業方法の理論と具体的展開 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　教育評価の理論と方法 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　カリキュラム・マネジメントの意義 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　カリキュラム・マネジメントの具体的展開 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　教育課程とは何か～総合的に考える～ 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	テーマに即してペアワークやグループワークを随時展開する。
課題のフィードバック方法と時期	毎回の授業のリフレクションペーパーの内容について次回の授業のはじめに提示し、グループワークをする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：到達目標に関わる重要語句について説明できれば60% 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：レポート試験 評価割合：30% 評価基準：授業内容について適切なコメントができていれば60% 履修目標との対応：④ 評価方法：平常点評価 評価割合：20% 評価基準：発言の中で体験を言語化できていれば60% 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：必要に応じてプリントや資料を配布する。 参考文献：高等学校学習指導要領、中学校学習指導要領　小学校学習指導要領　文部科学省
実務経験のある教員による授業	該当：学校マネジメントの実務経験の具体的事例を導入部、展開部で提示する。
オフィスアワー・連絡先	非常勤講師控室（昼休み）
備考	カリキュラムの基本構造を理解したうえで、具体的な計画の実際や評価について学び、様々なやり方で学習効果を高めるための具体的な工夫による教育方法を考えます。

講義科目名称：　道徳教育と特別活動・総合的な学習の理論と方法　授業コード：　24T109

英文科目名称：　Theory and Method of Special Activities and Moral Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
近藤　卓　小池　幸			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3　看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	道徳の意義や原理等の学びを基に、道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間 及び特別活動のそれぞれの特質に応じて，児童（中学校：生徒）の発達の段階を考慮した，総合的な学習の意義を踏まえた適切な道徳教育における指導を考え、具体的に指導計画を作成し、発表を行う。
履修目標	①道徳の意義や原理等を踏まえた上で、学校における道徳教育の目標や内容を理解し説明できる。 ②特別活動の意義、目標及び内容を理解し述べることができる。 ③総合的な学習の時間の意義や、目標及び内容を定める際の考え方を理解し説明できる。 ④総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し工夫、作成できる。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンス・今まで体験した道徳、特別活動及び総合的な学習の時間について（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） １回目の授業に臨む予習として、事前に送付する資料をもとに学修する。さらに、１回目授業の予習として、教科書「中学校学習指導要領」Ｐ１５４～Ｐ１５８及びＰ３１２～Ｐ３１７を熟読する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分） 2　道徳を学ぶ・道徳を教えるとは（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小中学校で受けた道徳の授業を思い出して、印象深い内容を800字程度にまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 他の学生の体験発表などを聞いた上で、道徳を学ぶとはどういうことかを800字程度にまとめる（90分）。 3　道徳教育の歩みと学習指導要領（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書（文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編』）の第2章第2節を読んで、道徳科の目標について800字程度にまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 道徳教育の歴史を踏まえて現行の学習指導要領の意味と位置づけを800字程度にまとめる（90分）。 4　道徳教育の歩みと学習指導要領（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書（文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編』）の第3章第2節のうち、特にp24-25の表を参照して、小学校から中学校へと4つの発達段階における内容を800字程度にまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分自身の小中学校の頃のことを思い出して、道徳性の発達がどうだったかを考え800字程度にまとめる（90分）。 5　道徳教育の多様な展開　特別活動、総合的な学習の時間との関係（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書（文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編』）の第2章第1節（特にp9-12）を参照して、他の教科等との関連性を理解し、要点を800字程度にまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分自身の特別活動や総合的な学習の時間の学習経験を思い出して、道徳教育との関連性がどのように図られていたか800字程度にまとめる（90分）。 6　道徳教育の指導計画（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回まで4回の授業で学んだ（道徳を学ぶこと教えること、道徳教育の歩みと学習指導要領、道徳性の発達、他の教科等との関連等）ことについて、自分の書いた予習ノートを振り返っておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） この回の授業で学んだことを踏まえて道徳の指導案を作る（90分）。 7　特別活動の意義、歴史的な背景と概要（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ１１～Ｐ３２、及び中学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ１１～Ｐ２８を熟読し要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）

	8	特別活動の目標と内容及び教育的意義（学習指導要領、教育課程上の位置づけ）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説特別活動編P８４～P１１５及び中学校学習指導要領解説特別活動編P７４～P９１を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	9	道徳的課題と特別活動の学習活動や児童生徒の自主活動等における取り組み（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編P８～P１７及び中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編P８～P１７を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	10	総合的な学習の時間の教育的意義と教育課程における教科横断的な取り組み（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編P６６～P８２及び中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編P６２～P７９を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	11	総合的学習時間の進め方（アクティブラーニング・多様な学習形態）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説特別活動編P１１６～P１３５、及び中学校学習指導要領解説特別活動編P９２～P１１２を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	12	各教科の連携による年間指導計画の立案（事例を通した検討）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編P１０８～P１２３及び中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編P１０３～P１１９熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	13	総合的な学習の時間の留意点（グループワーク・課題の設定・研究方法の決定）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説特別活動編P４３～P８３を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	14	グループワーク・課題追求と報告準備（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学級活動（２）の模擬指導案を作成する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	15	研究発表（自己評価・相互評価）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（本時の復習90分）なお、最終回のため予習時間は無し。第１回の授業に臨む予習時間（90分）を１回目授業以前に確保する。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（本時の復習90分）なお、最終回のため予習時間は無し。第１回の授業に臨む予習時間（90分）を１回目授業以前に確保する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークやディスカッション、口頭発表などを適宜採用して授業を展開する。	
課題のフィードバック方法と時期	リアクションペーパー等のフィードバックは、次の授業時に行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：25% 評価基準：到達目標で示す教科書等の範囲にある重要語句の意味がわかれば60% 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：成果発表 評価割合：30% 評価基準：すべての条件を備えた成果発表ができれば60% 履修目標との対応：① 評価方法：リアクションペーパー・レポート 評価割合：45% 評価基準：毎回リアクションペーパー等で授業で学んだことを記述できれば60／100点 履修目標との対応：①②③④	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：文部科学省『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説―道徳編』財務省印刷局　生徒指導提要 参考文献：佐野安仁・荒木紀幸 編著『道徳教育の視点』晃洋書房 日本体験学習研究所 編『人間関係づくりファシリテーション』金子書房、適宜配布資料	

実務経験のある教員による授業	担当教員は初等・中等教育の教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	予約によって授業開始前と授業後に講師室で面談を行う。
備考	道徳性とは何か、子どもたちの道徳性を育むために必要なことは何か、積極的に考え、養護教諭に期待されている役割についての考えを深めてください。 毎回の課題での自己学修やグループ学修での積極的な取り組み姿勢を期待します。

講義科目名称： 教育相談（養護教諭）　　授業コード： 24T110

英文科目名称： Educational Consultation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
近藤　卓			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3　看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	カウンセリングの根拠となる理論を学んだ上で、様々な症状の事例を検討することで、カウンセリングの効果と限界について知る。特に、子どもとその保護者を対象としたカウンセリング、スクールカウンセリングについての事例を中心的に取り上げ、生きづらさを感じている子どもと保護者を、臨床心理の専門家がどのようにサポートするのか、教師など他の専門家とどのように連携していくのかを学ぶ。
履修目標	①学校教育における教育相談の意義と課題を理解し説明できる。 ②受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解し実践できる。 ③発達障害・いじめ、不登校等について発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解し説明できる。 ④地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解し説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　学校の現状と課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分自身の初等・中等教育の実体験を思い出して、良い思い出と悪い思い出を書き出してみる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業時に話題となったさまざまな実体験から、主な問題点を整理する（90分） 2　心と健康 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書のp11-16を読んで健康の概念について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 心の健康とコミュニケーションとの関係についてWHOの健康の概念を踏まえて説明できるようにする（90分） 3　学校での人間関係；魅力と人間関係 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書のp18-26を読んで魅力を構成する要因について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 魅力を構成する8つの要因の内、これまでの経験を振り返って、自分自身にとって重要だと思うものを考えてみる（90分） 4　人間関係の構造；向き合う関係と並ぶ関係 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書のp35-41を読んで人との関係における向き合う関係と並ぶ関係の意味を理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 並ぶ関係が持つ意味を発達段階と関連づけて説明し800字程度にまとめる（90分） 5　児童・生徒の心；自分を大切に思う気持ち 授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでの人生で、身近な人たちと一緒に過ごした時間のうち楽しかった経験を思い出して、箇条書きにしてみる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 共有体験が自分にとってどういう意味を持っていたかを800字程度にまとめる（90分） 6　学級におけるコミュニケーションとリーダーシップ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書のp41-44、p55-57を読んでコミュニケーションの構造について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学級におけるリーダーシップのあり方を考え、自分自身の経験を800字程度にまとめる（90分） 7　言語表現と非言語表現 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書のp41-44を読んでコミュニケーションにおける言語表現と非言語表現の意味について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） コミュニケーションにおける自分自身の非言語表現の特徴を800字程度にまとめる（90分） 8　集団の中の個人 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書p8-11を読んでゲマインシャフトとゲゼルシャフトの特徴を理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分自身の所属集団の一つを挙げて、そこへの所属理由５項目を検討し800字程度にまとめる（90分） 9　コミュニケーションの障がい 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書p132-136を読んで、癒しという現象について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	日常生活におけるさまざまなストレスに対して、どのように対処しているか振り返って800字程度にまとめる（90分） 10　カウンセリングの考え方 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書p136-138、p143-152を読んで、カウンセリングの各段階と進め方について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 臨床心理学とカウンセリングの関係性について整理して、800字程度にまとめる（90分） 11　精神分析理論；フロイトの自我理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書p139-140を読んで、フロイトの精神分析理論について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分自身を振り返って、無意識の働きによる何らかの経験があればそれを800字程度にまとめる（90分） 12　交流分析理論；バーンのエゴグラム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書p140-141を読んで、PACの考え方について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） フロイトの自我理論と、エリック・バーンの考えた自我状態の関係について800字程度で説明しまとめる（90分） 13　来談者中心療法；ロジャーズによる面接 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書p138-139を読んで、ロジャーズのカウンセリングの基本的な考え方について理解しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 来談者中心療法が、わが国のカウンセリングに影響を与えた理由について、800字程度にまとめる（90分） 14　教育相談とカウンセリング 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分自身の初等・中等教育での教育相談やカウンセリングの実体験を思い出して書き出してみる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業時に話題となったさまざまな実体験から、主な問題点を整理し800字程度にまとめる（90分） 15　教育相談の現状と課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでの14回の授業を振り返って、最も印象に残ったことを３項目程度書き出してみる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業時に話題となったさまざまな事柄を踏まえて、教育相談の現状と課題について800字程度にまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ロールプレイングやグループワーク、プレゼンテーションなどを行う。
課題のフィードバック方法と時期	リアクションペーパー等の内容について、次の授業でフィードバックする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：課題レポート 評価割合：50% 評価基準：自らの考えの根拠を具体的に説明できれば80/100点 履修目標との対応：①②④ 評価方法：リアクションペーパー等の内容 評価割合：20% 評価基準：毎回のリアクションペーパーで授業で学んだことを記述できれば60/100% 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：プレゼンテーション等 評価割合：30% 評価基準：まとめたことを発表したり実践できれば60/100% 履修目標との対応：②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：近藤卓著『生活カウンセリング入門』（大修館書店） 参考文献：近藤卓著『子どもの自尊感情をどう育てるか』（ほんの森出版） 近藤卓編著『PTG　心的外傷後成長』（金子書房）その他は授業時に随時プリントや資料を配布
実務経験のある教員による授業	担当教員は中等教育の現場で臨床心理士として学校カウンセリングの実践経験が長く（約35年）、教職経験（約10年）もある。
オフィスアワー・連絡先	予約をした上で授業前後の休憩時間に講師室で面談。
備考	児童生徒のメンタルヘルス及び教育関係事象に常に関心を持って授業に臨んでください。 備考：毎回の課題。グループ発表の課題に積極的に取り組むことを望みます。

講義科目名称： 臨床薬理学　　授業コード： 24F202

英文科目名称： Clinical Pharmacology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
渡邉　達也,渡邉　めぐみ			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3. 看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護の対象に用いられる薬の主な薬理作用、薬力学的相互作用、薬の吸収と消失・排泄といった体内動態、疾患の側面からみた薬の相互作用などについての知識を学ぶ。また、講義で得られた臨床薬理学の知識を患者支援･患者ケアにどのように活用するのかについても学ぶ。このほか、薬の管理、医薬品開発の基礎的知識についても学ぶ。これらを通じて、疾患の治療に用いられる薬の基本的薬理作用を理解することで、薬理作用の知識に基づいた患者支援・患者ケアを実践するための基礎的知識の習得を目的とする。
履修目標	①医薬品の薬理作用、作用機序、体内動態を理解するための基礎知識を修得する ②薬物治療が主体となる疾患について病院・病態に基づいた基礎的知識を修得する ③薬物治療を受ける患者支援のための医薬品の選択と使用の基本および関連する代表的な副作用について理解する ④医薬品管理の基礎、医薬品開発の基礎知識を取得する ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　薬とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 2　薬の正しい使い方、医薬品の安全管理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 3　薬物の体内動態・薬効に影響する因子① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 4　薬物の体内動態・薬効に影響する因子② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 5　医薬品開発の基礎的知識とチーム医療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 6　感染症治療薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 7　抗アレルギー薬・抗炎症薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 8　末梢神経作用薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）

	9　抗がん剤 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 10　免疫治療薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 11　呼吸器・消化器・泌尿器・皮膚・眼科・漢方薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 12　内分泌作用薬、ビタミン、輸液 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 13　中枢神経作用薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 14　心臓・血管系作用薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 15　代表的な副作用、その他 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	実施しない
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100％ 評価基準：100点満点で60点以上を合格とする 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	吉岡充弘他編：系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　疾病のなりたちと回復の促進３　医学書院
実務経験のある教員による授業	担当教員は医療機関、製薬企業等で当該領域の実務経験を有しており、その経験を生かし将来を見据えた実践的な知識を伝える
オフィスアワー・連絡先	講義開始前もしくは講義終了後適宜
備考	講義が主であるが、講義内容の理解度を確認するため複数回の小テストをおこなう。 受け身で受講するのではなく疑問を持ち、講義配付資料や教科書等で予習、復習をし、理解を深めて欲しい。

講義科目名称： 症候論Ⅲ　　授業コード： 24F205

英文科目名称： Symptomatology Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
阿部　裕之			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・ 技術(及ひ゛倫理的態度)に基つ゛き、多様な健康課題をアセス メントし、計画的に看護を践すること か゛て゛きる。
履修条件	
授業概要	看護の実践では、日々、患者からのさまざまな訴えや症候から、それらの原因や関連する因子を推察し対処することが、非常に大切です。診断された疾患の患者を看る場合でも、患者の心身の異常を示す種々の症候についての発生機序、病態および病因論を学び、その患者への適切な検査･治療に結びつけることが可能になります。症候論IIIでは自己免疫疾患、脳神経疾患、ショック・脱水・暑熱障害、血管系疾患における症候について学びます。 症候論を学ぶ上では、生活や人体の形態・機能、病理学の知識が重要となります。各症候を来たす疾患群は多様であり、最初はそれらの疾患名や疾患の特徴などを理解することは難しいですが、復習を行うことで授業と関連づけて理解してください。授業では反復して説明するので、教科書や授業での配布資料での復習を怠らない様にしましょう。
履修目標	①自己免疫疾患（膠原病）の病因・病態について理解する。 ②めまい・意識障害・痙攣・麻痺などの脳神経疾患による症候、病因・病態について理解する。 ③ショック、脱水症、暑熱障害、熱傷における病態、対処・治療について理解する。 ④血管疾患（動脈系・静脈系）における疾患の症候や病態について理解する。 ⑤それぞれの症候に対する代表的疾患の病態と診断について理解する。 ⑥各病態に対する対処や治療について理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　膠原病の病態、病状と鑑別診断 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　疼痛の発生機序と病態、疼痛を伴う疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　めまいの発生機序と病態、めまいを伴う疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　意識障害の発生機序と病態、意識障害を伴う疾患の種類 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　意識障害をきたす疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　痙攣発作の発生機序と病態、痙攣発作をきたす疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　麻痺の発生機序と麻痺を来たす疾患の病態 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　麻痺を伴う疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　脳神経の異常による嚥下障害の発生機序と病態 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　脳神経障害による嚥下障害を来たす疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　記憶障害、認知障害の発生機序と病態、その診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　ショック、脱水症の発生機序と病態。 ショック、脱水症をきたす疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　暑熱障害、熱傷の発生機序と病態 暑熱障害、熱傷に対する対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　大血管疾患に伴う症候（胸痛・腹痛など）の発生機序と病態大血管疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	15　　末梢血管疾患に伴う症候の発生機序と病態 末梢血管疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100% 評価基準：多肢選択テストで、60点以上を合格とする。 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 授業後に小テストを行い、総合評価の一部として評価する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：浅野。吉山：「看護のための臨床病態学」南山堂 授業における配布資料
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	
備考	

講義科目名称： 保健統計学　　授業コード： 24F302

英文科目名称： Health Statistics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
諸星　北人			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	「健康や疾病に関する保健医療情報の収集・分析・解釈の仕方を学習し、対策・活動といった応用に至るまでの過程について学び、多様な健康課題を把握し、科学的根拠に基づく看護の実践に繋がる思考力を身につけること」、臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。「保健統計の基盤となる疫学的思考および主要な統計分析について学び、保健統計学の有用性を理解し、また、保健統計の代表的な調査および保健医療情報に関連する法令を学習することで」、地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	保健統計の基盤となる疫学的思考および主要な統計分析について学び、保健統計学の有用性を理解する。また、保健統計の代表的な調査を学習し、保健医療情報に関連する法令等を通じて、情報を適切に取り扱う重要性を理解する。健康や疾病に関する保健医療情報の収集・分析・解釈の仕方を学習し、対策・活動といった応用に至るまでの過程について学び、多様な健康課題を把握し、科学的根拠に基づく看護の実践に繋がる思考力を身につけることを目的とする。
履修目標	①保健統計学に関する統計分析について、概要を説明できる。 ②主要な保健統計指標と調査を説明できる。 ③主要な保健統計指標値の最近の傾向を説明できる。 ④データの情報の収集、分析、解釈について説明することができる。 ⑤保健医療情報を適切に取り扱う重要性を説明できる。 ⑥保健統計学の保健・医療現場における活用実例を述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　保健統計学概論 / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第1章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 2　保健統計学と疫学・統計分析① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第2章1.～6.を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 3　保健統計学と疫学・統計分析② / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第2章7.～12.を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 4　第1～3回授業のまとめ / アクティブラーニング・講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第1～3回までの指定テキストの該当部分と授業資料を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 5　データの情報の収集、分析、解釈① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第7章1.～5.を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 6　データの情報の収集、分析、解釈② / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第7章6.～10.を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 7　保健統計指標と調査① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第3章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 8　保健統計指標と調査② / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第4章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 9　第5～8回授業のまとめ / アクティブラーニング・講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第5～8回までの指定テキストの該当部分と授業資料を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 10　保健医療情報の処理と関連する法令等① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 情報リテラシー・ヘルスリテラシー・情報モラル・引用をキーワードに検索・情報収集をする（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 11　保健医療情報の処理と関連する法令等② / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 個人情報・診療記録をキーワードに検索・情報収集をする（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 12　保健統計学の実例① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第5章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 13　保健統計学の実例② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第6章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 14　第10～13回授業のまとめ / アクティブラーニング・講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第10～13回までの指定テキストの該当部分と授業資料を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 15　第1～14回授業のまとめ / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第1～14回までの指定テキストの該当部分と授業資料を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	小グループを組み、個人およびグループワークやディスカッションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各授業の最後に、課題としてGoogleフォームでの小テストを提出します。フィードバックは、Googleフォーム送信後に自動的に発表される解答集（フィードバック）に加え、次の授業の冒頭で行います。ただし、最終授業の課題に対するフィードバックは、Googleフォーム送信後に自動的に発表される解答集（フィードバック）のみとなります。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：40% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点。 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤　⑥ 評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点。 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤　⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：南山堂「楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計 改訂4版」浅野嘉延著　2023年9月発行 ISBN 978-4-525-05344-4 参考文献：必要に応じて適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	担当教員は統計学を用いて臨床疫学の研究をする医師であり、実経験も基に保健・医療現場での実践と活用を目指した授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	質問は、各授業の課題であるGoogleフォームでの小テスト内に自由記載欄を設けるので、質問内容を記載してください。次回の講義内でフィードバックをします。対面授業回の場合は、授業終了直後に直接担当教員に質問をしても構いません。その他、何かある場合は、件名に学籍番号と氏名を明記の上、以下のメールアドレスまでご連絡ください。 hokuto-n@med.showa-u.ac.jp
備考	授業の録音・録画、授業資料の無断転載は不可とします。

講義科目名称： 疫学　　授業コード： 24F303

英文科目名称： Epidemiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　田　啓樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2.臨床場面や状況への関心をもち、看護実践への内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 5. 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることが出来る。
履修条件	公衆衛生看護学概論の単位を取得していること
授業概要	人間集団の疾病及び健康事象の発生状況を把握し、疫学的思考及び方法を通して、それらに影響を及ぼしている要因や条件を包括的に探る方策を学修する。また、様々なレベルで実施されている保健活動の基盤となっている疫学研究の効果を理解し、健康教育の根拠を評価できる力を習得する。
履修目標	①疫学の基本的な理論と方法を述べることができる。 ②医療データの収集・分析・解釈について説明することができる。 ③疫学で用いられる指標・疾病の因果関係・疫学的デザインについて説明することができる。 ④スクリーニング検査の意義や結果の解釈をすることができる。 ⑤疫学の保健医療現場における活用事例を述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　疫学概論 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 2　疫学で用いられる指標① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 3　疫学で用いられる指標② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 4　疫学研究方法 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 5　疫学における誤差 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 6　スクリーニング 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 7　保健統計調査 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 8　主な疾患の疫学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 9　疫学演習① 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分）） 10　疫学演習② 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分)

	11 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 疫学演習③ 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 12 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 疫学演習④ 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 13 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 疫学演習⑤ 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 14 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 疫学演習⑥ 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 15 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） .疫学演習の.まとめ 第9回～14回で取り組んだ演習問題でわからないことを明らかにし、再度、学習する。 授業外事前学修課題：第9回～14回での演習問題を振り返り、理解不足の内容を明らかにする（90分） 授業外事後学修課題：学習した内容を整理し、まとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	9-15回の演習は、問題の回答を学生から説明してもらう。
課題のフィードバック方法と時期	各授業後に小テストを行います。小テストの解説は次の授業の冒頭で行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：授業で学修したことを理解できれば60点 履修目標との対応：　①-⑤ 評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：各授業で学修したことを理解できれば60点 履修目標との対応：　①-⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：南山堂　『楽しく学べる看護学生のための疫学・保健統計』　浅野嘉延　著 ISBN　978-4-525-05344-4
実務経験のある教員による授業	担当教員の一部は医師、産業医、疫学・公衆衛生学の研究者であり、その経験を活かして、実際の保健・医療現場での活用を基に実践的な指導を行う。 演習（9～15回）を担当する教員は保健師経験や公衆衛生看護学研究の経験を活かした演習を行う。
オフィスアワー・連絡先	hden@soei.ac.jp　（田　啓樹メールアドレス） tyamaguchi@soei.ac.jp(山口智美メールアドレス)
備考	

講義科目名称： 基礎看護学実習Ⅱ　　授業コード： 24G110

英文科目名称： Fundamentals of Nursing Ⅱ：Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
鈴木　恵/看護学部　本多　和子/看護学部　荒武　喜子/看護学部　小川　明佳/看護学部　杉山　洋介/看護学部　大久保　昭宏/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる ２．臨床場面や状況への関心を持ち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる ３．看護の専門的知識・技術に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる
履修条件	看護学原論、対象論、看護学援助論、ケア場面展開論、看護援助技術論Ⅰ、看護過程展開論Ⅰ、看護援助技術論Ⅱ、看護過程展開論Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得していること
授業概要	看護実践の基礎となる既習の知識・技術・態度を踏襲し、臨地において看護を必要としている患者を受け持ち、その人の生活を援助する実習を行う。ここでは特に、患者のありのままを受けとめ向き合うことを通して、援助的人間関係を発展させることを学ぶ。また、患者の生活行為の自立の状態の把握から、患者の健康回復とセルフケアを促すことを意図する看護ケアプランを作成し、安全・安楽・自立・個別性に配慮したケアを行うことを通して、看護実践力の素地を養う。さらに、自己が行った看護を振り返り、看護に対する理解を深める。
履修目標	１．対象者を一人の人間として尊重した関わりができる ２．対象者に今何が起きているかをアセスメントし、生活の個別性から看護上の問題および看護の方向性を明確化できる ３．個別性を踏まえた看護計画を立案し、対象者と援助的関係を築きながら安全・安楽・自立に配慮したケアを実施、評価する ４．看護学生としての責任を自覚し、学ぶ姿勢をもって実習に取り組むことができる
授業計画・授業外学修課題	実習要項参照。
アクティブラーニングを用いた授業方法	個人ワーク、実習、グループワーク、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	実習中に生じる課題や実習記録についての疑問などは、実習現場でタイムリーにフィードバックを行います。 実習終了時には学内で学びの共有（発表・ディスカッション）を行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	実習評価ルーブリックを参照（オリエンテーションにて配布します）
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	看護学原論、対象論、看護学援助論、ケア場面展開論、看護援助技術論Ⅰで使用したテキスト及び授業資料 参考資料：本江朝美：看護学生のための臨地実習ナビ、照林社 その他、DVD教材（本江朝美監修：患者さんと心がつながる看護学生の臨地実習ナビゲーション、株式会社アローウィン、2015）、ほか参考文献は適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての実務経験を生かした実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは実習のため不定期、必要時メールで対応します。 連絡先： khonda@soei.ac.jp（本多）yaratake@soei.ac.jp（荒武）msuzuki@soei.ac.jp（鈴木）
備考	・事前オリエンテーションに必ず参加し、実習要綱（共通）および基礎看護学実習Ⅱ要項を熟読し実習に臨んでください。 ・事前学習を十分行い、積極的に実習に臨んでください。 ・健康管理に十分留意し、予防注射を所定の時期までに必ず済ませておいてください。 ・適宜、連絡・相談・報告を行ってください。

講義科目名称： 地域・在宅看護方法論Ⅰ　　授業コード： 24G152

英文科目名称： Community/home care Nursing Ⅰ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
村上　亜紀/看護学部　近藤　仁美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・臨床場面や状況への関芯をもち、看護実践の内政を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ・看護の専門的知識・技術（及び倫理的態）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	「地域・在宅看護論」を履修していること
授業概要	在宅看護の実践において求められ、在宅看護を展開するために必要となる基本的な技術と在宅における対象である療養者本人と家族の健康課題別の在宅看護技術の実際、在宅におけるターミナルケアの課題について学ぶ。 また、在宅看護において求められる態度や倫理について学修する。
履修目標	①在宅看護における基本的な知識および実施方法を説明できる。 ②健康課題別に応じた在宅看護技術と社会資源の活用について説明できる。 ③在宅療養者に関わるチームの一員として、多職種との連携・協働について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1回目　科目ガイダンス地域での暮らしを支える看護技術① 地域・在宅看護実践とその要素、家族支援、安全を守る看護・心構え、対話・コミュニケーション、リスクマネジメント、ハラスメント 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp50～85.を読む。生活を営むなかでの1事例からリスクマネジメントについて自分の考えをまとめておく。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。課題の提出。 2回目　暮らしを支える看護技術② 療養環境調整、活動・休息、食生活・嚥下・住環境と療養環境調整、活動と休息、食生活と嚥下（経口栄養法、経管管栄養法、在宅中心静脈栄養法） 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp86～135.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。 3回目　暮らしを支える看護技術③ 排泄、清潔・衣生活・排泄(失禁、便秘、尿道留置カテーテル、ストーマ、腹膜透析）・セルフケア：・清潔、・保清、・衣生活への支援 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp136～170.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。 4回目　暮らしを支える看護技術④ 苦痛の緩和・安全確保、呼吸・循環　・苦痛の緩和と安楽・医療管理レベルの高い医療的ケア(在宅酸素療法、人工呼吸療法）　・在宅療養継続に必要なフィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーション 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp174～274.②p144～146を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。課題の提出。 5回目　暮らしを支える看護技術⑤ 創傷管理、与薬・皮膚トラブルの予防、褥瘡の予防とケア、スキンテアの予防、与薬と管理 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp206～225.②pp84～134を読む。 復習：リフレクションペーパーの提出、授業内容をまとめる。（90分） 6回目　在宅療養者に対する医療管理レベルの高い医療的ケア 【〈ゲストスピーカー〉演習】 ①中心静脈栄養法（TPN）／在宅中心静脈栄養法（HPN）・カフティポンプの使用方法と管理・CVポートの管理 ②人工呼吸療法：HMV他 授業外学修：予習内容(90分)：前回の授業の復習をしておく。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。（90分） 7回目　在宅療養者に対する医療管理レベルの高い医療的ケア 【〈ゲストスピーカー〉演習】 ①中心静脈栄養法（TPN）／在宅中心静脈栄養法（HPN）・カフティポンプの使用方法と管理・CVポートの管理 ②人工呼吸療法：HMV 授業外学修：予習内容(90分)：前回の授業の復習をしておく。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。（90分）

	8回目	地域・在宅における時期別の看護 健康な時期、外来受診、入院時、在宅療養準備期、在宅療養移行期、在宅療養安定期、急性増悪期、終末期（看取り、グリーフケア）、在宅療養終了時 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp228～248, pp330～336. ②pp84～134を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。
	9回目	事例別の看護① 専門職者による支援を必要とする子どもと家族、医療的ケアを必要とする小児の療養者への在宅看護＜ゲストスピーカー＞・重症心身障害児、医療的ケア、成長発達支援、家族支援 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp252～265.②pp84～134を読む。質問内容をまとめておく。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。
	10回目	事例別の看護② 脳卒中を持つ在宅療養者・慢性疾患、リハビリテーション、社会資源 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp266～271.②p158～162を読む。 授業外学修：復習内容(90分)復習：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。
	11回目	事例別の看護② 認知症を持つ在宅療養者 日常生活・社会生活、意思決定支援、社会資源、後見人 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp318～327.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)復習：リフレクションペーパーの提出、授業内容をノートにまとめる。
	12回目	事例別の看護③ 医療依存度の高い在宅療養者への看護（慢性閉塞性肺疾患COPD、難病(パーキンソン病、ALS）の療養者 ・慢性疾患、肺理学療法、 ・難病、病状のアセスメント ・本人の希望、家族支援、意思決定支援、医療的ケア、社会資源、ロングタームケア 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp272～282.pp283～308.②p158～162を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業内容をノートにまとめる。
	13回目	事例別の看護④ ＜訪問リハビリステーション＜ゲストスピーカー：理学療法士＞ 在宅生活における心身の機能の維持・回復、日常生活の自立支援 授業外学修：予習内容(90分)：前回の授業の復習をしておく（テキスト①pp236～237を読む）。質問内容をまとめておく。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業内容をノートにまとめる。定期試験の準備をする。
	14回目	事例別の看護⑤ ＜精神疾患を有する療養者への看護＜ゲストスピーカー＞ ・精神科訪問看護の役割とケアの実際 ・精神疾患、統合失調症、認知症、服薬支援、家族支援、社会資源 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp309～318. を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業内容をノートにまとめる。「精神疾患をもつ人の地域生活を支える看護(職)の役割」についてレポートの作成をする。
	15回目	事例別の看護⑥ がん終末期の療養者への看護：在宅緩和ケア、看取り、グリーフケア 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp330～336. を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業内容をノートにまとめる。
アクティブラーニングを用いた授業方法	・Google classroomを活用し、双方向の情報共有を行います。 ・既学習内容や事前学習をもとに、毎回授業を進めていきます。 ・演習やICT、ケースメソッドなどを活用し、個別の学びと共に、グループワークを通して、在宅看護について学習を進めていきます。	
課題のフィードバック方法と時期	・Google Classroomや課題シートを用いて、学修の理解度を整理し、Google classroomや指定BOXへ期日までに提出してもらいます。 ・授業内での課題や質疑に対するフィードバックはGoogle classroomや次回の授業で行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：最終試験:授業で学んだことを理解したうえで、さらに自分の意見を記できるかどうか 履修目標との対応：①○　②○　③○ 評価方法：レポート・課題 評価割合：10% 評価基準：テーマにそった内容であり、文章の構成が整っているか、文献も適切に引用できているかどうか 履修目標との対応：①○　②○　③○ 評価方法：平常点評価 評価割合：15% 評価基準：リフレクションペーパー：授業の要点や自分の意見を端的にまとめることができるかどうか 履修目標との対応：①○　②○　③○ 評価方法：その他 評価割合：15%	

	評価基準：演習への取り組みができているかどうか 履修目標との対応：①○　②○　③○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：①河原加代子：系統別看護学講座 地域・在宅看護論2-地域・在宅看護の実践-医学書院 ②新訂版　写真でわかる訪問看護アドバンス　2021年 参考文献：訪問看護活用ガイド改訂版　勇美記念財団、国民衛生の動向2024/2025 参考資料：日本看護協会動画ポータル、看護職を目指す方へ－訪問看護師 https://www.nurse.or.jp/portal/list02.html 他、授業時に随時紹介します。 テキスト以外にも、必要に応じてレジュメ等の資料を配布の予定。 ＊演習では、地域在宅領域で指定されたユニフォームを着用します。清潔感のある身だしなみに整えて参加してください。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師もしくは教員経験を有しており、その経験を活かして、将来を見据えた生きた実践学の知をお伝えします。
オフィスアワー・連絡先	オフィシャルアワーも含め、必要時メールでアポイントメントを取ってください。 オフィシャルアワー詳細は、別途連絡します 村上：amurakami@soei.ac.jp　近藤：hkondo@soei.ac.jp
備考	在院日数の短縮化に伴い、在宅で医療ニーズの高い患者や療養者が増えています。小児から高齢者まであらゆる年代の方々が、地域・在宅で医療を受けながら療養している人とその家族への支援方法について学んで下さい。 ・当科目は、地域包括けケア実習を含め、いくつかの実習を経験した後に開講する科目です。既学習内容の復習や事前学習課題を行い、授業への主体的なな参加を期待しています。 ・30分以内の遅刻・早退３回で１回の欠席、30分以上の遅刻・早退は１回の欠席とみなします。

講義科目名称： 地域包括ケア実習　　授業コード： 24G154

英文科目名称： Community-based Comprehensive care： Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
近藤　仁美/看護学部　村上　亜紀/看護学部　山口　智美/看護学部　他			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる地域で暮らす人々に興味関心を持ち、尊厳を守り行動することができる 保険医療複視チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	基礎看護学実習Ｉの単位を修得し、地域・在宅看護論、保健福祉行政論Ｉを履修していること
授業概要	看護の対象は、地域で生活する人々であることを踏まえ、地域での住民の健康な生活を支えるための地域包括ケアシステムの構造・機能について体験的に学ぶ。 また、関係機関や専門職、住民等の連携や協働の実際から地域包括ケアシステム構築における看護専門職の果たす役割について学ぶ
履修目標	①実習施設の機能と役割について理解できる ②住民が生活する地域の特徴及び住民の生活状況、住民の健康と環境の関係が説明できる ③住民が地域で生活していくために必要な地域包括ケアシステムにおける社会資源について理解できる ④住民の地域での生活を支えるための地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種連携、協働の意義、目的、方法について説明できる ⑤地域包括ケアシステムにおける看護職の役割について考察できる ⑥看護学生として施設利用者や施設職員等に対して適切な態度で接することができる
授業計画・授業外学修課題	実習期間：5日間（　施設実習3日　学内実習2日　） 実習時間：9時～17時（ただし実習施設の指示に従う） 実習方法：事前学修課題 学内実習 施設実習 実習内容：事前学修課題 課題提示内容に従って既習学修、行政機関、各施設のホームページなどを活用し情報収集しポートフォーリオ作成 学内実習 実習第1日目　午前 オリエンテーション　実習要項に沿って実施 午後 地区踏査準備計画　施設までの経路実践確認 実習第5日目　午前 最終合同カンファレンス　発表　考察 午後 実習レポート作成　評価面接実施　記録物提出 施設実習 実習第2日・3日・4日目　各施設実習　各事業参加、家庭訪問、相談、会議などの見学実習　地区踏査実施 毎日カンファレンスの実施　施設実習最終日　最終カンファレンスを指導者参加のもとに実施 実習施設　地域ケアプラザ　７か所　緑区　青葉区　地域子育て支援拠点　2か所　中途障碍者地域活動センター　2か所
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICT活用し情報収集　グループワーク　プレゼンテーション　地区踏査
課題のフィードバック方法と時期	事前学修：実習オリエンテーション時に事前学修課題についての達成度、修正内容の提示を各グループ、個人に行う 実習中：実習中に生じる課題についてはタイムリーに対応しフィードバックを行う。 毎日のカンファレンスにおいて実習内容の課題、グループ、個人の課題について検討する 実習終了後：学内において合同カンファレンス及び個人面談を通してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習時間の４/５以上を出席しているもの者について事前学修課題、実習記録、実習レポート、実習態度を総合して評価する 評価方法：事前学習課題　　実習施設概要を調べる　地域包括ケアシステムについて 評価割合：17% 評価基準：課題に則した内容であり、記載条件、文章構成、引用参考文献の適切な提示がされているか　ルーブリック参照 履修目標との対応：　①　○　　②　○　　③　○　④　○　⑤　○ 評価方法：実習記録 評価割合：40% 評価基準：実習記録　記録記載内容80%以上の記載　文章構成が整っていること　ルーブリック参照 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○ 評価方法：実習態度　連絡・相談・報告の実施　身だしなみ・諸作法の実施　健康管理、感染予防対策、実習施設の実習姿勢 評価割合：２８% 評価基準：実習施設、参加イベント、家庭訪問時の実習姿勢についての実施状況　ルーブリック参照 履修目標との対応：⑥　○

	評価方法：実習レポート 評価割合：15% 評価基準：提示したレポート課題に対して内容が則っていること　記載条件、文章構成、引用参考文献が提示されていること　ルーブリック参照 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：地域・在宅看護の基盤　」　医学書院 参考文献：国民衛生の動向　一般在団法人構成労働統計協会 神奈川県ホームページ 各実習施設ホームページ
実務経験のある教員による授業	保健師・訪問看護師・退院調整看護師としての経験を活かした授業を行う
オフィスアワー・連絡先	連絡先　　hkondo@soei.ac.jp　　メールによる対応 科目クラスルームによる連絡　対応 実習中　携帯電話による対応
備考	事前学修課題・地区踏査など事前学修を十分に行うこと。 積極的に臨むこと 看護学生としての倫理観、マナーを遵守すること

講義科目名称： 成人看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 24G203

英文科目名称： Adult Nursing Ⅱ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　岩谷　正美/看護学部　那須　実千代/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	成人看護学概論の単位を修得していることを履修条件とする。
授業概要	慢性期看護の基本的考え方、慢性疾患を有する対象や家族の疾病への受容過程を含む特徴を理解し、セルフケアの視点から対象の状況に応じた看護援助を思考するために必要な概念や方法論を学ぶ。
履修目標	①慢性期看護の基盤となる理論や概念を理解する。 ②生活調整や生活再構築の必要な成人患者及びその家族の身体・心理・社会的特徴を説明することができる。 ③生活調整や生活再構築の目標及び方法を説明することができる。 ④対象が生活調整・生活再構築する際に必要な知識技術を獲得するための援助方法を説明することができる。 ⑤保存的治療に伴う症状や合併症に対する緩和方法・予防方法について説明するこができる。 ⑥生活調整や生活再構築の必要な成人患者及びその家族の尊厳を護る態度をとることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　総論①慢性期看護、生活調整を必要とする人への看護 1. 慢性期とは何か 2. 慢性期の看護の特徴 3. 生活再構築の必要な代表的な疾患・病態と、治療・ケアの特徴 授業外事前学修課題：成人看護学概論で学習した慢性疾患の動向、成人期の発達課題、生活調整について復習しておく。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容を配布資料とテキストをもう一度読み直し理解する。（90分） 2　総論②慢性期看護、生活再構築を必要とする患者の看護 4. 総論まとめ　慢性期看護の役割（4つ） 5. 生活調整・生活再構築の必要な人を支えるチーム医療（多職種連携） 授業外事前学修課題：成人看護学概論で学習した慢性疾患の動向、成人期の発達課題、生活調整について復習しておく。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容を配布資料とテキストをもう一度読み直し理解する。（90分） 3　代謝機能障害のある患者の看護（糖尿病①） 1.糖尿病の概要 2.糖尿病を持ちながら生活する患者の身体、日常生活、認知・心理面、社会・経済的側面の特徴 3.糖尿病を持つ人とその家族への看護の方向性 授業外事前学修課題：糖尿病の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容を配布資料とテキストをもう一度読み直し理解する。（90分） 4　代謝機能障害のある患者の看護（糖尿病②） 4. 糖尿病を持つ人とその家族への看護の具体的方法 授業外事前学修課題：糖尿病の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容を配布資料とテキストをもう一度読み直し理解する。（90分） 5　代謝機能障害のある患者の看護（糖尿病③） 5. 事例Aさんでアセスメントの視点、具体的看護計画を考える 授業外事前学修課題：糖尿病の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容を配布資料とテキストをもう一度読み直し理解する。（90分） 6　栄養代謝障害のある患者の看護（肝硬変①） 1. 肝硬変の概要 2. 肝機能障害を持ちながら生活する成人の看護 授業外事前学修課題：肝機能障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業内容を配布資料とテキストをもう一度読み直し理解する。（90分） 7　栄養代謝障害のある患者の看護（肝硬変②） 2. 肝機能障害を持ちながら生活する成人の看護

		授業外事前学修課題：肝機能障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業内容を配布資料とテキストをもう一度読み直し理解する。（90分）
	8	慢性疾患の自己管理支援：演習①/事故血糖測定・インスリン自己注射・食事アセスメント演習① 1．自己血糖測定・インスリン自己注射・食事のアセスメントの実践 授業外事前学修課題：①ナーシングスキルの看護技術（血糖値測定/インスリン製剤の種類・用法・副作用の観察/インスリン自己注射指導）を学習しテストに合格する。②自分の代表的な1日の摂取量を記録する。（150分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（30分）
	9	慢性疾患の自己管理支援：演習①/自己血糖測定・インスリン自己注射・食事アセスメント演習② 1．自己血糖測定・インスリン自己注射・食事アセスメントの体験を通して、これらの治療が患者に与える影響を理解する。（グループワーク・発表） 授業外事前学修課題：①ナーシングスキルの看護技術（血糖値測定/インスリン製剤の種類・用法・副作用の観察/インスリン自己注射指導）を学習しテストに合格する。②自分の代表的な1日の摂取量を記録する。（150分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（30分）
	10	運動機能障害のある人への看護 1．慢性の運動機能障害（関節リウマチ）の病態・治療・患者の心身・生活に及ぼす影響 2．生活再構築のための看護援助 授業外事前学修課題：関節リウマチの病態・症状・治療・合併症について事前課題をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	11	循環機能障害のある人への看護① 1．慢性の循環機能障害（心不全・不整脈）及び虚血性心疾患の病態、患者の心身・生活に及ぼす影響 授業外事前学修課題：心臓の機能（心電図含む）、循環障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	12	循環機能障害のある人への看護② 1．生活再構築のための看護援助 授業外事前学修課題：心臓の機能（心電図含む）、循環障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	13	内部環境調節障害のある患者の看護（慢性腎臓病CKD） 1．腎臓の解剖・機能（事前課題） 2．腎機能障害 3．腎機能障害時の検査（アセスメント） 4．腎機能障害時の臨床症状 5．CKDの原因疾患年代別特徴 6．CKDの治療 7．透析治療を受ける患者の看護 8．透析治療を受ける患者の看護診断・看護目標 授業外事前学修：腎機能障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	14	脳神経障害をもつ患者の看護（脳梗塞） Ⅰ．脳神経機能障害の基礎知識（事前課題） 1．脳の構造　2．脳の機能　3．脳機能障害の検査（アセスメント） 4．脳血管疾患（脳卒中）の病態と症状 Ⅱ．治療と看護 授業外事前学修課題：脳血管障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	15	呼吸機能障害のある患者の看護（慢性閉塞性肺疾患） 1．肺の解剖・機能（事前課題、方法論Ⅰ） 2．呼吸機能障害 3．呼吸機能のアセスメント ４．COPDの治療とそれに伴う看護

	授業外事前学修課題：呼吸機能障害（閉塞性換気障害）の病態、症状、治療、合併症について事前課題をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料およびテキストをよく読んで整理する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	患者体験を含む看護技術演習、グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業でミニテストを実施し、結果はその場で返却する。各回リフレクションペーパーはGoogleClassroom上でコメントを配信する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：定期試験70%、各授業の小テスト10% 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：事前課題、演習課題 評価割合：20% 評価基準：事前課題10%演習課題10%、提出期限様式の遵守、課題の意図の理解と多様な意見の参照度と自己の意見の洗練の程度 学修到達目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	慢性期看護学【第3版】ヌーヴェルヒロカワ　参考文献は随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	各回は、看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは実習対応のため不定期です。必要時メールで確認してください。knishide@soei.ac.jp
備考	これまでに履修した「人体の構造と機能」「症候論」「薬理学」「成人看護学概論」などを統合しながら学修を深めるため、充分に復習して授業に臨むこと。各回ごと該当疾患の病態生理・検査・治療の予習及び授業内容の振り返りを行うこと。

講義科目名称： 老年看護学実習Ⅰ　　授業コード： 24G210

英文科目名称： Gerontological Nursing Ⅰ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部　あべ野ゆう子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	基礎看護学実習Ⅰの単位を修得し、老年看護学概論，老年看護学方法論Ⅰを履修していること
授業概要	高齢者は加齢に伴う身体的、精神的、社会的変化と長年蓄積された生活習慣によって個別性が大きい。介護保険施設を利用している複数の高齢者の関わりを通してその個別性を実感的に理解し、コミュニケーション、家族への支援や多職種との協働・連携の実際を学修する。
履修目標	介護保険サービスを利用する高齢者とのかかわりを通して、加齢に伴う身体的、精神的、社会的特徴を捉え、その多様性を理解する。また、加齢に伴い生じる生活機能低下の実際と生活支援の実際を見学し、高齢者や家族への支援のあり方について考察できる。 ①高齢者の自尊心、意思の尊重を意識した関わりについて説明できる ②保健医療福祉との連携協働の実際を知り、施設における看護の役割が説明できる ③高齢者との対応を振り返り、自身の老年観を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　事前オリエンテーション①（全体） １．実施日　2年次前期　７月後半 ２．内容 １）老年看護学実習Ⅰの概要 ２）実習施設と学生配置 ３）実習スケジュールについて ４）授業外事前学修課題： ①介護保険制度のしくみ、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）および介護老人保健施設の特徴と違いについてまとめる。 ②各実習施設の概要と特色（理念、サービス内容など）について、施設のホームページを確認し、まとめる。 ③高齢者の身体的、心理的、社会的特徴についてまとめ、高齢者の発達段階の各期における楽しみにも着目する。 ④高齢者とのコミュニケーションにおける留意点と、認知症高齢者へのコミュニケーション技術であるユマニチュードの動画を視聴し、要点をまとめておく。 ⑤高齢者に対する食事介助、清潔（入浴、口腔ケア）、排泄介助（トイレ、オムツ交換）等の留意点についてまとめる 事前学修課題は、学習を深めるとともに実習中に活用できるようにまとめ、事前オリエンテーション時に持参する。 月曜　事前オリエンテーション②（グループ） １．実習日　2年次後期 ２．内容 １）実習に臨むにあたって ２）実習中に伴う安全対策および発生時の対応 ３）施設別オリエンテーション 火曜～木曜　臨地実習 １．実習内容 実習目標１～３の達成に向けて、施設にて実習学習に臨む ２．実習記録 様式２を用いて、実習目標に沿って記述する ３．実習内容及び形態 ①施設サービスを受ける利用者及び家族との関わりについてコミュニケーションを中心に学ぶ ②高齢者へのケア場面の見学と一部参加する ４．授業外事後学修課題： 自身の老年観を実習前後を比較し、レポートする 金曜　まとめ １．グループワーク ２．発表会 ３．評価面談 ４．記録、レポートの提出
アクティブラーニングを用いた授業方法	既習内容を総合して臨地実習学習を主体的に進める
課題のフィードバック方法と時期	臨地実習中およびカンファレンス参加時、実習最終日の面談にてフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	実習要項に詳細を示している

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂 正木治恵、真田弘美編、老年看護学技術、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした実習指導を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー；空き時間を利用するため事前に連絡、申し込みをする 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 小児看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 24G213

英文科目名称： Pediatric NursingⅠ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
山下　麻実/看護学部　加藤　紀子/看護学部　染谷　奈々子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	小児看護学概論を履修していること
授業概要	小児の健全な成長発達に関連する制度および保健活動について学修する。また障害（発達障害等）が小児やその家族に及ぼす影響と反応について学修し、その小児と家族に共通する基本的な看護援助について学修する。小児の成長・発達の段階と健康の段階に応じた日常生活の援助に必要な技術を学修する。さらに、健康障害をもつ小児特有の看護技術を学修する。
履修目標	①健康問題のあるこどもと家族を取り巻く環境について様々な資料を用いて分析できる。 ②こどもの健康障害の特徴と看護の特徴について関連付けて記述できる。 ③健康障害や入院に対するこどもと家族の反応と援助について解釈できる。 ④こどもの健康障害に伴う問題と看護について批判的に評価できる。
授業計画・授業外学修課題	1　こどもの見かた ・小児看護学概論の復習テスト ・こどもに起きやすい症状とアセスメントの方法 授業外事前学修課題：小児看護学概論の知識をもとにこどもの身体・情緒・社会的特徴を復習する。(30分) 授業外事後学修課題：授業で学修した内容を整理しまとめる(30分) 2　呼吸に問題を持つこどもと家族の看護 ・気管支喘息のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：呼吸器系の機能と構造を学習する(30分) 授業外事後学修課題：気管支喘息の病態・症状・治療・看護について整理する。(30分) 3　循環に問題を持つこどもと家族の看護 ・川崎病のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：心臓の機能と構造を学習する(30分) 授業外事後学修課題：川崎病の病態・症状を急性期および回復期ごとに治療と看護を整理する。(30分) 4　消化器に問題があるこどもと家族の看護 ・腸重積のこどもと家族の看護 ・鎖肛のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：消化器系の機能と構造を学習する(30分) 授業外事後学修課題：腸重積・鎖肛の病態・症状・治療・看護について整理する。(30分) 5　脳神経に問題があるこどもと家族の看護 ・てんかんをもつこどもと家族の看護 ・髄膜炎のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：大脳・神経系の機能や構造を学習する(30分) 授業外事後学修課題：てんかん・髄膜炎の病態・症状・治療・看護について整理する。(30分) 6　感染症を持つこどもと家族の看護 ・こどもの免疫機能の特徴 ・特徴的にみられるこどもの感染症 授業外事前学修課題：感染症が成立する仕組みを学習する(30分) 授業外事後学修課題：各感染症ごとに、感染経路、潜伏期間、症状、治療、看護、出席停止の基準について整理する。(30分) 7　小テスト/･こどもの手術の特徴 1回目～6回目の授業内容に関する確認テスト 手術を受けるこどもと家族の看護① 授業外事前学修課題：こどもの生理的特徴を再確認する。（30分） 授業外事後学修課題：小児期の手術に値する特徴をまとめる。特に新生児期の家族を含めた看護について整理する。（30分）

	8　手術を受けるこどもと家族の看護② ・ファロー四徴症 授業外事前学修課題：心臓の機能と構造を学習する（30分） 授業外事後学修課題：先天性心疾患の病態について、テキストを活用し整理する。（30分） 9　長期療養が必要なこどもと家族の看護① ・ネフローゼ症候群のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：腎臓の機能と構造を学習する（30分） 授業外事後学修課題：長期療養が子どもの成長や家族について、どのように影響（成長発達・栄養・学習の継続・家族関係など）するか考察する。（30分） 10　長期療養が必要なこどもと家族の看護② ・長期療養による事例を提示しながら具体的な看護 授業外事前学修課題：どもの病気や死のとらえ方について、概論の知識を活用して学習する。（30分） 授業外事後学修課題：長期療養を必要とするこどもの成長発達に伴うセルフケア、地域との連携についてまとめる。（30分） 11　生涯にわたり健康課題をもつこどもの看護 ・新生児マススクリーニング ・1型糖尿病をもつこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：ホルモンの分泌と作用機序について学習する。(30分) 授業外事後学修課題：1型糖尿病をもつこどもが学校生活うまく送るための必要な調整を考察する（30分） 12　小テスト/胎児期及び出生時における健康問題を持つこどもと家族の看護 7回目～11回目の授業内容に関する確認テスト ・ダウン症や低出生体重のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：妊娠成立から出産まで胎児の成長過程を学習する。（30分） 授業外事後学修課題：先天性疾患をもつこどもが生まれた家族への支援について整理する。（30分） 13　障がいのあるこどもと家族の看護 ・重症心身障害児のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：一般的なこどもの運動・認知・社会性の各発達を学習する。（30分） 授業外事後学修課題：重症な障害をもつ一どもの療育やレスパイトについて整理する。（30分） 14　精神疾患をもつこどもと家族の看護 ・発達障害のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：一般的なこどもの運動・認知・社会性の各発達を学習する。（30分） 授業外事後学修課題：発達障がい児の療育や他職種連携について整理する。（30分） 15　予後不良なこどもと家族の看護 ・こどもの生命・死のとらえ方 ・終末期におけるこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：小児看護学概論・臨床看護総論「第3章終末期にあるこどもと家族の看護」を熟読する。（30分） 授業外事後学修課題：終末期にあるこどもへの他職種連携における看護師の役割を考察する。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを取り入れながら、授業を展開していく。ICTを活用し、最新の予防接種情報を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションのフィードバックは、次の授業におこなう。 提出された成果物は授業最終回までに返却する。 試験のフィードバックはGoogleclassroomを活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：70% 評価基準：こどもに特徴的な疾患について基本的な病態や治療や看護に関する解釈や分析ができる。 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：レポート試験 評価割合：10% 評価基準：こどもにみられる感染症の感染経路・症状・看護・出席停止事項が整理できる。 履修目標との対応：①② 評価方法：その他 評価割合：20% 評価基準：こどもに特徴的な疾患について基本的な病態や治療や看護が答えることができる。 履修目標との対応：③④⑤

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	医学書院：小児看護概論・小児臨床看護総論 医学書院：小児臨床看護各論
実務経験のある教員による授業	看護師の資格を所有し、小児病棟での実務経験を活用した講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	山下　麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 加藤紀子：nkato@soei.ac.jp 必要時、アポイントメントを取ってください。
備考	授業中にICTを活用することは許可しますが、写真の撮影・録音・録画は認めません。

講義科目名称： 小児看護学実習Ⅰ　　授業コード： 24G215

英文科目名称： Pediatric NursingⅠ： Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
染谷　奈々子/看護学部　山下　麻実/看護学部　加藤　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	基礎看護学実習Ⅰの単位を修得し、小児看護学概論を履修していること
授業概要	地域・集団（保育所・幼稚園）の中で生活している健康な小児と発達障害のある小児の日常生活行動を実際の保育活動に参加・観察し、子どもと家族の支援に必要な基本的観察技術を修得する。さらに子どもの成長・発達、及び生活と環境との関連で理解し、子どもを取り巻く家庭・地域のサポートシステム及び施設における子どもの健康管理の概要を知る。
履修目標	①保育所・幼稚園における健康な小児の発達段階に応じた生活について説明できる。 ②こどもの日常生活行動の実際とその支援方法について指導を受け実施できる。 ③こどもを取り巻く家庭・地域が果たす役割やサポートシステムについて説明できる。 ④こどもを守り育てるための自らの役割や課題について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　保育所・幼稚園・こども園で1週間の実習を行う 実習時期、期間、実習施設・学生配置、実習内容、方法等の詳細は小児看護学実習1実習要項参照
アクティブラーニングを用いた授業方法	地域で生活する健康な子どもを対象とした保育所・幼稚園・こども園での実習です。
課題のフィードバック方法と時期	実習中に生じた課題については、実習中にフィードバックする。また、実習終了時には学内で、実習全体を通したフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：その他 評価割合：100% 評価基準：実習評価表参照 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：奈良間美保医学書院小児看護学概論・小児臨床看護総論 奈良間美保医学書院小児臨床看護各論
実務経験のある教員による授業	教員は看護師資格を有しており、病院をはじめとする施設での実務経験を活かして指導します。
オフィスアワー・連絡先	山下　麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 加藤紀子：nkato@soei.ac.jp 必要時、アポイントメントを取ってください。
備考	

講義科目名称： 精神看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 24G302

英文科目名称： Psychiatric Nursing Ⅰ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
小川　雅代/看護学部　横山　惠子/看護学部　奥山　聡子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ３．看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ５．地域社会の同行を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	精神看護学概論を履修していること。
授業概要	精神障がいをもつ人の回復過程に向けた治療・看護について学ぶとともに、リカバリーの理念を基盤にその人らしい人生が歩めるように支援することを学ぶ。本人とともに歩む様々な家族への支援の在り方を学ぶ。看護者自身がストレスに対処し、メンタルヘルスをよりよく保つ為の方法を考えられる。精神保健医療福祉における多職種連携の重要性、その際の理念、看護者の役割、具体的な支援方法について基本を学ぶ。
履修目標	①統合失調症、気分障害など主な精神疾患の特徴とその治療・看護について理解できる。 ②精神科病院の治療構造を理解し、倫理的課題と看護が理解できる。 ③精神障がいをもつ人にとっての回復の意味を理解し、支援について考えられる。 ④地域における生活支援について学ぶ。 ⑤精神障がいをもつ人の家族に対する支援が理解できる。 ⑥看護師自身のメンタルヘルスケアの必要性を理解できる。
授業計画・授業外学修課題	1　統合失調症、気分障害など主な精神疾患の特徴とその治療・看護について学ぶ1① 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を事前に熟読する（90分） 統合失調症、気分障害など主な精神疾患の特徴とその治療・看護について学ぶ1① 講師：西村康平（神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター医師） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所については教科書等で調べる（90分） 2　統合失調症、気分障害など主な精神疾患の特徴とその治療・看護について学ぶ② 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を事前に熟読する（90分） 統合失調症、気分障害など主な精神疾患の特徴とその治療・看護について学ぶ② 講師：西村康平（神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター医師） 授業外事後学修課題：小テストでわからなかった個所について教科書等で調べる（90分） 3　統合失調症をもつ人と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 統合失調症をもつ人の看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 4　気分障害を持つ人と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 気分障害をもつ人の看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 5　嗜癖問題をもつ人と看護

	授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 嗜癖問題をもつ人の看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 6　発達障害・PTSD・強迫障害をもつ人と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 発達障害・PTSD・強迫障害をもつ人と看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 7　治療と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 精神科における薬物療法、精神療法、ECT、社会療法について 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 8　精神科における倫理的問題と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する。神奈川精神医療人権センターのホームページを閲覧する（90分） 精神科における倫理的問題と看護について、精神科における人権擁護活動を行っている講師および当事者から活動の実際を学ぶ 講師：藤井哲也（神奈川精神医療人権センター会長） 授業外事後学修課題：講義内容からの学びをまとめレポートを作成する（90分）【レポート（１）】 9　認知行動療法と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 認知行動療法と看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 10　家族支援と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 家族支援のと看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 11　地域精神保健福祉の実際 授業外事前学修課題：精神科病院を出て、町へーACTが作る地域精神医療を読む（90分） 地域精神保健福祉の実際について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 12　コミュニケーション理論（治療的援助関係） 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） コミュニケーション理論（治療的援助関係）について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 13　自分自身のメンタルヘルス（WRAPの活用）① 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 自分自身のメンタルヘルスについてWRAPの体験学習を通じて考える 講師：増川ねてる（WRAPファシリテーター） 授業外事後学修課題：WRAPの体験学習からの学び、自分自身のメンタルストレスへの活用について考察しレポートを作成する【レポート(2)】（90分） 14　自分自身のメンタルヘルス（WRAPの活用）② 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 自分自身のメンタルヘルスについてWRAPの体験学習を通じて考える 講師：増川ねてる（WRAPファシリテーター） 授業外事後学修課題：WRAPの体験学習からの学び、自分自身のメンタルストレスへの活用について考察しレポートを作成する【レポート(2)】（90分） 15　看護師のメンタルヘルス 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 看護師のメンタルヘルス（感情労働・リエゾン精神看護）について資料や映像を通して学ぶ 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、体験学習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	冬休み前最後の授業及び第15回の授業で課題のフィードバック及び自己研鑽の方法について資料を用いて口頭で説明する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験（期末試験） 評価割合：65% 評価基準：到達目標で示す範囲にある、教科書・講義資料の重要語句の意味が概ね解答できれば60/100点。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：筆記試験（授業内小テスト） 評価割合：10% 評価基準：講義内容に関する問いに概ね解答できれば80/100点。 履修目標との対応：①② 評価方法：レポート試験（2回） 評価割合：10%（1回につき5%） 評価基準：レポート（１）「精神科における倫理的問題と看護」について明確に記述できれば80/100点。レポート（２）「自分自身のメンタルヘルス（WRAPの活用）」についての内容を要約し、自分の考えを明確に記述できれば80/100点。

	履修目標との対応：②③④⑥ 評価方法：ミニレポート及び振り返りテスト（15回） 評価割合：15%（1回につき1%） 評価基準：授業内容によりミニレポート及び振り返りテストを適宜組み合わせて実施する。授業内容に関する考察・自分の意見が記述できれば１点 履修目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：系統看護学講座　精神看護学〔1〕精神看護の基礎　医学書院、系統看護学講座　精神看護学〔2〕精神看護の展開　医学書院 参考文献：精神科病院を出て、町へーACTが作る地域精神医療　岩波ブックレット WRAPを始める！　精神看護出版
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神科看護の臨床経験を有しており、その経験を活かして、将来を見据えた活きた実践の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	質問のある時には事前にメール連絡をしてください。 小川　mogawa@soei.ac.jp 横山　kyokoyama@soei.ac.jp 奥山　sterado@soei.ac.jp
備考	これまで学んだ精神保健論、精神看護学概論を踏まえた上での授業内容です。 精神障がいをもつ人の理解と治療的な関わりを学ぶことは、人間理解や看護の本質を学ぶことになります。 授業への主体的な参加を期待しています。

講義科目名称： 感染看護学　　授業コード： 24G411

英文科目名称： Infection Control Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	選択
担当教員			
鈴木　恵/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・看護の専門知識・技術に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる ・保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	特になし
授業概要	看護における感染制御の意義を理解し、感染症に関する知識と感染防止対策、および看護の果たす役割と具体的な活動内容について学ぶ。また、現代社会における感染症の動向・特徴を理解するとともに、病院のみならず福祉施設、学校、産業等における感染症予防と蔓延対策を知り、看護職の役割を感染防止の視点から理解する。
履修目標	①感染制御の目的と看護における意義を説明することができる。 ②感染症の成立要素から見た感染予防について説明することができる。 ③CDCガイドラインに基づいた感染防止対策について述べることができる。 ④看護における具体的な感染防止策について説明することができる。 ⑤院内感染制御チーム及び、感染症看護専門看護師、感染管理認定看護師の役割と活動について述べることができる。 ⑥サーベイランスの意義と方法を理解することができる。 ⑦地域や施設における感染予防対策と看護師の役割を理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス・感染症の予防 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 2　感染症とその対応看護学実習における感染予防対策 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 3　院内感染対策システムとICT活動 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 4　サーベイランスの意義と方法 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 5　感染予防の具体策　①・感染経路別予防策・洗浄，消毒，滅菌 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 6　感染予防の具体策　②・無菌操作・感染性廃棄物の取り扱い 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 7　感染予防の具体策　③・カテーテル関連における感染対策　・人工呼吸器装着中の感染対策 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 8　まとめ：感染制御と看護　知識確認 授業外事前学修課題：レポート作成のための準備をしておく（45分） 授業外事後学修課題：疑問点を追加学習し理解を深め、定着させるための振り返り（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題を提示しグループワークを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回のリフレクションと質問事項をもとに、毎回の授業で説明、回答する。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：確認テストとレポートによる。 評価割合：確認テスト６０％　レポート４０％ 評価基準： 授業内容や配布資料から出題し、６０％以上の正解率を合格ラインとする。 レポートは授業での学びを通して感染防止について考察できていれば24/40点。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考文献：系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ　医学書院　　※毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布する予定。
実務経験のある教員による授業	看護実践の経験者・研究者である教員による授業、感染管理認定看護師による授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは初回の講義で通知します。 質問時は必ず事前にメール連絡して下さい。 連絡先：msuzuki@soei.ac.jp（鈴木）
備考	ゲストスピーカー：感染管理認定看護師

講義科目名称： 養護概説　　授業コード： 24T102

英文科目名称： Introduction to School Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	養護教諭の本質と概念中心に養護教諭として必要な資質形成や力量を高めることをねらいとする。具体的には学校保健の意義、しくみ及び養護教諭の役割を踏まえながら、児童・生徒の健康問題を把握し、それらの問題解決方法を学ぶ。さらに事項・生徒の保健的能力育成を目的とした働きかけの重要性とその方法が理解でき、学校における組織・地域を包括した活動の展開について学修する。
履修目標	①「養護」の概念について説明することができる。 ②養護教諭の職務について理解し記述することができる。 ③学校における児童生徒の健康課題を理解し課題解決に向けて支援方法を述べることができる。 ④学校内の保健組織活動及び地域との連携の重要性を説明することができる。 ⑤専門職としての養護教諭観を示すことができる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション/養護教諭の歴史と活動 授業の進め方、予習・復習方法、養護教諭の歴史など 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小・中・高等学校に勤務していた養護教諭の活動を振り返り、ノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業資料をもとに「養護教諭の歴史」をノートにまとめる。（90分） 2　養護教諭制度の沿革と職務内容の変遷 養護教諭に関する制度や職務・役割について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「養護教諭の役割」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 「学校保健安全法からみる養護教諭の役割」についてノートにまとめる。（90分） 3　保健室の機能と保健室経営 保健室設置に関する法的根拠、保健室利用状況、保健室経営計画などについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「保健室及び保健室経営」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中が作成した学校保健経営計画について、授業資料やテキストを参考に追記する。（90分） 4　児童生徒の健康問題把握の方法（臨床推論という視点） 児童生徒の健康問題を把握する手法について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で扱った外科または内科の事例の健康問題を把握する手法をノートに整理する。（90分） 5　健康診断と事後措置 健康診断の法的根拠、健康診断の種類、健康診断の検査項目、方法及び技術的基準、事後措置方法など 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「健康診断」を読み、不明な語句を調べる。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト「健康診断時に注意すべき疾病及び異常」を読み、重要箇所をノートに整理する。（90分） 6　健康問題の解決の方法（１）身体的援助 身体的援助に関するロールプレイ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「心のケア」「健康観察」を読み、児童生徒の対応を行う際の留意点を整理する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で実施したロールプレイで、対応が難しかった点を振り返り、どうすればよかったかを検証し、ノートにまとめる。（90分） 7　健康問題の解決の方法（２）心理精神的援助 心理精神的援助に関するロールプレイ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「心のケア」「健康観察」を読み、児童生徒の対応を行う際の留意点を整理する。（90

	分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で実施したロールプレイで、対応が難しかった点を振り返り、どうすればよかったかを検証し、ノートにまとめる。（90分） 8　学校教育における養護教諭の役割 養護教諭の役割についてのディベート 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭の役割について、テキスト・新聞・書籍・インターネットを活用した公的機関の情報から整理する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 養護教諭の役割について、自己の考えを整理して、ノートにまとめる。（90分） 9　保健指導・保健学習（外部講師） 保健教育について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「学校保健と教育課程」「小学校/中学校/高等学校における保健教育」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト「保健教育の評価と指導要録」の内容を読み、「保健教育の評価」についてノートにまとめる。（90分） 10　健康相談活動 健康相談の法的根拠、教職員の役割について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「健康相談と保健指導」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業資料、テキストから、養護教諭と他の教職員が行う健康相談の相違点をノートにまとめる。（90分） 11　健康問題の予防（１）感染症　　（２）学校安全・学校環境衛生 健康問題を予防するため管理・教育について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「学校環境衛生」「感染症の予防」「学校安全」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 健康問題を予防するための養護教諭の役割について、ノートにまとめる。（90分） 12　養護教諭の活動の実際（１）学校保健組織、校内及び地域との連携（外部講師） 学校内外の組織との連携について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「学校保健に関する学校内の体制」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学校保健委員会の設置理由と地域連携について、ノートにまとめる。（90分） 13　養護教諭の活動の実際（２）児童生徒の対応、健康支援 救命救急　学校で起こりやすい救急処置について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「救急措置」の内容を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだCPRの方法、テキスト「傷病別のファーストエイドと留意事項」について、ノートにまとめる。（90分） 14　養護教諭の活動の実際（３）児童生徒の対応、健康支援 応急処置・予防的対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「救急措置」の内容を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだ搬送法、止血法、包帯の巻き方、固定方法等を復習する。（90分） 15　養護教諭の活動の評価と研究 養護教諭のライフステージ、研究・研修の必要性について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前配付資料を読み自己の考えをノートにまとめる。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容や事前学修でまとめた自己の考えを振り返り、養護教諭の専門性を向上するために必要な事柄をノートにまとめる。
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回にて、グループディスカッション、グループワークやペアワーク、チーム基盤型学習、プレゼンテーション、ディベート等を行います。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：レポート 評価割合：25% 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点

	履修目標との対応：①○　②○　⑤○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：15% 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点 履修目標との対応：②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：新訂版　学校保健実務必携（第５次改訂版）,学校保健・安全実務研究会編著,第一法規,2020,ISBN978-4-474-06863-6 参考書：授業時にその都度紹介する
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

講義科目名称：　教育社会学（養護教諭）　　授業コード：　24T107

英文科目名称：　Sociology of Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	自由
担当教員			
中田　正敏			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	教育社会学の基礎的な概念を学び、現代の家庭と地域、学校における教育の在り様を考察できるようにする。教育社会学の様々な方法論を学習し、文化的・社会的環境と教育、社会化のプロセス、家庭における子育てと教育、近代国家における義務教育制度の特質と機能、社会階層と文化伝達、学歴主義の系譜、子ども社会の変容、潜在的カリキュラムとジェンダーについて、事例を取り上げながら学ぶ。
履修目標	①個々の教育事象について教育社会学的な視点で考える力を養う。 ②現代の教育上の諸問題について、その要因や背景について解釈し、説明する。 ③教育社会学の論文を読み、疑問点などをまとめ、その内容をプレゼンテーションする。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション 学習した内容をまとめ、次回に質問する。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　教育社会学の歴史 学習した内容をまとめ、次回に質問する。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　教育社会学の基礎 学習した内容をまとめ、次回に質問する。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　社会の中で生きるということ　社会・文化・教育 学習した内容をまとめ、次回に質問する。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　学校化社会（学校と地域の連携） 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　学歴と社会 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　少子化社会の家族と子ども 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　子どもの貧困　学力と意欲の階層差 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　教育とジェンダー 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　学校教育カリキュラム　顕在的カリキュラム・潜在的カリキュラム 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　IT社会と若者 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　学校教育の諸問題（不登校・いじめ・体罰等）と学校安全への対応 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　青少年の非行と教育 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　生涯学習社会 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　現代社会における教育政策の方向 これまでに学習した内容についてまとめる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ペアワーク、グループワークを随時実施
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションの内容を次回の初めにフィードバックし、質疑応答の時間をとる。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：教育社会学のキーワードの意味がわかれば60% 履修目標との対応：①　② 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：内容に関するコメントができていれば60% 履修目標との対応：①　② 評価方法：その他 評価割合：20% 評価基準：プレゼンテーション：内容に関する自分の考えとその根拠を述べていれば70% 履修目標との対応：③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：特になし 参考文献：授業に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	該当：実務経験の中での事例を導入部や展開部で提示する。
オフィスアワー・連絡先	非常勤講師控室（昼休み）
備考	

講義科目名称： 人体の機能と構造学演習　　授業コード： 24Q105

英文科目名称： Seminar on Function and Structure of Human Body

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	１単位	必修
担当教員			
萩原裕子、星野敬吾、水嶋　崇一郎、清家大樹、大橋充代			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、 計画的に看護を実践することができる。
履修条件	1学年「人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ」を修得していること。
授業概要	「人の形態と生活・機能I~IV」で学修した内容を、模型に触れ、標本を見る、映像教材の活用、自分の身体を通して演習することにより、その構造に対する理解を深 めると同時に、機能を十分に理解しつつ、疾患を分析する能力を身につける。(解剖見学実習を含む) 大きく分けて、以下の四つの演習を実施する。 ①.骨学実習:実際に人骨標本を手で触れながら、骨の名称、大きさや形状、関節様式などを学ぶ。(前期実施) ②.解剖見学実習:献体されたご遺体(解剖体)を肉眼観察して、各種内臓の位置、大きさや形状、機能上重要な構造について学ぶ。(後期実施) ③.血圧実習:血圧の測定方法を確認する。また血圧の生理学的応答を調べる。(後期実施) ④.体性感覚実習:圧覚、触覚の特徴について2点弁別試験により調べる。(後期実施) ⑤.盲点を調べ、盲点が生じる理由を理解する。（後期実施）
履修目標	①骨の解剖学的特徴を説明できる。 ②各種内臓の位置、大きさと形状、重要な構造を説明できる。 ③血圧の生理的意義について説明できる。 ④体性感覚とその伝導路について説明できる。 ⑤盲点が生じる理由を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　骨学実習　事前講義１ 医学部での人骨標本を用いた演習の前に、骨学の総復習を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（90分） 1学年「人体の構造と機能」骨学範囲を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 医学部での人骨標本を用いた演習の前に、骨の部位について予習する。 2　骨学実習　事前講義２ 医学部での人骨標本を用いた演習の前に、骨学の総復習を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（90分） 1学年「人体の構造と機能」骨学範囲を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 医学部での人骨標本を用いた演習の前に、骨の部位について予習する。 3　骨学実習　医学部所蔵の人骨標本を用いた実習１ 骨学実習:実際に人骨標本を手で触れながら、骨の名称、大きさや形状、関節様式などを学ぶ。(前期実施) 授業外事前学修課題：課題内容（90分） 骨名および代表的な骨部位名を分かるようにする。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 実際に触れた人骨標本について、イメージを浮かべてレポートを記す。 4　骨学実習　医学部所蔵の人骨標本を用いた実習２ 骨学実習:実際に人骨標本を手で触れながら、骨の名称、大きさや形状、関節様式などを学ぶ。(前期実施) 業外事前学修課題：課題内容（90分） 骨名および代表的な骨部位名を分かるようにする。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 実際に触れた人骨標本について、イメージを浮かべてレポートを記す。 5　骨学実習　医学部所蔵の人骨標本を用いた実習３ 骨学実習:実際に人骨標本を手で触れながら、骨の名称、大きさや形状、関節様式などを学ぶ。(前期実施) 業外事前学修課題：課題内容（90分） 骨名および代表的な骨部位名を分かるようにする。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 実際に触れた人骨標本について、イメージを浮かべてレポートを記す。 6　解剖見学実習　事前講義１ 医学部での解剖体標本を用いた見学実習の前に、篤志献体に関して学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（90分） 篤志献体に関して資料を集め、概要を把握する。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 解剖学知識の復習を行う。

	7	解剖見学実習　事前講義２ 医学部での解剖体標本を用いた見学実習の前に、篤志献体に関して学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（90分） 篤志献体に関して資料を集め、概要を把握する。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 解剖学知識の復習を行う。
	8	解剖見学実習　医学部での解剖遺体を用いた見学実習１ 解剖見学実習:献体されたご遺体(解剖体)を肉眼観察して、各種内臓の位置、大きさや形状、機能上重要な構造について学ぶ。(後期実施) 授業外事前学修課題：課題内容（90分） 解剖学知識の予習を行う。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 見学実習で作成したスケッチを利用し、レポートを記す。
	9	解剖見学実習　医学部での解剖遺体を用いた見学実習２ 解剖見学実習:献体されたご遺体(解剖体)を肉眼観察して、各種内臓の位置、大きさや形状、機能上重要な構造について学ぶ。(後期実施) 授業外事前学修課題：課題内容（90分） 解剖学知識の予習を行う。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 見学実習で作成したスケッチを利用し、レポートを記す。
	10	解剖見学実習　医学部での解剖遺体を用いた見学実習３ 解剖見学実習:献体されたご遺体(解剖体)を肉眼観察して、各種内臓の位置、大きさや形状、機能上重要な構造について学ぶ。(後期実施) 授業外事前学修課題：課題内容（90分） 解剖学知識の予習を行う。 授業外事後学修課題：課題内容（90分） 見学実習で作成したスケッチを利用し、レポートを記す。
	11	生理学実習（血圧実習）１ 生理学実習：血圧実習 １、触診法及び聴診法での血圧測定の原理を理解し、測定技術を習得する。 ２、血圧と心拍数を計測し、各種刺激に対する血圧の調節機構を理解する。 授業外事前学修課題：生理学知識（血液循環とその調節）の予習を行う。（60分） 授業外事後学修課題：実習で行った実験を理解し、レポートを作成する（90分）
	12	生理学実習（血圧実習）２ 生理学実習：血圧実習 １、触診法及び聴診法での血圧測定の原理を理解し、測定技術を習得する。 ２、血圧と心拍数を計測し、各種刺激に対する血圧の調節機構を理解する。 授業外事前学修課題：生理学知識（血液循環とその調節）の予習を行う。（60分） 授業外事後学修課題：実習で行った実験を理解し、レポートを作成する（90分）
	13	生理学実習（感覚の生理）１ 生理学実習：感覚の生理 １、種々の皮膚領域の触圧点の分布を調べ、各感覚点の分布密度を観察する。 ２、触覚の2点弁別閾値及びその部位による違いを理解する。 ３、盲点を調べ、盲点が生じる理由を理解する。 授業外事前学修課題：生理学知識（情報の受容とその処理（感覚機能））の予習を行う。（90分） 授業外事後学修課題：実習で行った実験を理解し、レポートを作成する（90分）
	14	生理学実習（感覚の生理）２ 生理学実習：感覚の生理 １、種々の皮膚領域の触圧点の分布を調べ、各感覚点の分布密度を観察する。 ２、触覚の2点弁別閾値及びその部位による違いを理解する。 ３、盲点を調べ、盲点が生じる理由を理解する。 授業外事前学修課題：生理学知識（情報の受容とその処理（感覚機能））の予習を行う。（90分） 授業外事後学修課題：実習で行った実験を理解し、レポートを作成する（90分）
	15	生理学実習　発表会 血圧実習及び感覚実習で作成したレポートを元に発表会を行う。実習中に得られたデータの処理をし、その結果についてのまとめ方とプレゼンテーションの仕方を学ぶ。 授業外事前学修課題：生理学実習で作成したレポートを元に、発表スライドを作成し、原稿を準備する。（90分） 授業外事後学修課題：他者の発表を聞くことで、自分たちの発表での改善点などを学習する（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	①② 一部の演習は、グループワークを実施する。	
課題のフィードバック方法と時期	①② 一部の演習では、一定数の確認項目を各グループで同定したのち、教員のチェックを受けて確かめてから、次の課題に進む。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：　①②演習中に作成したスケッチ、スケッチなどを資料として演習後作成するレポート、演習中の態度などを総合的に判断する。 評価割合：　①②スケッチ40%、レポート40%、態度など20% 評価基準：　①②演習時間・事後学習時間に見合う制作物と評価できれば、8割評価とする。	

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	①②　聖マリアンナ医科大学解剖学実習室で実施する。集合時間、集合場所、服装、用具類などの詳細を後日連絡する。各自、事前に把握し、準備しておくこと。 ③④　生理学関連の 教科書・資料類を各自で選別して持参すること。筆記用具は常に携帯すること。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護大学・看護専門学校・医学部での教員経験を有しており、その経験を活かして講義を行う。
オフィスアワー・連絡先	星野敬吾　hoshino@marianna-u.ac.jp 萩原裕子　hagi_h@marianna-u.ac.jp
備考	

【３年次配当科目】

講義科目名称：　地域・在宅看護方法論Ⅱ　　授業コード：　24G153

英文科目名称：　Community/home care　Nursing Ⅱ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	必修
担当教員			
近藤　仁美/看護学部　村上　亜紀/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対象となる人々、地域、臨床場面や状況に関心を持ち、看護の専門的知識・技術に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践を考えることができる
履修条件	地域・在宅看護論の単位修得していること 地域・在宅看護方法論Ⅰを履修していること
授業概要	在宅看護を必要とする人々の身体的、精神的・心理的、社会的特徴を事例をとおして理解し、発生しやすい健康課題について学ぶ。 在宅看護における特徴的な事例の看護過程を展開し、保健・医療・福祉のシステム、地域包括ケアシステムの活用を考え在宅療養者とその家族の生活を基盤とした問題解決について学ぶ。
履修目標	①在宅療養者を身体的、精神的、社会的側面から分析することができる ②在宅療養者、家族の健康上、生活上の課題をアセスメントし、記載することができる ③在宅療養者に必要な看護計画が立案でき、発表することができる。 ④在宅療養者に立案した看護計画の評価視点を発表することができる ⑤在宅看護過程展開に必要な法令、制度、保険・医療・福祉連携について説明できる ⑥実際の訪問場面を想定した看護過程展開の1場面をプレゼンテーションできる。
授業計画・授業外学修課題	1　在宅における看護過程展開 授業のねらい 在宅看護過程展開 事例を通して学ぶということ テキストP250～251 事例紹介　「脳梗塞後遺症の老年療養者」テキストP266～272 看護過程展開に使用する記録の目的・方法・内容の説明　「看護過程展開記録ガイド」を使用して 訪問看護の実際紹介 DVD 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　「在宅看護方法論Ⅰ」復習　特に訪問看護に必要なアセスメント視点　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）「看護過程展開記録ガイド」を活用して事例１について情報収集を行う　90分 2　事例１「脳梗塞後遺症の老年療養者」看護過程展開 退院間近の事例に対して担当看護師として病態　経過　現病歴　家族構成　から　この事例の方が望む在宅療養がが可能になるためにはどのような看護が必要か。 そのための情報は何が必要か（ADL評価　再発予防　日常生活支援　社会資源の活用　介護保険申請・・） 初回訪問時の状況より「介護保険要介護４」「訪問看護指示書」家族の状況について　記録様式３・４ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　脳血管疾患について疾患の理解　解剖生理・病態・治療・看護・予防　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　記録様式３．４の記載 3　「脳梗塞後遺症の老年期療養者」看護過程展開　アセスメント情報収集の内容　活用 記録様式３．４記載内容より補足説明 アセスメント　　身体的、精神・心理的、社会的側面より記録様式５を通して実施 全体像　情報の整理より全体像をまとめてみよう　記録様式６ 「脳梗塞後遺症　老年期療養者」の望む生活　介護者が望む生活　を支援するためにはどのような看護を望んでいるのだろうか考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　記録様式３．４の記載提出　アセスメント視点の学習90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　記録様式５の記載 4　アセスメント　　カンファレンス 事例アセスメントの補足説明 アセスメントのグループワーク「アセスメントの結果療養者、家族が生活上一番困っていることは何か」 発表30分 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　記録様式５記載　提出　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　記録様式５・６・７の記載　90分 5　優先順位の考え方　看護計画の立案 グループアセスメントカンファレンスの経過・結果より補足説明 情報の整理（記録様式５）全体像（記録様式６）の結果より事療養者・家族が生活上一番困って

		いることを再考察しよう 記録様式５健康上および生活上の課題・達成するための目標、看護の方向性を通して 優先順位の高い項目　理由を考えよう　記録様式7を活用「健康上および生活上の課題」　優先度が高いと判断した理由
	6	看護計画の立案 グループワーク　事例　看護計画立案　記録様式８　優先度は高いと判断した健康課題について具体策を考える 看護計画1場面設定　訪問看護師　「挨拶・訪問目的の説明」 授業外事前学修課題：課題内容（時間）記録様式７の記載　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）記録様式８記載　　90分
	7	「脳梗塞後遺症老年期療養者」看護過程展開　発表会 グループ発表 看護過程展開　健康上生活上の課題と看護計画の発表 健康上の課題抽出までの考え方 優先順位 看護計画 看護計画1場面　挨拶　訪問目的　実施説明
	8	「脳梗塞後遺症老年期療養者」看護過程展開　発表会 グループ発表 看護過程展開　健康上生活上の課題と看護計画の発表 健康上の課題抽出までの考え方 優先順位 看護計画 看護計画1場面　挨拶　訪問目的　実施説明
	9	「ALS療養者」　看護過程展開 「ALS療養者」　紹介　DVD　視聴　（ALS）テキスト283～295 看護過程展開ガイドに沿って説明 記録様式３・４記載を通して事例理解 医療保険　訪問看護活用の理解 介護保険　ケアマネジメントの理解 保険・医療・福祉　地域　企業　との協働について 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　ALS　について病態　経過　解剖生理　治療　看護　について学修　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　ALS　看護の方向性　看護の特徴の学修　90分　　記録様式３・４
	10	「ALS療養者」　看護過程展開 ALS　看護過程展開　情報の確認　アセスメントの視点　アセスメントの実際 アセスメント　身体的、精神的・心理的、社会的側面 社会的発達課題　精神的側面の課題　療養者　家族について 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　記録様式３．４記載　　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　記録様式３．４記載　　90分
	11	「ALS療養者」アセスメント小テスト 小テスト実施 アセスメント　補足説明 アセスメントカンファレンス　グループワーク　生活上の課題検討　看護の方向性検討　記録様式５ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　記録様式５記載　看護方向性の抽出　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　記録様式５記載　90分
	12	「ALS療養者」アセスメントカンファレンス グループワーク　　生活上の課題　優先順位の考え方検討　記録様式７ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）アセスメント内容発表準備　記録様式５ 授業外事後学修課題：課題内容（時間）記録様式５　生活用の課題・看護の方向性記載
	13	「ALS療養者」　看護過程展開　看護計画発表会資料作成 グループワーク　看護過程展開　看護計画　発表に向けて 生活上　健康上の課題抽出までの考え方 優先順位　様式７を通して 看護計画　様式８を通して 看護計画1場面　挨拶　訪問目的　実施説明 資料作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　記録様式７記載　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　発表準備　　90分
	14	「ALS療養者」　看護過程展開　看護計画発表会 看護過程展開　看護計画　発表 健康上の課題抽出までの考え方 優先順位 看護計画 看護計画1場面　挨拶　訪問目的　実施説明　等 グループ内で重点的に話し合った内容、検討した内容

	授業外事前学修課題：課題内容（時間）発表会準備　　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）発表後　自己評価　課題　実習に向けて　　90分 15　事例２　看護過程展開　看護計画発表会 看護過程展開　看護計画　発表 健康上の課題抽出までの考え方 優先順位 看護計画 看護計画1場面　挨拶　訪問目的　実施説明 グループ内で重点的に話し合った内容、検討した内容 授業外事前学修課題：課題内容（時間）発表会準備　　90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間）発表後　自己評価　課題　実習に向けて　　90分
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク　　プレゼンテーション　を実施する グループワークの検討時にはインターネットを活用し、地域の社会資源、ケアマネジメントの実際を情報として得てディスかションする
課題のフィードバック方法と時期	各授業開始冒頭に前回の授業コメントからの質問に対する説明、補足を行う。 課題については各次回の授業時修正、補足の説明を行い返却します。 小テストを行い、事例の理解確認を行います。テストの結果を通して傾向、補足説明を行います。 グループワークについては参加度、達成度についてルーブリック自己評価を行い提出していただきます。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①　筆記試験 評価割合：60% 評価基準：最終試験：授業で学んだことを理解しているか。理解したうえで自分の考えを表記できる 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○ 評価方法：看護過程展開記録 評価割合：20% 評価基準：看護過程展開記録用紙の目的に沿った内容が記載されているかどうか　事例対象に必要な内容が記載されているかどうか　提出期限 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○　⑥　○ 評価方法：授業参加態度（グループワーク参加態度含む） 評価割合10% 評価基準：リフレクションペーペーパー記載　授業の要点、学び、進捗が自分の意見として表記されているかどうか　期限が守られているか 履修目標：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○　⑥　○ 評価方法：小テスト　事前学習・復習内容が理解できているかどうか 評価割合：10% 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト　　系統別看護学講座「在宅看護論」医学書院 参考資料　　「写真でわかる訪問看護アドバンス」インターメディカ 「国民衛生の動向」一般社団法人厚生労働省統計協会 厚生労働省ホームページ 神奈川県ホームページ 横浜市ホームページ 日本訪問看護財団　公式サイト 日本難病センターALS 日本ALS協会
実務経験のある教員による授業	保健師・看護師として従事した経験を活かし、地域に根ざした看護実践を伝える
オフィスアワー・連絡先	メール連絡先　　近藤　　hkondo@soei.ac.jp　メールでアポイントをとってください クラスルーム「在宅看護方法論Ⅱ」を通して対応いたします。
備考	地域・在宅看護方法論Ⅱは地域・在宅看護論、地域・在宅看護方法論Ⅰを履修した後開講されます。 また、地域包括ケア実習で経験した学修内容も含め地域・在宅で療養されている対象者、家族を通して看護を考えます。 具体的な看護過程展開を通して看護学として既習した学修内容を活用し、主体的な参加を期待します。 ・30分以内の遅刻・早退　3回で1回の欠席としてみなします。 ・30分以上の遅刻・早退は1回の欠席としてみなします。

講義科目名称： 老年看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 24G209

英文科目名称： Gerontological Nursing Ⅱ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部　あべ野ゆう子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ③看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	老年看護学方法論Ⅰを履修していこ
授業概要	高齢期の人に特徴的な生活機能障がいを持つ高齢者と家族への基礎的な看護実践能力を学修する。特に、運動機能・言語障がい、呼吸機能障害、精神機能の障がいをもつ高齢者を中心にヘルスケアアセスメントの技法、高齢者及びその家族の回復力を高めるための援助技術について学習する。さらに認知症高齢者の内面的世界及びケア・看護、治療、今後の支援の課題についても学ぶ。
履修目標	① 高齢期を生きている人の健康管理の特徴について説明できる ② 高齢者の治療について説明できる ③ 健康障がいを抱える高齢者の看護について説明できる ④ 認知機能障がいをもつ高齢者の心理と治療および支援について説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　導入　科目ガイダンス　1.高齢者を対象とした看護の展開について 科目の概要、授業項目・内容、成績評価についてのガイダンス 高齢者を対象とした看護の展開について学ぶ 授業外事前学修課題： 高齢者看護学概論の授業資料とノートから復習し、高齢者の生活維持を援助する意味について考えまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の強みを最大限に活かし、その人らしく生きることの意味を考えてまとめる（60分） 2　2. 目標志向型思考の看護過程 ICFの活用　【健康状態】 事例の健康に関する経歴を「健康状態」に整理し理解する 授業外事前学修課題： 提示された事例の病態について復習する（90分） 授業外事後学修課題： 事例の【健康状態】を整理する（90分） 3　２．目標志向型思考の看護過程 ICFの活用　『生活機能』① 事例の【活動】を「している活動」「できる活動」「する活動」に整理し、把握する。 授業外事前学修課題： 事例のADLを「している活動」に整理する（90分） 授業外事後学修課題： ICF構成要素の【活動】を整理する（90分） 4　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　『生活機能』② 【活動】の状況を説明する【心身機能・身体構造】であることを理解する。また【参加】と関連していることの説明が理解できる。 授業外事前学修課題： 事例の【活動】の状況を説明する必要のあるヘンダーソンの基本的看護の構成要素を自分なりに記述しておく（90分） 授業外事後学修課題： ヘンダーソンの基本的看護の構成要素を整理する（90分） 5　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　『背景因子』　全体像 【環境因子】と【個人因子】を含めてICF整理シート全体から、「患者の望む生活」と「看護目標」を上げ、「強み」と「弱み」を整理することができる 授業外事前学修課題： 『背景因子』である「環境因子」「個人因子」を情報から整理する（60分） 授業外事後学修課題： 看護の方向性をICF整理シート全体より説明する（60分） 6　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　看護計画立案① グループ内で1つ挙げた「短期目標（あるべき姿）」を達成するための看護計画を立案できる 授業外事前学修課題： 「看護目標」に向かうための「短期目標（あるべき姿）」を上げる（60分） 授業外事後学修課題： 授業で共有した「強み」「弱み」を活かした看護計画に修正する（60分） 7　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　看護計画立案② グループ内で1つ挙げた「短期目標（あるべき姿）」を達成するための看護計画を立案し発表する 授業外事前学修課題： 授業で共有した「強み」「弱み」を活かした看護計画を整理しグループワークで提案できるように準備する（60分）（60分） 授業外事後学修課題： 授業で共有した「強み」「弱み」を活かした看護計画を整理する（60分） 8　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　看護計画立案③ グループ内で1つ挙げた「短期目標（あるべき姿）」を達成するための看護計画を発表する

	授業外事前学修課題： 前回、グループで立案した看護計画の内容を見直し、根拠や目的を明確にする（60分） 授業外事後学修課題： グループ発表会で得た内容を計画用紙に反映させる（60分） 9　３．介護保険施設における看護① 介護保険施設の看護の役割と看護の実際を思い起こす 授業外事前学修課題： 介護保険制度の背景と目的について調べまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 介護保険施設の看護の役割を整理する（60分） １０　３．介護保険施設における看護② 介護保険施設の多職種連携における介護・看護力について学ぶ 授業外事前学修課題： 介護保険施設である特養と老健の職種の配置を復習する（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） １１　３．介護保険施設における看護③ 高齢者への倫理的ケアについて学ぶ① 授業外事前学修課題： 介護保険制度における「身体拘束ゼロ」について調べる（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） １２　３．介護保険施設における看護④ 高齢者への倫理的ケアについて学ぶ② 授業外事前学修課題： 「弄便（ろうべん）」の意味を調べる（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） １３　３．介護保険施設における看護⑤ 生活モデルのターミナルケアについて学ぶ 授業外事前学修課題： 「自然死」について調べる（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） １４　４．認知症高齢者への看護① 認知症高齢者へのコミュニケーションについて学習する 授業外事前学修課題： 認知症高齢者のイメージを明文化する（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を含めて、高齢者への「尊厳」について自己の考えをまとめる（60分） １５　４．認知症高齢者への看護②　５．老年看護学　まとめ 認知症高齢者へ必要な「尊厳」ある看護について思考を深める 授業外事前学修課題： 今までの授業を通し、高齢者への「尊厳」について自己の考えをまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 実習Ⅱに向けて、「老年看護」で大切にしたいことをまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークにて事故の学習を深め、グループ発表会では他者が理解できるようにプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	講義時およびGoogle Classroom上でコメントを配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法；筆記試験 評価割合；60% 評価基準；学習到達目標が評価できる発問に正解できれば60% 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○ 評価方法；ミニテスト 評価割合；20% 評価基準；授業内容を確認するミニテストに正解できれば60% 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○ 評価方法；提出物 評価割合；20% 評価基準；提出物についての評価基準は授業時に提示する 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂 正木治恵、真田弘美編、老年看護学技術、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー；授業日の5限 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 小児看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 24G214

英文科目名称： Pediatric Nursing Ⅱ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
山下　麻実/看護学部　加藤　紀子/看護学部　染谷　奈々子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	小児看護学方法論Ⅰを履修していること
授業概要	既得した小児及び小児看護の知識・技術を踏まえて、小児期の特徴的な疾患や症状をもつ小児とその家族への看護について事例展開や演習を通して学修する。とくに手術を要する小児の看護、小児がん、心疾患及び腎疾患を抱える小児、アレルギー疾患、糖尿病など慢性的に経過する疾患を持ち入退院を繰り返すなどの健 康障害の種類、健康の段階、成長・発達の段階を踏まえた、小児と家族への看護、援助方法について学修する。
履修目標	①さまざまな状況にあるこどもと家族への看護を様々な資源を用いて分析できる。 ②健康問題を持つこどもと家族の状況を理解し、必要な援助について計画を立案することができる。 ③こどもの成長発達に応じた看護を具体的に考えること（活用）ができる。 ④こどもに必要な看護技術を理解し実施できる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護過程①事例を用いたこどもと家族の看護過程の展開 ・情報収集と情報整理 ・フェイスシート（様式1)を作成 ・こどもに特徴的にみられる疾患の確認テスト 授業外事前学修課題：人体の機能と構造などの知識を再学習する。こどもの成長発達、基礎看護学で学習した看護過程、小児看護学方法論Iで学習した内容を振り返り授業に参加する。(30分) 授業外事後学修課題：こどもの身体的特徴、成長発達過程について学習する。(30分) 2　看護過程②こどものアセスメント ・こどもの発達段階 ・身体発育の評価 ・水分バランス、栄養状態の評価、検査値のみかた 授業外事前学修課題：人体の機能と構造などの知識を再学習する。こどもの成長発達、基礎看護学で学習した看護過程、小児看護学方法論Iで学習した内容を振り返り授業に参加する。ヘンダーソンの看護過程を復習する。(30分) 授業外事後学修課題：指定された疾患、こどもの身体的特徴、成長発達過程について学習する。(30分) 3　看護過程③病態の理解とアセスメント ・こどもの症状の常在条件と病理的条件 ・病態関連図（様式2)の作成 授業外事前学修課題：小児臨床看護総論を用いてこどもの主な症状について学習しておく。看護過程展開論Ⅲの関連図について復習する。(30分) 授業外事後学修課題：指定された疾患について復習し関連図を描く(40分) 4　看護過程④こどもの発達の理解とアセスメント ・対象となるこどもの発達を理解し、病態関連図～全体像への拡充 授業外事前学修課題：小児臨床看護総論を用いてこどもの主な症状について学習しておく。(30分) 授業外事後学修課題：対象のこどもの発達について復習し、全体像を拡充する(30分) 5　看護過程⑤全体像の完成 ・看護問題の明確化 授業外事前学修課題：全体像を拡充し、授業に臨む(30分) 授業外事後学修課題：全体像を完成し、看護問題を抽出する(30分) 6　看護過程⑥看護問題の優先順位の選定 ・全体像の追加・修正 ・優先順位の検討 授業外事前学修課題：看護問題を抽出する(30分) 授業外事後学修課題：看護問題の優先度を再確認する(30分) 7　看護過程⑦看護計画の作成 ・こどもの疾患や発達に応じた看護計画の作成 ・看護計画 様式３の作成

	授業外事前学修課題：看護問題の優先度を再確認する(30分) 授業外事後学修課題：看護計画を追加修正する(30分) 8　看護過程⑧看護計画の検討 ・立案した看護計画の追加・修正 ・小グループによる立案した看護計画の検討 授業外事前学修課題：看護計画を追加修正する(30分) 授業外事後学修課題：様式1～様式3までをすべて完成させる(30分) 9　看護過程⑨検討した看護計画の発表 ・小グループによる立案した看護計画の発表 ・全体討議 授業外事前学修課題：様式1～様式3までをすべて完成させる(30分) 授業外事後学修課題：様式1～様式3まで追加修正をする(30分) 10　こどもの看護技術① ・こどものバイタルサイン・ 計測・ 栄養管理・輸液管理 授業外事前学修課題：指示された技術確認項目を動画で視聴し、授業資料に基づき学習する。写真でわかる小児看護技術アドバンスの該当部分の精読。 (30分) 授業外事後学修課題：授業資料に基づき技術手順及び根拠について学習する。十分体験できない技術や再度確認したい技術について各自で練習する(30分) 11　こどもの看護技術② ・吸入・ 吸引・ 救急蘇生・検査介助 授業外事前学修課題：指示された技術確認項目を動画で視聴し、授業資料に基づき学習する。写真でわかる小児看護技術アドバンスの該当部分の精読。(30分) 授業外事後学修課題：授業資料に基づき技術手順及び根拠について学習する。十分体験できない技術や再度確認したい技術について各自で練習する(30分) 12　こどもの与薬① ・与薬の原則 ・経口与薬　点滴の計算 授業外事前学修課題：薬に関する基礎知識及び基礎看護技術を復習する。こどもの認知発達について復習する。 (30分) 授業外事後学修課題：こどもの与薬方法と身体への侵襲、事故防止など再考する。(30分) 13　こどもの与薬② ・注射薬の作成 授業外事前学修課題：与薬に関する基礎知識及び基礎看護技術を復習する。こどもの認知発達について復習する(30分) 授業外事後学修課題：こどもの与薬方法と身体への侵襲、事故防止など再考する。(30分) 14　プレパレーションとディストラクション ・こどもとのコミュニケーション 授業外事前学修課題：こどもの認知発達について復習する(30分) 授業外事後学修課題：こどもの頑張りを引き出す看護を再考する。(30分) 15　こどもの在宅医療 ・地域における医療的ケア児の看護の実際 授業外事前学修課題：小児看護学方法論Ⅰの医療的ケア児と家族への看護を復習する。(30分) 授業外事後学修課題：授業について感じたことや意見について記述する。(30分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや技術演習を取り入れながら、授業を展開していく。適切な看護技術の習得のために!CTを活用する
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションのフィードバックは、次の授業におこなう。 提出された成果物は授業最終回に返却する。 試験のフィートハックはGoogleclassroomを活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：健康問題にあるこどもの発達に応じた看護がエビデンスに基づき回答することができる。 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：レポート試験 評価割合：30% 評価基準：看護過程授業時にルーブリックを配布する。 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：その他 評価割合：10%

	評価基準：小テストこどもに特徴的な疾患について基本的な病態や治療や看護が答えることができる。 履修目標との対応：②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：メディカ出版：小児の疾患と看護 メディカ出版：小児の発達と看護 山本恵子インターメディカ写真でわかる小児看護技術アドバンス
実務経験のある教員による授業	小児病棟NICU・障害児施設で看護師としての実務があり、その経験を活用した講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	山下　麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 加藤紀子：nkato@soei.ac.jp 必要時、アポイントメントを取ってください。
備考	授業中にICTを活用することは許可しますが、写真の撮影・録音・録画は認めません。

講義科目名称： 母性看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 24G219

英文科目名称： Maternal Nursing Ⅱ : Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
上村　いずみ/看護学部　藍木　桂子/看護学部　山本　洋美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1.看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 3.看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	母性看護学方法論Ⅰを履修していること
授業概要	産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特性とハイリスクと異常のメカニズムを理解し、健康の保持増進、疾病の予防、健康回復の過程における看護について学修する。 母性看護方法論Ⅰ・Ⅱで学習した内容を基盤に、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期において必要な観察・看護技術についてその方法と根拠を理解・実施できることを目的とする。
履修目標	①産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特性について理解し、アセスメントできる。 ②産褥期・新生児期のヘルスプロモーションを理解し、看護を説明できる。 ③産褥期・新生児期のハイリスクと異常のメカニズムと影響を理解し、安全・安楽のための看護を説明できる。 ④産褥期・新生児期の健康生活・問題を理解し、母子と家族への育児支援、母子保健システム、他職種連携を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンス/母性看護過程の展開（講義） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：母性看護学方法論Ⅰの看護過程の授業で配布した資料を事前に復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し理解を深める。 2　母性看護過程の展開（講義） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を事前に熟読する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、母性看護過程の展開について理解を深める。 3　母性看護過程の展開（講義）/演習オリエンテーション 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を事前に熟読する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、母性看護過程の展開について理解を深める。 4　【技術演習】母性看護技術①妊娠期の観察と援助に必要な技術演習（子宮底・腹囲の計測/レオポルド触診法） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト②のP45～P48を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。 5　【技術演習】母性看護技術②分娩期の観察と援助に必要な技術演習（分娩監視装置CTGの装着と判読） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト①P181～P186、テキスト②のP122～P124を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。 6　【技術演習】母性看護技術③産褥期の観察と援助に必要な技術演習（産褥復古の観察） 授業外事前学修課題：課題内容（2時間）：テキスト②のP172～P175、P182～P186を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（2時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。 7　【技術演習】母性看護技術④産褥期の授乳支援（母乳育児のためのケア/ポジショニング/ラッチ・オン） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト②のP176～P177、P198～P202を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。 8　【技術演習】母性看護技術⑤新生児の観察と援助に必要な技術演習（バイタルサイン測定・全身観察） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト②のP244～P259を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだ

	ことを追加する。 9　【技術演習】母性看護技術⑤新生児の観察と援助に必要な技術演習（清潔ケア/着替え/オムツ交換） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト②のP268～P280を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。 10　産褥期・新生児期の看護過程の展開／グループワーク① 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、グループ課題に取り組む。 11　産褥期・新生児期の看護過程の展開／グループワーク② 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、グループ課題に取り組む。 12　産褥期・新生児期の看護過程の展開／グループワーク③ 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、グループ課題に取り組む。 13　産褥期・新生児期の看護過程の展開／グループワーク④ 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、グループ課題に取り組む。 14　産褥期・新生児期の看護過程の展開／グループワーク⑤ 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、グループ課題に取り組む。 15　産褥期・新生児期の看護過程の展開（発表） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：全体発表に使用する資料を仕上げ、発表の準備を進める。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開を通して学んだ内容をまとめ、復習する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	本授業では、グループワーク演習を通じて事例の看護過程の展開を学びます。また、看護技術演習では、技術演習の他にグループディスカッションを通してアセスメント演習を行います。アクティブラーニングを活用し、学生の実践的なスキルを向上させ、実務に即した知識と経験を深める機会を提供します。
課題のフィードバック方法と時期	事前課題のフィードバックは、授業内で行います。また、リフレクションペーパーのフィードバックは次回の授業で行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点 評価割合：20% 評価基準：演習への取り組み・態度、事前準備（ルーブリッ参照） 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：演習成果物、演習発表 評価割合：20% 評価基準：グループ課題の成果物およびプレゼンテーションをルーブリックに基づいて評価 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：授業で学んだことを理解できていれば60点 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト①: 書名:『ナーシング・グラフィカ母性看護学(2) 母性看護の実践』 第2版 出版社: メディカ出版 ISBN-10: 4-8404-7532-6　発行: 2022年1月 テキスト②: 書名:『看護実践のための根拠がわかる 母性看護学技術』 第3版 出版社: メディカルフレンド社　編著: 北川眞理子・谷口千絵・藏本直子・田中泉香 ISBN: 978-4-8392-1693-1　発行: 2022年09月 参考文献: 病気がみえる vol.10 産科　第4版 出版社: メディックメディア ISBN-10: 4896327136　発行: 2018年10月6日
実務経験のある教員による授業	担当教員は助産師・保健師における臨床経験を活用し、母子の看護に必要な看護実践、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。

オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは火曜日の１・２限。質問時は必ず事前にメール連絡して下さい。連絡先はiuemura@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退３回で欠席１回とみなします。 授業中は、承認された場合を除き、スマートフォンの使用を禁止します。また、講義スライドの撮影や講義の録音も禁止します。 学修活動における生成AIの利活用に際しては、学内の規定のガイドラインおよび「生成AI利活用時フローチャート≪学生版≫」に準拠してください。

講義科目名称： 精神看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 24G303

英文科目名称： Psychiatric Nursing Ⅱ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
奥山　聡子/看護学部　横山　惠子/看護学部　小川　雅代/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	精神保健論、精神看護学概論、精神看護学方法論Ⅰを履していること。
授業概要	さまざまな対人関係の学習を通して、 自己理解を深め、 患者一看護師関係における自己活用の能力を養う。精神障がいをもつ人と家族への理解を深め、 精神症状や障害によって影響された健康・生活をアセスメントし、当事者の視点をもって生活の質を高める看護方法について学ぶ。また、 多職種連携を基盤に、ストレングスモデルを用いた具体的な地域生活支援の在り方を学ぶ。
履修目標	①再構成を用いて看護場面の検討を行い、自己理解と対象理解を深めることができる。 ②入院している精神障がいをもつ人の具体的な事例について、セルフケアモデルを用いてケアプランを作成できる。 ③地域で生活する精神障がいをもつ人の具体的な事例について、ストレングスモデルを用いてケアプランを作成できる。 ④地域における精神保健医療と看護の実際を説明できる。 ⑤地域のセルフヘルプグループや福祉サービスを活用した支援を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　セルフケア理論/資料や映像を通して、精神障がいをもつ人の理解を深めるためのセルフイケア理論を学ぶ 授業外事前学修課題：テキストのセルフケア理論に関する内容を熱読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する(45分) 2　当事者が語る回復過程/資料や映像を通して、回復過程について学ぶ 授業外事前学修課題：テキストの精神障がいをもっ当事者の体験に関する内容を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する(45分) 3　精神障がい者家族の体験/精神障害者家族の体験談から、家族支援のあり方を学ぶ講師精神障がい者家族会の会員 授業外事前学修課題：精神障がい者家族の体験に関する情報を各自で収集する(45分) 授業外事後学修課題：家族の体験談から、家族支援に関する学びをまとめる【レポート】(45分) 4　模擬事例の紹介(情報からプロフィール立案) /示された模擬患者の事例から、プロフィールを整理を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分) 授業外事後学修課題：提供された模擬事例患者の資料を熟読する(45分) 5　入院模擬事例の看護展開(セルフケア理論の活用) / 考察の方法を学ぶ対の情報収集、アセスメント、対象理解のための分析と考察の方法を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で修正作業に取り組む(90分)【レポート(2)】 6　入院模擬事例の看護展開(セルフケア理論の活用) / 考察の方法を学ぶ対の情報収集、アセスメント、対象理解のための分析と考察の方法を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で修正作業に取り組む(90分)【レポート(2)】 7　入院模擬事例の看護展開(セルフケア理論の活用) / 考察の方法を学ぶ対の情報収集、アセスメント、対象理解のための分析と考察の方法を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で修正作業に取り組む(90分)【レポート(2)】 8　入院模擬事例の看護展開(セルフケア理論の活用) / 考察の方法を学ぶ対の情報収集、アセスメント、対象理解のための分析と考察の方法を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で修正作業に取り組む(90分)【レポート(2)】 9　患者一看護師関係における自己活用(対人関係論) /対人関係論を学び、自己理解・他者理解を深める 授業外事前学修課題：テキストの対人関係論に関する内容を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料を読み、授業全体について復習する(45分) 10　看護場面の再構成(ロールプレイ演習) /患者一看護師関係の理論、再構成の記録方法を学び、ロールプレイ場面を再構成する。グループディスカッションを活用して学習を深める。 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分)

	授業外事後学修課題：演習を終えて各自で正作業に取り組む(45分)【レポート(3)】 11 看護場面の再構成(ロールプレイ演習) /患者一看護師関係の理論、再構成の記録方法を学び、ロールプレイ場面を再構成する。グループディスカッションを活用して学習を深める。 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で正作業に取り組む(45分)【レポート(3)】 12 精神障がいつ人の地域生活支援(地域ケアと看護) /退院支援のプロセス、社会復帰に向けたチーム医療、就労支援、活用できる社会資源について【小テスト】 授業外事前学修課題：テキストの地域生活支援に関する内容を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する(45分) 13 セルフヘルプグループから学ぶ（AA）/AAメンバーの体験談から、セルフヘルプグループの役割を学ぶ講師：AA（Alcoholics Anonymous）メンバー 授業外事前学修課題：セルフルプグループに関する教科書を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する(45分)【レポート(4)】 14 地域模擬事例の看護展開（ストレングスモデルの活用）/対象の情報収集～アセスメント方法～対象理解のための分析と考察のトレーニングリカバリーストレングスモデルの概念間の関連、ストレングスモデルの目的、原則、ストレングスアセスメント、個別計画について模擬事例をもとに学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分) 授業外事後学修課題：復習内容演習を終えて各自で修正作業に取り組む(45分)【レポート(5)】 15 地域模擬事例の看護展開（ストレングスモデルの活用）/対象の情報収集～アセスメント方法～対象理解のための分析と考察のトレーニングリカバリーストレングスモデルの概念間の関連、ストレングスモデルの目的、原則、ストレングスアセスメント、個別計画について模擬事例をもとに学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分) 授業外事後学修課題：復習内容演習を終えて各自で修正作業に取り組む(45分)【レポート(5)】
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	【評価方法・評価割合・評価基準】 筆記試験（30%）筆記試験（30%）小テスト講義で学んだ重要語句の意味が概ね解答できれば60/100点 その他（70%） レポート①（10%）『精神障がい者家族の体験』の学びを明確に記述できれば80/100点 レポート②（20%）『入院模擬事例・看護過程展開記録(演習)』が記述できれば80/100点 レポート③（10%）『再構成』場面の再構成と自己評価を記述する。自分の考えも含めて記述できれば80 /100点 レポート④（10%）『セルフヘルプグループから学ぶ』AAメンバーの体験談からの学びが明確に記述できれば80/100点 レポート⑤（20%）『地域模擬事例・看護過程展開記録(演習)』が記述できれば80/100点 これまで学んだ、精神保健論、精神看護学概論、精神看護学方法論Iを活用してください。後期の実習に向けて、実習がイメージしやすいような授業を考えていますので、積極的に学んでください。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	【テキスト】 系統看護学講座　精神看護学［1］精神看護の基礎　医学書院 系統看護学講座　精神看護学［2］精神看護の展開　医学書院 【参考文献】 精神看護学　第2版　学生-患者のストーリーで綴る実習展開　医歯出版㈱ リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術　医学出版 看護場面の再構成　日本看護協会出版
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神科看護の臨床経験を有しており、その経験を活かして、実践的な看護援助を伝える。
オフィスアワー・連絡先	質問のある時には事前にメール連絡して下さい。 【連絡先】奥山聡子　sterado@soei.ac.ｊｐ
備考	

講義科目名称：　リハビリテーション看護論　　授業コード：　24G310

英文科目名称：　Rehabilitation Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	③看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ④保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	特になし
授業概要	リハビリテーションの理念・定義を概観したうえで、リハビリテーション看護の役割を講義する。生活再構築を必要とする人々が、その人らしく日常生活を営むための看護について学ぶ。各論では主要な障害別のリハビリテーション看護とその実際を学び、リハビリテーションチームにおける看護職の目的、役割、機能について学修する。
履修目標	①リハビリテーションの理念・定義を理解し、リハビリテーションケアの意義を説明できる ②リハビリテーション各期の特徴を踏まえて生活の視点からリハビリテーション看護を考え説明できる ③リハビリテーション看護が必要な人および家族の心理・社会的側面について説明できる ④障害ごとの安全な生活再構築のために必要なリハビリテーション看護技術を提供できる ⑤リハビリテーションチームにおける看護職の役割、機能を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　導入1.リハビリテーション総論 科目の概要、授業項目・内容、成績評価についてのガイダンス リハビリテーションの概念、領域 リハビリテーション看護の概要、対象、法制度 授業外事前学修課題： 教科書に書かれているリハビリテーションの意味についてまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 2　2.ステージ別リハビリテーション看護 経過別リハビリテーション看護 発達段階別リハビリテーション看護 リハビリテーション看護の展開 授業外事前学修課題： 医療施設と介護施設におけるリハビリテーション看護についてまとめて置く（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 3　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　１）運動機能障害 運動機能障害の原因と特徴 運動機能の評価尺度 運動機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 運動機能を支えるメカニズムの復習（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（90分） ３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　２）摂食嚥下機能障害３）排泄機能障害 摂食嚥下機能・排泄機能障害の原因と特徴 摂食嚥下機能・排泄機能の評価尺度 摂食嚥下機能障害をもつ人・排泄機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 摂食嚥下機能と排泄機能を支えるメカニズムの復習（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 5　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　４）呼吸機能障害 呼吸機能障害の原因と特徴 呼吸機能の評価尺度 呼吸機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 呼吸機能を支えるメカニズムの復習（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 6　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　５）高次脳機能障害 言語障害・高次脳機能障害の原因と特徴 脳神経機能の評価尺度 呼吸機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 高次脳機能について学習する（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 7　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　６）感覚機能障害

	視覚・聴覚機能障害の原因と特徴 視覚・聴覚機能の評価尺度 視覚・聴覚脳機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 視覚・聴覚機能を支えるメカニズムの復習（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） ８　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　演習７）生活再構築のために必要なリハビリテーション看護技術 日常生活における運動機能障害をもつ人を支える看護技術 授業外事前学修課題： 運動機能障害をもつ人への支援 運動機能の評価尺度、関節可動域の評価・筋力の評価　についての復習（60分） 授業外事後学修課題： 演習内容をまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークによる学習を通して、自己の学びを深める。
課題のフィードバック方法と時期	講義時およびGoogle Classroom上でコメントを配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法・評価割合・評価基準： 評価方法；筆記試験 評価割合；60% 評価基準；学習到達目標が評価できる発問に正解できれば60% 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；ミニテスト 評価割合；20% 評価基準；授業内容を確認するミニテストに正解できれば60% 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；演習内容のレポート 評価割合；20%、 評価基準；演習時に提示する 履修目標との対応；④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	武田宜子、系統看護学講座　別巻　リハビリテーション看護、医学書院
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー；授業日の5限 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 健康生活支援論Ⅰ　　授業コード： 24G312

英文科目名称： Healthy Living Support TheoryiⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	公衆衛生看護学概論の単位を修得していること。
授業概要	地域で生活する人々の発達段階 健康レベルの特徴に応じた地域看護活動の基本と実際について理解するとともに、地域の人々が主体的に問題解決できるよう適切な接近方法・技術を選択し介入できる基礎を学ぶ。
履修目標	①地域で生活する人々のライフサイクル・健康レベルの特徴を説明できる。 ②地域で生活する人々の健康問題に応じた公衆衛生看護活動と、 地域ヘルスケアシステムの成り立ちとの関連を説明できる。 ③法的根拠や国の政策に基づいて行われる各ライフサイクル・健康問題に応じた保健活動の実際を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　母子（親子）保健活動① 母子保健（親子保健）活動の動向、 理念歴史、施策 /母子保健における健康課題 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 2　母子（親子）保健活動 ② 乳幼児期の成長発達と健康課題への支援 乳幼児の歯科保健活動 思春期の健康課題と保健師活動 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 3　母子（親子）保健活動 ③ 支援ニーズが高い親子の健康課題と支援（GW）［動画］個から集団へ、そして地域へ丸森町の子育て支援 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 4　成人保健活動 ① 成人保健活動の動向、 成人期の保健活動の進め方 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 5　成人保健活動 ② 生活習慣病の予防、地域のサポートシステム・社会資源、成人期の歯科保健活動 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 6　障害者(児) 保健活動 障害者(児) 保健の動向、 理念 施策/障害者(児) 保健活動 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 7　難病保健活動 難病対策の動向、 難病患者の生活と保健活動 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：

	学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 8 精神保健活動 1.精神保健医療福祉の動向：理念,歴史，施策 2. 精神障害者の生活と支援：生活のとらえ方と支援 3. 社会病理を背景とする精神的問題 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 9 高齢者保健活動 ① 高齢者保健の動向、 高齢者の健康などの状況 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 10 高齢者保健活動 ② 高齢者の健康課題への支援、高齢者の歯科保健 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 11 地域包括ケア①（ゲストスピーカー） 地域包括ケアの動向、地域包括ケアと保健師活動、地域包括ケアの実際 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。自分の住んでいる地域の地域包括支援センターの活動等について調べる （90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する（90分） 12 地域包括ケア②（ゲストスピーカー） 地域包括ケアの動向、地域包括ケアと保健師活動、地域包括ケアの実際 地域包括ケアにおける看護職の役割（GW） 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 「地域包括ケアシステムにおける保健師の役割」 についてレポートを作成する（90分） 13 感染症保健活動 感染症保健の動向、 感染症保健施策と保健師活動 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。既習の感染症法を復習しておく(90分) 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する （90分） 14 学校保健・学校看護の基本① 学校保健の目的と対象、学校保健計画・学校安全計画、学校保健に関する人材について 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 15 学校保健・学校看護の基本② 学校安全危機管理について事例を用いた演習 グループワーク、プレゼンテーション 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事例等を用いてグループ・ワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業ごとにグーグルフォームで学んだことについて内容を確認し、 授業後に全員にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：８０％ 評価基準：6割以上の点数が取れれば合格 履修目標との対応：①②③ 評価方法：レポート課題 評価割合：２０％ 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：③

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト: 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護論 医学書院 2024 参考文献: 国民衛生の動向 2023/2024 厚生労働統計協会 2023
実務経験のある教員による授業	行政保健師の経験を活かして講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先: 山口　tyamaguchi@soei.ac.jp　久保木　nkuboki@soei.ac.jp 事前にメールで連絡をしてください。オフィスアワーは授業初回日に連絡します。
備考	保健師課程必修科目です。事前学修・事後学習を必ず行い、積極的に授業に臨んでください。 受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。

講義科目名称： 産業保健活動論　　授業コード： 24G315

英文科目名称： Occupational Health Activities

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	選択
担当教員			
大神　あゆみ			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	３．看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ４．保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ５．地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	保健師資格取得を予定している者に限る
授業概要	１．産業保健の目的、制度とシステム、管理の特徴とともに、働く人々の健康問題、作業環境や労働条件が健康に及ぼす影響について理解する。 ２．公衆衛生看護を基盤とした保健医療専門職として、働く人々のQOL向上を目指して提供する支援やケアの方法についての理解を深める。 ３．現在の産業保健における健康課題や健康保持・増進の対策を、実際の取組を紹介しつつ、学生間で保健活動のあり方や保健師の役割を討議できるようにする。
履修目標	①産業保健活動の考え方の特徴について説明することができる。 ②成人期の個人や集団・組織について「労働」の側面からアセスメントできる。 ③産業保健活動における保健師の役割や活動方法について説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション，産業保健（労働衛生）の概要 定義，歴史，制度，産業構造の変化と労働者の健康課題の概要について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「公衆衛生看護」の考え方を基本とするため、講義前に、他の講義科目で学修した「公衆衛生看護」の独自性について確認する。 また、他の講義科目で学習した中での産業保健に関連する用語について確認しておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 2　産業保健を推進する体制（1） 事業場における労働衛生管理体制とそれを支援する機関と労働衛生の5管理について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「公衆衛生看護」の考え方を基本とするため、講義前に、他の講義科目で学修した「公衆衛生看護」の独自性について確認する。 また、他の講義科目で学習した中での産業保健に関連する用語について確認しておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 3　産業保健を推進する体制（2） 産業保健領域で働く保健師の保健師活動の特徴について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 他の領域の保健師活動の特徴から、産業保健領域の保健師活動の特徴（共通点・相違点）を考えておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 4　産業保健における健康課題への対応（1） 保健師の視点からの5管理への関与，職業性疾病・作業関連性疾患対策について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保健師の職能の特徴から、どのような活動が可能か考えておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 5　産業保健における健康課題への対応（2） 保健師の視点からの健康管理として健康診断の事後措置と健康の保持増進対策について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保健師の職能の特徴から、どのような活動が可能か考えておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 6　産業保健における健康課題への対応（3） 保健師の視点からの健康管理として過重労働対策やメンタルヘルス対策について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保健師の職能の特徴から、どのような活動が可能か考えておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 7　産業保健の今日的課題への対応 リスクアセスメントと労働安全衛生マネジメントシステム、さまざまな両立支援について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考となる講義中に提示された情報（記事）を読んでおく（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 8　産業保健に関するケーススタディとまとめ 科目の前講義内容のポイントを振り返り、ケーススタディを元に討議する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考となる講義中に提示された情報（記事）を読んでおく（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	講義中心ではあるが、随時、双方向のやりとりや小演習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	講義の初めに前回の講義のリフレクションペーパーを元にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：90% 評価基準：最終試験：授業で学んだことを的確に理解しているかどうか 履修目標との対応：①②③ 評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：10% 評価基準：授業の要点をまとめられるかどうか、授業を的確に理解して考察できるかどうか 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：レジュメ等の配布資料を中心としながら、以下のテキストも参照する。 ・産業保健ハンドブック　改訂21版（産業保健ハンドブックシリーズ），森晃爾（編），労働調査会，2023，ISBN:9784863199729. 参考文献： 同じ領域内の講義で使用される以下のテキストも適宜参考にする ・系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度[2]公衆衛生，神馬 征峰（著），医学書院，2024，ISBN:9784260053129. ・国民衛生の動向2022/2023，一般財団法人 厚生労働統計協会（著），一般財団法人 厚生労働統計協会，2023,ISBN:9784875118725 ・標準保健師講座1　公衆衛生看護学概論，標 美奈子 他（著），医学書院，2022，ISBN:9784260047074. ・標準保健師講座2　公衆衛生看護技術論，中村 裕美子 他（著），医学書院，2023，ISBN:9784260050029. ・健康生活支援論Ⅰ：標準保健師講座3　対象別公衆衛生看護活動，中谷 芳美 他（著），医学書院，2024，ISBN:9784260031875.
実務経験のある教員による授業	担当教員は保健師および労働衛生コンサルタントの経験を有しており、その経験を活かして実践例をイメージできる知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	講義前後の時間のみ質問や相談を受けます。
備考	「公衆衛生学」「保健医療福祉行政論Ⅰ」「公衆衛生看護学概論」を履修し、その内容を理解した上で、積極的に授業に臨まれることを前提とします。なお、再試は行いません。毎回の講義および予習復習でしっかり知識を定着させるように講義に臨んでください。

講義科目名称： 学校保健論　　授業コード： 24G316

英文科目名称： Theory of School Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	選択
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	３．看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ４．保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ５．地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	学校教育目標の具現化としての学校保健の位置づけを理解し、学校保健の実践が児童生徒の発達にどのような役割を担っているかを学ぶ。学校保健の意義と目的、行政と学校保健、法規に基づく学校保健の内容と組織、保健主事や養護教諭等の関係職員の役割になどについて具体的な実践例を通して学ぶ。
履修目標	①学校保健安全に関する法規を理解する ②学校保健の意義と目的を理解し、説明することができる ③児童生徒等の健康状態を把握する方法を理解し、説明することができる ④ヘルスプロモーションと学校保健の関係について説明することができる ⑤学校保健活動の実際について計画し、討議することができる ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション 授業の進め方、学修方法について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学校保健とは何かや、子どもの現代的な健康課題について、授業資料をもとに復習する。学校保健に関する関心事項について、情報収集・整理する。（90分） 2　学校保健行政と学校教育 学校保健行政と学校保健との関連について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第2講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第2講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分） 3　学校保健・学校安全計画、保健室経営 学校教育目標を具現化するための計画・活動の重要性について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第3講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第3講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分） 4　健康観察・保健調査・健康診断 健康観察・保健調査・健康診断の概要と役割について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第6講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第6講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分） 5　健康相談、学校環境衛生 １）学校における健康相談について ２）学校環境衛生の関係法令、活動の実際について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第7講・第12講『重要語句』『プラスワン』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第7講・第12講『復習問題』に取り組む。（90分） 6　学校における感染症の予防と対応 学校における感染症予防の意義、対応策について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第8講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第8講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分）

	7	学校生活で特に注意すべき病気 学校生活でよくみられる子どもの疾患や異常について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第9講『重要語句』『語句説明』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第9講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分）
	8	心の健康問題 児童・生徒の心の健康問題の現状と対応について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第10講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第10講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分）
	9	特別支援教育と学校保健 特別支援教育の動向と学校保健との関わりについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第11講『重要語句』『プラスワン』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第11講『復習問題』および『ノートテイキングページ』に取り組む。（90分）
	10	学校安全と学校危機管理（特別講師） 子どもたちにまつわる事件・事故・災害の実情と危機管理について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第13講『重要語句』『プラスワン『語句説明』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第13講義『復習問題』に取り組む。（90分）
	11	保健教育① 学校における保健教育の基礎的事項および指導計画について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第4講および第5講の『重要語句』『プラスワン』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第4講および第5講『復習問題』に取り組む。（90分）
	12	保健教育の実際① 指導計画に基づく教材作成について（模擬授業練習含む） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 模擬授業の実践グループで共有された指導計画をもとに、作成教材を検討をする。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 模擬授業の実践グループで分担した指導内容について各自準備・練習する。（90分）
	13	保健教育の実際② 模擬授業実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 模擬授業の実践グループで分担した指導内容について各自準備・練習する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 模擬授業終了グループ：テキスト第5講『ノートテイキングページ』に取り組む。（90分） 模擬授業未実施グループ：模擬授業の実践グループで分担した指導内容について各自準備・練習する。（90分）
	14	保健教育の実際③ 模擬授業実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 模擬授業終了グループ：テキスト第4講、第5講の『知っておくと役立つ話』を確認する。（90分） 模擬授業未実施グループ：模擬授業の実践グループで分担した指導内容について各自準備・練習する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト第12講『プラスワン』を確認する。（90分）
	15	これからの学校保健（特別講師） ２）学校保健の充実を図るために 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第15講の内容を確認しておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） これまで学んだ学校保健の内容を整理する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回にて、グループディスカッション、グループワークやペアワーク、チーム基盤型学習、プレゼンテーション、模擬授業実践等を行います。	

課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○ 評価方法：レポート 評価割合：20% 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：30% 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：「学校保健」柳園順子編著,ミネルヴァ書店,2019, ISBN：9784623081837 参考文献：「学校保健実務必携」第一法規　ほか授業時に適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

講義科目名称： がん看護　　授業コード： 24G401

英文科目名称： Cancer Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　加藤　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	がん予防から診断と治療における対象と家族を取り巻く状況を、看護の視点からとらえ、がんの治療を受ける対象とその家族の看護について理解する。対象や家族が抱える全人的苦痛の理解とそれらを和らげる緩和ケアについて学び、がん看護における看護師の役割と看護活動について理解する。また、長期にわたりがんとともに生きる人と家族を総合的に援助することの重要性を学ぶ。ここでは人間の生と死について考え、生命への畏敬、人間の尊厳について考えるとともに、日本人の死生観についても学習を深める。また、人生の終末を迎える人とその家族に対して、その人らしい悔いのない人生を送ってもらうためのケアについて学習するとともに、家族へのグリーフケアについても学習する。また人生最期の時を迎える人の看取りのケア、エンゼルケアについても学ぶ。
履修目標	①がんの治療を受けている患者および家族を理解する。 ②がんに対する診断と治療の特殊性について理解する。 ③がんに対する治療の実際について理解する。 ④緩和医療の目的と看護について理解する。 ⑤治療に伴う副反応の発生機序を理解し、予防ケアと症状緩和の方法を理解する。 ⑥がん患者に特有な症状の発生機序と症状マネジメント方法を理解する。 ⑦がん治療・看護をめぐる倫理的課題を理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　がんおよびがん患者・家族の理解①（疫学・病態、臨床経過と患者・家族心理）（西出） Ⅰがんの疫学 1. 日本におけるがん患者の統計　2. 部位別がん死亡率・罹患率　3. ５年（10年）対生存率 4. 年齢別がん罹患率　5. 小児・AYA世代のがん統計 Ⅱ. がん対策 1. がん対策の歴史　2. がん対策推進基本計画　3. がん患者の社会的な課題　就労に関する課題 Ⅲがんの病態 1. がんとは何か　2. 遺伝子異常の種類　3. 多段階発がん　4. 局所浸潤と転移　5. 発生部位によるがんの分類 Ⅳ.がんの治療・療養経過と患者の状態 1. 療養経過　2. がんサバイバーシップ　3. 診断まで　4. 治療開始まで　5. 治療の期間の心理 6. 再発の時期 Ⅴ.がん患者の家族の体験 Ⅵ.がんの治療・療養過程に応じたケア 授業外事前学修課題：テキスト（症候論テキスト含む）の該当ページ精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り該当ページをもう一度精読し、わからない箇所を調べて理解する。がんを取り巻く状況・がん疫学・政策・主な疫学データの動向、がんの病態・がんの診断、症候論当該箇所の復習（120分） 2　がん治療に伴う看護①（集学的治療、手術療法、薬物療法）（西出） Ⅰがん治療の種類 Ⅱがんに特有の病態とその治療 1. がんがあることによる影響　2. 腫瘍の直接症状　例：肺がん　3. 腫瘍随伴症候群　4. オンコロジーエマージェンシー　5. 転移に関わる合併症 Ⅲがん手術療法の特性 1. がん治療における手術療法の位置づけ　2. がんの特徴（増殖・転移）と手術　3. 集学的治療と手術療法　4. がん手術療法の目的 5. がん手術の特徴　6. 手術による障害とリハビリテーション内容 Ⅳ.がん薬物療法とは 1. がん治療における薬物療法の位置づけ　2. がんに対する薬物療法の種類　3. 薬物療法のレジメン（治療計画）・治験 授業外事前学修課題：テキスト（症候論テキスト含む）当該ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、該当ページをもう一度精読し理解する。集学的治療・手術療法、症候論当該箇所の復習 3　がん治療に伴う看護②（薬物療法）（西出） Ⅱ薬物療法時のケア 1. 治療開始前のケア　2. 有害事象の病態とその治療とケア　1）過敏症　2）骨髄抑制　3）悪心・嘔吐　4）下痢・便秘　5）皮膚・爪の障害　6）口内炎（粘膜刺激症状）　7）末梢神経障害　8）血管外漏出　9）脱毛　アピアランスケア　10）性機能障害

		Ⅲ曝露対策 1. ハザーダス・ドラッグの取り扱い　2. 投与プロセスにおける曝露対策　3. 抗がん剤の尿・便または胆汁中検出期間　4. 汚染発生時の対応 授業外事前学修課題：テキスト該当ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、該当ページをもう一度精読しわからない箇所を調べ理解する。抗悪性腫瘍薬の種類と特徴・治療効果判定・レジメン・副作用に対する看護（120分）
	4	がん治療に伴う看護③（放射線療法、造血幹細胞移植）（西出） Ⅰ放射線療法 1. 放射線療法の特徴　2. 放射線療法の種類　3. 目的・適応による分類　4. 放射線療法の実際　5. 放射線療法の有害事象 Ⅱ放射線療法における看護 1. 放射線療法における看護の役割 2. 治療を受ける人への看護　1）治療計画時　2）実施中　3）主な有害事象発生時　4）スキンケア　5）口腔ケア　6）晩期有害事象へのケア 3. 放射線防護　放射線防護3原則 Ⅰ造血幹細胞移植 1. 造血幹細胞移植とは　2. 適用となる疾患　3. 造血幹細胞移植の特徴　4. 造血幹細胞移植の種類　5. 骨髄破壊的前処置　6. 治療に伴う有害事象 Ⅱ造血幹細胞移植に伴う看護 1. 全身放射線照射（TBI）時の看護　2. 骨髄幹細胞採取時の看護　3. 末梢血幹細胞採取時の看護　4. 造血幹細胞輸注時の看護　5. 無菌管理　6. 造血幹細胞移植における合併症の看護　7. 退院指導　8. レシピエントへの心理的支援　9. ドナーへの心理的支援 授業外事前学修課題：テキスト該当ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、該当ページをもう一度精読し、わからない箇所を調べ理解する。放射線療法の特徴有害事象への対策（120分）
	5	小児がん看護 終末期（加藤） 1.終末期にあるこどもと家族の看護 1)こどもの終末期の特徴 2)こどもの死のとらえ方 3)病気を体験しているこどもの死のとらえ方 2.終末期にあるこどもの看護 1)症状の緩和　2)こどもの意思決定の支援 3.こどもが終末期にある家族の看護 1)こどもの親への看護　2)きょうだいへのケア 4.終末期における多職種チーム支援 こどもの終末期や家族の看護について視聴覚教材を用います。 授業外事前学修課題：テキスト該当ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、該当ページをもう一度精読し、わからない箇所を調べ理解する。図書館にある小児看護（雑誌）や参考資料を用いて、具合的な事例に触れ、身体・心理・社会面への援助の根拠や工夫について自分なりに説明ができるように学習する。 レポート課題を発表します。
	6	パリアティブケア（終末期がん患者の症状マネジメント、臨死期・臨終後の看護）（西出） 1. がんの終末期にある人の身体的特徴 1）がんの増大・浸潤・転移による病態　2）悪液質（カヘキシア）　3）浮腫 2. がん疼痛の特性 3. 疼痛の分類と特徴 4. 疼痛のメカニズム 5. 疼痛のマネジメント 6. がん疼痛に用いられる鎮痛薬 1）WHO3段階除痛ラダー　2）がん疼痛治療の目標　3）鎮痛薬投与の4原則 7. 緩和ケア（パリアティブケア）の目標 1. 多様な価値観と死をめぐる倫理的課題 1）真実を伝える　2）意思決定を支える看護師の役割　3）アドバンスディレクティブ　○治療拒否の権利　○尊厳死・リビングウィル　○DNAR　○セデーション（鎮静） 2. 終末期における家族の理解 1）家族のもつニード　2）家族の予期悲嘆・グリーフ　3）家族アセスメント 3. 家族への看護実践 1. 臨死期のケアの特性 2. 臨死期に特徴的な症状 3. 臨死期における家族への具体的ケア 4. 臨終後のケア 1）臨終後の実際 2）死後のケア（エンゼルケア）　(1) 死後のケアの意義　(2) 死後の身体の変化　(3) 死後のケアの内容　(4) 死後のケアの実際 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。全人的苦痛、がん疼痛治療、カヘキシア
	7	がん患者とのコミュニケーション①（講義・GW演習）（西出） 1.がんの予後不良患者との対話の具体的方法（O-P、T-P）をグループで立案する。 1）子宮頸がん患者の事例の確認：病期と治療、全人的苦痛の状況、家族背景等より看護問題と看護目標を知る。 2）場面設定を確認し、ある場面での具体的コミュニケーション方法を立案する。 授業外事前学修課題：事例についてわからない用語や処置や薬剤などがあれば、調べてわかるようにして授業に臨むこと。（120分）

		授業外事後学修課題：事例について調べ、発表の準備を行う。グループ内他のメンバーの発表資料を精読、内容の確認・質問事項の整理を行う。（90分）
	8	がん患者とのコミュニケーション②（GW演習発表・講義）（西出） 1. グループ毎発表 2. 「患者のこころによりそう看護コミュニケーション：ケアに生かすコミュニケーション」の視聴 3. 自分のコミュニケーションを振り返る方法：プロセスレコードの意義、書き方を理解する。 授業外事前学修課題：事例について調べ、発表の準備を行う。グループ内他のメンバーの発表資料を精読、内容の確認・質問事項の整理を行う。（90分） 授業外事後学修課題：課題の意図を考え多様な意見を参照し自己の考えを深化させる。健康レベル・病状の捉え方、看護診断、症状マネジメント、コミュニケーション技術（積極的傾聴）、プロセスレコード（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。	
課題のフィードバック方法と時期	課題及びリフレクションペーパーは各回GoogleClassroom上でコメントを配信する。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	・評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：最終試験－授業で学んだことを理解しているかどうか。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ ・評価方法：課題 評価割合：10% 評価基準：提出期限様式の遵守、課題の意図の理解 履修目標との対応：①②④⑥ ・評価方法：レポート試験（小児） 評価割合：10% 評価基準：参考資料の妥当性、課題意図の理解、多様な意見の参照度と自己の意見の洗練の程度 履修目標との対応：①③④	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	系統看護学講座別巻　がん看護学　医学書院 成人看護学　緩和・ターミナルケア看護論第2版　ヌーベルヒロカワ 小児看護学①小児の発達と看護　メディカ出版 小児看護学③小児の疾患と看護　メディカ出版	
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行います。	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは実習対応のため不定期、必要時メールで確認してください。 knishide@soei.ac.jp;nkato@soei.ac.jp	
備考	人の形態と生活・機能、症候論、成人看護学概論・成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、小児看護学概論・方法論で学んだ知識が土台となります。積極的に学ぶことを期待します。	

講義科目名称： 看護管理学　　授業コード： 24G406

英文科目名称： Nursing Administration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	必修
担当教員			
上條　優子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	なし
授業概要	看護を取り巻く社会状勢とともに、看護管理学における基本的概念・理論・制度について学修する。また、保健・医療・福祉におけるサービス提供システムの多職種協働や多職種連携について学修する。
履修目標	対象に応じた良い看護を提供するために、ケアのマネジメントの必要性を理解し、組織理念に基づく目標達成のため、集団と個人、リーダーシップやフォロワーシップ、医療制度、医療経済について学修し、良い医療・良い看護とは何かについて考える力を養う。 ①　看護管理学に関連する基礎的知識について述べることができる。 ②　看護管理学に関連する基礎的知識を、これまでの自分の経験と共に説明することができる。 ③　質の高い看護を提供するための看護管理について考えることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護とマネジメント(第1章) ・看護管理学の概念構成 ・マネジメントとは ・看護マネジメントのプロセス（計画・組織化・指揮・統制） ・フローレンス・ナイチンゲールの「小管理」 授業外事前学修課題：教科書第1章を読む。看護管理学とは何か考えてくる　(90分) 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をしリフレクションペーパーを提出する。理念の課題を行う　(90分) ２　看護ケアのマネジメント（第2章） ・看護ケア提供者の機能 ・患者の権利 ・チーム医療；チームとグループの違い ・看護基準 ・看護手順とクリティカルパス 授業外事前学修課題：教科書第2章を読む。クリティカルパスについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーの提出する。特にリスボン宣言、ヘルシンキ宣言とインフォームドコンセント、クリティカルパス・地域連携クリティカルパス、日本の看護職の数を暗記する（90分） 3　看護職のキャリアマネジメント（第3章） ・キャリアマネジメント ・専門看護師、認定看護師、ナースプラクティショナー、認定看護管理者 ・看護職の就業場所 ・タイムマネジメント ・ストレスマネジメント 授業外事前学修課題：教科書第3章を読む。5年後までの自分のキャリアプランを考えてくる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーの提出をする。自分のストレスコーピングについて考える。理念についての課題をする（90分） 4　看護サービスのマネジメント：計画（第4章、第5章） ・サービスとは、看護サービスとは ・看護サービスのための計画 ・組織理念 授業外事前学修課題：教科書第4章を読む。理念の課題を仕上げClassroomに提出する（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。理念についてまとめる。組織図の課題をする（90分） 5　看護サービスのマネジメント：組織化　（第4章、第5章） ・組織とは、組織図 ・看護職員配置、雇用形態、夜勤 ・ワークライフバランス ・看護ケア提供システム 授業外事前学修課題：第4章、第5章を読む。インターネットを使用し興味のある会社などの組織図を調べる（90分）

		授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。看護ケア提供システム４つについてその特徴、利点、欠点をまとめる（90分）
	6	看護サービスのマネジメント：指揮（第5章） ・リーダーシップとフォロワーシップ ・エンパワメント ・アサーション 授業外事前学修課題：第5章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。アサーションチェックリストを行う（90分）
	7	看護サービスのマネジメント：統制　（医療・看護サービスの評価）（第4章） ・患者満足度調査 ・診療報酬による評価、DPC制度 ・第三者評価：病院機能評価、マグネットホスピタル、JCI評価 ・看護ケアの質評価：構造・過程・結果 授業外事前学修課題：第4章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する、中間テストの勉強をする（90分）
	8	看護を取り巻く諸制度１　（第6章） ・保健師助産師看護師法 ・看護師等の人材確保に関する法律 授業外事前学修課題：第6章を読む。附録の保健師助産師看護師法を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。附録の保健師助産師看護師法と看護師等の人材確保に関する法律を読む（90分）
	9	看護を取り巻く諸制度２　（第6章） ・医療法（医療計画5事業5疾患と在宅医療など） ・労働基準法 ・診療報酬；　重症度、医療・看護必要度 授業外事前学修課題：第6章を読む。（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。中間テストの勉強をする（90分）
	10	多重課題への対応（第2章） ・多重課題発生時の対応 ・夜間の看護、切れ目のない看護 ・複数患者受持ちの看護 ・中間テスト 授業外事前学修課題：第2章をよむ。多重課題、複数患者受持ちについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する（90分）
	11	組織分析 ・こんな病院あったらいいな　（グループワーク） 授業外事前学修課題：今までの復習をする、理想の病院経営について考える（90分） 授業外事後学修課題：グループワーク評価をする、理想の病院経営について考える（90分）
	12	組織分析　（プレゼンテーション） ・こんな病院あったらいいな（プレゼンテーション） 授業外事前学修課題：役割分担し、プレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：各グループのプレゼンテーション評価をする、病院組織について考えをまとめる（90分）
	13	組織分析　（プレゼンテーション） ・こんな病院あったらいいな（プレゼンテーション） 授業外事前学修課題：役割分担し、プレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：各グループのプレゼンテーション評価をする、病院組織について考えをまとめる。定期試験に向けて復習をする（90分）
	14	薬害について考える（外部講師）：文部科学省・厚生労働省指定による ・講師の指定した事前課題についてのグループワーク 授業外事前学修課題：第2次世界大戦後から現在に至る薬害について調べる。講師の事前課題を行う（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する（90分）
	15	薬害について考える（外部講師）：文部科学省・厚生労働省指定による ・薬害とは ・看護職者として薬害対象者との関りについて 授業外事前学修課題：薬害予防について考える、薬害の方へのケアを考える（90分）

	授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。定期試験に向けて勉強をする（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う。 1方向の講義でなく2方向の参加型授業である。 課題作成を通して考える授業である。
課題のフィードバック方法と時期	・Classroomを用いて各授業のリフレクションペーパーを提出してもらい、次の授業で質問などの回答を行い復習も行う。 ・プレゼンテーションのピアレビューを行い、結果をClassroomに公表する。 ・中間テスト、定期試験の結果は希望者に開示する。 ・中間テスト、定期試験の平均点はClassroomで公表する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：66% 評価基準：中間テスト１６％、定期試験５０％ 履修目標との対応：①②③ 評価方法：レポート課題 評価割合：10% 評価基準：テーマとの照合（3点）内容（5点）レポートの体裁（2点）を基準に評価する 履修目標との対応：②③ 評価方法：平常点評価 評価割合：14% 評価基準：リフレクションペーパーの期限内の提出。内容が伴っていること。 履修目標との対応：①②③ 評価方法：授業の参加度 評価割合：10% 評価基準：グループワーク参加度（グループワーク評価票提出を含む）、プレゼンテーション評価票（ピアレビューを含む） 履修目標との対応：②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	教科書：系統看護学講座　看護管理学　看護の統合と実践１　医学書院 参考書： 原玲子.　看護マネジメント入門.　日本看護協会出版会. 見藤隆子　他.　看護職者のための政策過程入門 第2版. 日本看護協会出版会. 吉田千文　他.　ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践①看護管理.　メディカ出版.
実務経験のある教員による授業	管理者としての実務経験や、10年以上の認定看護管理者研修の講師としての経験を活用した講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントメントを取ってください。　ykamijo@soei.ac.jp
備考	看護管理学の知識や理論は、管理者に限らず組織やチームで活動する看護職にとって欠かせないものです。臨地実習でも役に立つ知識です。 アルバイトを含む働く人全てに役立つ授業になります。

講義科目名称： 多職種連携論　　授業コード： 24G408

英文科目名称： Multidisciplinary collaboration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	
授業概要	保健・医療・福祉における連携システムの現状とその活動及び取り組みについて学び、対象の健康問題の解決に向けて有効な地域保健医療福祉の連携システムと協働のあり方を探求する。さらに、保健医療福祉チームの一員である看護職に求められる役割と看護の質の保障のための方策について考察する。
履修目標	①保健・医療・福祉における地域包括ケアシステムの背景や制度について理解できる。 ②保健・医療・福祉の連携システムを支える多職種の役割と活動の実際について理解できる。 ③切れ目のない医療サービスを提供する地域連携クリニカルパスと生活を支えるためのケアマネジメントについて理解できる。 ④複数の仮想事例から、保健・医療・福祉の資源（制度、サービス、施設、マンパワー）をいかに活用するか、具体的に考えることができ、看護職に求められる役割と看護の質保障について検討することができる。 ⑤地域包括ケアの現状と課題、地域包括ケアシステム構築における看護職の役割について考察できる。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　保健・医療・福祉の連携① 1. わが国における地域包括ケアシステムについて 2. 地域包括ケアシステムにおける多職種・関係機関の連携 3. 社会資源 授業外事前学修課題：1～2年次の地域包括ケアシステムについて授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 2　保健・医療・福祉の連携② 1. 医療と保健・福祉の多職種連携 2.退院支援・退院調整，地域連携パス 3.課題の説明：事例紹介と課題について 授業外事前学修課題：1～2年次の多職種や退院支援・退院調整について授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 3　.地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉の連携の実際①（ゲストスピーカー：介護支援専門員） 1. 介護保険法に基づくケアマネジメント 2。介護支援専門員の役割，病院看護職との連携の現状・課題 3. 介護支援専門員からの看護職への期待 授業外事前学修課題：1～2年次の介護支援専門員、ケアマネジメンについて授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 4　地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉の連携の実際②（ゲストスピーカー：退院調整看護師） 1. 地域連携室における退院支援等 2. 退院支援における病棟看護師の役割 授業外事前学修課題：1～2年次の退院支援・退院調整について授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 5　地域包括ケアシステム構築の実際①（ゲストスピーカー） 1. 地域包括ケアシステム大田区みま～もについて 授業外事前学修課題：1～2年次の地域包括ケアシステムについて授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 6　地域包括ケアシステム構築の実際②（ゲストスピーカー） 1. 地域包括ケアシステム大田区みま～もについて 2. 地域包括ケアシステム構築における病院看護師の役割にグループワーク 授業外事前学修課題：1～2年次の地域包括ケアシステムについて授業資料、教科書を読む（90分）

	授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 7　事例をもとに地域における保健・医療・福祉の連携を考える①　（2コマ続き） 4事例をもとに地域における保健・医療・福祉の連携についてグループワーク、発表を行う 授業外事前学修課題：4事例について課題に取り組む（150分） 授業外事後学修課題：グループワークをした内容をもとに、事例の課題を修正する（30分 8　事例をもとに地域における保健・医療・福祉の連携を考える②　（2コマ続き） 4事例をもとに地域における保健・医療・福祉の連携についてグループワーク、発表を行う 授業外事前学修課題：4事例について課題に取り組む（150分） 授業外事後学修課題：グループワークをした内容をもとに、事例の課題を修正する（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事例をもとにグループワークを行う
課題のフィードバック方法と時期	グループワークの発表、検討を行う。 毎回の授業終了時にグーグルフォームで学習内容や質問を確認し、授業後または次回の授業時にフィードバックを行う
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：40% 評価基準：6割以上の点数がとれていれば合格 履修目標との対応：①○、②○、③○、④○、⑤○、⑥○ 評価方法：課題レポート 評価割合：60% 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：②○、③○、④○、⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	1年次「保健医療福祉行政論Ⅰ」で使用した国民衛生の動向.　可能であれば最新の2023/2024が望ましい。
実務経験のある教員による授業	訪問看護師、退院調整看護師、保健師、病棟看護師の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口　智美：tyamaguchi@soei.ac.jp　時間は初回授業時に伝えます。 久保木紀子：nkuboki@soei.ac.jp 時間は初回授業時に伝えます。
備考	事前・事後の学習をしっかりとすること 課題レポートの提出は〆切を厳守すること。 30分以上の遅刻は欠席扱いとなる 私語は禁止、離席する場合は必ず教員に報告すること 1～2年次の学習をもとに授業を行います。しっかりと復習して参加すること

講義科目名称： 医療安全学　　授業コード： 24G409

英文科目名称： Healthcare Safety Management

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
上條　優子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	なし
授業概要	医療の高度化、複雑化、国際化等により、医療現場では様々なリスクが発生している。また、社会的に注目されている医療事故にはセイフティマネジメントが求められている。医療職者として医療安全の基本概念を理解し、社会の医療安全ニーズに応えられるよう様々な視点から考える。
履修目標	医療の質保証、リスクマネジメント及びセイフティマネジメント、倫理的態度の実践、情報の取り扱い、適正な看護技術提供のあり方等について調査しプレゼンテーションを通して学ぶ。 ①　医療安全に関する基本的な知識について説明することができる。 ②　看護専門職として必要な安全に関する法的責務・役割について説明することができる。 ③　医療を安全に提供するための組織体制、報告・連絡・相談の重要性について述べることができる。 ④　安全な看護技術提供について具体的な諸注意を説明することができる。 ⑤　医療事故分析手法を活用し、事故防止の対応策を提言できる。 ⑥　看護専門職として安全な医療を遂行する上で必要な自己研鑽について述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　医療における安全管理とは ・医療安全用語の定義 ・日本および海外の医療安全対策の潮流 ・日本の医療事故の現状；日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業　https://www.med-safe.jp/ 授業外事前学修課題：教科書　序章、第1章、第9章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。ハインリッヒの法則、医療過誤・医療事故の定義を覚える。1999年に起きた医療事故について調べる（90分） 2　医療事故と医療過誤 ・看護専門職として必要な法的責務・役割 授業外事前学修課題：教科書第2章、第3章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。医療事故にあった患者・家族の気持ちについて考える（90分） 3　医療安全のための組織的な取り組み ・教育と研修 ・診療ガイドライン ・工学的解決 ・協働とコミュニケーション 授業外事前学修課題：教科書第4章、第5章、第6章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。医療安全のために、にくいもの・くさいもの探し、あったらいいと思うもののアイデアをまとめる（90分） 4　医療安全に関わる法令・制度 ・医療法 ・医療事故調査制度 ・看護師の労働安全衛生上の事故 ・KYTの実際 授業外事前学修課題：教科書第7章、第8章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。医療法第3章医療安全に関することをまとめる。（時間） 5　医療安全を考える ・グループワーク、ICTを活用し調査する 授業外事前学修課題：グループの課題に関する判例・事例の検討、防止策について考えてくる。教科書で言葉の定義を調べる（90分） 授業外事後学修課題：プレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションの準備をする。グループワーク、評価票の提出。（90分） 6　医療安全を考える プレゼンテーション

	授業外事前学修課題：本日のプレゼンテーション資料を事前に読んでわからないことを調べる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。プレゼンテーション評価票の提出　（90分） 7　医療安全を考える プレゼンテーション 授業外事前学修課題：本日のプレゼンテーション資料を事前に読んでわからないことを調べる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。プレゼンテーション評価票の提出　（90分） 8　インシデント分析・アクシデント分析 ・SHEL分析 ・RCA分析 ・第1回から8回の復習 授業外事前学修課題：教科書のSHEL分析、RCA分析を読む。今までの授業の復習をする（90分） 授業外事後学修課題：8回の授業の内容を復習し定期試験の勉強をする。リフレクションペーパーの提出。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う。また、ICTを用いて医療安全についてグループで調べ反転授業を行う。
課題のフィードバック方法と時期	・Classroomを用いて各授業のリフレクションペーパーを提出してもらい、次の授業で質問などを回答し、授業の復習も行う。 ・プレゼンテーションのピアレビューを行い、プレゼンテーション評価の結果をClassroomに公表する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：57% 評価基準：8回の授業をもとに筆記試験を行い点数に応じて評価する 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：平常点評価 評価割合：18% 評価基準：リフレクションペーパーの記載と提出（８%）、グループ評価票の記載により自己評価・他者評価の得点（10%） 履修目標との対応：①②④ 評価方法：プレゼンテーション評価 評価割合：25% 評価基準：プレゼンテーションの評価。ICTを用いて調べているかどうか、ピアレビュー、内容は医療安全に有効か・看護に役立つかで評価する 履修目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	教科書：　川村治子．「系統看護学講座専門分野　医療安全　看護の統合と実践２」　第5版　医学書院 参考文献： 松下由美子　他．「ナーシンググラフィカ看護の統合と実践②　医療安全」　メディカ出版 相馬孝博（監訳）上條優子（訳）．　「患者安全のシステムを創る-米国JCAHO推奨ノウハウ」　医学書院 医療ジャーナリスト（訳）．　「人は誰でも間違える-より安全な医療システムを目指して」　日本評論社 川島みどり．　「学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術」　医学書院 DVD　佐藤みつこ（監修）　「KYTの実践　ヒヤリハットⅡ」株式会社 東京サウンド・プロダクション 参考資料：　日本医療機能評価機構　医療事故情報収集等事業　　https://www.med-safe.jp/
実務経験のある教員による授業	医療安全における看護師としての実務経験を活用した講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントメントを取ってください。　　ykamijo@soei.ac.jp
備考	医療安全に関する基礎知識と実践への応用を学修します。臨床に出てからは必須の知識であり、これからの臨地実習においても不可欠となるため、積極的に受講してください。グループディスカッションを取り入れた参加型の授業になります。

講義科目名称： 看護研究　　授業コード： 24G413

英文科目名称： Nursing Research

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	必修
担当教員			
山本　洋美/看護学部　　染谷奈々子／看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	基礎看護学実習Ⅱの単位を修得している。
授業概要	研究の基礎的な知識と科学的な思考プロセスを学び、看護における研究の意義や役割を理解する。また看護理論や看護実践との関係を言及し、看護専門職に求められる問題解決思考を育む機械とする。
履修目標	①看護学における研究の意義・重要性が理解できる。 ②看護研究のプロセスが説明できる。 ③文献検索の方法を習得し、身近なテーマで検索ができる。 ④文献クリティークから研究論文について理解を深めることができる。 ⑤倫理的配慮に関する指針を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護研究とは（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）序章、第1章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 2　看護研究の始め方（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第2章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分 3　情報の検索と吟味（染谷） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第3章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 4　情報の検索と吟味（染谷） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第3章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 5　研究における倫理的配慮（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第4章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 6　研究デザイン（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第5章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 7　データ収集（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第6章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分 8　データ分析（量的データ分析）（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第７章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 9　データ分析（質的データ分析）（染谷） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第７章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 10　研究計画書の作成（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第1～７章の復習（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 11　小テスト①文献検索演習（染谷・山本）

		授業外事前学修課題：課題内容（時間）関心のある研究テーマとキーワードを考える（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）関心のある研究テーマの論文を文献検索の続きを実施する（45分）
	12	小テスト②文献検索演習（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）関心のある研究テーマとキーワードを考える（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）関心のある研究テーマの論文を文献検索の続きを実施し文献を1部提出する（45分）
	13	①文献クリティーク演習（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第3章の文献の読み方（クリティーク）を講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分）
	14	②文献クリティーク演習（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第13回授業を復習しクリティークについて理解する（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）提出した論文からグループで1つ選び研究論文クリティーク用紙を作成する（45分）
	15	文献クリティーク発表（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）発表資料を作成する。（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）看護研究についてまとめる（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーション	
課題のフィードバック方法と時期	出席カードでその都度、わからない箇所について説明を行う。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、グループワークと発表、演習、その他（取り組みや姿勢） 評価割合：筆記試験30%　グループワークと発表30%　演習30%　その他10% 評価基準：ルーブリック評価 履修目標との対応：	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	坂下玲子他著　看護研究　第2班　医学書院　2024年 授業中に必要な資料は配布もしくは紹介します。	
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験をもとに授業を行います。	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは別途提示します。質問がある場合は事前にメールでお知らせください。 連絡先（山本）→hyamamoto@soei.ac.jp　（染谷）→nsomeya@soei.ac.jp	
備考	研究ゼミナールとしての卒業研究活動の基盤となる科目です。主体的な参加を期待します。	

講義科目名称： 健康相談活動及び方法　　授業コード： 24T103

英文科目名称： Health Consultation Activity and Method

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	養護教諭が行う健康相談活動の概念と特徴を学び、実際に健康相談活動を進めるための理論と技法について学ぶ。養護教諭は児童・生徒の健康ニーズを把握し、心身の健康支援を行う。我が国は、社会的・家庭的な状況の変化により、児童生徒の心理は多様化・複雑化し、学校現場では児童生徒の不登校、いじめ、引きこもり等児童生徒のこころのケアが重要視されており、養護教諭が行う健康相談活動が期待されている。本講義では、児童生徒のこころの課題に対して、演習を通じて養護教諭の役割を理解し、支援の技法を修得する。
履修目標	①学校における健康相談についての理解を深め、説明できる。 ②養護教諭の行う健康相談の意義と健康相談の進め方を理解し、説明できる。 ③健康相談の理論と技法を説明できる。 ④健康相談に必要な知識とカウンセリングの技法を理解する。 ⑤事例を通して、健康相談の具体的な支援方法や支援体制等の実務を理解し、実践できる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション（授業の目的、学修方法）、自分を知る 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 2　教育相談・健康相談・健康相談活動とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 3　健康相談に関わる諸理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 4　教育相談と健康相談 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 5　健康相談に必要な資質・能力・技術 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 6　養護教諭の健康相談活動 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 7　児童生徒の健康問題の現状と課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 8　健康相談活動の理論とプロセス　ヘルスアセスメント 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 9　健康相談活動の理論とプロセス　心身相関理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 10　健康相談活動の理論とプロセス　連携　教育職・他職種 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 11　児童生徒への支援　ロールプレイ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 12　危機的状況時の対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 13　健康相談活動の実際 ① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 14　健康相談活動の実際② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 15　健康問題と児童生徒への支援の具体案の検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回において、グループワーク、ロールプレイ等を行う。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：デモンストレーション（ロールプレイ） 評価割合：55% 評価基準：健康相談に必要な基礎的知識を踏まえた対応ができれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点 履修目標との対応：①○　②○　⑤○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：15% 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点 履修目標との対応：②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト・参考書：授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

講義科目名称：　生徒指導の理論と実際　　授業コード：　24T111

英文科目名称：　Theory and Method of Life Guidance

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	自由
担当教員			
水木　尚充			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	学校における生徒指尊の意義と課題を児童生徒の発達段階の理解のもとに学ぶ。その上で、生徒指遮の概要を把握し、危機管理的視点による組織的対応について、事例の検討等により考える。
履修目標	①生徒指導の意義や重要性を理解している。 ②生徒指湖と教育相談体制の基礎的な考え方と違いを理解している。 ③生徒指導に関する主な法令と内容を理解している。 ④暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。 ⑤生徒指導での組織的対応の重要性を理解している。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション　生徒指導とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 中高校生時に生徒指導について経験してきたことをまとめ、レポート提出する(20分) 2　生徒指導の意義と課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教科書から内容を確認し、授業に生かす(30分) 3　児童生徒理解（児童期・思春期・青年期の心理的特徴、発達課題など） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 既に履修している他教科の内容を確認し、授業の取り組みに反映させる(30分) 4　生徒指導の実際１（生徒指導と教育相談） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。生徒指導の核となるこの内容について教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 5　生徒指導の実際２（生徒指導と各教科、総合的な学習の時間） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。教科書から内容を確認すると共に中学・高校生時に経験してきたことを想起し、授業に反映させる(60分) 6　生徒指導の実際３（生徒指導と道徳教育、特別活動） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 7　生徒指導の実際４（個別課題のある生徒への対応、いじめ、不登校等） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 8　生徒指導の実際５（個別課題のある生徒への対応、非行・暴力・反社会行動等） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 9　生徒指導の方法１（チームによる組織的対応、管理機器） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 10　生活指導の方法２（個別指導と集団指導） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 11　生徒指導に関する法制度 教職に必要な内容について事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(30分) 12　生徒指導実践事例検討（小学校・特別支援学校等） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。身近で具体的な生徒指導のテーマを見つけ、調査研究しプレゼンテーションする(150分) 13　生徒指導実践事例検討（中学校・高等学校・中等教育学校等） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 身近で具体的な生徒指導のテーマを見つけ、調査研究しプレゼンテーションする(120分) 14　生徒指導の連携（学校・家庭・地域等） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(30分) 15　まとめ
アクティブラーニングを用いた授業方法	対話、グループワークやプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、平常点評価、その他 評価割合：40%、20%、40% 評価基準：各授業でテストを実施すると共に、レポートでは自身の意見等具体的な説明により総合的に評価する、関心・意欲・態度・知識・理解等積極的な授業への取組み等を加点していく、プレゼンテーション課題をまとめプレゼンテーションする。内容、プレゼンテーションの様子等を評価する 履修目標との対応：①②③④⑤、①②③④⑤、①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト文部科学省『生徒指逗提要』改訂版 参考文献・嶋崎政男『生徒指導の危機管理』学事出版 庄司一子監修『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版 西郷孝彦「校則なくした中学校たった一つの校長ルール」（小学館）その他授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	高校教諭や管理職の実務から生徒指導で体験してきた失敗談や成功談等の具体例を参考にしながら生徒指導のあり方等について共に考え課題を共有し、実際の学校現場で生徒指導に生かされるような授業展開をしていく。
オフィスアワー・連絡先	
備考	

講義科目名称： 特別支援教育論　　授業コード： 24T112

英文科目名称： Studies of Special Needs Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	自由
担当教員			
中田　正敏			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	初めに、障害について理解するさまざまな枠組みについて学びます。その上で、障害別にどのように理解をしたらよいか、また、そうした理解の仕方がどのような形で実践に結びつくのかについて考えていきます。優れた実践がどのような理論に基づいているのかについて理解を深めます。
履修目標	①障害とは何かについて、障害のある一人一人の児童生徒の主体的な取り組みを支援するという視点をもつということはどのようなことかについて、様々な障害を個体モデルではなく、社会モデルの枠組みで考える。 ②これまでの障害観に気づき、障害のある児童生徒と関わるための実践知を獲得する。 ③児童生徒を何らかの対象ではなく、学習の主体として考えることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス～特別支援教育とは何か～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 2　障害について考える～L. S. ヴィゴツキーの障害論～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 3　関係性の中の障害～「困っている子ども」という視点～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 4　支援について考える～適時・適切・適度な支援・特別な教育的ニーズを有する児童・生徒も含め～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 5　視覚障害の理解と視覚障害に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 6　聴覚障害の理解と聴覚障害に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 7　肢体不自由の理解と肢体不自由に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 8　知的障害の理解と知的障害に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 9　発達障害の理解と発達障害に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 10　自閉症の捉え方と自閉症に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 11　LDの理解とLDに配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 12　AD/HDとAD/HDに配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 13　インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進という方向性

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 14　特別支援教育における新しい動向 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 15　共生社会とインクルーシブな学校づくり 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ペアワーク、グループワークを随時盛り込む
課題のフィードバック方法と時期	各自リフレクションの内容を次回の初めに提示して考え方を整理する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：到達目標に関わる重要語句について説明できれば60% 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：レポート試験 評価割合：30% 評価基準：授業内容について適切なコメントができていれば60% 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：平常点評価 評価割合：20% 評価基準：授業への取組　授業中のワークに積極的な参加があれば70% 履修目標との対応：②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：授業中に適宜資料を配布する。 参考文献：授業中に適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	該当：実務経験の中の事例を導入部や展開部で提示する
オフィスアワー・連絡先	非常勤講師控室（昼休み）
備考	

講義科目名称： 教育方法論　　授業コード： 24T113

英文科目名称： Educational Methods

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/ 看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	養護教諭として教育方法の基礎的な知識・理論と実践のための教育メディアの活用を学ぶ。その上で、専門的立場からの保健や健康に関する内容の学習指導案を作成して模擬授業を行う。
履修目標	①教育方法の基礎的理論と実践を理解し、説明することができる。 ②授業を構成する基礎的要件（学級、児童生徒、教室、教材など）を理解し、説明することができる。 ③基礎的な学習指導論を踏まえて、学習指導案を作成し模擬授業を展開できる。 ④児童生徒の興味関心を高め、学習内容の明確化等を目指した教材を作成することができる。 ⑤情報機器等を活用し、児童生徒の興味関心に働きかける教材を作成することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンス　教育方法とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 2　教育方法の歴史的概観 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 3　教育方法の基本　系統学習・経験学習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 4　授業とは何か　代表的な授業理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 5　様々な教授・学習の様式・方法の利点と問題点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 6　教材・教具と情報機器を活用した授業 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 7　授業実施上の基礎的技術（板書・指導形態など）　外部講師 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 8　教育の現代的課題と教育方法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 9　教育メディアの活用　実践例 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 10　学習指導案の作成（テーマ及び内容の決定） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 11　学習指導案の作成（指導案の立案）

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 12　学習指導案の作成（指導案検討・情報機器を活用した教材づくり） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 13　模擬授業（発表、相互評価）、研究協議① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。模擬授業実践後、必要に応じて指導案を修正する。（90分） 14　模擬授業（発表、相互評価）、研究協議② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。模擬授業実践後、必要に応じて指導案を修正する。（90分） 15　模擬授業（発表、相互評価）、研究協議③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。模擬授業実践後、必要に応じて指導案を修正する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、模擬授業等を行う。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：40% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：その他（プレゼンテーション、グループワークの取り組み・説明や発表内容等） 評価割合：30% 評価基準：60点 履修目標との対応：②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：平沢茂、四訂版　教育の方法と技術、図書文化、ISBN：978-4-8100-3778-4 参考書：授業時に随時紹介する
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

講義科目名称： 公衆衛生看護活動論　　授業コード： 24G314

英文科目名称： Public Health Nursing Process

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年	２単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	公衆衛生看護学概論の単位を修得していること。
授業概要	個人・集団・地域に対する公衆衛生看護活動の展開に必要な理論や方法論を学ぶ。 また、個別支援及ぶグループ支援の公衆衛生看護活動の基本技術「保健指導」 「家庭訪問」 「健康相談」「健康教育」 「グループ支援・組織化」 を理解し修得する。
履修目標	① 公衆衛生看護（学校・産業も含む）における技術について説明できる。 ② 公衆衛生看護の基盤となる理論について説明できる。 ③ 家庭訪問 健康相談、 健康診査の目的・対象・方法について説明できる。 ④ 特定保健指導案の立案・実施・評価および家庭訪問計画を立案・実施・評価ができる。 ⑤ 地域における健康教育の位置づけおよび展開方法について説明できる。 ⑥ 健康教育の企画書・指導案の作成、健康教育の実施・評価ができる。 ⑦ 地域組織活動に関わる概念、組織の種類、組織への保健師の役割・支援技術について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　公衆衛生看護における機能と技術 １．公衆衛生看護における機能と技術とはなにか ２．地域保健活動 授業外事前学修課題 ・教科書の第1章と第4章A・Bテキストを熟読し、分からないことは調べる。2年次の「公衆衛生看護学概論」の教科書第1章,第5章を読み復習する。（90分） 授業外事後学修課題： ・学習した内容について復習しまとめる。課題がある場合は課題に取り組む。(90分) 保健行動理論の事例についてまとめる（90分） 保健行動理論をまとめる（90分） 授業外事後学修課題： 保健行動理論の事例についてまとめる（90分） 保健行動理論について 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、保健行動理論をまとめる（90分） 授業外事後学修課題： 保健行動理論の事例についてまとめる（90分） 2　公衆衛生看護の基盤となる理論 １．担当した保健行動理論等について発表・デイスカッションを行う グループ・ワーク、プレゼンテーション 授業外事前学修課題 ・担当した理論について調べ、発表用資料（理論を使用した事例紹介を入れること）を作成する。 ・他の学生が担当する理論について、教科書を読んでわからないことを明らかにしてくる（90分） ※担当理論は、4/4に配布 授業外事後学修課題 ・すべての保健行動理論を事例をとおして理解できるようにまとめる。（90分 3　公衆衛生看護における対象(個人・家族）の理解と対人支援活動の展開 1.生活者としての個人の理解と支援技法 2.家族を単位とした対象の理解と支援技法 3.対人支援の基本 4.対人支援の技術 5.健康相談、 健康診査における保健指導（ICTを用いた保健指導含） 授業外事前学修課題 ・教科書の第2章Aの1・2、第4章D・E・Fを教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： ・学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 4　特定保健指導 特定保健指導の理論と考え方 授業外事前学修課題： ・特定健康診査・特定保健指導について復習する。 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分）

		授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分
	5	特定保健指導の実際① 事例への特定保健指導の指導案についてグループ・ディスカッションを行う 授業外事前学修課題： 事例の特定保健指導の指導案を作成する（90分） 授業外事後学修課題： 特定保健指導の指導案を見直し修正する（90分
	6	特定保健指導の実際② 事例への特定保健指導のロールプレイを行う 授業外事前学修課題： 事例の特定保健指導の指導案をもとにロールプレイの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 特定保健指導のロールプレイの実施記録を作成し、保健指導における保健師の支援技術について考察する（90分）
	7	家庭訪問による支援の実際① 家庭訪問の支援技術について講義、DVD視聴 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	8	家庭訪問による支援の実際② 事例の家庭訪問計画立案、グループ・ディスカッション 授業外事前学修課題： 事例の家庭訪問計画を作成する（90分） 授業外事後学修課題： グループ・ディスカッションを基に、家庭訪問計画を見直し修正する（90分
	9	家庭訪問による支援の実際③ 立案した家庭訪問計画をもとにロールプレイを行う 授業外事前学修課題： 事例の家庭訪問計画のロールプレイの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： ロールプレイ実施記録をまとめ、家庭訪問における保健師の支援技術について考察する（90分）
	10	家庭訪問による支援の実際④ 立案した家庭訪問計画をもとにロールプレイを行う 授業外事前学修課題： 事例の家庭訪問計画のロールプレイの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： ロールプレイ実施記録をまとめ、家庭訪問における保健師の支援技術について考察する（90分）
	11	家庭訪問による支援の実際⑤ 家庭訪問実施記録から保健師の支援技術について考える グループ・ワーク、ディスカッション、記録の修正 授業外事前学修課題： ロールプレイ実施記録をまとめ、家庭訪問における保健師の支援技術について整理しておく（90分） 授業外事後学修課題： 家庭訪問における一連の過程を整理し、気づきや学びをまとめる（90分
	12	地域組織活動の展開① 1.グループ・組織の理解と支援技法 2.地域組織活動にかかわる概念 3.地域組織活動の歴史 授業外事前学修課題： 教科書の第2章Aの3，7章のA・Dを読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	13	地域組織活動の展開② 1.当事者組織とその支援 2.住民の自立支援と地域組織活動の実際 授業外事前学修課題： 教科書の7章のB・Cを読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	14	地域組織活動の展開③ 1.地域組織活動のDVD視聴 2.DVD視聴から保健師の役割についてグループワーク、プレゼンテーション 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。支援技術についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。支援技術について加筆・修正する（90分）
	15	.地域組織活動の展開④

		1.川崎市・横浜市の地域組織活動の種類とその歴史について調べて、発表、デイスカッションする。 2.地域組織活動・グループへの保健師への支援について検討する。 授業外事前学修課題： 川崎市・横浜市の地域組織活動の種類とその歴史について調べてくる。（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。組織活動における保健師の専門性と支援技術について加筆・修正する（90分）
	16	地域における健康教育の展開① 健康教育の位置づけ、 健康教育の方法と特徴、 健康教育の展開過程（準備企画･実施・評価） 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 指定されたテーマについての健康教育企画書を作成する（９０分）
	17	地域における健康教育の展開② 健康教育企画書の作成 授業外事前学修課題： 指定されたテーマについて調べ、知識を深めておく（90分） 授業外事後学修課題： 企画書を作成する（90分）
	18	地域における健康教育の展開③ 健康教育企画書の作成 授業外事前学修課題： 指定されたテーマについて調べ、知識を深めておく（90分） 授業外事後学修課題： 企画書を作成する（90分）
	19	地域における健康教育の展開④ 健康教育企画書のプレゼンテーション、ディスカッション、見直し 授業外事前学修課題： 企画書のプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 企画書をディスカッションをもとに修正する（90分）
	20	地域における健康教育の展開⑤ 健康教育指導案１の作成 授業外事前学修課題： 指導案１を作成する（90分） 授業外事後学修課題： 指導案１の加筆・修正をする（90分）
	21	地域における健康教育の展開⑥ 健康教育指導案１の作成 授業外事前学修課題： 指導案１を作成する（90分） 授業外事後学修課題： 指導案１の加筆・修正をする（90分）
	22	地域における健康教育の展開⑦ 健康教育指導案１のプレゼンテーション、ディスカッション、見直し 授業外事前学修課題： 健康教育指導案１のプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育指導案１をディスカッションをもとに修正する（90分）
	23	地域における健康教育の展開⑧ ４年生健康教育デモンストレーションへの参加 健康教育指導案２の作成 授業外事前学修課題： 健康教育指導案１のプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育指導案１をディスカッションをもとに修正する（90分）
	24	地域における健康教育の展開⑨ 健康教育指導案２の作成 授業外事前学修課題： 指導案２を作成する（90分） 授業外事後学修課題： 指導案２の加筆・修正をする（90分）
	25	地域における健康教育の展開⑩ 健康教育指導案２のプレゼンテーション、ディスカッション、見直し 授業外事前学修課題： 健康教育指導案２のプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：

	健康教育指導案２をディスカッションをもとに修正する（90分） 26　地域における健康教育の展開⑪ 健康教育で使用する媒体作成 授業外事前学修課題： 効果的な媒体について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題： 媒体を作成する（90分） 27　地域における健康教育の展開⑫ 健康教育で使用する媒体作成 授業外事前学修課題： 効果的な媒体について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題： 媒体を作成する（90分） 28　地域における健康教育の展開⑬ 健康教育デモンストレーション、ディスカッション、見直し 授業外事前学修課題： 健康教育のデモンストレーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育デモンストレーションの結果のディスカッションをもとに修正する（90分） 29　地域における健康教育の展開⑭ 健康教育プレゼンテーション準備、実施、ディスカッション 授業外事前学修課題： 健康教育プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育プレゼンテーションのディスカッションをもとに修正する（90分） 30　地域における健康教育の展開⑮ 健康教育プレゼンテーション、まとめ 授業外事前学修課題： 健康教育プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育プレゼンテーションのディスカッションをもとに修正する。地域における健康教育の保健師の専門性と技術について考察する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ワーク、ロールプレイング、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	課題については、授業で発表・ディスカッションを行います。 学んだことや質問についてグーグルフォームで内容を確認し、授業後に全員にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：５０％ 評価基準：6割以上の点数をとれること 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：課題 評価割合：５０％ 評価基準：課題の目的に沿っていれば６０点　ルーブリック配布 履修目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第5版，医学書院
実務経験のある教員による授業	行政保健師としての実務経験を活かした講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先: 山口　tyamaguchi@soei.ac.jp　久保木　nkuboki@soei.ac.jp 事前にメールで連絡をしてください。オフィスアワーは授業初回日に連絡します。
備考	保健師課程必修科目です。 保健師活動で重要な技術の演習（特定保健指導、家庭訪問、 健康教育)を行いますので、事前学修を必ず行い、積極的に授業に参加してください。 事前・事後学習はしっかりと行うこと ※受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。 ※授業内容は、授業の進行状況によって変更することがある。

講義科目名称： 成人看護学方法論Ⅲ　　授業コード： 24G204

英文科目名称： Adult Nursing Ⅲ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	１単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　峯川　美弥子/看護学部　那須　実千代/看護学部　中田　千恵子/看護学部　岩谷　正美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	成人看護学方法論Ⅲ概論、成人看護学方法論Ⅰ、成人看護学方法論Ⅱの単位を取得していること。
授業概要	成人看護援助に必要な看護過程の基本的考え方と援助技術について学修し、成人慢性期の各事例での看護過程をグループワーク・演習を通して学び、臨地実習への準備態勢をつくる（事例展開を行うため成人看護教員全員で関わる）。
履修目標	①成人の看護援助に必要な看護過程の基本的考え方や活用モデルを理解し説明ができる。 ②慢性期における看護上の問題/課題の特徴を理解し説明ができる。 ③事例に示された情報に基づいて、患者の全体像を理解するための関連図を作成できる。 ④抽出した看護上の問題/課題の優先順位を考えることができる。 ⑤看護上の問題/課題改善または解決のための看護計画を立案することができる。 ⑥患者の状況変化に応じて看護計画を修正することができる。 ⑦実施した看護計画に対する評価の必要性とその方法について理解し、説明ができる。 ⑧グループワークやグループ発表を通してコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を向上することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　成人看護援助に必要な看護過程の展開① 1. 看護過程とは 2. ゴードンの機能的健康パターン 3. アセスメントの視点 授業外事前学修課題：課題事例の病態・治療・検査・看護について（90分） 授業外事後学修課題：授業中に説明したキーワードと配布資料をよく読んで、内容を整理する。（90分） 2　成人看護援助に必要な看護過程の展開② 1. 事例を用いた看護過程展開の紹介 2. 看護過程記録の実際 授業外事前学修課題：課題事例の病態・治療・検査・看護について（90分） 授業外事後学修課題：授業中に説明したキーワードと配布資料をよく読んで、内容を整理する。（90分） 3　ミニ講義①とグループワーク① 1. 関連図の書き方 2. 看護診断リスト 3. 優先順位 授業外事前学修課題：様式1、2（アセスメント）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 4　グループワーク② 1. 様式1、2（アセスメント）について 授業外事前学修課題：様式1、2（アセスメント）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 5　発表会① 1. 様式1、2（アセスメント）について発表を行い、意見交換をしながら改善点を検討する。 授業外事前学修課題：様式1、2（アセスメント）の発表準備（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 6　ミニ講義②とグループワーク③ 1. 看護診断 2. PES方式 3. 看護計画 授業外事前学修課題：様式3（関連図）の作成（90分）

	7	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） グループワーク④ 1．様式3（関連図） 授業外事前学修課題：様式3（関連図）の作成（90分）
	8	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） グループワーク⑤ 1．様式4（看護診断リスト） 授業外事前学修課題：様式4（看護診断リスト）の作成（90分）
	9	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） グループワーク⑥ 1．様式5（看護計画） 授業外事前学修課題：様式5（看護計画）の作成（90分）
	10	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 発表会② 1．様式5（看護計画）について発表を行い、メンバーと意見交換をしながら改善点を検討する。 授業外事前学修課題：様式5（看護計画）の発表準備（90分）
	11	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 発表会③ 1．様式5（看護計画）について発表を行い、メンバーと意見交換をしながら改善点を検討する。 授業外事前学修課題：様式5（看護計画）の発表準備（90分）
	12	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） グループワーク⑦ 1．教育指導案 授業外事前学修課題：教育指導案（指導媒体含む）の作成（90分）
	13	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） グループワーク⑧ 1．教育指導案 授業外事前学修課題：教育指導案（指導媒体含む）の作成（90分）
	14	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 発表会④ 教育指導案について発表を行い、メンバーと意見交換しながら改善点を検討する。 授業外事前学修課題：教育指導案（指導媒体含む）の発表準備（90分）
	15	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） ミニ講義③、授業内ミニテスト 1．看護計画の評価・修正・再立案（様式5）、SOAP（様式6） 2．看護過程に必要な基礎的な知識、情報の整理と評価等についての知識の確認 授業外事前学修課題：テキストの該当ページや配布資料の精読、最終提出の準備（150分） 授業外事後学修課題：授業で行ったことの見直し（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、ポスターセッションによるプレゼンテーションを行う。	
課題のフィードバック方法と時期	事前課題や各回の課題提出ごとに提出物へ教員がコメントを記入します。グループワーク・発表会内で適宜フィードバックを行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①授業内ミニテスト　②看護過程の展開 評価割合：①90%　②10% 評価基準：①筆記試験、②ルーブリック 履修目標との対応：①～⑦	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	看護診断ハンドブック第12版,リンダ・カルペニート著,黒江ゆり子監訳,医学書院 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断第6版,江川隆子編集,ヌーベルヒロカワ 成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ、Ⅱで使用するテキスト 参考文献：授業時に随時紹介	
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての経験を活かした講義・演習を行います。	
オフィスアワー・連絡先	実習対応のため不定期、必要時GoogleClassroomあるいはメールで確認	
備考	人の形態と生活・機能、病理学、症候論、薬理学は必ず復習して参加してください。 成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ、Ⅱで使用したテキストを熟読して授業に臨んでください。 事例に関する疾病、病態、治療、検査、看護について必ず復習をしておいてください。 グループワーク、グループ発表に積極的に参加してください。	

講義科目名称： 成人看護学実習・慢性期　　授業コード： 24G205

英文科目名称： Adult Nursing (Chronic Care) : Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	３単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　峯川　美弥子/看護学部　那須　実千代/看護学部　中田　千恵子/看護学部　岩谷　正美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	2年次までの必修科目の単位を修得し、成人看護学方法論Ⅲを履修していること。
授業概要	主に慢性的な経過あるいはADLに障害をきたすような状態にある対象と家族の身体的、精神的、社会的側面の特徴を理解し、対象のニーズを満たし、QOLを向上させるためのセルフケア、ソーシャルサポートに関しての実践能力を修得する。1～2名の患者を受け持ち、看護の展開を通して、病や障害とともに生きる人を理解するとともに看護介入のあり方を学ぶ。受け持ち患者については、アセスメントをし、看護診断し計画立案と計画に基づく看護実践をし、評価するという一連の看護過程の展開を通して看護判断力を養う。 病をもちつつ生活している成人期にある患者とその家族（重要他者を含む）を多角的に理解し、対象者が健康課題とともに生活していくための支援や、その人らしく生きるための支援に関する基礎的な看護実践能力を習得する。また、看護の実践の場において看護事象をとらえる観察力を養うとともに、文献などの裏付けにより学びを深め、健康のゆらぎのある患者とその家族（重要他者を含む）への看護について考察する能力を養う。
履修目標	①健康課題を有している患者および家族を多角的に理解することができる。 ②患者および家族に対して発達段階や個別性、健康課題に応じた看護の必要性を理解し、看護過程を展開することができる。 ③患者および家族の多角的理解をもとにした思考過程を基盤とし、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 ④医療機関における多職種の役割と連携について説明することができる。 ⑤看護専門職としての望ましい態度を身につけることができる。 ⑥看護を学ぶ学生として自らの課題を持ち、実習に臨むことができる。
授業計画・授業外学修課題	健康課題とともに生活していく患者を受け持ち、対象者を多角的に理解し、看護過程を展開する。（詳細は実習要項参照） 1. 実習期間と日程 1）3年後期の135時間（3週間） 2）実習時間：月曜日から金曜日、原則として8：30～16：00 3）学生の実習配置：別紙配布する。 ４）実習施設：別紙配布する。 2. 実習内容 健康障害を持つ慢性期・回復期～終末期の患者1～2名を受け持つ。受け持ち患者への意図的な情報収集、アセスメント、看護診断、計画立案、看護実践、評価および修正を行う。実践においては、指導を受けながら受け持ち患者の病態・病期や個別性に配慮した看護技術を提供する。 受け持ち患者とは、援助者としてふさわしい人間関係を構築する。 主体的にカンファレンスに参加することで新たな知識を獲得し、問題解決能力を高める。また、自己の課題に気づき、次の実習への課題を明らかにする中で、自己の看護観を省察する。 3. 方法その他 初日：オリエンテーション、看護技術チェック 第１週：情報収集、アセスメントを行い、関連図・看護診断の発表を行う。 第2週：月曜日に看護計画を発表し、修正をしながら看護実践を行う。 第3週：受け持ち患者の看護実践、評価、修正を継続する。臨床までの最終カンファレンス、学習成果の報告会を行う。 金曜日にOSCE（客観的技術試験）を行う。 ＊実習期間中は、毎日ショートカンファレンスを行い、日々の実習での学びを共有する。 4. 事前学習課題（詳細はGoogleClassroom等を用いて指示する） 1）看護技術自己練習（課題事例を提示する） 2）主要な疾患・治療・検査時の看護についてのレポート 3）国家試験レベルの課題テスト 4）ナーシングスキル動画視聴を指示する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	臨床における実践
課題のフィードバック方法と時期	随時行うとともに、実習中、実習終了時の評価面接、OSCE実施後の振り返り時に行う。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①臨地実習の取り組み、②OSCE 評価割合：①90%、②10% 評価基準：実習要項に掲載されたルーブリックによる評価
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学方法論Ⅰ～Ⅲの授業で使用した全テキスト、配布資料 参考文献：実習時に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師資格を有しており、その経験を活かし、看護計画及び実践の指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	第2週水曜日・各実習担当教員
備考	実習を介しする前までに、成人看護学実習要項を熟読すること。 「人の形態と機能・生活」「病理学」「薬理学」「コミュニケーション論」「症候論」「成人看護学方法論Ⅱ，Ⅲ」を充分に復習しておくこと。看護診断、看護過程、その他成人看護学実習を行うにあたって求められる知識、技術について事前課題を提示する。必ず十分にケア提供者としての学習および心身の状態を整えて実習に臨むこと。

講義科目名称： 老年看護学実習Ⅱ　　授業コード： 24G211

英文科目名称： Gerontological Nursing Ⅱ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	２単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部　あべ野ゆう子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ②臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ③看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ④保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	2年次までの必修科目、老年看護学方法論Ⅱの単位を修得していること
授業概要	「老年看護学実習Ⅰ」で修得した高齢者とのコミュニケーション能力と個別性の理解を踏まえて、病院に入院している高齢者を一人受け持ち、身体的・心理的・社会的そして家族、地域の社会資源等を総合的にアセスメントし、適切な看護を計画・実践・評価できる基礎的知識・技術・態度を身につける。さらに、高齢者個々の生き方を尊重し、健やかな老いを過ごせるよう、医療チームの一員としての高齢者看護の役割と連携・協働について理解する。
履修目標	老年期にある健康障がいをもつ人と、その家族を身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解し、対象者の個別性や健康レベルに応じて看護活動を実践できる基礎的能力を養う。また、高齢者の生活を支える保健・医療・福祉職についての理解を深め、多職種との連携・協働や看護の役割について学ぶ。 ①受け持ち高齢者およびその家族について、総合的に理解し説明できる。 ②高齢者を尊重した援助関係を展開することができる ③受け持ちの高齢者が望む生活へ向けた看護の方向性を示すことができる ④根拠に基づいた援助方法を選択し、実践したケアを評価できる ⑤看護実践を通して、多職種との連携・協働の必要性と看護の役割を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　初日オリエンテーション １．実習期間　2年次後期の２週間 ２．内容 １）実習目的・目標・評価表の確認 ２）グループディスカッション ３）演習　ロールプレイ ４）グループ毎のオリエンテーション ５）実習記録について ６）個別面談 授業外事前学修課題： 目標志向型思考の看護過程について復習する ８日　臨地実習 １．実習内容 実習目標の達成に向けて、臨地実習に臨む ２．実習記録 様式１～４を用いながら、受け持ち患者の看護を実践する １）実習目的・目標・評価表の確認 ２）グループディスカッション ３）演習　ロールプレイ ４）グループ毎のオリエンテーション ５）実習記録について ６）個別面談 授業外事前学修課題： 目標志向型思考の看護過程について復習する 金曜　まとめ １．グループワーク ２．発表会 ３．評価面談 ４．記録の提出
アクティブラーニングを用いた授業方法	既習内容を総合して臨地実習学習を主体的に進める
課題のフィードバック方法と時期	臨地実習中およびカンファレンス参加時、実習最終日の面談にてフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	実習要項のⅥ. 評価に詳細を示している
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂 正木治恵、真田弘美編、老年看護学技術、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う

オフィスアワー・ 連絡先	フィスアワー；空き時間を利用するため事前に連絡、申し込みをする 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称：　母性看護学実習　　授業コード：　24G220

英文科目名称：　Maternal Nursing　：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	２単位	必修
担当教員			
山本　洋美/看護学部　上村　いずみ/看護学部　藍木　桂子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	2年次までの必須科目、母性看護学方法論Ⅱの単位を取得していること
授業概要	ヘルスプロモーションの視点から、妊娠・分娩・産褥（育児）期、こどもの健康、家族を含めた身体的・心理的・社会的特性と基礎的な看護を理解することができる。また、母子とその家族野健康を維持増進するために必要な社会資源の活用や保健指導について理解し、看護の役割を学ぶ。
履修目標	①妊娠・分娩・産褥期・新生児期の特徴を理解し、そのうえで根拠に基づいた看護を実践できる。 ②保健医療福祉の専門職者などとの連携・協働を含めた母子とその家族における看護の役割を理解できる。 ③母性看護学を学ぶ学生として対象をあ募集し、適切な実習態度を示すことができる。
授業計画・授業外学修課題	実習要項参照
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習評価基準をもとに、実習学習内容、実習への取り組む姿勢、出席状況を総合的に評価する。 評価割合： 評価基準：実習評価はルーブリック評価 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践　メディカ出版
実務経験のある教員による授業	実務経験、母性看護学実習経験がある教員による授業
オフィスアワー・連絡先	
備考	テキストは母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱで使用した資料をもとに実習を行います。

講義科目名称： 精神看護学実習　　授業コード： 24G304

英文科目名称： Psychiatric Nursing ： Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	２単位	必修
担当教員			
横山　惠子/看護学部　小川　雅代/看護学部　寺戸　聡子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ３．看護の専門的知識・技術 及び倫理的態度 に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ４．保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	2年次までの必修科目、精神保健論、精神看護学概論、精神看護学方法論Ⅰ・Ⅱを修得していること。
授業概要	精神科病院および地域リハビリテーション施設の機能を知るとともに、精神障がいをもつ人の社会復帰に向けた回復過程の実際、地域で安定して生活する上で必要な看護援助について学ぶ。また、自己理解、他者理解を深め、有意義な人間関係を築いていく力を養うとともに、精神保健医療福祉の連携・協働における看護師の役割を学ぶ。
履修目標	精神障がいをもつ人の理解を深めその人らしい生活を支援するために必要な看護の基礎的実践能力を習得する。 ①自己理解、他者理解を深め、有意義な人間関係を築いていく力を養う。 ②精神障がいをもつ人とその環境を理解し、看護を提供するために知識と技術を習得する。
授業計画・授業外学修課題	隣地実習及び学内実習 1.実習期間：３年生後期の２週間 2.実習施設：精神科病院・地域活動支援センター・就労支援事業所 詳細は実習要項を参照 事前課題：代表的な疾患（統合失調症など）の治療・検査、看護などで学ぶ 事後課題：実習記録、レポート作成
アクティブラーニングを用いた授業方法	体験学習、グループワーク、個人ワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに、担当教員が適時説明します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習評価表 評価割合：100% 評価基準：出席状況、実習の取り組み方、実習内容、実習記録により総合的に評価する。計画に沿ってできれば70点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：必要に応じてプリントや資料を配布する 参考文献：授業時に随時紹介する
実務経験のある教員による授業	担当教員は専門領域看護の臨床経験を有しており、その経験を活かして、学生に実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	担当教員と連絡を密に取り、取り組んでください。 横山　惠子　メールアドレス　kyokoyama@soei.ac.jp 小川　雅代　メールアドレス mogawa@soei.ac.jp 寺戸　聡子　メールアドレス sterado@soei.ac.jp
備考	１．精神看護学実習では、病院だけでなく、地域の施設にも出向き、障がいの有無にかかわらず、誰もがその人らしく生活ができるよう、支援の実際を学びます。 ２．学内での学びの整理、事前学習を行い、積極的に実習に臨んでください。

講義科目名称： 健康生活支援論Ⅱ　　授業コード： 24G313

英文科目名称： Healthy Living Support TheoryiⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	２単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部　近藤　仁美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	公衆衛生看護学概論の単位を修得していること。
授業概要	地域に顕在あるいは潜在する健康問題について、 情報収集、アセスメント、課題解決のための目標設定、 介入の実践、 評価の過程を学ぶ。 とり 題の明確化と解決･改善のための計画立案・評価に関しては具体的レベルまで理解する。
履修目標	① 公衆衛生看護活動における地域診断の目的意義について説明できる。 ②地域診断は、情報収集、アセスメント、診断、計画、評価の一連の過程をPDCAサイクルによって行われていることを説明できる。 ③ 地域診断に活用できる理論について説明できる。 ④.コミュニティ・アズ・パートナーモデルを使用し、 実習区の地域診断過程が展開できる。
授業計画・授業外学修課題	1　地域診断の実際について地域診断に活用できる理論 ・地域診断の概念,意義, 目的 ・.地域診断の展開方法 ・地域診断の方法論のモデル 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく（90分） 授業外事後学修課題： 授業の内容を復習し、要点をノートにまとめる（90分） 2　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域のコア情報をアセスメントする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のコア情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： コア情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 3　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域のコア情報をアセスメントする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のコア情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： コア情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 4　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域のコア情報をアセスメントする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のコア情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： コア情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分 5　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分 6　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集と

		アセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分）
	7	地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分
	8	地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分）
	9	地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分）
	10	地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分
	11	地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分）
	12	地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分）
	13	地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の健康課題を抽出する。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域の健康課題を考察しておく（90分）

	授業外事後学修課題： アセスメントの不足部分、健康課題を加筆・修正する（90分） 14　地域診断のプレゼンテーション ・担当した実習地域の情報・アセスメント結果、不足している情報、健康課題を発表する。 授業外事前学修課題： プレゼンテーションの準備を行う（90分） 授業外事後学修課題： プレゼンテーションでの質問や意見を踏まえて、不足している情報を明らかにし、収集する。 その上で、 再度アセスメントを行い、健康課題を抽出する（90分 15　地域診断のプレゼンテーション・まとめ ・担当した実習地域の情報・アセスメント結果、不足している情報、健康課題を発表する。 ・グループ・ディスカッションを行い、アセスメント・健康課題について深める。 授業外事前学修課題： プレゼンテーションの準備を行う（90分） 授業外事後学修課題： プレゼンテーションでの質問や意見を踏まえて、不足している情報を明らかにし、収集する。 その上で、 再度アセスメントを行い、健康課題を抽出する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ワーク、グループ・ディスカッション、問題解決学習
課題のフィードバック方法と時期	授業ごとにグーグルフォームで学んだことについて内容を確認し、 授業後に全員にフィードバックを行う。 課題については、授業で発表・ディスカッションを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：４０％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば６０点 履修目標との対応：①②③ 評価方法：課題レポート 評価割合：５０％ 評価基準：グループ・ワーク、グループ・ディスカッションに積極的な参加、コアと８つのサブシステムの情報を収集、アセスメント、健康課題が抽出できていれば６０点　ルーブリック参照 履修目標との対応：②④ 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：１０％ 評価基準：課題を指定された時間内にわかりやすく発表できていれば６０点 履修目標との対応：④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	金川克子他編 「地域看護診断」 東大出版会 国民衛生の動向 2024/2025 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 2023/2024 厚生労働統計協会
実務経験のある教員による授業	行政保健師としての経験を活かして授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先: 山口　tyamaguchi@soei.ac.jp　久保木　nkuboki@soei.ac.jp 事前にメールで連絡をしてください。オフィスアワーは授業初回日に連絡します。
備考	保健師課程必修科目です。事前学修・事後学習を必ず行い、積極的に授業に臨んでください。 受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習Ⅰ　　授業コード： 24G319

英文科目名称： Public Health NursingⅠ： Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	１単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　山口　智美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	3 年次前期までに修得すべき必修科目及び保健師課程の必修科目の単位を修得していること。
授業概要	公衆衛生看護の場の1つである学校・産業(事業場)の特定集団への疾病予防、健康保持・増進及び健康管理について学修する。各々の対象集団の特徴をとらえながら、地域保健との連携についても学ぶ。
履修目標	◆学校保健実習学修到達目標 《目的》 学校保健管理と保健教育について児童・生徒及び教職員の実際を理解し、学校教育活動における養護教諭の役割を関係職種との連携を学ぶ。 ① 学校保健安全の制度とシステムを説明できる。 ② 学校保健計画 学校安全計画の企画と運営について説明できる。 ③ 学校保健の対象と生じている健康課題について説明できる。 ④ 学校保健と地域保健の活動の連携・協力の必要性について説明できる。 ◆産業保健実習学修到達目標 《 目的》 産業現場で働く労働者の実際から労働環境や労働条件から生じる健康課題とその予防活動と労働衛生の基本となる5分野3管理を理解し、労働と　　健康の調和を図る産業保健活動の実際と保健師（産業保健スタッフ)の役割を学ぶ。 ① 産業保健活動を支える安全衛生管理体制について説明できる。 ② 環境や労働条件から生じる健康課題とその予防活動について説明できる。 ③ 産業保健活動における健康保険組合 労働衛生機関の役割と機能について説明できる。 ④ 産業現場における看護活動の実際と課題について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	学校保健実習：横浜創英中学高等学校、 横浜翠陵中学高等学校産業保健実習：日新工業株式会社 1. 実習期間：3年後期の1週間 2. 実習内容（詳細は実習要項を参照のこと） 1）学校保健実習：校長および養護教諭からの講義 学校施設見学等 2）産業保健実習：会社の概要および健康管理についての講義、 工場見学 等 授業外事前学修課題： 実習施設の概要と産業保健活動及び、 学校保健活動の対象、方法、 具体的な支援内容についてまとめる（90分×5日） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習内容、産業保健活動及び、 学校保健活動の対象、方法、 具体的な支援内容についてまとめる（90分×5日）
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習要項に基づき、オリエンテーション、実習を行います。
課題のフィードバック方法と時期	実習事前課題への個別指導、 実習施設での指導、 実習後の個別指導を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：事前課題 評価割合：30% 評価基準：指示された課題について作成されていれば60点　ルーブリック参照 履修目標との対応：①②（学校保健実習、産業保健実習） 評価方法：実習態度 評価割合：10% 評価基準：積極的に参加していれば60点　ルーブリック参照 履修目標との対応：①②③④（学校保健実習、産業保健実習） 評価方法：実習レポート 評価割合：60% 評価基準：テーマに沿って自分の考えが述べられていれば60点　ルーブリック参照 履修目標との対応：①②③④（学校保健実習、産業保健実習）
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	公衆衛生看護学概論、保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ、健康生活支援論Ⅰ、 産業保健活動論で使用したテキストおよび授業資料
実務経験のある教員による授業	保健師の経験を活かして実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先：山口　tyamaguchi@soei.ac.jp　久保木　nkuboki@soei.ac.jp 事前にメールで連絡をしてください。オフィスアワーはオリエンテーションで連絡します。

備考	保健師課程必修科目です。 既習の産業保健活動論、 学校保健について復習して、 実習に臨んでください。

講義科目名称：　国際看護論　　授業コード：　24G402

英文科目名称：　Global Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	１単位	選択
担当教員			
山下　麻実/看護学部　上村　いずみ/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	世界の人々を看護の対象としてとらえ、世界の保健医療の現状と課題およびその対策について考察する。同時に社会文化を背景とする健康・疾病概念および保健行動の多様性を知り、看護の普遍性と多様性を理解し、より広い視野からの看護の果たすべき役割を考察する。
履修目標	①国際看護の主要概念を説明できる。 ②世界の保健医療に関する課題と看護の役割を関連付けることができる。 ③多様な文化・社会的背景を持つ対象者の看護について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	1　総論：国際看護の概念 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、分からない用語を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 2　国際看護と異文化看護 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、分からない用語を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 3　世界の人々の健康にかかわる諸要因 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、分からない用語を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 4　在日外国人の医療と看護 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、分からない用語を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 5　在外日本人の医療と看護 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、分からない用語を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 6　非営利組織（NPO）における看護活動の実際 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、分からない用語を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 7　政府機関（JICA）関連における看護活動の実際 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、分からない用語を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 8　まとめ 授業外事前学修課題：これまでの授業内容を振り返る。（100分） 授業外事後学修課題：国際看護における課題と展望を考察する。（100分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークやグループでのプレゼンテーションを取り入れて授業を展開していく。 諸外国の文化をはじめ保健医療の実際についてICTを活用して調べる。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションのフィードバックは次の授業におこなう。 提出された成果物は返却する。 試験のフィードバックはGoogleclassroomを活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点 評価割合：60% 評価基準：授業への取り組み・態度 履修目標との対応：①②③ 評価方法：筆記試験 評価割合：40% 評価基準：授業で学んだことを理解できていれば60点/100点満点（40点に換算） 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	医学書院：国際看護学入門　第2版

実務経験のある教員による授業	海外で看護師として実務があり、経験を活用した授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	GmailかGoogleclassroomでアポイントメントを取ってください。
備考	

【4年次配当科目】

講義科目名称： 在宅看護実習　　授業コード： 24R308

英文科目名称： Home Care Nursing： Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	２単位	必修
担当教員			
近藤　仁美/看護学部　村上　亜紀/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	地域で暮らす生活者としての療養者、家族の尊厳を守る。 特に在宅の療養場面のみではなくその暮らす地域性に関心を持ち看護実践を考えることを大切にする 在宅における看護実践特に訪問看護を通して多様な背景、多様な健康課題を有する療養者及びその家族の課題を考えアセスメント看護実践する 地域包括ケアシステムの実際を学修し、地域の中で活動する訪問看護ステーション、訪問させていただく療養者事例を通して行政機関、多機関、多職種の役割・連携の実際を学修し、臨地場面の実際から今後の看護の課題、発展を考えることができる
履修条件	在宅看護概論の単位を修得し、在宅看護方法論Ⅰ、在宅看護方法論Ⅱ、成人看護学実習・慢性期を履修していること
授業概要	地域で暮らす個人・家族の健康維持・増進とQOL向上のための基本的な訪問看護実践能力を学修する。 また、在宅療養者と家族、介護者の生活に触れることによって、信頼関係構築のプロセス及び諸機関、連携職種とのとの連携の実際を学修する。 加えて、家族看護の視点から援助の方向性を考えるとともに、地域・在宅看護における看護の役割と機能への理解を深める。
履修目標	①地域で療養する在宅療養者と家族の特徴、背景を踏まえた在宅看護の実践が理解できる ②在宅療養者と家族について身体的・精神的・社会的側面でアセスメントし、必要な在宅看護の方向性や方法が理解でき、実施することができる ③地域と地域における訪問看護ステーションの役割と機能を理解することができる ④看護学生としての責任と自覚をもって行動することができる
授業計画・授業外学修課題	地域・在宅で生活している療養者とその家族の生活支援と看護援助の実際について学ぶ。 実習期間： 2週間　90時間 実習スケジュール： 事前学修　事前学修課題の提出　修正 第1週　月曜日　学内 火～木曜日　臨地実習　訪問看護ステーション実習 金曜日　学内 第2週　月～木曜日　臨地実習　訪問看護ステーション実習 金曜日　学内 実習方法： 第1週　月　オリエンテーション終了後午後より各臨地実習場（訪問看護ステーション）場所確認および　地区踏査実施 第1週　火曜日より訪問看護ステーション実習　看護師および多職種とともに同行訪問　カンファレンス　記録記載 第1週　金曜日 第2週　金曜日　学内実習 実習内容： 事前学修課題①在宅看護実習に必要な学修課題を提示　ファイルの作成 ②レポート「在宅看護実習での学修目標」「療養者宅に訪問する際の姿勢やマナーについての留意点」について 実習1日目　学内実習　午前　実習オリエンテーション　身だしなみ　課題の確認　必要物品・借用物品確認 実習2日目～4日目　臨地実習　訪問看護ステーション　同行訪問　受け持ち療養者を決定し、看護過程展開を行う。カンファレンス実施　中間カンファレンス指導者とともに受け持ち事例の看護の方法性確認 実習5日目　学内実習　受け持ち事例のアセスメント、課題の明確化、看護計画立案 実習6日目～9日目　臨地実習　同行訪問実習　受け持ち療養者訪問　看護計画実施・評価・修正　カンファレンス実施　最終カンファレンス指導者とともに実習目標・看護過程評価 実習10日目　最終日　学内実習　合同カンファレンス　最終レポート作成　評価面接　記録物提出　借用物品の消毒・返却
アクティブラーニングを用いた授業方法	臨地おける実習、グループワーク、プレゼンテーションを行う。 ICTを活用して地域、在宅看護、訪問看護について調べる。
課題のフィードバック方法と時期	事前学習　：実習前に面談による事前学習内容、進度確認を行います。 実習中　：実習内容の進度、看護過程展開の進捗状況に合わせグループ、個人の直接確認を臨地にて行います。 実習最終日；実習目標に照らし合同カンファレンスによる意見交換過程、プレゼンテーションの実施内容を最終レポート記載。 看護過程展開記載記録、実習目標達成評価を合わせ個人面談実施します。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：事前学習を含む実習準備内容実施状況 評価割合：１０％ 評価基準：事前学習課題期限提出　事前学習の内容が課題達成に達しているか。 履修目標との対応　　①○　②○　④○ 評価方法：実習に臨む姿勢・レポート・実習記録記載進度、内容 評価割合：90％ 評価基準：実習に臨む姿勢　実習参加姿勢、態度、訪問先でのマナー―、個人情報取り扱いが適切の行われているかどうか。実習記録に適切に学修内容が記載されているかどうか。看護過程展開が実践できているかどうか。期日、時間が厳守できているかどうか。 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：系統別看護学講座　「在宅看護論」　医学書院 「写真でわかる訪問看護アドバンス」　インターメディカ 参考資料：「訪問看護活用ガイド」　公益財団法人医療助成成勇記念財団　在宅医療と訪問看護の在り方検討委員 全国訪問看護事業協会：https://www.zenhokan.or.jp 日本看護協会訪問看護：https://www.nursing/zaitaku/houmonkango/index.htmi 日本訪問看護財団公式サイト：https//wwwjvnf.or.jp 神奈川県ホームページ：https://www.pref.kanagawa.jp/
実務経験のある教員による授業	看護師・保健師として実務経験を活用した実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	実習前2週間・実習中・実習後２週間　携帯電話　（実習期間中、詳細は各実習前オリエンテーション発表）Gメールによる対応 在宅看護実習暮らすルーム対応を行います。
備考	実際に多様な在宅療養者宅に訪問させていただきます。テキスト、参考資料だけでなく社会情勢や感染状況等ICTを活用して主体的にエビデンスの高い情報収集・学修を行ってください。実際のお宅を訪問させていただくことに感謝し、高い倫理性、諸作法を大切に実習臨むこと。

講義科目名称： 成人看護学実習・急性期　　授業コード： 24R206

英文科目名称： Adult Nursing (Acute Conditions): Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	３単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　峯川　美弥子/看護学部　那須　実千代/看護学部　中田　千恵子/看護学部　岩谷　正美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	2年次までの必修科目を修得していること。成人看護学方法論Ⅲの単位を修得し、成人看護学実習・慢性期を履修していること
授業概要	生命の危機的状況や生命力の急激な変化が予測される対象と家族の特性ならびにその病態生理的、状況的、治療的関連因子を理解する。その上で、生命の維持、苦痛の緩和、日常性の回復、生活機能の回復に向けて対象の成長・発達、適応を促進するための看護を実践する能力を修得する。患者を受け持ち、限定された時間の中で、看護ケアの優先順位とアセスメントを学び実践する。また、手術室、ICU、一般病棟等対象の生活の場の変化あるいは健康レベルの変化に対応した看護の実践について学ぶ。 急性期にある成人期の患者とその家族（重要他者を含む）を多角的に理解し、生命の危機的状況からの回復の促進支援および社会復帰に関する基礎的な看護実践能力を修得する。 また、看護実践の場において看護事象を捉える観察力を養うとともに、文献などの裏付けにより学びを深め急性期にある患者および家族への看護について考察する能力を養う。
履修目標	①健康課題を有している患者および家族を多角的に理解することができる。 ②患者および家族に対して発達段階や個別性、健康課題に応じた看護の必要性を理解し、看護過程を展開することができる。 ③患者および家族の多角的理解をもとにした思考過程を基盤とし、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 ④医療機関における多職種の役割と連携について説明することができる。 ⑤看護専門職としての望ましい態度を身につけることができる。 ⑥看護を学ぶ学生として自らの課題を持ち、実習に臨むことができる。
授業計画・授業外学修課題	急性期にある患者を受け持ち、対象者を多角的に理解し、看護過程を展開する（詳細は実習要項を参照）。 1. 実習期間と日程 1）135時間（3週間） 2）実習時間：月曜日から金曜日　原則として8：30～16：00 3）学生の実習配置：別紙配布する。 4）実習施設：別紙配布する。 2. 実習内容 健康障害を持つ急性期または周手術期の患者1～数名を受け持つ。受け持ち患者への意図的な情報収集、アセスメント、看護診断、計画立案、看護実践、評価および修正を行う。実践においては、指導を受けながら受け持ち患者の病態・病期や個別性に配慮した看護技術を提供する。受け持ち患者とは、援助者としてふさわしい人間関係を構築する。主体的にカンファレンスに参加することで、新たな知識を獲得し、問題解決能力を高める。また、自己の課題克服のための努力を実践し、自己の看護観を育てる。 3. 方法その他 初日：オリエンテーション、看護技術チェック、周手術期看護シミュレーション演習 第１週：オリエンテーション、情報収集、アセスメントを行い、関連図・看護診断の発表を行う。 第2週：月曜日に看護計画を発表し、修正をしながら看護実践を行う。 第3週：受け持ち患者の看護実践、評価、修正を継続する。臨床での最終カンファレンス、学習成果の報告会を行う。 金曜日にOSCE（客観的看護技術試験）を行う。 ＊実習期間中、毎日ショーとカンファレンスを行い、日々の実習での学びを共有する。 4. 事前学習課題（詳細は別途GoogleClassroom等を用いて指示する。） 1）看護技術自己練習（課題事例を提示する） 2）主要な疾患・治療・手術・検査時の看護についてのレポート 資料動画：岡山大学病院周手術期管理センター、あんしん病院、同仁会業務推進室、ナーシングスキル視聴別途指示する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	臨床における実践
課題のフィード	随時行うとともに、実習中、実習終了時の評価面接、OSCE実施後の振り返り時に行う。

バック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①臨地実習の取り組み、②OSCE 評価割合：①90%、②10% 評価基準：実習要項に掲載されたルーブリックによる評価
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学方法論Ⅰ～Ⅲの授業で使用した全テキスト、配布資料 参考文献：実習時に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師資格を有しており、その経験を活かし、看護計画及び実践の指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	第3週木曜日・各実習担当教員
備考	実習を介しする前までに、成人看護学実習要項を熟読すること。 「人の形態と機能・生活」「病理学」「薬理学」「コミュニケーション論」「症候論」「成人看護学方法論Ⅱ，Ⅲ」を充分に復習しておくこと。看護診断、看護過程、その他成人看護学実習を行うにあたって求められる知識、技術について事前課題を提示する。必ず十分にケア提供者としての学習および心身の状態を整えて実習に臨むこと。

講義科目名称： 小児看護学実習Ⅱ　　授業コード： 24R216

英文科目名称： Pediatric NursingⅡ： Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	１単位	必修
担当教員			
山下　麻実/看護学部　加藤　紀子/看護学部　染谷　奈々子/看奈々子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	2年次までの必修科目、小児看護学方法論Ⅱの単位を修得していること。
授業概要	病気や障害を抱えて入院生活を送っている小児と家族への基礎的な看護実践能力を身につける。具体的に小児とその家族の発達段階や健康レベルに応じたアセスメント、適切な看護を計画・実践（指導者とともに行う）・評価できるための基礎的知識・技術・態度を身につける。さらに医療チームの一員としての小児看護の役割を理解し、連携・協働の実際を学ぶ。
履修目標	①病気や障害を抱えて治療や生活を送っているこどもと家族の現状を説明できる。 ②こどもの発達段階について理解し、成長発達を促進するための看護を実施できる。 ③家族の状況やこどもと家族の関係性について理解し、家族の力を生かす支援方法について説明できる。 ④小児看護におけるチーム医療の一員として求められる役割や課題について理解し意見交換ができる。
授業計画・授業外学修課題	病院・施設において１週間、実習を行う。 実習時期、期間、実習施設・学生配置、実習内容、方法等の詳細は小児看護学実習Ⅱ実習要項参照
アクティブラーニングを用いた授業方法	健康障害を持つこどもが療養する施設における実習です。
課題のフィードバック方法と時期	実習中に生じた課題については、実習中にタイムリーにフィードバックする。また、実習終了時には学内で、実習全体を通したフィードバックを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：その他 評価割合：100％ 評価基準：実習評価表参照 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：奈良間美保医学書院小児看護学概論・小児臨床看護総論 奈良間美保医学書院小児臨床看護各論 山本恵子インターメディカ写真でわかる小児看護技術アドバンス
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務がある教員が実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	山下　麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 加藤紀子：nkato@soei.ac.jp 必要時、アポイントメントを取ってください。
備考	

講義科目名称： 看護倫理・法　　授業コード： 24S105

英文科目名称： Nursing practice and ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	１単位	選択
担当教員			
横山　惠子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護実践における倫理とは何か、職業倫理を看護実践と関連づけて学修する。実践の場で遭遇しやすい倫理的ジレンマを取り上げ、事例に含まれる多様な価値観に気づき、倫理原則や倫理綱領などの活用により最良の判断を導く過程を学修する。さらに、自らの体験も含めて、様々な看護実践場面を、倫理的視点から振り返り、看護者としての行動指針に照らし、あるべき姿について考察を深め、それまでの学習のまとめとする。
履修目標	①看護専門職に必要な倫理の基礎的知識について説明できる。 ②看護専門職に求められる倫理的責任・法的責任について説明できる。 ③看護実践の場で看護職が遭遇する倫理的問題・ジレンマについて分析し考察する。 ④倫理的意志決定プロセスを理解し、看護職者に求められる倫理的態度について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護における倫理の意義と重要性／資料や事例を通して、看護の倫理的概念について学ぶ 授業外事前学修課題 参考文献の授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 授業資料の内容を確認する（90分） 2　倫理原則／資料を通して、看護における職業倫理について学ぶ 授業外事前学修課題 参考文献の授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 倫理的課題のニュースから自らの考えを記載する。次回、レポート（１）提出（90分） 3　医療における職業倫理／資料や事例を通して、看護実践の場面で遭遇する倫理的課題、倫理的ジレンマについて学ぶ 授業外事前学修課題 参考文献の授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 4　看護実践の事例を通して考える（グループワーク）4人グループで手キストの中から1事例を選ぶ 授業外事前学修課題 授業資料の事例を読んで考えておく（90分） 授業外事後学修課題 ディスカッションの内容を整理する（90分） 5　看護実践の場面で遭遇する倫理的課題の分析／資料や事例を通して、倫理的意志決定プロセスについて学ぶ 授業外事前学修課題 参考文献の授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 6　看護実践の事例を通して考える（グループワーク） 授業外事前学修課題 授業資料の事例を読んで整理しておく（90分） 授業外事後学修課題 ディスカッションの内容を整理し、プレゼンテーション資料を作成する（90分） 7　グループ発表 授業外事前学修課題 作成したパワーポイントでの発表の準備を行う（90分） 授業外事後学修課題 他のグループの発表やディスカッションの内容を整理し、学びを整理する（90分） グループ発表準備（30分）／プレゼン資料からの学びを整理する（30分） 8　グループ発表、まとめ 授業外事前学修課題 グループ発表からの学びや疑問を整理する（90分） 授業外事後学修課題 授業での学びをレポート（2）にまとめ、期日までに提出する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート（1） 評価割合：20% 評価基準：自らの考えを明確に記述できれば80点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①②③ 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：50% 評価基準：グループワーク結果を、相手に伝わるようにプレゼンできれば60点 履修目標との対応：③④ 評価方法：レポート（2） 評価割合：30% 評価基準：自らの考えを明確に記述できれば80点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考文献 吉田みつ子：看護倫理　見ているものが違うから起こること，医学書院 護学テキストNICE　看護倫理（改定版３版）よい看護・よい看護師への道しるべ，南江堂，2021
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の臨床経験を有しており、その経験を活かして、看護職に求められるアドボカシーとしての倫理的姿勢を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	授業に関する質問・相談は遠慮なく連絡して下さい。 横山　惠子　メールドレス　kyokoyama@soei.ac.jp
備考	看護実践における倫理は、看護者としての行動規範となり、対象者の尊厳を守ることに繋がります。自らの倫理的感受性を高めるため、グループワークに積極的に参加し、共に学び合いましょう。看護実務経験を活かした講義を行います。

講義科目名称： 看護教育学　　授業コード： 24S110

英文科目名称： Nursing Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	１単位	選択
担当教員			
岩谷　正美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	●看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ●看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護教育の基本理念と教育制度の歴史的変遷を学び、現在の教育制度における看護教育の現状と評価及び課題を理解する。また看護の卒後教育・継続教育の意義と重要性を学び、看護教育の将来について考察する。
履修目標	① 日本における看護教育の歴史的変遷が説明できる ② 現在の教育制度における看護基礎教育の位置づけと問題点が説明できる ③ 看護基礎教育の法的基盤と制度の変遷の概要が説明できる ④ 看護継続教育の現状と課題を論述できる
授業計画・授業外学修課題	1　看護教育学とは何か専門職としての看護 授業外事前学修課題：教科書「看護教育学」の第Ⅰ章～第Ⅱ章を精読し、概要を把握する（90時間） 授業外事後学修課題：講義内容を整理し、専門職としての看護の特徴をまとめる（90時間） 2　日本の看護教育制度の歴史的変遷看護職養成制度と看護教育関連法規 授業外事前学修課題：第Ⅲ章を精読し、日本の看護教育制度の歴史と看護職養成制度を調べる（90時間） 授業外事後学修課題：講義内容を整理し、日本の看護教育制度の変遷と看護教育関連法規についてまとめる（90時間） 3　日本の看護卒後教育と看護教育の将来 授業外事前学修課題：日本の看護卒後教育と看護継続教育について調べる（90時間） 授業外事後学修課題：看護卒後教育の必要性について各自の考えを整理する（90時間） 4　看護学教育の基盤 授業外事前学修課題：第Ⅳ章を精読し、看護学教育の基盤についてまとめる（90時間） 授業外事後学修課題：看護職のキャリアマネジメントと自己主導型学習の必要性をまとめる（90時間） 5　看護基礎教育の現状／カリキュラム 授業外事前学修課題：第Ⅴ章を精読し、本学のカリキュラムとの関連を調べる（90時間） 授業外事後学修課題：改正2022看護教育課程の特徴をまとめる（90時間） 6　臨地実習における教育と学習 授業外事前学修課題：第Ⅶ章を精読し、経験型実習教育についてまとめる（90時間） 授業外事後学修課題：看護学生が実習を通して直面しやすい問題を１例あげ背景を考える（90時間） 7　看護学教育の評価 授業外事前学修課題：第Ⅷ章を精読し、教育評価の定義と特徴をまとめる（90時間） 授業外事後学修課題：看護学教育での評価の実際についてまとめる（90時間） 8　本邦におけるトピックス、及び諸外国との比較検討まとめ 授業外事前学修課題：海外の看護制度と看護学教育制度について調べる（90時間） 授業外事後学修課題：日本と海外の看護学教育の類似点と相違点をまとめ、本邦の課題を整理する（90時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題についてグループワークを行い、その学びも含めレポートを作成し、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次回の授業の冒頭に行う。 グループワーク課題については、レポートの発表と質疑応答を行う。 講義時のコメント、及びグループワーク発表時にコメントする。Google Classroom上で質問へのコメントを配信する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：毎回講義終了後、Googleフォームによる確認テスト：25点、まとめ試験（プレゼンテーション含む）：25点　まとめ試験はルーブリック評価により行う 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○

	評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：授業の学びを自己の考えに基づいてまとめることができれば60点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○ 評価方法：平常点評価 評価割合：20% 評価基準：毎回のグループワークへの参加度と併せ、ルーブリック評価により行う 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：「看護教育学（改訂第3版）」グレッグ美鈴/池西悦子編、南江堂、2024. ISBN 978-4-524-20424-3 参考書：「看護教育学（第7版）」杉森みど里/舟島なをみ著、 医学書院、2021.　他 適時資料を配布する
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かして講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月～木のお昼休み（事前にメールで連絡して下さい） 連絡先：miwaya@soei.ac.jp
備考	指示された内容の予習・復習をして授業に臨んでください。授業への主体的な参加を期待します。なお30分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

講義科目名称： 統合実習　　授業コード： 24S115

英文科目名称： Integration & Practice for Nursing： Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	２単位	必修
担当教員			
上條　優子/看護学部、山下麻美、近藤仁美、大久保章宏、岩谷正美、那須実千代、あべのゆうこ、奥山聡子、藍木桂子、浦上加奈子、他2名			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護学を体系的に捉え、健康・発達課題を発見・分析・解決する能力を身につけた人。 相手をかけがえのない存在として尊重し、思いやりを持って考えて行動のできる人。
履修条件	看護管理学、医療安全学の単位を修得し、全実習科目を履修していること。
授業概要	４年間の学修を統合し、対象者に応じた看護提供のあり方、医療・看護提供の仕組みについて看護マネジメントの視点から理解する。 入院から退院までの患者の健康回復過程に看護者や医療従事者がどのようにかかわっているか、医療チームの中でリーダーシップ、フォロワーシップについて学ぶ。 複数患者の受持ち体験を通して、優先順位を考えたアセスメント力、統合力、看護実践能力を高める。 また、入院患者に対してどのような退院支援がなされ、地域との連携がされているか、看護はどのように継続されているかを、専門職の連携、継続看護の視点から理解する。
履修目標	看護の現場において専門職との連携・協働のなかで看護職としてのフォロワーシップやリーダーシップについて理解し看護マネジメントができる能力を身につける。保険・医療・福祉の場面で、多職種連携がどのようになされているか、また看護は24時間、365日を通してどのように継続されているかをチーム医療、継続看護の視点から臨地で体験を通して考える。 ①　メンバー・リーダー・看護師長の参与観察を通してリーダーシップ・フォロワーシップ、及び看護を継続する仕組みとマネジメントの視点について述べることができる。 ②　複数患者を受持ち、それぞれの患者のニーズや優先順位を考え、チームの一員として安全に看護を提供することができる。 ③　院内組織の見学や入院患者のケア場面を通して、専門職間の連携・協働がどのようになされ、退院支援や地域連携がされているかを理解し説明することができる。 ④　看護専門職として、看護実践における自己の課題を明らかにすることができる。 ⑤　自己の行動に責任を持ち実習に取り組むことができる。
授業計画・授業外学修課題	第1週1日目　オリエンテーション、学内演習 全体オリエンテーション、施設別オリエンテーション、学内演習、事前課題の確認 ＊実習の詳細は、令和6年度統合実習　実習要項に記載されている。事前によく読むこと。 授業外事前学修課題：事前課題および様式１を作成し、担当教員に確認してもらう（90分） 授業外事後学修課題：本日のオリエンテーション内容の復習、実習準備を行う（90分） 第1週2日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第1週3日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第1週4日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション。中間評価のためにルーブリック評価表に記載する（90分） 第1週5日目　実習施設で実習を行う 中間カンファレンスを行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第2週6日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第2週7日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第2週8日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション、様式４を記載する。（90分）

	第2週9日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション、実習で学んだことをまとめる。ルーブリック評価を行う（90分） 第2週10日目　学内演習 ・実習のまとめ ・グループワーク（意見交換） ・プレゼンテーション準備 ・プレゼンテーション ・実習評価 ・評価面接 授業外事前学修課題：実習で学んだことをまとめる（90分） 授業外事後学修課題：プレゼンテーションを聞いて学んだことをまとめ、自分の今後の課題を考える（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	急性期病院での実習である。 学内では、グループディスカッション、ICTを用いた事前学習、アイスブレイク及びチームビルディング演習、パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	実習中は病院内でカンファレンスを行う。 1週目にルーブリックを用いた中間評価を行う。最終日にルーブリックを用いた評価を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習目標に合わせた評価をルーブリックを用いて行う 評価割合：100% 評価基準：ルーブリック 履修目標との対応：①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	看護管理学の教科書、今までの実習で使用した資料、教科書。
実務経験のある教員による授業	看護師実務経験のある教員が担当します。
オフィスアワー・連絡先	実習担当教員はClassroomを使ってお知らせをします。確認漏れがないようにしてください。 科目責任者　上條の　e-mail　　ykamijo@soei.ac.jp
備考	Classroomを使ってお知らせをします。確認漏れがないようにしてください。

講義科目名称：　研究ゼミナール　　授業コード：　24S114A　24S114B　24S114C　24S114D　24S114E　24S114F　24S114G　24S114H　24S114I

英文科目名称：　Research Seminar

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年	２単位	必修
担当教員			
山本洋美　全教員			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	看護研究
授業概要	研究課題について少人数によるディスカッションや文献検索を通して深め、看護研究で学んだ基礎的知識をもとに研究計画書を作成する。必要に応じて研究倫理審査を受ける。これらを通して看護研究の基本的知識・技術・態度を養う。担当教員のもとに少人数で演習を行い、テーマに基づき研究論文を作成します。
履修目標	①授業や実習などを通して得られた知識、関心や疑問をもとに研究課題を明らかにすることができる。 ②研究課題を絞り込み研究目的を明らかにすることができる。 ③研究目的にそってデータを収集し、分析を行うことができる。 ④得られた結果の意味や意義について考察することができる。 ⑤研究によって得られた知見をまとめ、論文および抄録を作成し、抄録を提出することができる。 ⑥研究における基礎的知識を理解することができる。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　研究領域を決定し、指導教員のもとで研究を開始する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 2～8　研究課題を絞りこむために文献検索を行い、論文の読み方を参考に論文を読む 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 8～13　研究課題（テーマ）の決定と研究計画書の作成、および研究を実施する必要な場合は、研究倫理審査に必要書類を準備し審査を受ける。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 14～22　研究の実施を継続し、データ分析を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 23～28　研究結果の解析と考察を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 29・30　卒業論文の作成と抄録の作成を提出する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、個人ワーク、プレゼンテーションを行います。
課題のフィードバック方法と時期	担当教員が各研究課題をもとに適時説明を行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：その他 評価割合：100% 評価基準：評価表・課題への取り組みと提出された研究計画書、研究論文に関して評価する。計画に沿ってできれば70/100点とします。 履修目標との対応： ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「看護研究」で使用したテキスト及び資料
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師、保健師、助産師の臨床経験と看護研究経験を有しており、その経験を活かして、学生の研究テーマに沿った研究指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	担当教員と連絡を密に取り、取り組んでください。 研究ゼミナールに出席し個別学習の場合は日程を忘れずにメモしておいてください。最終日に担当教員に提出します。
備考	看護職としての実務経験を活かした授業を行います。3年前期で履修した看護研究の理解を深めたうえで主体的に取り組んでください。

講義科目名称： 教職実践演習（養護教諭）　　授業コード： 24T114

英文科目名称： Practical Seminar for Teaching Profession

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	本科目の目的は、養護教諭として必要な資質能力の全体を確認することである。具体的には、教員としての使命感・責任感、教育的愛情について学修するとともに、対人関係能力を確実なものにし、児童生徒理解のための具体的な方法の修得、学校現場での実践的指導力の獲得を目指す。授業形態は、養護実習を通じて得た知識・技術の確認、保健室経営計画案の作成、学校保健の指導案作成と場面指導の実施、学校現場の事例研究、グループ討議、フィールドワークなどで、学生の自主的・主体的な参加型学修とする。
履修目標	①これまでの学修や養護実習での学びを統合させた理解に基づいた説明ができる。 ②養護教諭の具体的な役割の自覚を強め、養護教諭としての役割を説明できる。 ③養護教諭として教育に対する使命感、責任感を自覚し、提示できる。 ④養護教諭としての確かな実践力、指導力の重要性を理解し、説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション　グループワーク 教育実習の振り返りを共有する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 2　教育実習等での学びをもとに教職について考える 養護実習のまとめ、他学年に向けたプレゼンテーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 3　保健指導の実施 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 4　保健室活動の実際　事例検討　救急対応/危機対応・管理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 5　健康問題の把握とその対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 6　学校組織・運営・学校生活等について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 7　学校保健安全計画・保健室経営計画 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 8　健康問題の把握とその対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 9　学校組織・運営・学校生活等について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）

	10　教育職の役割・養護教諭の役割 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 11　特別支援における養護教諭の役割① 特別支援学校見学実習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 12　特別支援における養護教諭の役割② 特別支援学校見学実習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 13　特別支援における養護教諭の役割③ インクルーシブ教育学校見学実習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 14　特別支援における養護教諭の役割④ インクルーシブ教育学校見学実習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 15　教育職の役割・養護教諭の役割　まとめ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回にて、グループ討議、フィールドワーク（見学実習等）等により、学生の自主的・主体的な参加型学修を実施する。
課題のフィードバック方法と時期	振り返りシートにより、授業理解の確認を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：60% 評価基準：課題に即した内容で、指示された体裁で文章の提出ができれば60点。 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○ 評価方法：その他（養護実習報告会・グループ討議の内容及び取り組み等） 評価割合：40% 評価基準：自主的・主体的に活動できれば60点。 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

講義科目名称： 養護実習　　授業コード： 24T115

英文科目名称： Practicum of School Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年	５単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目　３年次後期までに履修すべき必修科目及び養護教諭課程必修教職科目（教職実践演習以外）の単位を修得していること。
授業概要	学内で学んだ教育理論を実際の学校現場で具体的に学修することで、理解力及び実践力を身につけることをねらいとする。養護教諭に必要な専門的知識と指導技術を深める。児童・生徒と直接関わることにより、健全な子ども観、教師観及び教育観を培うとともに、養護教諭として資質を客観視する。実習場所は、学生がどのような対象（小学生・中学生・高校生）に、どのような養護教諭として活動したいかを基軸として選択する。
履修目標	①学校保健活動における養護教諭を教育活動の一環と捉え、保健室のあり方及び養護教諭の果たすべき役割を説明できる。 ②児童・生徒の心身の状況及び生活の実態を知り、子どもたちの健康問題の特徴を提示できる。 ③児童・生徒の保健・養護状の課題に対処できる基礎能力について理解し、説明できる。 ④保健教育の実践を通し、保健・健康に関する教育専門職としての実際について説明できる。 ⑤養護教諭に対する志向を高めるとともに、養護教諭に必要な態度について理解し、説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　事前指導① 指導案の書き方（復習）・指導案の立案 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 2　事前指導② 指導案の書き方（復習）・指導案の立案 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 3　事前指導③ 指導案の立案/教材作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 4　事前指導④ 指導案の立案/教材作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 5　事前指導⑤ 指導案の立案/教材作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 6　事前指導⑥ 指導案の立案/教材作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 7　事前指導⑦ 模擬授業実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）

	8	事前指導⑧ 模擬授業実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	9	事前指導⑨ 模擬授業実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	10	事前指導⑩ 健康診断演習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	11	事前指導⑪ 健康相談活動（ロールプレイによる演習） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	12	事前指導⑫ 健康相談活動（ロールプレイによる演習） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	13	事前指導⑬ 応急手当実技 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	14	事前指導⑭ 応急手当実技 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	15	事前指導⑮ 応急手当実技 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	16～	実習校における実習　４週間（20日程度）160ｈ程度 実習校での実習プログラムによる 事後指導① 実習振り返り 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導② レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導③ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分）

	事後指導④ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑤ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑥ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑦ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑧ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑨ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑩ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事前・事後実習では、ロールプレイや模擬授業、プレゼンテーション等を行う。 臨地での実習では、実習校でにて体験的に学修する。
課題のフィードバック方法と時期	事後指導時に養護実習での学び、成果についてレポートし、個別にフィードバックを受ける。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	【事前指導】 評価方法：デモンストレーション（模擬授業実践、ロールプレイ、応急手当実技等） 評価割合：15% 評価基準：これまで学んだ内容を踏まえて実践できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 【事後指導】 評価方法：レポート 評価割合：5% 評価基準：実習校での学び・成果をまとめられれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 【実習校での実習】 評価方法：その他（実習内容・取り組み（実習校評価含む）、実習記録） 評価割合：80% 評価基準：実習目標が達成できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	必要時、メールでアポイントをとってください。
備考	

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習Ⅱ　　授業コード： 24R318

英文科目名称： Public Health NursingⅡ： Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年	４単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	4年次前期までに修得すべき必修科目及び保健師課程の必修科目の単位を修得していること。
授業概要	地域で生活する人々の健康と予防活動を生活者の視点でとらえ、組織的に展開する公衆衛生看護の役割を理解し、公衆衛生看護活動の意義と保健師に必要な基礎的能力(知識・技術・態度等）について学修する。
履修目標	①実習目的:地域で生活する人々の健康と予防活動を生活者の視点でとらえ、組織的に展開する公衆衛生看護の役割を理解し、公衆衛生看護活動の意義と保健師に必要な基礎的能力を養う。
授業計画・授業外学修課題	公衆衛生看護学実習Ⅱ 実習施設: 横浜市福祉保健センター、 川崎市地域みまもり支援センター 1. 実習期間: 4年後期の4週間 2. 実習時間: 月~金曜日 8:30～17:15 3. 主な実習内容（詳細は実習要項を参照のこと） ・地域診断、 保健事業への参加、 家庭訪問、 健康教育、地域組織活動および会議等へ参加し保健師の役割と専門性について考察を深める。 授業外学修時間 【事前】 既習の公衆衛生看護活動についてまとめのファイルを作成する。実習参加予定の事業について、目的、対象、事業の流れ、保健師の役割、保健師の支援内容、支援技術についてまとめる（60分以上） 【事後】 参加した事業等の概要について整理する事業に参加した人の特性について整理し、 対象者への保健師の支援内容 支援技術、保健師の役割についてまとめる（60分以上）
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習要項に基づき、オリエンテーション、 実習を行います。
課題のフィードバック方法と時期	実習施設巡回時の面接、 日々の記録、カンファレンス、 実習終了時の面接等で指導を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価 ・実習記録及び実習レポート 公衆衛生看護学実習ⅡⅠ 評価表参照 ・臨地実習の取組み（事前準備含）公衆衛生看護学実習 ⅡⅠ 評価表参照 履修目標との対応：①
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	保健師課程必修科目で使用したテキスト・参考書・授業資料
実務経験のある教員による授業	行政保健師の経験を経験を活かして実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先: 山口　tyamaguchi@soei.ac.jp　久保木　nkuboki@soei.ac.jp 事前にメールで連絡をしてください。オフィスアワーはオリエンテーションで連絡します。
備考	保健師課程必修科目です。 ４年前期までの学習内容をまとめ、実習の事前学修を行い、積極的に実習に臨んでください。

講義科目名称： 救急・災害看護学　　授業コード： 24S103

英文科目名称： Emergency and Disaster Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年	１単位	選択
担当教員			
峯川　美弥子/看護学部　杉山　洋介/看護学部　西出　久美/看護学部　岩谷　正美/看護学部　那須　実千代/看護学部 中田　千恵子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	日本における救急医療体制整備の歴史的変遷、救急医療および救急看護に必要な基礎的内容を理解するとともに、救急看護に必要な知識・技術を学修する。 災害時の医療体制および看護に必要な基礎的内容を理解すると共に、静穏時、発災時以降への長期的視点を持った生活支援に関する知識・技術（自助・共助・公助）を学修する。併せて、救急・災害時の患者および家族の心理的ケア、救急時のグリーフケアを学ぶ。これらを踏まえ、救急・災害看護の多様性と特殊性について理解する。
履修目標	①救急看護の特殊性、多様性について説明できる。 ②救急看護に求められるフィジカルアセスメントを理解し、行動に移すことができる。 ③救急看護に必要な技術を習得し、実施できる。 ④救急・災害看護における倫理的側面について説明できる。 ⑤災害サイクルに沿った看護について理解し、説明できる。 ⑥災害時のトリアージが実践できる。 ⑦災害を長期の視点で捉え、生活支援・メンタルケアの重要性について理解し、説明できる。 ⑧1～7について、人間の発達段階の特徴を踏まえたアセスメントや援助技術の習得と実践ができる。
授業計画・授業外学修課題	1　救急看護（岩谷） Ⅰ.救急看護 １.救急看護の定義 2.救急医療体制、プレホスピタルケア Ⅱ..救急看護を受ける患者の看護 1..救急看護を受ける患者と家族の特徴 2.救急看護を受ける患者と家族への援助 Ⅲ.一次救命処置 授業外事前学修課題：テキストを精読し、救急看護について内容をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容を整理する（60分） 2　クリティカルケア看護（岩谷） Ⅰ.クリティカルケアとは 1.クリティカルケアの定義 2.集中治療の場の特徴 3.集中治療を受ける患者の特徴、家族の特徴 Ⅱ.クリティカルケアの実際 1.クリティカルの場面における倫理 2クリティカルケアにおける.ターミナルケア 3.外傷と看護 授業外事前学修課題：テキストを精読しタクリティカルケアについてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容を整理する（60分） 3　災害看護（峯川） Ⅰ.災害看護概論 1. 災害看護の定義：災害・災害看護の定義、災害の種類、疾病構造 Ⅱ.災害時の被災者および援助者の特徴：要配慮者、心理面 Ⅲ. 災害関係各機関の支援体制 授業外事前学修課題：テキストを精読し災害の定義、種類、要配慮者についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容を整理する（60分） 4　災害看護（峯川） Ⅰ.災害各期における看護活動 1. 災害サイクル各期における看護活動 2. 避難所・応急仮設住宅・災害公営住宅における看護 Ⅱ.災害時に必要な技術 1. トリアージ、トリアージタグ Ⅲ.病院における災害看護 授業外事前学修課題：テキストを精読し災害サイクル各期における看護活動、トリアージについてまとめる（90分）

	授業外事後学修課題：学修した内容を整理する（60分） 5　救急・災害看護演習① 1. 災害時の支援ネットワークの組み立てを考える 2.トリアージ演習 授業外事前学修課題：別途課題を提示する（90分） 授業外事後学修課題：演習の内容を振り返り、追記や不足部分を調べる（60分） 6　救急・災害看護演習② 1. 災害時の支援ネットワークの組み立てを考える 2.トリアージ演習 授業外事前学修課題：別途課題を提示する（90分） 授業外事後学修課題：演習の内容を振り返り、追記や不足部分を調べる（60分） 7　救急・災害看護演習③ Ⅰ.一次救命処置 心肺蘇生法、AED Ⅱ.応急処置・プレホスピタルケア 止血法、担架の作成・患部の固定方法 授業外事前学修課題：別途課題を提示する（90分） 授業外事後学修課題：演習の内容を振り返り、追記や不足部分を調べる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、実技演習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	課題およびリフレクションペーパーに対しては、次回の講義の際に回答する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	・評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：最終試験－授業で学んだことを理解しているかどうか。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥⑦ ・評価方法：課題 評価割合：10% 評価基準：提出期限様式の遵守、課題の意図の理解 履修目標との対応：①②④⑤⑦ ・評価方法：その他 評価割合：10%（演習の取り組み） 評価基準：提出様式・期限の遵守、学修内容、自己の意見の洗練度 履修目標との対応：③⑧
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学　急性期看護Ⅱクリティカルケア　第4版南江堂 災害看護　第4版　南江堂
実務経験のある教員による授業	各回は、看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行います
オフィスアワー・連絡先	実習のため不定期　必要時メールで連絡してください。　峯川：mminekawa@soei.ac.jp
備考	日本は地震や台風による災害が多い国です。看護師として災害時に必要な力を身につけましょう。 提示された内容を予習・復習して学修を進めましょう。

講義科目名称： 先端医療と看護　　授業コード： 24S104

英文科目名称： Advanced Medical Care and Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年	１単位	選択
担当教員			
山下　麻実/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ・地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	海外とわが国における医療システムと看護の動向について学ぶ他、最新のがん治療、心臓治療、臓器移植とこれれら先端医療を必要とする対象の看護実践に必要な基礎知識について学修する。 また、最新の治療に伴う法律、社会制度、倫理と課題、対象や家族の身体的・心理的・社会的特徴をふまえた医療チームのあり方と看護の役割について学修する。現代社会のニーズに応えるための看護師の役割の一つとして、高度実践看護師に関する教育制度や実践活動について学び、理解を深める。
履修目標	①社会・医療の実情と課題、看護の動向について理解し説明できる。 ②高度実践看護師教育と動向、活動や役割について理解し説明できる。 ③ 最新の心臓治療と看護の現状・課題を理解し説明できる。 ④移植医療と看護の現状・課題を理解し説明できる。 ⑤最新の遺伝子治療と看護の現状・課題を理解し説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　先端医療と看護 授業外事前学修課題：シラバスを読み、分からない用語について調べ準備する(90分) 授業外事後学修課題：：「先端医療と看護」をどのような視点で学ぶかについてレポートにまとめる(90分) 2　移植医療と看護１：移植コーディネーター 授業外事前学修課題：移植医療についての歴史と脳死移植についての法制度について調べ確認する(90分) 授業外事後学修課題：講師の課題に応え、ドナー、及び、レシピエントの立場に立ち、看護学生としてどのように向き合うかについて レポートする（90分） 3　移植医療と看護2１：移植コーディネーター 授業外事前学修課題：移植医療についての歴史と脳死移植についての法制度について調べ確認する(90分) 授業外事後学修課題：講師の課題に応え、ドナー、及び、レシピエントの立場に立ち、看護学生としてどのように向き合うかについて レポートする（90分） 4　遺伝子治療と看護1：遺伝専門看護師 授業外事前学修課題：母性看護学、がん看護で学んだ遺伝子治療につい復習する（90分） 授業外事後学修課題：遺伝子学の基礎知識、出生前診断の事例等から講師の提示した課題をレポートにまとめる（90分） 5　遺伝子治療と看護2：遺伝専門看護師 授業外事前学修課題：母性看護学、がん看護で学んだ遺伝子治療につい復習する（90分） 授業外事後学修課題：遺伝子学の基礎知識、出生前診断の事例等から講師の提示した課題をレポートにまとめる（90分） 6　最新の心臓治療と看護：不整脈に治療における植え込み型心臓デバイスナース 授業外事前学修課題：最新の心臓治療と看護:不整脈治療における心臓疾患と治療について復習する。 不整脈治療の最前線の情報、記事などからイメージづくりをする。(90分) 授業外事後学修課題：具体的な心臓治療の方法やデバイスナースの役割について振り返り、講師の提示した課題をレポートにまとめる(90分) 7　わが国の医療と高度実践看護師の活動1：ナースプラクティショナー、特定行為看護師 授業外事前学修課題：高度実践看護師と特定行為について、看護管理学の授業や臨地実習で得た知識を復習する。 授業外事後学修課題：日本の医療の問題意識をもとに、臨床における看護師の役割について振りかえり、講師の提示した課題をレポートにまとめる(90分) 8　わが国の医療と高度実践看護師の活動2：ナースプラクティショナー、特定行為看護師 授業外事前学修課題：高度実践看護師と特定行為について、看護管理学の授業や臨地実習で得た知識を復習する。(90分) 授業外事後学修課題：日本の医療の問題意識をもとに、臨床における看護師の役割について振りかえり、講師の提示した課題をレポートにまとめる(90分)

アクティブラーニングを用いた授業方法	医療の最先端で活躍しているプロフェッショナル、質疑とディスカッションの形式で授業を展開していく。
課題のフィードバック方法と時期	課題のフィードバックは適宜行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポートおよび授業参加度 評価割合：レポート60%　授業参加度40% 評価基準：初回授業時に提示します。 履修目標との対応：レポート①②③④⑤　授業参加度①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。
実務経験のある教員による授業	各々の専門分野で最先端な看護の実務経験を活かした講義を行います。 実務経験の内容は、遺伝護専門看護師、ナースプラクティショナー(クリティカルケア・プライマリケア)、特定行為看護師、移植コーディネーター、不整脈治療における心臓植込みデバイスナース(米国)
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは初回授業時に通知します。 質問などアポイントはa.yamashita@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 公衆衛生看護管理論　　授業コード： 24S112

英文科目名称： Public Health Nursing Administration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年	１単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　山口　智美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	4年次前期までに修得すべき必修科目及び保健師課程の必修科目の単位を修得していること
授業概要	地域の健康危機管理体制を整える家庭を理解し、地域の健康危機管理に対応できる知識･技術を学ぶ。 あわせて、健康危機を予防するための実践活動の進め方を学修する。また、生活の場所別の保健活動の実際および生活と健康に関する社会資源の開発等を通し、地域全体の包括システムの構築について学ぶ。
履修目標	①公衆衛生看護管理の目的・機能・特色･基本となるものについて説明できる ②住民の健康の保持・増進、地域ケアの質の確保のための施策化について説明できる。 ③健康課題解決のための事業企画・事業計画(評価含) を立案できる。 ④住民の権利保障と健康危機管理・リスクマネジメントの必要性について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　公衆衛生看護管理① 情報管理 組織運営・管理 事業・業務管理 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる(90分) 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、課題に取り組む(90分) 2　公衆衛生看護管理② 人事管理、人材育成、地域ケアの質の保障 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる(90分) 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、課題に取り組む(90分) 3　健康危機管理① 健康危機管理（災害対応）　DVD視聴 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。健康危機管理の保健師活動について、活動マニュアルを熟読する ※マニュアルは別途連絡します(90分) 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 DVDを視聴した気づきや学びをまとめる（90分） 4　健康危機管理② 事例を通して健康危機管理（災害対応）における保健師の役割と専門性を考える グループワーク 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。災害対応事例の課題を行う(90分) 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。事例課題について考察を深め保健師の役割についてまとめる(90分) 5　健康危機管理③ 健康危機管理（感染症対策）　DVD視聴 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。健康危機管理（感染症対策）の保健師活動についての資料や文献を調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。DVDを視聴した気づきや学びをまとめる（90分） 6　健康危機管理③ 事例を通して健康危機管理（感染症対策）における保健師の役割を考える プレゼンテーション 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。プレゼンテーションの準備をする(90分) 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 事例課題について考察を深め、保健師の役割についてまとめる(90分)

	7　地域健康課題解決のための事業企画・事業計画① 地域診断から抽出された健康課題解決のための保健事業企画・事業計画（評価含）の検討 グループワーク 授業外事前学修課題： 地域診断の結果から、保健事業の企画・計画を立案する(90分) 授業外事後学修課題： 保健事業企画・計画を修正する(90分) 8　地域健康課題解決のための事業企画・事業計画② 地域診断から抽出された健康課題解決のための事業企画・事業計画（評価含）発表 プレゼンテーション、ディスカッション 授業外事前学修課題： 保健事業企画・計画のプレゼンテーションの準備(90分) 授業外事後学修課題： プレゼンテーション、ディスカッションをもとに、保健事業の企画・計画を修正する(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	授業ごとにグーグルフォームで学んだことについて内容を確認し、 授業後に全員にフィードバックを行う。 課題については、授業で発表・ディスカッションを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば６０％ 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：地域課題に基づいた事業計画書であれば６０％　ルーブリック配布 履修目標との対応：③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	標準保健師講座　公衆衛生看護学概論 標準保健師講座　対象別公衆衛生看護活動 ※２年次、３年次に使用した教科書を使用
実務経験のある教員による授業	行政保健師の経験を活かして講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先: 山口　tyamaguchi@soei.ac.jp　久保木　nkuboki@soei.ac.jp 事前にメールで連絡をしてください。オフィスアワーは授業初回日に連絡します。
備考	保健師課程必修科目です。事前学修・事後学習を必ず行い、積極的に授業に臨んでください。 受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。